



MODEL S

2012-2020

オーナーズ マニュアル



ソフトウェア バージョン:2026.2.3

Japan

お客様のオーナーズマニュアルについて

お客様の車両に対してカスタマイズされた最新かつ重要な情報を得るには、車両のタッチスクリーンでアプリランチャーにタッチして、マニュアルアプリを選択します。この情報は、購入された機能、車両設定、マーケット地域、およびソフトウェアバージョンに応じた、お客様の車両に特有のものです。これとは対照的にテスラが提供するオーナー情報は適宜更新されるものであり、お客様の車両に特有の情報が含まれない可能性もあります。

リリースノート

ソフトウェアのアップデート後には、タッチスクリーンに新しい機能に関する情報が表示されます。これらはマニュアルアプリで「リリースノート」タブを選択するか、「コントロール」>「ソフトウェア」>「リリースノート」の順にタッチすれば、いつでも表示できます。車両の使用方法に関してオーナーズマニュアルの内容がリリースノートの情報と矛盾する場合は、リリースノートを優先してください。

イラスト図および製品仕様

本文書に掲載されるイラスト図は例示のために描かれています。車両のオプション、ソフトウェアバージョン、販売地域により、車両のタッチスクリーンに表示される情報は多少異なる場合があります。

本書に記載の仕様および説明は、印刷時に、すべて正確であることが確認されています。ただし、改良を続けることがTeslaの目標であるため、当社はいつでも製品変更を行う権利を留保します。本文書に不正確な記述や漏れを見つけれられた方は、お手数ですが下記のメールアドレスまでご連絡下さい。

安全情報

タッチスクリーンでお客様のModel Sのオーナーズマニュアルの安全情報を見ることができます。

お客様のModel Sに関する詳細情報を確認するには、お客様の地域のTeslaウェブサイトアクセスして、Teslaアカウントにログインします。アカウントがない場合はサインアップしてアカウントを取得してください。

お客様のModel Sに関して質問や気になることがある場合は、Teslaまでお電話でご連絡ください。お客様の地域の番号については、www.tesla.comにアクセスし、ページ最下部でお住いの地域を選択してから、連絡先情報をご確認ください。

© 2012-2026 TESLA, INC.

本書にあるすべての情報およびすべてのソフトウェアは、Tesla, Inc.およびライセンス許諾者の著作権およびその他知的財産権の対象となります。本ガイドは、Tesla, Inc.およびそのライセンス許諾者の書面による事前の許可なくして、いかなる部分も改変、複製、複写することを禁じます。詳細情報は要求していただければ入手可能です。以下は、Tesla, Inc.の米国またはその他の国における商標または登録商標です。

MODEL 3

MODEL S

TESLA

TESLA ROADSTER

MODEL Y

MODEL X

TESLA MOTORS

T E S L A



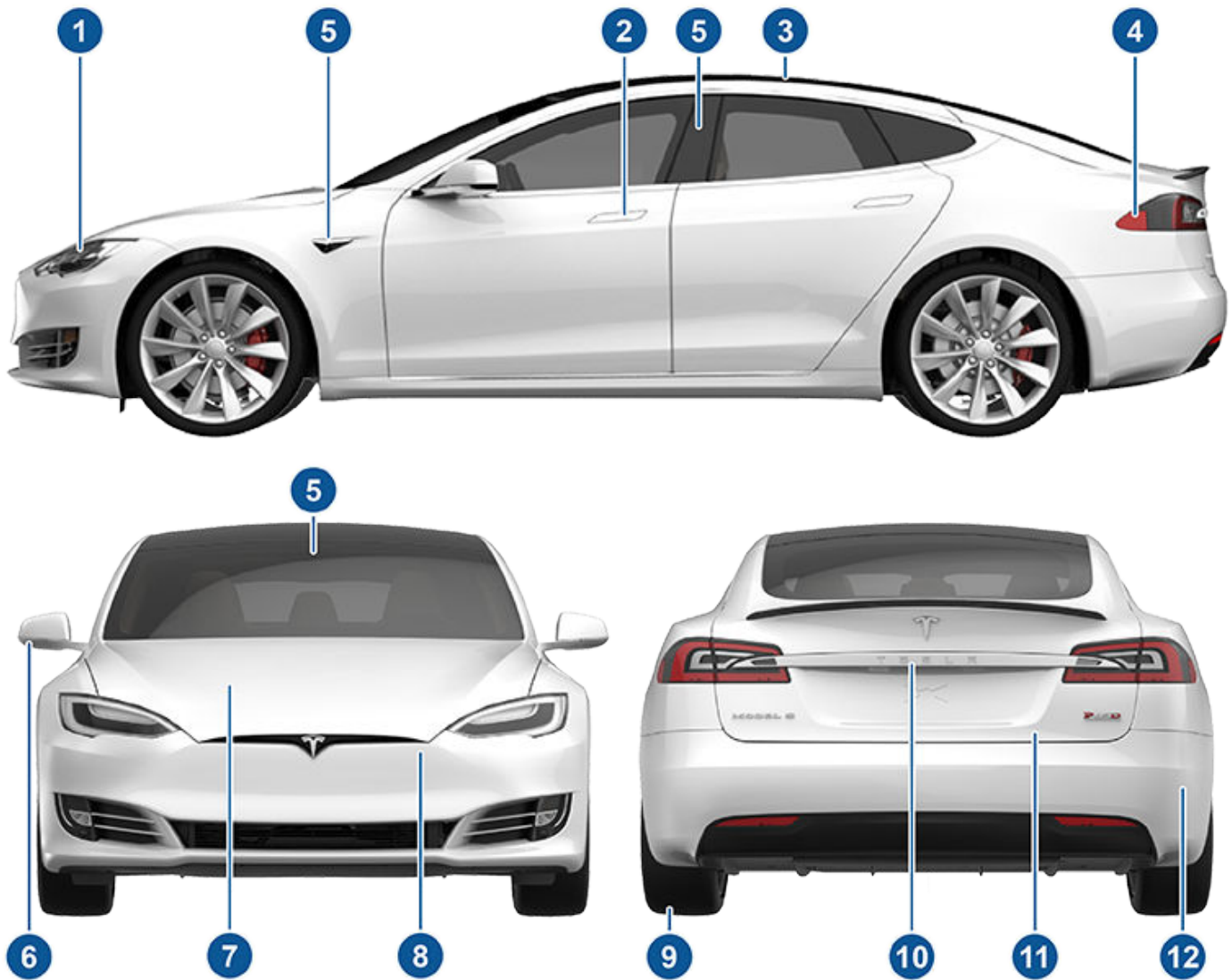


概要.....	3	ナビゲート オン オートパイロット.....	96
エクステリア.....	3	オートパーキング.....	98
インテリア.....	4	サモン.....	100
タッチスクリーン.....	6	スマート サモン.....	102
車内の電子装備品.....	10	制限と警告.....	105
インストゥルメントパネル.....	11		
音声コマンド.....	17	アクティブセーフティ 機能.....	109
カメラ.....	19	レーン アシスト.....	109
		衝突回避アシスト.....	111
開閉.....	20	スピード アシスト機能.....	114
キーおよびドア.....	20		
ウィンドウ.....	25	ダッシュカム、セントリー、セキュリティ.....	116
サンルーフ.....	26	安全とセキュリティ 設定.....	116
		ダッシュカム.....	118
収納エリア.....	27	セントリー モード.....	120
リアトランク.....	27	ビデオ録画のための USB ドライブの要件.....	122
フロント トランク.....	30		
車内の収納.....	32	空調.....	124
		空調を操作する.....	124
座席と安全拘束具.....	34	ベント.....	128
フロントおよびリア シート.....	34	寒冷環境におけるベストプラクティス.....	129
シートベルト.....	36	暑熱環境におけるベストプラクティス.....	131
チャイルドシート.....	39		
エアバッグ.....	45	ナビゲーションとエンターテインメント.....	132
		地図とナビゲーション.....	132
接続性.....	49	メディア.....	138
モバイル アプリ.....	49	シアター、アーケード、おもちゃ箱.....	140
Wi-Fi.....	52		
Bluetooth.....	53	充電とエネルギー消費.....	143
電話、カレンダー、ウェブ会議.....	55	電気自動車のコンポーネント.....	143
		高電圧バッテリーに関する情報.....	145
運転モード.....	57	充電方法.....	147
始動と電源オフ.....	57	プレコンディショニングと充電の予約.....	153
ハンドル.....	58	航続距離を最大限に伸ばす.....	154
ミラー.....	61		
ギアシフト.....	62	メンテナンス.....	156
ライト.....	63	ソフトウェア アップデート.....	156
ワイパーとウォッシャー.....	66	メンテナンスサービスの間隔.....	158
ブレーキと停車.....	68	タイヤのお手入れとメンテナンス.....	160
エア サスペンション.....	72	洗車.....	165
パーキングアシスト.....	74	フロント ガラスのワイパー ブレード、ジェットおよびウォッシャー液.....	169
オートブレーキ ホールド.....	76	ジャッキ アップと引き上げ.....	171
Traction Control.....	77	部品とアクセサリ.....	172
加速モード.....	78	自主メンテナンス.....	173
ドライバー[#10]プロフィール.....	80		
走行情報.....	82	仕様.....	174
リアビュー カメラ.....	83	識別ラベル.....	174
歩行者警告システム.....	84	車両総重量.....	175
		寸法.....	176
オートパイロット.....	85	サブシステム.....	178
関連事項 オートパイロット.....	85	ホイールとタイヤ.....	181
トラフィックアウェア クルーズコントロール.....	87		
オートステアリング.....	92		



目次

車両輸送者向け注意事項.....	184
車両輸送者向け注意事項.....	184
非常時.....	187
Tesla ロードサイドアシスタンスに連絡する.....	187
電力切れ.....	188
電源がない状態でフードを開ける.....	189
ジャンプスタート.....	190
電力がない状態でドアを開く.....	191
水没車両に関するガイダンス.....	192
トラブルシューティング.....	193
トラブルシューティングのアラート.....	193
消費者情報.....	240
オーナー情報について.....	240
機能の使用可否に関する声明.....	242
免責事項.....	243
安全上の不具合を報告する.....	246
車両所有権の管理.....	247
認証適合性.....	248
索引	253

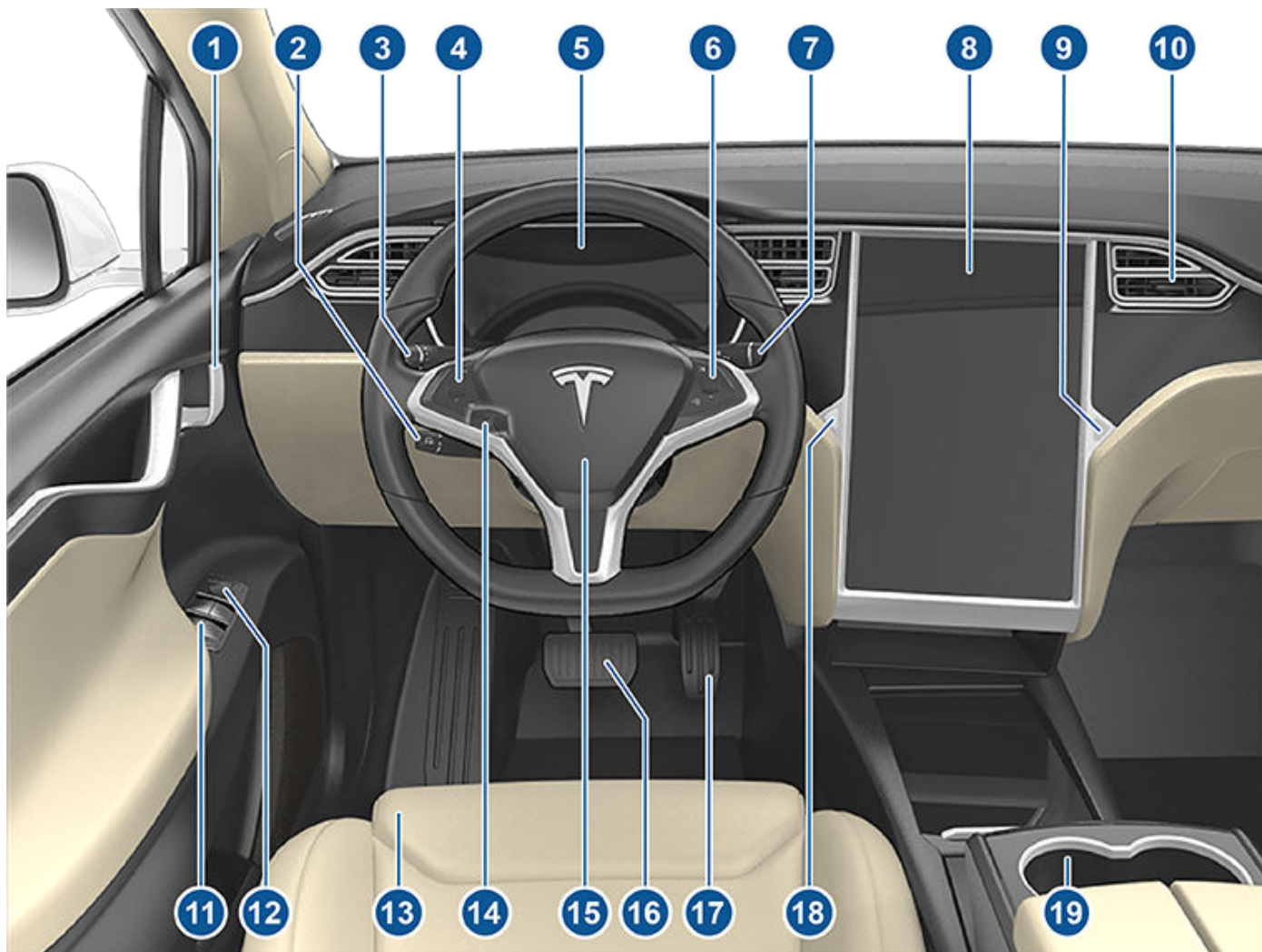


1. エクステリア ライト (ライト ページ 63)
2. ドア ハンドル (外部ドア ハンドルを使用する ページ 21)
3. サンルーフ (オプション) (サンルーフ ページ 26)
4. 充電ポート (充電方法 ページ 147)
5. オートパイロット カメラ (関連事項 オートパイロット ページ 85)
6. 外部ミラー (ミラー ページ 61)
7. フード / フロントトランク (フロント トランク ページ 30)
8. レーダー センサー (上の画像では非表示) (関連事項 オートパイロット ページ 85)
9. ホイールおよびタイヤ (ホイールとタイヤ ページ 181)
10. リアビュー カメラ (リアビュー カメラ ページ 83 および 関連事項 オートパイロット ページ 85)
11. リアトランク/リフトゲート (リアトランク ページ 27)
12. 超音波センサー (パーキングアシスト ページ 74 および 関連事項 オートパイロット ページ 85)



インテリア

注: 右ハンドル (RHD) 車では、オーナーズ マニュアル上に図示されたコントロール類が車両右側に左右反転した形で配置されています。



1. インテリアドアハンドル (車内からドアを開ける ページ 22)
2. オートパイロットレバー (トラフィックアウェア クルーズコントロール ページ 87 およびオートステアリング ページ 92)
3. ウィンカー レバー (ハイビーム ヘッドライト ページ 63、ウィンカー ページ 64、ワイパーとウォッシャー ページ 66)
4. ステアリングホイールボタン - 左 (ハンドルの左ボタンを使用する ページ 58)
5. インストゥルメントパネル (インストゥルメントパネル ページ 11)
6. ステアリングホイールボタン - 右 (ハンドルの右ボタンを使用する ページ 59)
7. ドライブストーク (シフト方法 ページ 62)
8. タッチスクリーン (タッチスクリーン ページ 6)
9. グローブボックスボタン (グローブボックス ページ 32)
10. キャビン空調通気口 (空調を操作する ページ 124)
11. パワーウィンドウスイッチ (開閉 ページ 25)
12. エクステリアミラー調節スイッチ (ミラー ページ 61)
13. シート (フロントおよびリアシート ページ 34)
14. ステアリング コラム アジャスター (ハンドル ページ 58)
15. ホーン (クラクション ページ 59)
16. ブレーキペダル (ブレーキと停車 ページ 68)



-
- 17. アクセルペダル ([加速モード ページ 78](#))
 - 18. ハザード警告灯 ([ハザードランプの点滅 ページ 65](#))
 - 19. カップホルダー ([カップホルダー ページ 33](#))



タッチスクリーン

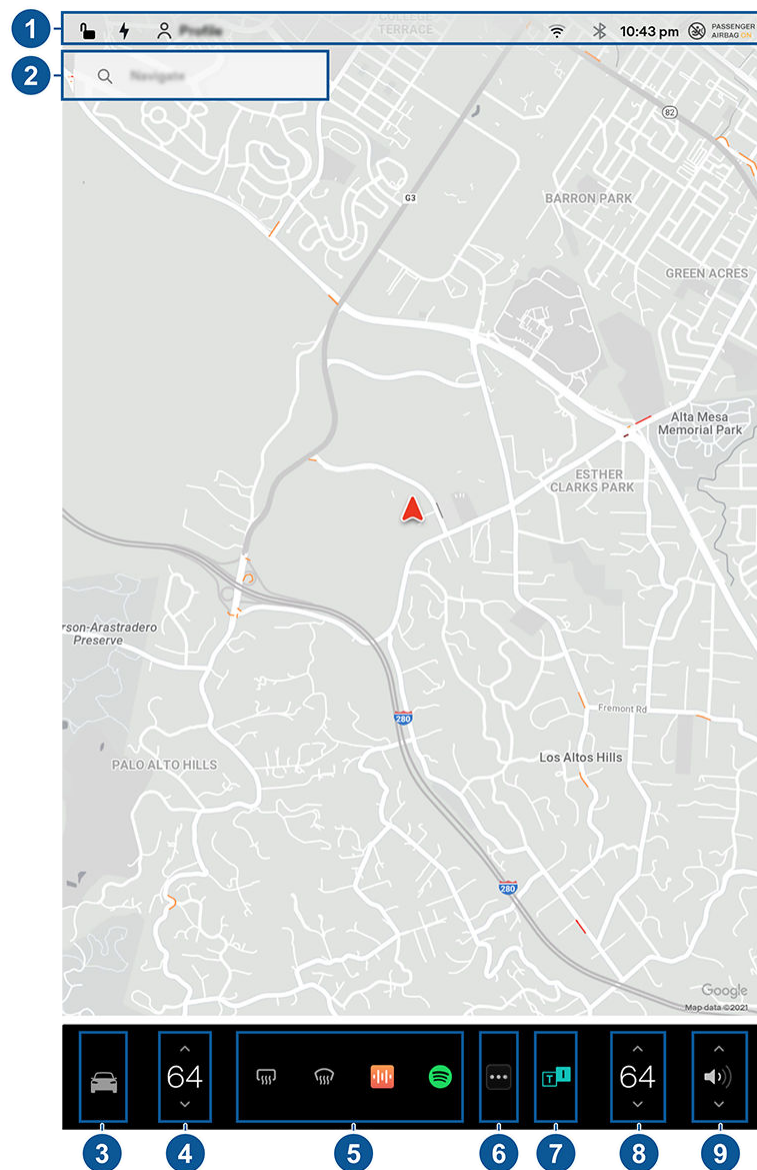
警告: 運転する時は、常に道路と周囲の交通環境に注意を払ってください。ドライバーが注意散漫となることを最小限に抑え、同乗者や他の道路利用者の安全を確保するために、走行中はタッチスクリーンによる設定の調整を行わないでください。

従来の車ではたとえば、ヒーターや空調やヘッドライトなどの調節に多くの物理的ボタンを使用していましたが、タッチスクリーンだけで多数の機能を制御できます。タッチスクリーンからは、メディアとナビゲーションのコントロールやエンターテインメント機能の使用、選択設定による Model S のカスタマイズが利用できます。一般的なタッチスクリーン コントロールにハンズフリーでアクセスするためには、音声コマンドを使用します（[音声コマンド ページ 17](#) を参照）

タッチスクリーンが反応しない、または異常な動作を示す場合は、再起動してください（[タッチスクリーンまたはインストールメントパネルの再起動 ページ 8](#) を参照）。

注意: タッチスクリーンに画面保護フィルムを貼らないでください。そうした場合、タッチスクリーンに意図しない入力（偽の入力）、応答遅延、タッチに対する無反応、静電放電によるタッチスクリーンへの損傷などが生じるおそれがあります。

注: 各種イラストは、コンセプトの理解の促進のみを目的としています。車両オプション、ソフトウェアバージョン、販売地域、地域設定、言語設定によって、スクリーンの表示内容は異なります。



1. **ステータスバー:** トップバーで車両のコントロールとステータスを確認します（[トップステータスバーアイコン ページ 7](#) を参照）。
2. **ナビゲーション:** 地図の向きを変更し、目的地を検索またはナビゲーションし、ナビゲーション設定を変更します。（[地図とナビゲーション ページ 132](#) を参照）。



3. **コントロール:** さまざまな機能を制御し、Model S をカスタマイズしてあなたの好みに合わせます。コントロール画面が地図の上に表示されます。コントロール画面のオプションにタッチすると、選択したオプションに関連するさまざまな設定および好みが表示されます。

特定の設定を検索するにはコントロール画面の上部にある**検索**にタッチします。結果を直接変更するか、リンクをタップして「コントロール」にあるオプションに移動します。



情報アイコンが特定の設定の隣に表示されているときに、それをタッチすると、関連する設定について役に立つ詳細情報を提供してくれるポップアップが表示されます。

注: 車両のコントロール、設定および好み（空調、メディア、ナビゲーションなど）は音声コマンドを使用してハンズフリーで調整することができます（[音声コマンド ページ 17](#) を参照）。

注: このアイコンを長押しすると、タッチスクリーンのフィードバックを Tesla に送信することができます。

4. **空調（運転席）:** 左右の矢印を使用すると、キャビンの温度を調整できます。ポップアップの「**スプリット**」にタッチすると、運転席と助手席で個別に操作できるコントロールが表示されます。温度アイコンにタッチすると空調設定をカスタマイズできます（[空調を操作する ページ 124](#) を参照）。
5. **マイ アプリ:** よく使用するアプリやコントロールにワンタッチでアクセスするため、ここで表示内容を選択することができます。マイ アプリをカスタマイズ [ページ 7](#) を参照してください。
6. **アプリ ランチャー:** アプリ ランチャーにタッチするとアプリ トレイが開きます。アプリをタッチして開きます。選択したアプリがマップの上部に表示されます。アプリを終了するには、下にドラッグします。
7. **最近使用したアプリ:** 最近使用したアプリを表示します。ここに表示される最近使用したアプリの数は、マイ アプリに追加したアプリの数によって変わります。マイ アプリに最大数のアプリを追加している場合、直近に使用したアプリだけが表示されます。
8. **空調（助手席）:** 温度コントロールが「**スプリット**」のときは、運転席と助手席で個別に操作できるコントロールが提供されます。
9. **音量調節:** メディア プレイヤーと電話の音量を制御します（[音量調節 ページ 138](#) を参照）。ナビゲーション指示の音量は別途制御されます（[地図とナビゲーション ページ 132](#) を参照）。

マイ アプリをカスタマイズ

よく使用するアプリや設定にワンタッチでアクセスするため、タッチスクリーンの下部バーにある**マイ アプリ**エリアの表示内容をカスタマイズすることができます。

1. **マイ アプリ**エリアにあるアプリまたはコントロールを長押ししてカスタマイゼーション モードに入ります。このエリアが空白の場合、アプリ ランチャーにタッチします。
2. アプリまたはコントロールをアプリ トレイから下部バーの**マイ アプリ**エリアにドラッグします。

注: アプリ トレイで選択したシートヒーターが、マイ アプリエリアではなく温度の隣に表示されます。

注: **マイ アプリ**に最大数のアプリやコントロールを既に追加している場合、アプリを追加すると右端のアプリが削除されます。

注: アプリまたはコントロールを長押ししてから該当する「X」にタッチして**マイ アプリ**エリアから削除します。

トップ ステータス バー アイコン



タッチしてすべてのドアやトランクをロック / アンロックします。

16:20

車両は自動で時刻を更新します。時刻が正しくない場合、車両が最新ソフトウェアによるインターネットおよび GPS への接続性を持っていることを確認します。



ソフトウェアアップデートが完全にダウンロードされ、インストールできる状態になったときに表示されます。（[ソフトウェア アップデート ページ 156](#) を参照してください）。



ドライバー プロファイル（バレーモードおよびイージーエントリーなど）の追加、設定、簡単な切り替えを行います。[ドライバー \[#10\] プロフィール ページ 80](#) を参照してください。



タッチスクリーン



通知があるときに表示されます。タッチすると、通知に関する情報が表示されます。「サービス」>「通知」をタッチすると、最新の通知のリストを新しい順に表示することもできます。



Wi-Fi ネットワークに接続した際に表示されます



携帯電話通信ネットワークに接続した際に表示されます。タッチして Wi-Fi に接続します (Wi-Fi ページ 52 参照)。



Model S の携帯電話接続が使用不能である場合に表示されます。このアイコンにタッチすると「Wi-Fi 設定」にすぐにアクセスできます。



Bluetooth デバイスに接続します (Bluetooth ページ 53 参照)。



助手席エアバッグのステータス (エアバッグ ページ 45 を参照)。

タッチスクリーンまたはインストゥルメントパネルの再起動

タッチスクリーンが応答しない場合や、異常な挙動を示す場合は、タッチスクリーンを再起動することができます。

注: 乗員やその他の道路利用者の安全を確保するため、タッチスクリーンの再起動は車両をパーキングに入れてから行ってください。

1. パーキングにシフトします。
2. タッチスクリーンが暗くなるまで、ハンドルの両方のスクロール ボタンを長押しします。スクロール ボタンを押しながらブレーキ ペダルを踏み動作は、実行しても何も起こらず、要求されることもありません。



3. 数秒後に Tesla ロゴが表示されます。タッチスクリーンが再起動するまで約 30 秒待ちます。数分経っても、タッチスクリーンが反応しなかったり、タッチスクリーンが通常とは異なる挙動が見られたりした場合は、(可能であれば) パワーサイクリングを試みます。[車両でパワーサイクリングを行う ページ 57](#) を参照してください。

インストゥルメントパネルをリセットするには、パーキングにシフトしてからハンドルの上部の 2 つのボタン (「音声コマンド」および「次へ」) を 15~30 秒押すか、画面が暗転するまで待ちます。数秒後、Tesla ロゴが表示されます。インストゥルメントパネルが再起動するまで約 30 秒待ちます。

注: スクロールボタンを押しても、タッチスクリーンが再起動されるだけです。車両のその他のコンポーネントを再起動することではなく、Model S の電源のオンオフも行いません。

ディスプレイおよびサウンド設定のカスタマイズ

表示設定を自分の好みに合わせるには、「コントロール」>「ディスプレイ」の順にタッチします。

- **表示モード:** 表示として、「暗い」と「明るい」のいずれかでカスタマイズします。「オート」に設定すると、周囲の照明状態に応じて明るさが自動的に変わります。
- **明るさ:** スライダーをドラッグして手動でスクリーンの明るさのレベルを制御します。「表示モード」を「オート」に設定すると、周囲の照明状態と明るさの好みの両方に基づいて、タッチスクリーンが調整を行いません。Model S 選択した明るさの好みを記憶し、タッチスクリーンを適切に調整します。
- **省エネモード:** オンに切り替えると、Model S は使用されていないときに消費電力量を減らします (新しい車両では、自動で対応しています)。[航続距離を最大限に伸ばす ページ 154](#) を参照してください。
- **画面クリーニングモード:** 有効にすると、クリーニングしやすいように、タッチスクリーンは暗くなって一時的に停止状態になります。画面上の指示に従い、画面クリーニングモードを終了します。
- **スクロールホイールの機能:** 左スクロールホイールを長押ししたときに変更できる設定を選択します (詳細については、[ハンドル ページ 58](#) を参照)。
- **タッチスクリーン言語:** タッチスクリーンで使用する言語を選択します。

注: Model S 言語設定を変更するには、ギアをパーキングに入れる必要があります。言語を変更する際、Model S がシャットダウンされて再起動するため、若干時間がかかります。

- **音声認識言語:** 音声コマンドに使用する言語を選びます。
- **音声ナビ言語:** ナビゲーションシステムが使用する音声ガイドの言語を使用します。

注: 言語のダウンロードが必要な場合、ドロップダウン リストで言語を選択してダウンロードを開始します (Wi-Fi 接続が必要です)。



- **キーボードの言語:** さまざまな言語のキーボードを追加または削除します。デフォルトでは、選択したタッチスクリーン言語のキーボードが有効になっています。複数のキーボードを有効にしている場合は、キーボードがタッチスクリーンに表示されているときに地球儀アイコンをタッチするか、長押しして有効なキーボードのリストを表示することで、キーボードを切り替えることができます。
- **時間:** 時間の表示フォーマットを 12 時間と 24 時間のいずれかから選択します。
- **エネルギー表示:** 残りエネルギーを表示するには、充電単位としてバッテリー残量のパーセントまたは推定走行可能距離を選択します。
注: 充電の必要性が迫っている場合は、エネルギー予測を大まかなガイドラインとしてのみ利用してください。さまざまな要因がエネルギー消費に影響を与えます。[電力消費量に影響する要因 ページ 154](#) を参照してください。
- **距離:** 測定値をメートル単位（キロメートル、センチメートルなど）またはインチ単位（マイル、インチなど）で表示するかを選択します。
- **温度:** 温度表示として、華氏か摂氏のいずれかを選択します。
- **タイヤ空気圧:** タイヤ空気圧表示として、BAR か PSI のいずれかを選択します。

ディスプレイのカスタマイズの他に、Joe Mode を有効にして、重大な安全問題に関連しないすべてのチャイムの音量を低くすることができます。「**コントロール**」 > 「**安全**」 > 「**Joe Mode**」の順にタッチして有効にします。

車両に名前を付ける

車両をさらにカスタマイズするために、名前を付けることができます。タッチスクリーンの右側にある Model S の画像の下に「**コントロール**」 > 「**ソフトウェア**」 > 「**車に名前を付ける**」をタッチします。車両にすでに名前が付いている場合は、既存の名前をタップして変更できます。ポップアップに新しい名前を入力して「**保存**」をタッチします。Tesla モバイルアプリにも、Model S の名前が表示されます。

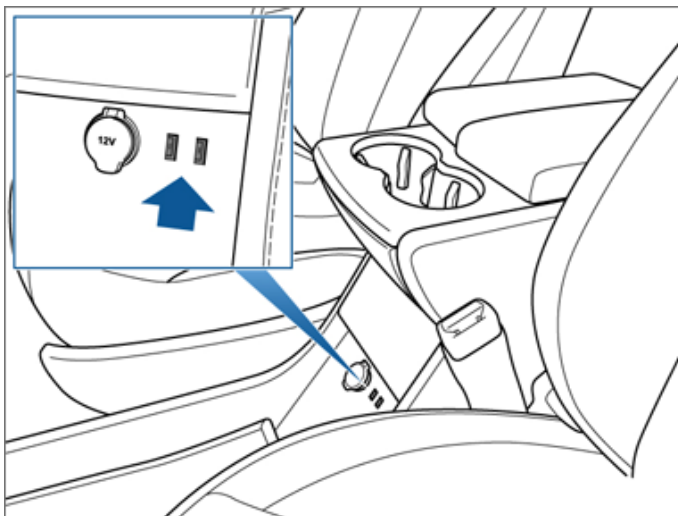


車内の電子装備品

収納コンパートメントやカップホルダー（[車内の収納 ページ 32](#) を参照）に加えて、Model S の車内には USB ポート、および低電圧電源アウトレットといったさまざまな電子装備品があります。

USB ポート

Model S にはセンター コンソールの前面に 2 つの USB ポートがあります。これらのポートに接続された USB ドライブに保存されているオーディオ ファイルを再生する方法については、[デバイスからメディアを再生 ページ 139](#) を参照してください。これらのポートを使用して USB 機器を充電することもできます。

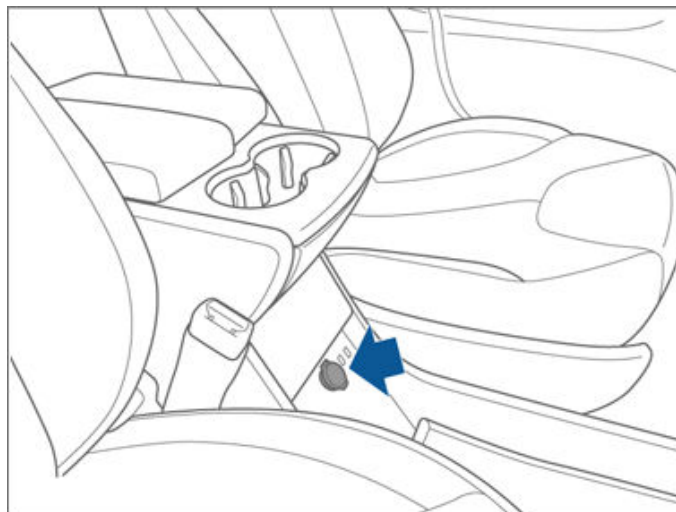


注: USB ハブを使用して複数の機器を接続しないでください。複数の機器を接続すると、接続されている機器が充電されなかったり、メディアプレイヤーによって認識されないことがあります。

注: 電源は車両が起動状態だと認識されている時に利用できますが、車両は様々な理由により起動状態になります。たとえば、サモンなどの機能の使用時や、「プレコンディショニング」、「キャビン過熱保護」、「エアコンをオンのままにする」、「ドッグモード」、「キャンプモード」、「セントリーモード」などの機能が有効なときです。低電圧バッテリーが充電されているか使用中の時、HV 充電中、車両がモバイルアプリと通信中の時にも、車両が起動状態になります。アクセサリプラグを差し込んだままにしても低電圧バッテリーは放電しません。

低電圧 電源アウトレット

Model S のセンター コンソールの前面に電源アウトレットがあります。インストールメントパネルとタッチスクリーンがオンになっていれば、電源を利用できます。



低電圧電源アウトレットは、11A までの連続通電（最大 15A）または最大 150 持続 W（最大 180 W）までのアクセサリが適合します。

注: 電源は車両が起動状態だと認識されている時に利用できませんが、車両は様々な理由により起動状態になります。たとえば、サモンなどの機能の使用時や、「プレコンディショニング」、「キャビン過熱保護」、「エアコンをオンのままにする」、「ドッグモード」、「キャンプモード」、「セントリーモード」などの機能が有効なときです。低電圧バッテリーが充電されているか使用中の時、HV 充電中、車両がモバイルアプリと通信中の時にも、車両が起動状態になります。アクセサリプラグを差し込んだままにしても低電圧バッテリーは放電しません。

注: Model S が（バッテリー電圧低下、電波干渉などのために）キーフォブを認識できない場合は、Model S が最もキーを検出しやすい低電圧電源アウトレットの真下にキーフォブを置いてください。



警告: 電源アウトレットやアクセサリ端子は熱くなることがあります。



インストゥルメントパネルについて

インストゥルメントパネルは以下のように Model S の状況によって変わります。

- オフ（以下参照）。
- 運転中（[インストゥルメントパネルについて - 運転中 ページ 15](#) を参照）。
- 充電中（[充電ステータス ページ 148](#) を参照）。

Model S がオフの場合、インストゥルメントパネルには残りの後続距離、ドアの状態、外気温が表示されます。ブレーキを踏むと、上部のインジケータ ライトが短く点灯します。現状に該当するインジケータがない限り、その後インジケータは消灯します。インジケータが点灯または消灯しない場合は、Tesla に連絡してください。

注: 以下の図は説明のみを目的としています。表示される情報は、車両オプション、ソフトウェアのバージョン、販売地域により異なる場合があります。



インストゥルメントパネルに点灯する次のインジケータは、特定の状況を伝え、警告するものです。



Model S を最初に始動したときに短く表示される以外で、タッチスクリーンにこの赤色のブレーキ インジケータが表示された場合は、ブレーキシステムの不具合が検出されているか、ブレーキ液の量が少なくなっています。ただちに Tesla にご連絡ください。一定の圧力でブレーキ ペダルをしっかりと踏み続けて、安全な場所に車両を停車させます。



ブレーキ ブースターの故障が検出されると、タッチスクリーンに黄色のブレーキ インジケータが表示されます。一定の圧力でブレーキ ペダルをしっかりと踏み続けて、安全な場所に車両を停車させます。油圧ブースト補正が起動します（[#unique_62 ページ](#) を参照）。



Model S を最初に始動すると、タッチスクリーン上で ABS インジケータが短く黄色に点滅します。このインジケータが点灯したときは ABS に故障が発生しており、ABS は機能していませんので、Tesla にご連絡ください。ABS が故障していても、ブレーキシシステムは影響を受けることなく完全に機能します。ただし、ブレーキの制動距離が長くなることがあります。慎重に運転し、急ブレーキは避けてください。



手でパーキングブレーキをかけると、タッチスクリーンに赤色のパーキングブレーキ インジケータが点灯します（[パーキングブレーキ ページ 70](#) を参照）。



インストゥルメントパネル



パーキングブレーキに電気上の問題が生じると、タッチスクリーンに黄色のパーキングブレーキ インジケーターが点灯し、不具合発生のメッセージが表示されます。



ロービーム ヘッドライトがオンになっています。



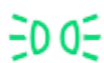
ハイビーム ヘッドライトがオンになっています。ハイビームが点灯しているけれども「オートハイビーム」(装備されていれば) 設定がオフになっているとき、または「オートハイビーム」設定がオンにされているが一時的に使用できない場合に点灯します。[ハイビーム ヘッドライト ページ 63](#) を参照してください。



ハイビーム ヘッドライトが現在点灯していて、Model S の前方にライトを検知した場合は、オートハイビーム (装備されていれば) をオフにする準備ができています。[ハイビーム ヘッドライト ページ 63](#) を参照してください。



オートハイビーム (装備されていれば) がオンで Model S の前方にライトが検出されているので、ハイビーム ヘッドライトが一時的にオフになっています。今はライトが検出されていないので、ハイビームが自動的にオンに戻ります。[ハイビーム ヘッドライト ページ 63](#) を参照してください。



パーキング ライト (サイド マーカーライト、テールライト、ナンバープレートライト) が点灯しています。[ライト ページ 63](#) を参照してください。



フロント フォグランブ (装備の場合)。[ライト ページ 63](#) を参照してください。



アダプティブ フロントライト (装備されている場合)。[アダプティブ フロント ライティング システム \(AFS\) ページ 64](#) を参照してください。



横滑り防止装置 (ESC) システムは、ブレーキ圧とモーター出力を制御し、ホイールスピンを最小限に抑えます (インジケーターが黄色に点滅します)。[Traction Control ページ 77](#) を参照してください。このインジケーターが点灯したままの場合、不具合が検出されていますので、直ちに Tesla へお問い合わせください。



エアサスペンションシステムのパフォーマンスを低下させる不具合が検出された場合、この黄色のインジケーター ライトが表示されます ([エア サスペンション ページ 72](#) を参照)。不具合が解消しない場合は、Tesla にご連絡ください。



故障によりエア サスペンション システムが無効になったことが検知されると、インストゥルメントパネル上で赤色の表示灯が点灯します ([エア サスペンション ページ 72](#) を参照)。Tesla にご連絡ください。



エアバッグの安全性。すぐに Model S を運転できる状態の際にこの赤いインジケーターが点滅しない場合、または点灯し続ける場合は、直ちに Tesla に連絡してください。[エアバッグ ページ 45](#) 参照。



車両のホールド機能が積極的にブレーキをかけています。[オートブレーキ ホールド ページ 76](#) を参照してください。



タイヤの空気圧警告。タイヤの空気圧が許容範囲外になっています。タイヤ空気圧監視システム (TPMS) の不具合が検出されると、インジケーターが点滅します。TPMS が故障した場合は、Tesla に連絡してください。[タイヤのお手入れとメンテナンス ページ 160](#) を参照してください。



ドアまたはトランクが開いています。[キーおよびドア ページ 20](#)、[リアトランク ページ 27](#)、または[フロントトランク ページ 30](#) を参照してください。



乗員のいる席のシートベルトが締められていません。[シートベルト ページ 36](#) を参照してください。

注: 製造年月日によっては、リアシート位置にシートベルトリマインダーが装備されていない場合があります。



前席助手席のエアバッグがオフになっています。[エアバッグ ページ 45](#) を参照してください。



横滑り防止装置はホイールのスピンを最小化しなくなっています。後輪駆動車両でトラクションコントロールシステムオフになっているか、四輪駆動車両でスリップスタート機能が有効になっています。[Traction Control ページ 77](#) を参照してください。



Model S けん引モードでフリーローリングで車両が動く状態です。車両から降りても自動的にパーキングにシフトしません。[車両輸送者向け注意事項 ページ 184](#) を参照してください。



寒冷な気候条件が原因でバッテリーに蓄えられている電力が利用できなくなったときに表示されます。このような寒冷な条件下では、充電速度が低下することがあります。モバイル アプリを使用して空調をオンにして、バッテリーを温めることができます。バッテリーが十分に温まると、雪の結晶のアイコンが消えます。



バッテリーの電力残量が少ないか、または車両システムが加熱/冷却されているため、車両電源の利用が現在制限されています。



左折の方向指示器が動作していると緑色で点滅します。ハザードランプが動作していると、左右両方の方向指示器が緑色で点滅します。



インストゥルメントパネル



右折の方向指示器が動作していると緑色で点滅します。ハザードランプが動作していると、左右両方の方向指示器が緑色で点滅します。



左側への自動車線変更が利用可能です。オートステアリングが有効な場合にのみ表示されます。[オートレーンチェンジ ページ 94](#) を参照してください。



右側への自動車線変更が利用可能です。オートステアリングが有効な場合にのみ表示されます。[オートレーンチェンジ ページ 94](#) を参照してください。



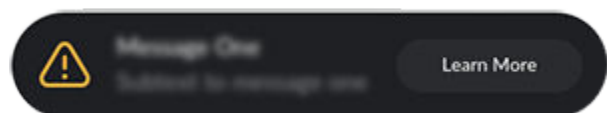
自動車線変更が左右どちら側にも利用可能です。オートステアリングが有効な場合にのみ表示されます。[オートレーンチェンジ ページ 94](#) を参照してください。



自動車線変更は利用できません。オートステアリングが有効な場合にのみ表示されます。[オートレーンチェンジ ページ 94](#) を参照してください。

ポップアップメッセージおよび車両のアラート

インストゥルメントパネルにポップアップメッセージが表示されます。例えば、シートベルトリマインダ（人が座っている座席でシートベルトが装着されていない場合）、アラート通知（電話着信があった場合）、テキスト メッセージ（該当する場合）、音声コマンド（使用している場合）が表示されます。



タッチスクリーンの通知アイコンにタッチすると、車両アラートおよび通知の一覧を表示することができます。

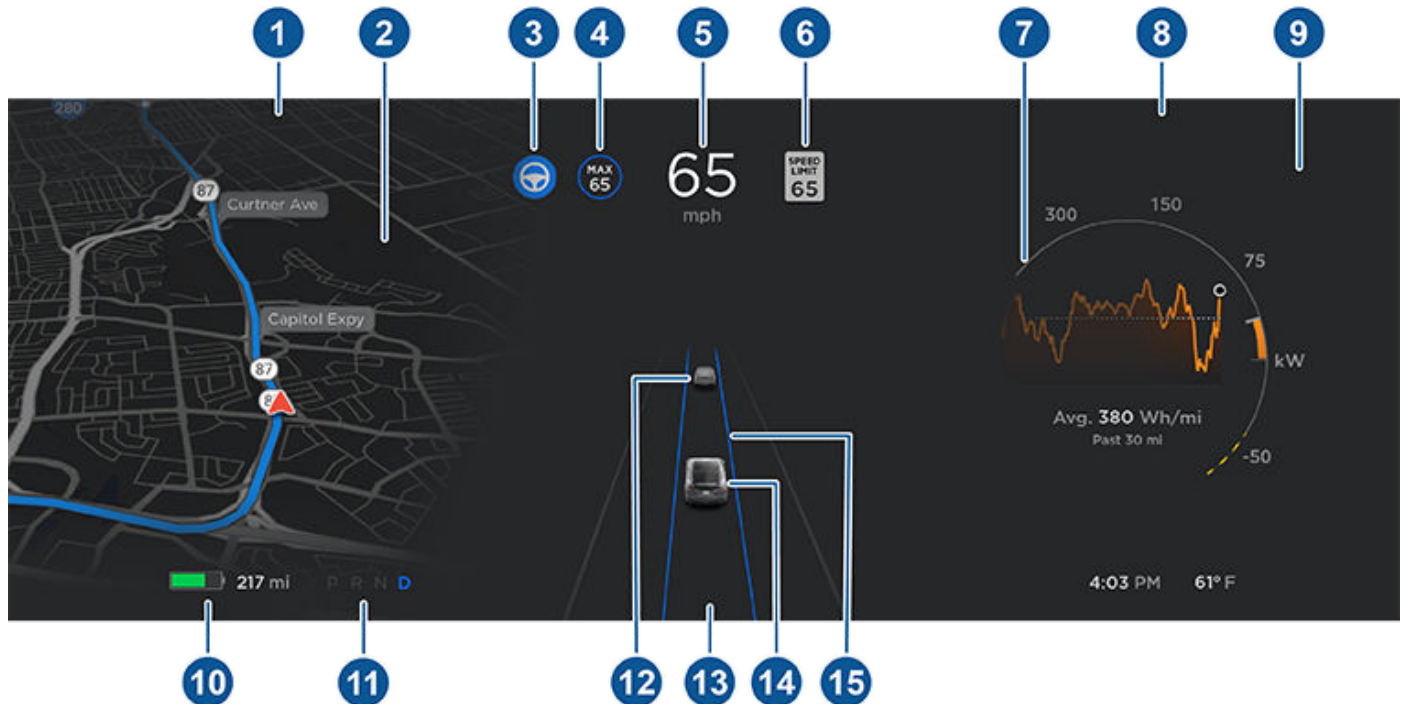
注: 現時点ですべてのアラートに追加情報が提供されているわけではありません。



インストゥルメントパネルについて - 運転中

Model S の運転中（または運転可能なとき）は、インストゥルメントパネルに現在の運転状況と道路のリアルタイムの視覚化された画像（オートパイロットコンポーネントにより検出）が表示されます（[関連事項 オートパイロット ページ 85](#) を参照）。視覚化された画像は、ブラインドスポットに車両が検出された時にそれをドライバーに知らせるよう、自動的にズームインとズームアウトを行います。

注: 以下の図は説明のみを目的としています。表示される情報は、車両オプション、ソフトウェアのバージョン、販売地域により異なる場合があります。



1. インジケーターが上部に状況を提供します（[インストゥルメントパネルについて ページ 11](#) を参照）。
2. 目的地へのナビゲーションを使っているときは、ナビゲーション指示がここに表示されます。インストゥルメントパネルの左側に表示される内容を変更するには、ナビゲーション指示が表示されていないときに、ステアリング ホイール左側のボタンを使用してください（[ハンドルの左ボタンを使用する ページ 58](#) を参照）。
3. オートステアリング が Model S のハンドル操作をしている。オートステアリングは利用可能だが、有効化はしていない場合、アイコンは灰色です（[オートステアリング ページ 92](#) を参照）。
4. トラフィックアウェア クルーズコントロール は、設定速度で走行しています。トラフィックアウェア クルーズコントロールが使える状態で、巡航速度を設定していない場合、アイコンはグレーになり速度は表示されません（[トラフィックアウェア クルーズコントロール ページ 87](#) を参照）。
5. 巡航速度。
6. スピード アシストが検出している速度制限（設定されている場合）（[スピード アシスト機能 ページ 114](#) を参照）。
注: 検出された速度制限に関するアイコンは、該当する市場地域で使用される速度制限標識のスタイルを反映したのになります。
注: 速度制限のアイコンの周りに青色の輪郭が表示された場合、あなたが速度制限を超えていることを知らせています。
7. Model S が電力を制限している場合は、エネルギー グラフのパワー メーターに点線が表示されます。加速用の電力が制限されていると、上部（エネルギー使用中）に破線が表示され、回生ブレーキからの電力が制限されている場合には、下部（エネルギー獲得中）に破線が表示されます。Model S は、多くの理由により電力を制限します。以下にいくつかの例を挙げます。
 - バッテリーの残量低下していたり、パワートレインが熱い場合は、加速が制限されることがあります。
 - 外気温が非常に高い場合または非常に低い場合は、加速と回生ブレーキの両方が制限されることがあります。
 - バッテリーがフル充電されていると回生ブレーキが制限されることがあります。



インストゥルメントパネル


注: インストゥルメントパネルの右側に表示される内容は、ステアリング ホイール右側のボタンで変更します ([ハンドルの右ボタンを使用する ページ 59](#) を参照)。

8. ここに表示される重要なメッセージに注意してください。警告が出ている場合は、タッチスクリーンのステータスバー (タッチスクリーンの最上部) の警告アイコン (! マーク) にタッチして警告の詳細を表示することができます。
9. 電話をしていないときにインストゥルメントパネルの右側に表示される内容を変更するには、ステアリング ホイール右側のボタンを使用します ([ハンドルの右ボタンを使用する ページ 59](#) を参照)。
10. 推定航続可能距離 (エネルギー)。航続距離の代わりに、バッテリー残量 (%) を表示することもできます。これを行うには、「コントロール」>「表示」>「エネルギー表示」の順にタッチします。

注: 充電の必要性が迫っている場合は、予想航続距離を大まかなガイドラインとしてのみ利用してください。

11. 現在選択しているドライブ モード: パーキング、リバース、ニュートラル、ドライブ。
12. 前方の車 (該当する場合)。
13. インストゥルメントパネルの下部中央に表示される運転に関連した警告メッセージに注意してください。
14. お客様の Model S。
15. オートステアリングが有効な場合に通行区分車線を検出すると、青色にハイライト表示されます ([オートステアリング ページ 92](#) を参照。) 現在のドライビング シナリオに応じて周囲の走行車線を表示することができます。

注: ナビゲート オン オートパイロットがオンになっていると、Model S の前方に走行車線が青色のラインで表示されます ([ナビゲート オン オートパイロット ページ 96](#) を参照)。

 **警告:** インストゥルメントパネルは周囲のある車両を表示しますが、すべての車両を表示している訳ではありません。自分の周囲に他の車両がいるかどうかを確認するためにインストゥルメントパネルのみに頼らないでください (例、ブラインドスポット)。必ずミラーの使用と後ろを振り返って確認してください。

注: お客様の利便性を図るため、Tesla では音声コマンドに使用する言語をさまざまな言語からお客様が選択できるようにしています。別の言語を選択するには、「コントロール」>「表示」>「音声認識の言語」の順にタッチします。

音声コマンドを使用すると、タッチスクリーンを使用せずに各種設定を簡単に行ったり、したりできます。

音声コマンド

音声コマンドは自然な発話リクエストを理解するように設計されています。以下に音声コマンドで実行可能なアクションの例を挙げます（これらに限定されません）。

- 空調の好みを調整する
- フロントガラス ワイパーの速さおよび作動間隔を調整する
- 車両の各種機能を制御する
- 目的地までナビを実行する
- 連絡先に電話をかける
- アプリや設定とやりとりする

音声コマンドを開始するには、ハンドルの右側の音声ボタンをタッチします。チャイムが鳴ったら、要望を言ってください。



音声コマンドの例

音声コマンドの例のリストを示します。これは網羅的リストではありません。Tesla では継続的に音声コマンドの改良に努めています。

注: 一部の音声コマンド（セントリーモード、ドッグモードなど）については、有効にするために車両をパーキングにシフトする必要があります。

空調

空調の好みを調整します。

- 「温度を下げて」
- 「温度を上げて」
- 「運転席のシートヒーターを入れて/切って」
- 「助手席を涼しくして」
- 「顔に気流を直接当てて」
- 「空調を同期して」
- 「ファン速度を上げて/下げて」
- 「リア デフロスターをつけて/消して」
- 「温度/ファンを設定して...」
- 「循環をオンにして」

フロント ガラス ワイパー

道路および気象条件の変化に基づいてフロント ガラス ワイパーの速度および作動間隔を更新してください。

- 「ワイパーを速く」
- 「フロント ガラス ワイパー速度を...だけ上げて/下げて」
- 「ワイパーを入れて/切って」

車両のコントロール

車両の各種コントロールを修正します。

- 「セントリーモードオン/オフ」
- 「車を安全に保って」
- 「ドアをロックして/ロック解除して」
- 「ドッグモードをオンにして」
- 「ミラーを閉じて/開いて」
- 「充電ポートを開いて/閉じて」
- 「充電を始めて/止めて」
- 「サービス設定を開いて」
- 「グローブボックスを開いて」

ナビゲーション

場所を検索してその場所まで誘導します。

- 「[場所] ってどこ？」
- 「[場所] までドライブ」
- 「[場所] まで行って」
- 「近くのスーパーチャージャーを表示」
- 「おなががすいた/楽しいな」 ([地図とナビゲーション ページ 132](#) 参照)。
- 「ナビを止めて」
- 「音声ガイダンスをミュート」

自宅または勤務先の住所をナビゲーション住所として設定している場合、「自宅までの道順」または「会社までつれてって」の音声コマンドを使用することができます。

連絡先

Bluetooth に接続した電話機（電話、カレンダー、ウェブ会議ページ 55 を参照）から連絡先に発信またはテキスト送信するときは次のように言ってください。

- 「[連絡先名/電話番号] に電話して」
- 「[連絡先名/電話番号] にテキスト送信」

メディア

メディアを聞き、再生の設定を調整します。

- 「[曲名] が聴きたい」
- 「音量を下げて/上げて」
- 「スキップして次へ」
- 「曲を止めて/再生して」
- 「ソースを [メディアソース] に変えて」

音声コマンドの認識精度を向上するためには、アーティストや曲名など、コマンド内に複数の手がかりを含めてください。

アプリと設定

アプリや設定により簡単にナビゲーションができます。

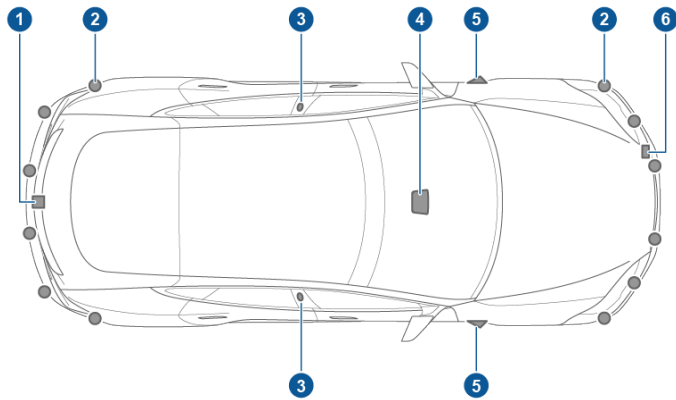
- 「[おもちゃ箱/ブラウザ/シアター/電話機] を開いて」
- 「...を検索」
- 「画面が明るすぎる」
- 「オーナーズ マニュアルを見せて」

「レポート」、「フィードバック」、または「バグレポート」と発話することでもバグレポートを提出することができます。

音声コマンドに関する詳細については、<https://www.tesla.com/support/voice-commands> を参照してください。

注: 品質を引き続き向上できるように、Tesla では、音声コマンドのトランスクリプション（「温度を設定して...」など）を取得して処理します。音声の録音は収集されず、トランスクリプションはお客様の Tesla アカウントや車両 ID に関連付けられることはありません。お客様のプライバシー保護をより強力に保護できるように、個人データを含む音声コマンド（「...に移動して」や「...に電話をかけて」など）は取得しません。

お使いの Model S には、周囲を能動的に監視する、以下のコンポーネントが搭載されています。



1. カメラは、リア ナンバープレートの上方に搭載されています。
2. 超音波センサー（装備されていれば）は、フロント/リア バンパー内にあります。
3. 各ドア ピラーにカメラが取り付けられています。
4. フロントガラスにはバックミラーの上方にカメラが3台取り付けられています。
5. 各フロント フェンダーにカメラが取り付けられています。
6. レーダー（装備されていれば）は、フロントバンパーの裏側に取り付けられています。

Model S には、高精度電動アシスト ブレーキおよびステアリングシステムも装備されています。

走行中のカメラキャリブレーション

Model S オートパイロット機能が使用されているときは正確な操作が必要になります。そのため、車線逸脱防止および自動緊急ブレーキなどの一部の機能を初めて使用する前、または一部の種類のサービスの修理後に、カメラはセルフ キャリブレーション プロセスを完了する必要があります。わかりやすくするために、インストールメント パネルに進捗インジケータが表示されます。

キャリブレーションが完了すると、アクティブセーフティ 機能だけでなく、オートパイロット機能も利用可能になります。キャリブレーションは通常、32~40 km の距離を走行した後で完了しますが、距離は道路や環境条件によって異なります。例えば、自動車専用道路など、車線が複数あって視認性の高い車線区分線を持つ直線道路（の走行車線および隣接車線）を走行すると、キャリブレーションは早く完了します。上記の条件において Model S を 160 km で走行させてもキャリブレーションが完了していない場合は Tesla までご連絡ください。

カメラの位置がキャリブレーションを実施したときの位置から動いてしまった場合（例えば、カメラやフロント ガラスを交換した場合）はそのキャリブレーションをクリアする必要があります。これには、「コントロール」>「サービス」>「カメラキャリブレーション」>「キャリブレーションをクリア」の順にタッチします。キャリブレーションがクリアされると、Model S はキャリブレーション手順を再実行します。これは多くの場合

カメラの再キャリブレーションに役立ちますが、「**キャリブレーションをクリア**」はすべてのカメラやセンサーの問題を解決しない場合があります。

注: セルフキャリブレーションドライブは、2016 年 10 月 12 日以降に製造された Model S 車両にのみ該当します。

注: キャリブレーションを行なうためには、走行車線と隣接車線の両方において（車両のそれぞれの側の 2 車線以上で）、カメラが車線区分線を鮮明に視認できる必要があります。最良の結果を得るためには、車線区分線が鮮明で、交通量の少ない（理想的には 5 車線以上ある）複数車線の高速道路の中央の車線を走行します。

注: キャリブレーションが完了するまで使用できない機能を使用しようとしても、その機能は有効にならず、インストールメント パネルにはメッセージが表示されます。

注: Model S は、Tesla がカメラのサービスを行った場合や、ソフトウェアのアップデート後に、キャリブレーションプロセスを繰り返します。

カメラに障害物がないようにする

それぞれのドライブを開始する前、またはオートパイロットの機能を使用する前に、すべてのカメラが汚れていないこと、および障害物がないことを確認します（[カメラのクリーニング ページ 165](#) を参照）。カメラやセンサー（装備されていれば）の汚れは、周囲状況や消えかかった車線マーキングなどの周囲条件と同様に、オートパイロットのパフォーマンスに影響をもたらします。カメラが遮られている場合、または覆われている場合、Model S のインストールメントクラスターにメッセージが表示され、オートパイロット機能が使用できなくなる可能性があります。

特に車両を寒い屋外や湿った屋外に駐車する場合には、カメラのハウジング内に結露が生じる可能性があります。インストールメントクラスターには、カメラが遮られているというアラート、またカメラの障害物を取り払われるまでオートパイロットの機能の一部/すべてが一時的に制限されてるというアラートが表示されます。事前対策的に結露がないようにするために、暖かい温度に設定して、フロントウィンドウのデフロスターをオンにして、フロントの通気をドアピラーに向け車内を予め調節します（[モバイル アプリ ページ 49](#) 参照）。



キーおよびドア

キーレスロックとロック解除

Model S のロックやロック解除は簡単に行うことができます。有効なキーフォブを携帯している必要がありますが、必ずしも使用する必要はありません。Model S 約 1 m の範囲内にキーフォブが存在することを認識できるセンサーが運転席のドア周辺に装備されています。キーフォブをポケットやバッグに入れておけば、Model S に近づくと検出されます。

パッシブエントリー（「コントロール」>「安全」>「パッシブエントリー」）をオンにしている場合、キーフォブを携帯して Model S に近づくと、ドアが自動でロック解除されます。ドアハンドルが引っ込んでいる場合は、押すとせり出します。**オートプレゼントドアハンドルの設定がオンになっている場合は（外部ドアハンドルを使用する ページ 21 を参照）、**ドアハンドルを触る必要はありません。その代わりに、Model S に近づくとドアハンドルが自動でせり出します。「自宅を除く」を選択してドアハンドルが自宅でせり出すことを無効にします（自宅を設定するには、「ナビの実行」>「自宅を設定」の順にタッチします）。リアトランクを開けるには、電動リフトゲート外側のハンドル奥にあるスイッチを押します。

注: Model S ドアや電動リフトゲートがロック解除する前に、運転席ドア付近でキーフォブが検出されなければなりません。

注: パッシブエントリーがオフになっている場合は、キーフォブを使用して Model S のロックを解除する必要があります。**キーフォブの使用 ページ 20 を参照してください。**

注: キーフォブを携帯して Model S に近づいた際に、全てのドアのロックを解除するか、もしくは運転席のドアのみを解除するかを選択できます（**運転席ドアロック解除モード ページ 22 を参照**）。

キーフォブを携帯しているときは、リアトランクもキーフォブを使わずに開くことができます。電動リフトゲート外側のハンドルの下のスイッチを押すだけです。運転席のドアロック解除モード（**運転席ドアロック解除モード ページ 22 を参照**）をオフに設定し、車両のドア付近でキーフォブを検出してからでないとリアトランクは開きません。

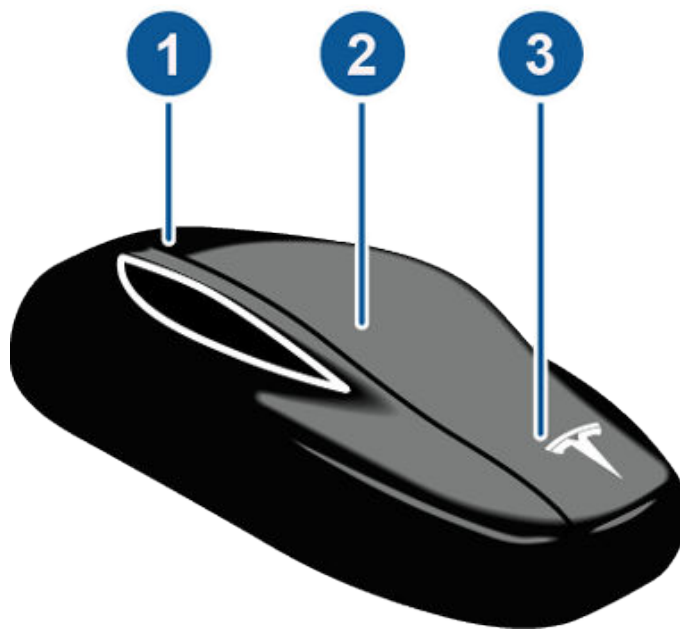
Model S ロックも自動的に行われます。「**降車後オートロック**」を有効に設定している場合、Model S はキーフォブを携帯して遠ざかるとロックされます（**降車後オートロック機能 ページ 23 を参照**）。

Model S の車内にいる間に、タッチスクリーンのステータスバーにあるアイコンをタッチして、車両をロックまたはアンロックすることもできます。

注: 製造日および購入時点で選んだオプションによって、自動ロック/アンロックの機能が装備されていない Model S 車両があります。

キーフォブの使用

キーフォブのご使用に慣れるために、キーフォブを Model S のミニチュア版と考えてください（Tesla のエンブレムのある側が前方です）。キーフォブには 3 つのボタンがあり、ボタンがある箇所の表面は柔らかくなっています。



1. トランク

- アンロックするにはダブルクリックします。
- パワーリフトゲートが搭載されている場合、ダブルクリックしてリアトランクを閉めます。シングルクリックすると、動いているリフトゲートを止めることができます。
- 充電ポート ドアを開くには、ボタンを 1～2 秒間押し続けます。

2. すべてロック/ロック解除

- シングルクリックしてドアとトランクをロックします（すべてのドアとトランクを閉めておく必要があります）。ハザードランプが 1 回点滅し、ドアハンドルが引っ込みます。ドアまたは電動リフトゲートが開いている場合は、ハザードランプが 3 回点滅してドアはロックされません。
- アンロックするにはダブルクリックします。ハザードランプが 2 回点滅し、ドアハンドルがせり出します。ドアまたはリアトランクが開いている場合は、ハザードランプが 3 回点滅してドアはロックされません。

3. フロントトランク

- ダブルクリックしてフロントトランクを開けます。

この場合、キーフォブを Model S に向ける必要はありませんが、キーフォブの作動範囲内にいる必要があります（作動範囲はキーフォブのバッテリーの強さによって異なります）。

Model S がキーフォブを検出できない場合は、キーフォブが車内にいないことを示すメッセージがタッチスクリーンに表示されます。キーフォブを、Model S が最も検出しやすい位置である低電圧電源アウトレットの下に置きます（**キーフォブが車内にない ページ 57 を参照**）。

周波数の近い無線機器がキーフォブに影響を与える場合があります。その場合は、キーフォブを他の電子機器（携帯電話、ノートパソコンなど）から 30 cm 以上離してください。キーフォブが動作しない場合は、バッテリーの交換が必要となる場合があります。キーフォブのバッテリーが切れている場合は、以下の



アンロックの手順に従って Model S を開けることができます。
(キーフォブが動作しないときのアンロック ページ 23 を参照)。

セキュリティを向上するために、ご利用中のキーフォブを定期的にアップデートする必要があります。キーフォブをアップデートするには、「コントロール」>「サービス」>「キーフォブをアップデートする」へと進み画面上の指示に従ってください。キーフォブをアップデートするには車両を駐車する必要があります。

注意: 運転する際は、必ずキーフォブを携帯してください。キーフォブを携帯していない場合でも Model S を運転することはできますが、その場合は電源を一度切ると、再度オンにすることができません。

注意: キーフォブを衝撃、高温、液体による損傷から保護してください。溶剤、ワックス、研磨洗浄剤に触れないようにしてください。

タッチスクリーンを使用してキーフォブを追加する

1. 新しいキーフォブをペアリングするには、既にペアリングされているキーを手につか、モバイル アプリからリモートアクセスを有効にします。

注: 車両に対して、最大で 3 つのキーフォブをペアリングできます。すべてのキーは確実に手元にお持ちください。この作業中にペアリングされなかったキーは作動しなく可能性があります。

2. 車内で、「コントロール」>「サービス」>「キーフォブのペアリング」の順にタッチします。
3. タッチスクリーンの指示を読み、既存のキーと新しいキーのペアリングの準備ができたなら「開始」を押します。
 - a. キーフォブをセンター コンソールの上で持ちます。
 - b. 既存のキーが作動し続けるようにするため、ロック ボタンを 1 回押します。最初に既存のキーがペアリングされていることを確認します。
 - c. 新しいキーをペアリングするために、フロント トランク およびリア トランクのボタンを約 5 秒間 (検知されるまで) 長押しします。

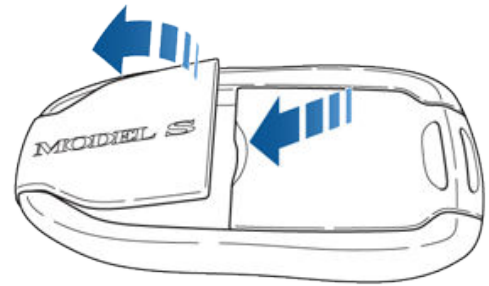
このペアリング手順は、3 つのキーがペアリングされるか、90 秒経過すると終了します。

キー フォブのバッテリーを交換する

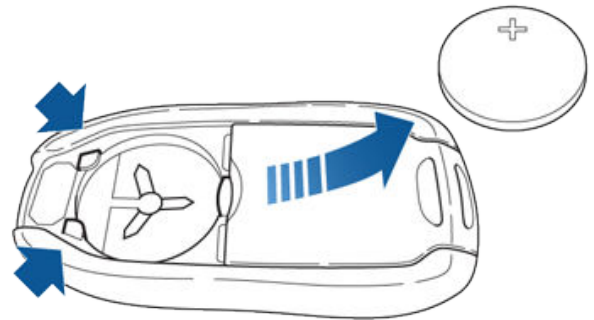
キーフォブのバッテリー寿命は通常使用で約 1 年です。バッテリー残量が低下すると、インストールメントパネルにメッセージが表示されます。以下の手順に従ってバッテリーを交換します。

注: テスラではすべてのキーフォブのバッテリーを同時に交換することを推奨しています。

1. ボタン面を下にしてキーフォブを柔らかい面に置き、小さなマイナスドライバーか爪を使って底面のカバーを開きます。



2. フロント側の固定クリップから慎重にバッテリーを持ち上げて取り外します。



3. プラス (+) 面を上にして新しいバッテリー (CR2032) を挿入します。

注: Tesla では、Panasonic CR2032 電池を使用することを推奨します。これらの電池は、オンライン販売店、地域のスーパーマーケット、ドラッグストアで購入することができます。

注: バッテリーはきれいに拭いて、平らな面に指に触れないようにして挿入します。バッテリーの平らな面に指紋が付いていると、バッテリーの寿命が短くなることがあります。

4. カバーは、フロント側をキー本体に付け、横に付いているタブとキーフォブ本体側のスロットの位置を合わせて、パチンという音がするまで押し込んで固定します。
5. 車両のロック解除およびロックを行い、キーフォブが動作するかテストします。

キーフォブを追加する

キーフォブを紛失した場合または追加のキーフォブが必要な場合は、テスラにご連絡ください。Model S 最大 3 個のキーフォブを認識することができます。

Model S の新しいキーフォブを注文したときは、お手持ちのキーフォブすべてをプログラミングし直してください。

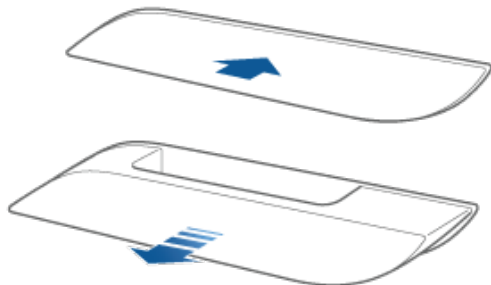
外部ドア ハンドルを使用する

Model S が近くにある有効なキーフォブを検出し、パッシブ エントリーがオン (「コントロール」>「安全とセキュリティ」>「パッシブ エントリー」) になっていると、ドア ハンドルを軽く押すだけでハンドルがせり出します。



キーおよびドア

キーフォブを携帯して運転席側に近づくと自動的にドアハンドルがせり出すように設定することができます。タッチスクリーンで、「コントロール」>「車両」>「オートプレゼントドアハンドル」の順にタッチします。



ハンドルに手を入れてハンドルを手前に引くとドアが開きます。

ドアハンドルがせり出してから 1 分以内にハンドルを使用しない場合、ハンドルが引っ込みます。ハンドルを押せば再びせり出します。最後のドアが閉まって 1 分が経過したり、Model S が動き始めたり、Model S をロックした場合も、ドアハンドルは引っ込みます。

注: バッテリーを長持ちさせるため、Model S は以下の場合に「オート プレゼント ドアハンドル」機能が一時的に無効になるように設計されています。

- キーフォブが 48 時間以上、作動範囲外にある場合。
- すべてのドアが閉まった後、キーフォブが作動範囲内に 5 分間とどまった場合。

これらの場合は、いずれかのドアハンドルに触れるか、キーフォブのロック解除ボタンを押すことでハンドルがせり出します。設定をリセットする必要はありません。上記の条件に該当しない場合は、次に Model S に近づいたときにハンドルが自動的にせり出します。



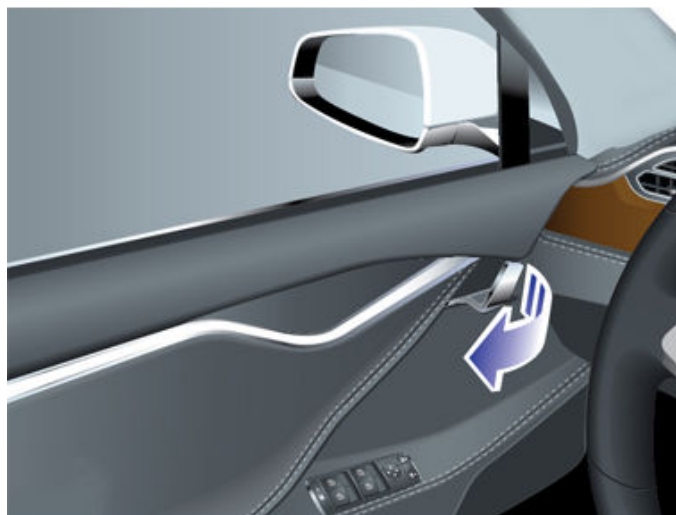
ドアが開いていると、インストゥルメントパネルに「ドアが開いています」インジケータが表示されます。また、タッチスクリーンの「コントロール」ウィンドウの Model S 画像も、開いているドアやトランクを視覚的に表現します。



注意: クロージャ（ドア、リフトゲート、またはフロントトランクなど）をボタンと閉めたり、無理に閉めたりすると、保証の対象にならない損傷が生じる場合があります。

車内からドアを開ける

ドアを開けるには、インテリア ドア ハンドルを手前に引きま



注: 子供がインテリアハンドルを使って後部ドアを開けないようにするには、タッチスクリーンから「コントロール」>「車両」>「チャイルドロック」の順にタップしてチャイルドロックを有効にします（[チャイルド ロック ページ 22](#) を参照）。

内部からのロックとアンロック

Model S の車内に有効なキーがある場合、タッチスクリーンで車内からドアとトランクをロック/ロック解除することができます。タッチスクリーンのステータスバーの ロック アイコンにタッチします。

Model S を停車してパーキングにシフトした時に、ドアをロック解除するか、ロックしたままにするかを選択できます。これを行うには、「コントロール」>「車両」>「パーキング時のロック解除」の順にタッチします。有効になっていると、パーキングにシフトした時にドアが自動的にロック解除されます。

また、シフトレバー端にあるパーキング ボタンを（パーキングにシフトするために一度を押した後などに）もう一度押して、ドアをロック解除してハンドルをせり出すこともできます。

注: Model S をロックする際にドアまたはトランクがまだ開いている場合は、それを閉じたときにロックがかかります。

運転席ドアロック解除モード

キーフォブを携帯して車両に近づく場合、運転席側のドアだけをロック解除するように選択することができます。これを行うには、「コントロール」>「車両」>「運転席のドアロック解除モード」の順にタッチします。残りのドアのロックを解除するには、タッチスクリーンを使用するか、キーフォブをもう一度押します。

チャイルド ロック

Model S お子さまが内部ハンドルを使用してリアドアやリフトゲートを開けることがないように、リアドアとリフトゲートにチャイルドロックを備えています。タッチスクリーンを使用してチャイルドロックをオンまたはオフにします。「コントロール」>「車両」>「チャイルド ロック」の順にタッチします。



注: 後部座席にお子さまを乗せている場合は、チャイルドロックを ON にすることをお勧めします。

走行後オートロック

Model S 走行速度が時速 8 km を超える場合は、必ずすべてのドア（トランクを含む）を自動的にロックします。

降車後オートロック機能

ドアやトランクは、降車後キー FOB を持って車から離れるか、車がキー FOB を検出しなくなると（キー FOB がない、バッテリー切れなど）、自動的にロックされます。

この機能をオンオフにするには、「コントロール」>「車両」>「降車後オートロック」の順にタッチします。

注: 「おもちゃ箱」>「ブームボックス」>「施錠音」の順にタッチして、車両を外部からロックするときの施錠音をカスタマイズします（歩行者警告システムが必要です）。

自宅として設定した場所に Model S を駐車する際、キー FOB を持って車から離れたときにドアがロックされないようにするには、**自宅を除く**チェックボックスにチェックを入れます。場所を自宅として設定する方法の詳細については、[自宅、勤務先、お気に入りの目的地 ページ 134](#) を参照してください。

モバイル アプリで Model S をアンロックした場合、すべてのドアを閉じたままであれば短時間の後に自動的にロックされます。屋内駐車場など携帯電話サービス圏外で駐車するときは、接続済みのキー FOB をお持ちください Model S。

降車して、すべてのドアを閉めてから 5 分間、Model S が認証済みのキー FOB を検出すると、降車後オートロック機能は無効になり、キー FOB を持って車両を離れてもロックされません。次に運転するまでは、手動で Model S をロックする必要があります。

さらに、すべてのドアが閉まっているときにキー FOB を使用して Model S のロックを解除すると、「降車後オートロック」機能は 1 分間無効になります。この 1 分以内にドアを開けた場合は、その後にすべてのドアが閉まってからキー FOB を持って車から離れるまで、ドアは再びロックされません。

注: 降車後オートロックが有効な場合であっても、車両がロックされていることを確認するのは、最終的にドライバーの責任です。

キー FOB が動作しないときのアンロック

Model S に近づいたり、キー FOB のアンロックボタンを押したりしてもロックが解除されない場合は、キーのバッテリーが切れている可能性があります。その場合でも、キー FOB を使用してアンロックし、Model S を運転することができます。

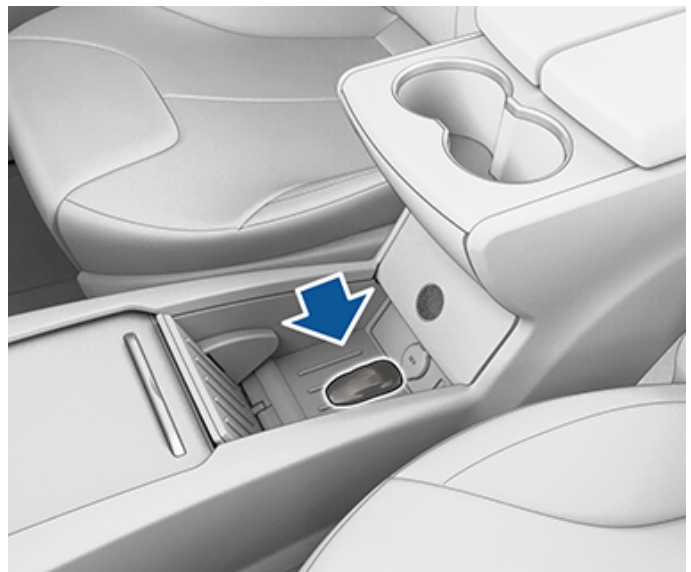
注: キー FOB をまだ使用できても、モバイル アプリを使用して遠隔でアンロックして車両を始動することを考える必要があります。その後都合のよいときに、キー FOB のバッテリーを交換してください。

キー FOB を使用して Model S をアンロックする（同時にセキュリティアラームを無効にする）には、まずキー FOB を助手席側のフロントガラスのワイパーの根元付近に置きます。次に、車両の助手席側のドアハンドルを押します。Model S がアンロックされない場合は、キー FOB の位置を調整して再度試してください。車両のロックを解除するには、キー FOB を正しい位置に置く必要があります。

注: 以下の図は左ハンドル (LHD) 車両の例です。右ハンドル (RHD) 車両では、反対側の位置になります。



乗車後に Model S を運転するには、キー FOB をセンターコンソールの低電圧電源ソケットの真下に置いてから、ブレーキを踏み込んで Model S を始動させます。



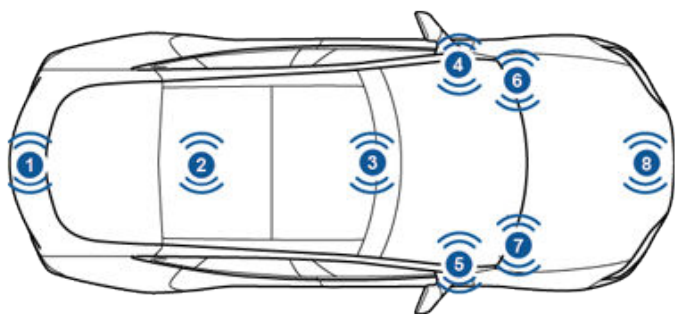
注: 上記の方法で Model S のロックを解除すると、降車後オートロック機能は無効になります。この場合、キー FOB のバッテリーを交換した後、降車後オートロック機能を手動で再び有効にする必要があります。

電波干渉

心臓ペースメーカーを使用している方は、キーレスシステムのキー FOB アンテナからの電波によるペースメーカーへのあらゆる影響を防ぐために、Model S に取り付けられた任意のキー FOB アンテナから少なくとも 22 cm 離れるようにしてください。アンテナは以下の場所に設置されています。



キーおよびドア



1. リアバンパーの中央。
2. リアシートの下。
3. センターコンソール。
4. ダッシュボードの左端。
5. ダッシュボードの右端。
6. 左側（助手席）フロントガラスのワイパー根元（右ハンドル車のみ）。
7. 右側（助手席）フロントガラスのワイパー根元（左ハンドル車のみ）。
8. フロントトランクの中央。



警告: 電波は医療用電気機器に悪影響を及ぼすことがあります。植込み型ペースメーカーを使用している方は、想定される影響について使用前に医療用電気機器の製造元にお問い合わせ下さい。

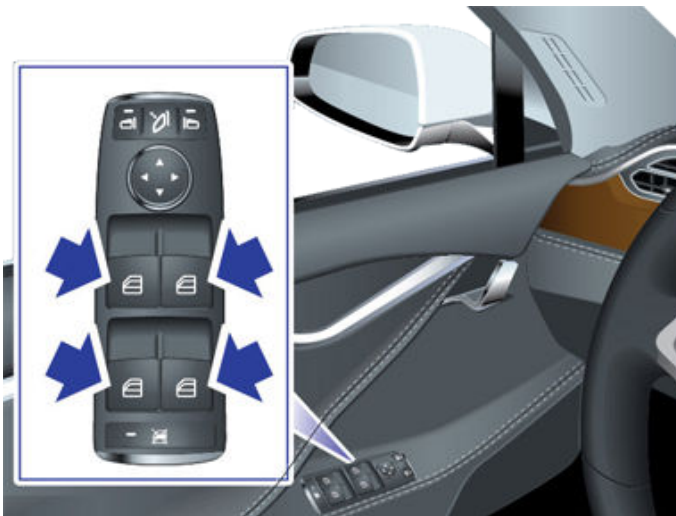


開閉

注: お客様の責任において、車両のロック後は、窓が閉じていることを確認してください。

スイッチを押して、対応するウィンドウを下げます。スイッチの操作には2段階あります。

- ウィンドウを完全に下げるには、スイッチを下まで完全に押してすぐに放します。
- ウィンドウを途中まで下げるには、スイッチを軽く押して希望の位置まで下がったらスイッチを離します。



同様に、スイッチを引いてウィンドウを一番上まで上げます。

- ウィンドウを完全に閉めるには、スイッチを一番上まで引き上げ、すぐに離します。
- ウィンドウを途中まで上げるには、スイッチを軽く引いて希望の位置まで上がった後スイッチを離します。

注: 低温時には、ドアを開けやすくし、凍結を防ぐために、ウィンドウが完全に閉まる際に車両のトリムよりわずかに下で停止します。

ウィンドウを意図せずに開いたままにしておくと、Model S がモバイル アプリに通知を送信できるように設定できます（「コントロール」>「車両」>「開放ドア放置通知」の順にタッチして、「ドアとウィンドウ」を選択します）。

注: ウィンドウを寒冷時に備える際の情報は[寒冷環境におけるベストプラクティス ページ 129](#) を参照してください。



注意: ドアを開閉する際は、損傷を避けるためにウィンドウが自動的に少し下がります。ドアを開けるときにウィンドウを手動で上げた場合、ドアを閉じる際にウィンドウが少し下がることを確認してください。



警告: ウィンドウを閉める前に、すべての乗員、特にお子さまの身体の一部がウィンドウの外に出ていないことを確認してください。確認を怠ると、大けがにつながる可能性があります。

リアウィンドウをロックする

乗員がリアウィンドウのスイッチを使用するのを制限するには、リアウィンドウロックスイッチを押します。スイッチのランプが点灯します。リアウィンドウのロックを解除するには、もう一度スイッチを押します。



警告: 安全確保のため、後部座席にお子さまが乗っている場合は、リアウィンドウスイッチをロックすることをお勧めします。



警告: お子さまを付き添いなしで Model S 内に放置しないでください。

UV インデックス評価

Model S のルーフ、フロント ガラスおよび窓は、人を UV 光線（紫外線）から保護する能力に優れています。これらのガラス製部品は2未満の UV インデックス スケールを得ています。詳細については地域の UV インデックス仕様を確認してください。なお、太陽光線保護のために必要な予防措置を取る責任は引き続きあります。



開閉

お客様の Model S にサンルーフが装備されている場合は、モバイルアプリを使用して遠隔で開閉したり、右スクロールボタンのメニューから操作してサンルーフの位置を調整することができます。

サンルーフを操作するには、タッチスクリーンから「コントロール」の順にタッチします。サンルーフのイメージ画像でサンルーフをドラッグしたり、タップしたりして操作するか、車両のイメージ画像の隣にあるボタンをタッチします。サンルーフが選択された位置まで移動します。サンルーフの開閉中にお好みの位置で止めるには、サンルーフの画像にタッチします。



- 「開く」: これをタッチするとサンルーフが快適な位置（開度 75%）まで開きます。サンルーフを完全に開くには 2 回タッチします。
- 「チルト」: サンルーフを少し開きたい時にタッチします。
- 「閉じる」: サンルーフを完全に閉じたい時にタッチします。

注: サンルーフが障害物を検出すると、サンルーフは閉まりません。障害物を取り除いてもまだ閉まらない場合は、「閉じる」にタッチしたままサンルーフのアンチトラップ機構を無効にしてください。

注: サンルーフを最適な位置に設定していても、風の音がうるさい場合（運転速度によります）、窓を少しだけ開くようにします。



注意: 雪や氷がある場合は、取り除いてからサンルーフを開いてください。雪や氷で覆われたサンルーフをそのまま開くと損傷につながる可能性があります。



警告: 同乗者がサンルーフから身体の一部を車外に出さないよう注意してください。走行中に飛んでくる障害物により大けがをする可能性があります。



警告: サンルーフを閉めるときは、同乗者、特にお子さまがサンルーフの開口部から手などを出していないことを必ず確認してください。確認を怠ると、大けがにつながる可能性があります。



警告: サンルーフから突き出るようなものは運ばないでください。そのようなものを入れると、サンルーフのシール/アンチトラップ機構が破損する可能性があります。



開ける

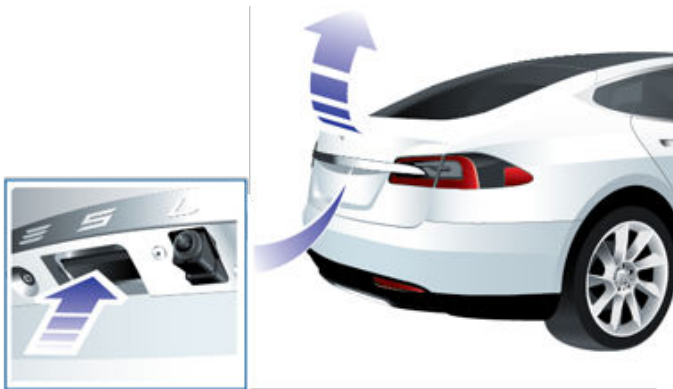
リアトランクを開くには、Model S がパーキングになっていることを確認して、次のいずれかの操作を行います。

- タッチスクリーンで、「コントロール」>「トランク」の順にタッチします。
- キーフォブのリアトランクボタンをダブルクリックします。
- モバイルアプリのリアトランクボタンをタッチします。
- リフトゲートのエクステリアハンドルの下にあるスイッチを押します（有効なキーが検出されている必要があります）。

注:「パッシブエントリー」がオフの場合、スイッチを使用してリフトゲートを手動で開けるには、キーフォブで Model S のロックを解除する必要があります。キーフォブの使用 ページ 20 を参照してください。

注意: 閉鎖されたエリア（ガレージなど）でリフトゲートを開く前にリフトゲートを開いたときの高さが適切に調整されていて低い位置にある天井やその他の物体にぶつかることがないことを確認してください（リフトゲートを開いたときの高さを調節 ページ 27 を参照）。

Model S このスイッチを使用してリフトゲートを開くには、ロック解除するかキーを検知している必要があります。



ドア、トランクまたはリフトゲートが開いているとき、インストルメントパネルには「ドアが開いています」のインジケータライトが表示されます。タッチスクリーンに表示される Model S の画像でトランクが開いた状態を示します。

動作中のリフトゲートを停止するには、キーフォブのリアトランクボタンをシングルクリックします。さらに、リアトランクボタンをダブルクリックすると、再び動作しますが方向は逆になります（止めた時にほぼ全開または全閉でない場合）。例えば、リフトゲートを開けている途中でシングルクリックで動作を停止すると、次にダブルクリックした時点でリフトゲートが閉じます。

注: 緊急時には、リフトゲートを手でつかんでその場で停止させることで、「開く」または「閉じる」コマンドを無効にすることができます。

注意: クロージャ（ドア、リフトゲート、またはフロントトランクなど）をボタンと閉めたり、無理に閉めたりすると、保証の対象にならない損傷が生じる場合があります。

注意: アフターマーケット製アクセサリをリフトゲートに取り付けて重量が増加すると、自動で閉まったり、予期しない動作をするおそれがあります。これにより生じた損傷や必要となる修理は、保証対象外となります。

Model S の電源が全くない状態で、内側からリフトゲートを開ける方法については、トランク内にある緊急トランク リリース ページ 28 を参照してください。

警告: リフトゲートを開閉する前に、（人や物がないか）周囲を確認してください。人や物と接触しないようリフトゲートの動きを常に監視してください。これを怠ると、怪我や事故につながる恐れがあります。

リフトゲートを開いたときの高さを調節

Model S にリフトゲートが装備されている場合、開いたときの高さを調節して、楽に手が届くようにしたり、低い天井や物（ガレージドアやライトなど）に当たらないようにできます。

1. トランクを開いてから、手動でリフトゲートを任意の高さまで上下させてください。
2. 確認のチャイム音が聞こえるまで、リフトゲートの底面にあるボタンを 3 秒間長押しします。



3. リフトゲートを閉めてもう一度開き、開いたときの高さが好みの高さであることを確認します。

注意: 構成（車高またはホイール選択）に応じて、車両のリフトゲートを最大で高さ約 2.3 m まで開くことができます。リフトゲートの高さを調整して、低い位置にある天井やその他の物体に当たらないようにします。

閉める

リフトゲートが装備されていない Model S の場合は、リフトゲートを下方へ引っ張り、完全に閉まるまで押すことによってリアトランクを閉めます。

リフトゲートを閉めるには、次のいずれかを行います。

- 「コントロール」>「トランク」の順にタッチします。



リアトランク

- キー FOB のリアトランクボタンをダブルクリックします。
- 下側にあるスイッチを押します リフトゲート

リフトゲートを閉じているときに障害物が検出されると、動作が止まり、チャイムが 2 回鳴ります。障害物を取り除き、もう一度閉じる操作を行ってください。

リフトゲートが開いている間にキャリブレーションを失うと、チャイムが 3 回鳴って動かなくなります。キャリブレーションを元に戻すには、リフトゲートを下に引いて閉めます。

内側からトランクを開く

Tesla ビルトイン タイプ 後ろ向きチャイルドシートを装備した Model S の内側からリアトランクを開けるには、リアトランク内にある内部解除スイッチを押し、リフトゲートを押し上げます。リフトゲートを装備している Model S がロックされている場合、最初に押すとリアトランクをアンロックし、次に押すとリアトランクを開きます。

注: Model S に Tesla ビルトイン タイプ 後ろ向きチャイルドシートが装備されていない場合は、仮にスイッチはあっても作動せず、押してもリフトゲートは開放されません。



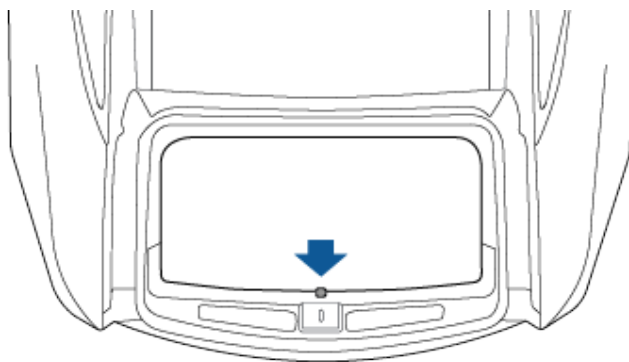
電動リフトゲート付きの Model S の場合は、リフトゲートを押し上げる必要はありません。リフトゲートは、解除スイッチを押すと開き、引くと閉じます。

注: チャイルドロックがオンのとき (チャイルドロック ページ 22 を参照)、または Model S が動いているときは、内部解除スイッチは無効になります。

貨物エリアへのアクセス

リアトランクのカーゴエリアにアクセスするには、カーゴカバーを引きします。これで、Model S のカーゴカバーを前方に折りたたんだり、取り外すことができます。

Model S を走行する前は、積荷をすべて固定し、重い積荷はトランクの下部に置くようにしてください。



リアトランク積載限度

積載物の重量は、前後のトランクのできる限り均等に配分されるようにしてください。



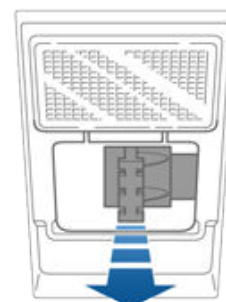
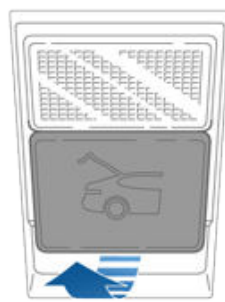
注意: リアトランクの上部コンパートメントに 80 kg を超える積載をしたり、下部コンパートメントに 285 ポンド (130 kg) を超える積載をしないでください。さもないと、車に損傷を与える恐れがあります。



警告: 荷物を載せるときは、必ず車両の技術的に許容される最大積載質量 (TPMLM) を考慮してください (仕様 ページ 174 を参照)。TPMLM は、すべての乗員、フルード、および貨物を含む車両の最大許容総質量です。

トランク内にある緊急トランク リリース

Model S の電力が失われた場合、リアトランク内側にある照明付き機械式リリースを使えば、閉じ込められても内側から開けることができます。中に人が閉じ込められた場合は機械式リリースで脱出することができます。



1. カバーの下側を手前に強く引き、カバーを外します。
2. ケーブルを引っ張り、ラッチを外します。
3. リアトランクを押して開きます。

注: このボタンは外光に短時間当たった後、数時間光ります。



警告: お子さまをトランクの中で遊ばせたりしないでください。閉じ込められる恐れがあります。お子さまにシートベルトを着用させないと、事故にあった際重度の怪我または死亡事故につながるおそれがあります。特に空調機能が作動していない場合、お子さまが車両に閉じ込められると熱中症にかかり、または死亡に至るおそれがあります。

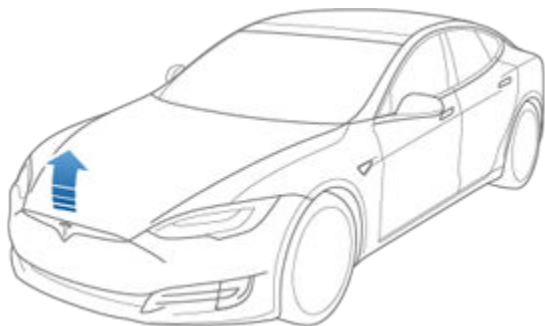


フロント トランク

開ける

フロント トランクを開くには、Model S を確実にパーキングにシフトさせ、次のいずれかの操作でフードを引き出します。

- タッチスクリーンで、「コントロール」 > 「フロント トランク」の順にタッチします。
- キー フォブのフロント トランク ボタンをダブルクリックします。
- モバイル アプリのフロント トランク ボタンにタッチします。



ドアまたはトランク/リフトゲートが開いているとき、インストゥルメントパネルに「ドアが開いています」のインジケータライトが表示されます。タッチスクリーンに表示される Model S の画像でフロントトランクが開いた状態を示します。



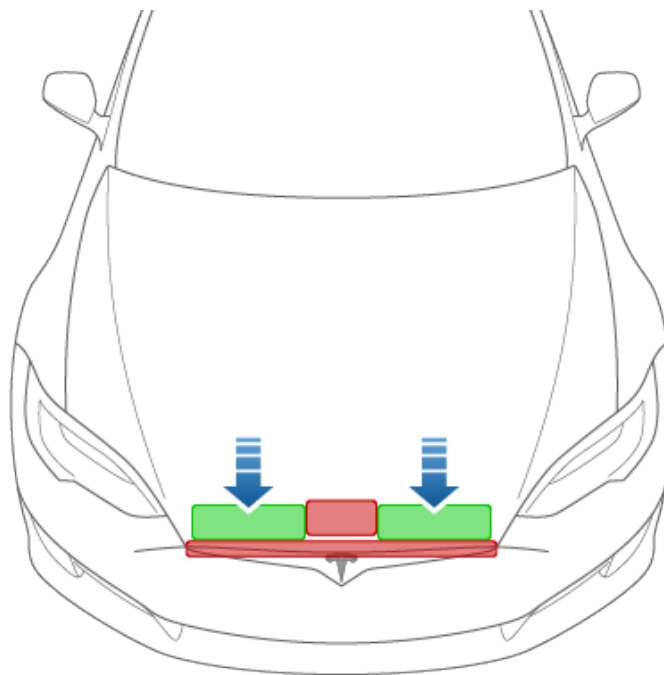
警告: ボンネットの開け閉めをする前に、ボンネット周囲に障害物 (人や物) がないことを確認してください。これを怠ると重大な怪我や事故につながる恐れがあります。

閉める

Model S ボンネットは自重でラッチがかかるほどの重量はありません。ボンネット フロント端部または中央を無理に押すと損傷することがあります。

ボンネットの正しい閉め方:

1. フードがラッチに触れるまでボンネットを下げます。
2. ここで示すように (緑色の箇所)、両手をフードのフロント部分に置き、しっかりと押し下げてラッチにはめ込みます。
3. 慎重にフードのフロント端部を持ち上げてしっかりと閉まっていることを確認します。



注意: 損傷を避けるために:

- ここで示す緑色の部分以外には力を加えないでください。赤色の領域に無理な力を加えると、損傷することがあります。
- ボンネットは片手で閉めないでください。片手で閉めると力が一個所に集中し、凹みや波打ちの原因となります。
- ボンネット前端には圧力をかけないでください。圧力をかけると、前端が曲がる恐れがあります。
- ボンネットを強く閉めたり、落としたりしないでください。
- スクラッチを避けるため、手には何も持たないでください (キー)。宝飾品もスクラッチの原因になります。



警告: 運転する前に、ボンネット前端をゆっくりと持ち上げてみて、フードが完全に閉じられた位置でラッチがかかり、動かないことを確認してください。運転前にフロントトランクがきちんと閉まっていることを確認することは、ドライバー責任です。

フロントトランクが開いたままになった状態でパーキングからシフトしようとする、タッチスクリーン上に運転する意思を確認する通知が表示されます。

以下の場合、フロントトランクがロックします。

- タッチスクリーン、キーまたはモバイル アプリを使用して Model S をロックした場合。
- キーを携帯して Model S から離れた場合 (降車後オートロック機能 ページ 23 はオン状態)。
- バレーモードが有効な場合 (バレーモード ページ 81 を参照)。



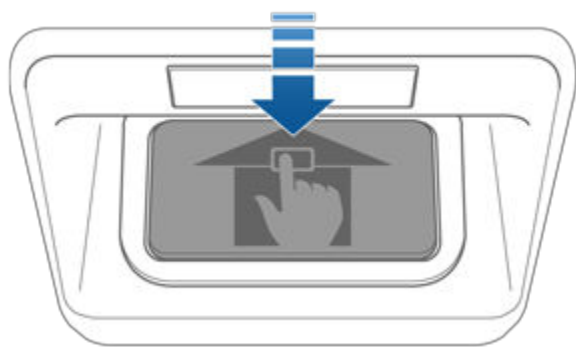
積載制限

荷物を積むときは、荷物の重量をフロント トランクとリア トランクの間でできるだけ均等に分散し、常に車両の技術的に許容される最大積載質量 (TPMLM) を考慮してください ([仕様 ページ 174](#) を参照)。TPMLM は、すべての乗員、フルード、および貨物を含む車両の最大許容総質量です。

⚠ 注意: フロント トランクには絶対に 136 kg を超える荷物を積まないでください。さもないと、車に損傷を与える恐れがあります。

内部緊急解除

人がフロント トランクに閉じ込められても、トランク内でリリース ボタンのイルミネーションが点灯するため脱出することができます。



内部解除ボタンを押して、フロント トランクのラッチを解除し、ボンネットを押し上げます。

注: トランク内のリリース ボタンは、周囲からの光を受けたあと、しばらくの間は点灯します。

⚠ 警告: フロント トランクには入らないでください。フロント トランクに人を入れて閉めないでください。

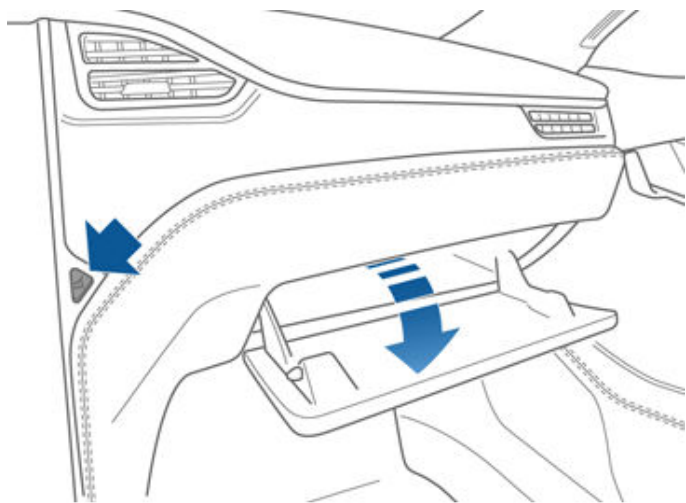
⚠ 警告: フロント トランクに荷物を入れるときは、荷物がリリース ボタンに接触してフードが開いてしまうことのないよう注意してください。



グローブボックス

グローブボックスを開けるには、タッチスクリーンの横にあるスイッチを押します。キーまたは降車後オートロック機能で Model S を外部からロックすると、グローブボックスもロックされます。Model S がバレーモードにある時もロックされます ([バレーモード ページ 81](#) を参照)。タッチスクリーンのステータスバーにあるロックアイコンを使用して Model S をロックしたときには、ロックされません。

グローブボックスのセキュリティを強化するには、「コントロール」>「安全」>「グローブボックス PIN」にタッチして 4 桁の PIN を設定します ([グローブボックス PIN ページ 117](#) 参照)。



注: グローブボックスを開いたままにすると、しばらくするとそのライトは消えます。

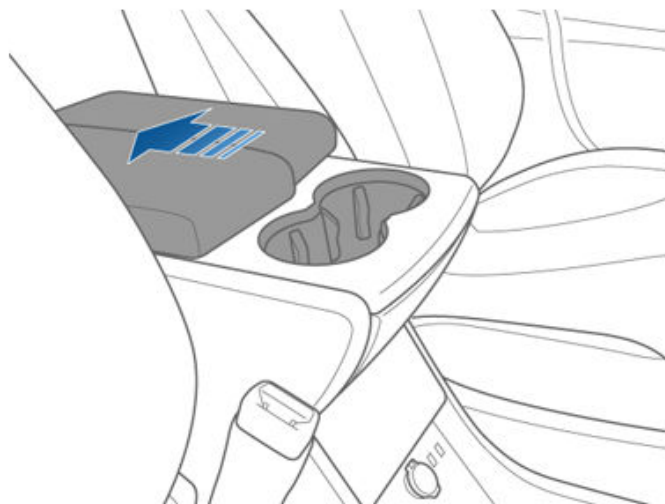


警告: 走行時はグローブボックスを閉め、衝突発生時や急停車時に乗員が負傷しないようにしてください。

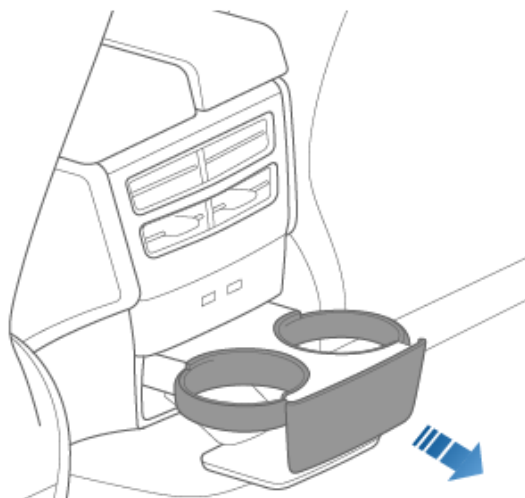


カップホルダー

フロント カップ ホルダーを出すにはアームレストを後ろにスライドします。



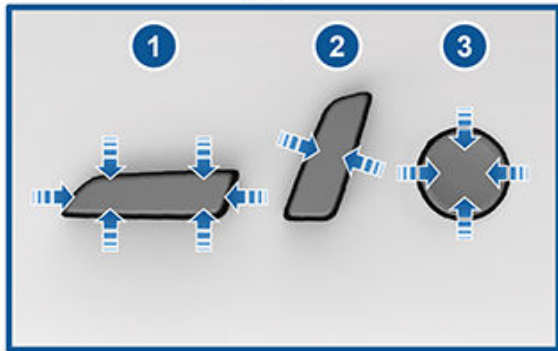
リア カップ ホルダーを出すには（装備されている場合）、センター コンソール後部にあるカップ ホルダーのフェース プレートを押して離します。





フロントおよびリアシート

フロントシートの調整



1. シートを前後に動かし、シートの高さを調節し、傾斜角を増減させます。
2. バックレストを調整します。
3. ランバー サポートを調整します。

注意: シートが最完全に前方にあるときは、フロントシートの背もたれを前方に完全に動かさないでください。シート上部がサンバイザーに当たって破損するおそれがあります。

警告: フロントシートを調整する前に、シートの周りに何もないことを確認してください（人や荷物など）。

警告: 運転中にシートの調整をしないでください。事故につながる恐れがあります。

警告: 走行中にリクライニングしたシートに座っていると、衝突時に乗員が腰ベルトの下に潜り込んだりシートベルトに巻き込まれたりして重傷を負う危険があります。車両走行時は必ず、シートのリクライニングを 30°未満にしてください。

正しい運転位置

シート、ヘッドレスト、シートベルト、エアバッグはそれぞれ連動しており、乗員の安全性を最大限に確保するようになっています。これらの機能を正しく使用することで、保護性能を向上させることができます。



シート位置を正しく設定すると、フロントエアバッグからできるだけ離れた位置でシートベルトを正しく装着することができます。

1. 上体を起こし両足をフロアに着けた状態で着座し、シートの背もたれを直立位置にします。
2. ペダルに足が十分に届き、ハンドルを握ったとき腕が少し曲がることを確認します。胸がエアバッグカバーの中央から 25cm 以上離れるようにしてください。
3. シートベルトの肩ベルトが乗員の首と肩の間を通るようにします。シートベルトの腰ベルトが腹回りに通らず腰回りに密着するように装着します。

Model S シートにはヘッドサポートが組み込まれていますが、これは調整や取り外しができません。

リアシートの折りたたみ

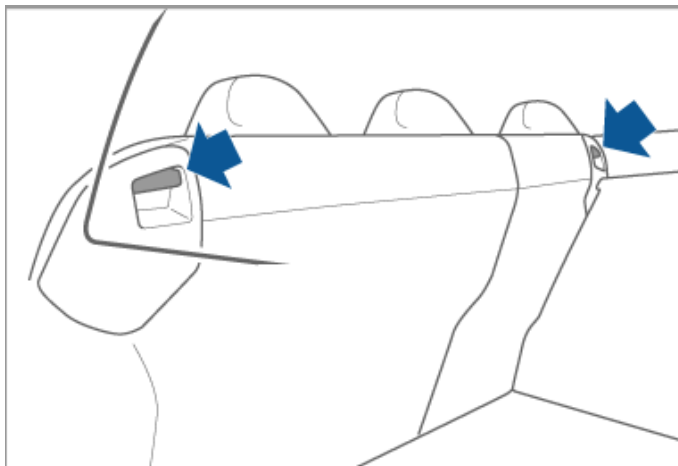
Model S スプリット リアシートは前方へ折りたたむことができます。

注: リアシートを前に折りたたんで走行すると、車両後部（トランク、サスペンションなど）からの騒音や振動が増加する場合があります。

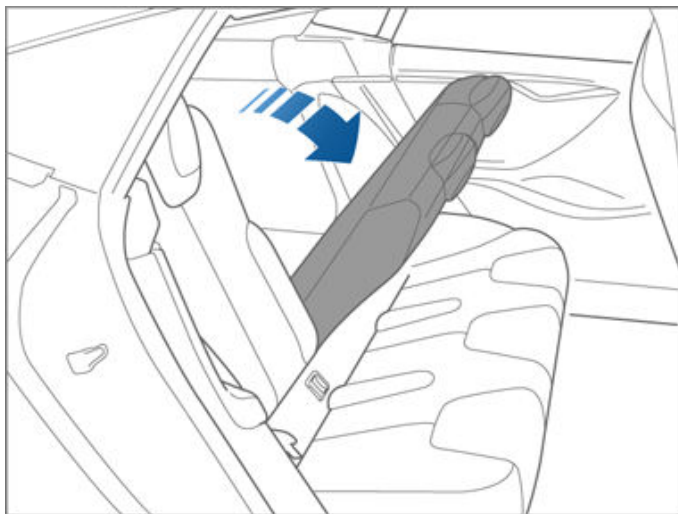


注意: シートを完全に折りたたむ前に、シートベルトが外されていて、シートに物が残っていないことを確認してください。

折りたたむ前に、シートやリアシートの足元スペースから物を取り除いてください。リアシートバックを完全に平らにするには、フロントシートを前方へ移動させる必要がある場合もあります。



リアシートを折りたたむには、折りたたみ用のレバーを引き、シートを前方へ倒します。



リアシートの引き上げ

リアシートを引き上げる前に、シートベルトがバックレストの裏側に引っかかっていないことを確認します。

シートバックを上方へ引き、所定の位置にロックさせます。

シートバックを前方へ引き、直立位置でロックされていることを確認します。

警告: シートバックを直立位置に戻した際には、前後に押してロックされているか確認します。これを怠ると怪我をする危険が増します。

シートヒーター

フロントシートは、3（最高）から1（最低）までの3段階で動作します。シートヒーターの操作方法については、[空調を操作する ページ 124](#)を参照してください。

Model S に寒冷地用パッケージが搭載されている場合、タッチスクリーン上の空調コントロールをタッチして、全てのリアシートのシートヒーター、ならびにワイパー デフロスターおよびウォッシャー ノズルを操作することもできます。

警告: 長時間の使用によるやけどを防止するために、末梢神経障害を患っている方、糖尿病、加齢、神経損傷、その他の症状が原因で痛みを感じる機能が低下している方は、空調システムやシートヒーターの使用の際に十分注意してください。

シートカバー

警告: フロントシートにシートカバーを使用しないでください。使用すると衝突発生時にシート搭載サイドエアバッグの膨張が制限される可能性があります。また、車両に助手席用フロントエアバッグの状態を判断するために使用される乗員感知システムが装備されている場合、シートカバーがこのシステムの妨げになることがあります。



シートベルト

シートベルトの着用

シートベルトとチャイルドシートは、衝突の発生時に乗員を保護する最も効果的な手段です。したがって、シートベルトの着用はほとんどの地域で義務づけられています。

すべてのシートには、3点式イナーシャリールシートベルトが装備されています。慣性リールベルトは、通常の運転状況で乗員が快適に移動できるよう自動的に張力がかかるようになっています。

シートベルト リールは、Model S が急加速、ブレーキング、コーナリング、または衝突の衝撃に伴う力を受けると、乗員の動きを抑えるために自動的に締め付けられてロックします。

シートベルト リマインダー



インストールメント パネル上のシートベルト リマインダーは、座席にいる乗員がシートベルトを着用していない場合に警告を出します。すべての乗員がシートベルトを外したにもかかわらずリマインダーがオンのままの場合は、シートベルトが正しく着用されていることを確認するために再度着用し直します。また乗員がいない座席から重い物(書類かばんなど)を移動してください。リマインダー ライトが点灯したままになっている場合は、サービスを予約し、問題が解決するまでシートの使用を控えてください。

警告: シートベルトは、座席にいるすべての大人の乗員が着用する必要があります。

注: 法令で後部座席にシートベルト リマインダーが必要な地域の場合、これらのリマインダーを無効にすることはできません。物体が検出された場合に乗員のいない座席のリマインダーをキャンセルするにはシートベルトを締めるか、その物体を取り除く必要があります。

シートベルトを着用するには

1. 座席の正しい位置を確認します。ドライバーシートの正しい位置に関する詳細は、[正しい運転位置 ページ 34](#) を参照してください。
2. シートベルトをスムーズに引き出して、シートベルトが骨盤、胸、鎖骨の中間点の上、首と肩の間に平らに位置するようにします。シートベルトが正しく取り回され、ねじれていないことを確認します。シートベルトまたはシートベルトコンポーネントの上には絶対に座らないでください。



警告: シートベルトがねじれていたり、正しく取り回していないと、シートベルトが損傷したり、シートベルトシステムの機能に支障をきたすおそれがあります。

3. ラッチプレートをバックルの中にカチッという音がするまで差込みます。



4. シートベルトを引いて、安全に固定されたことを確認します。
5. シートベルトの対角線部分をリールに向かって引き、余分な緩みを取り除きます。

シートベルトを外すには

シートベルトが速く巻き込まれすぎないようにするために、バックル近くのシートベルトを持ち、バックルのボタンを押します。そうすることで、シートベルトが自動的に巻き込まれます。シートベルトが完全に巻き込まれるのを妨げる障害物がないことを確認します。シートベルトが緩んでぶら下がった状態にならないようにします。シートベルトが完全に巻き込まれない場合は、サービスを予約してください。

妊娠中の女性がシートベルトを着用するとき

腰ベルトは、腹部のふくらみを避け腰骨のもっとも低い位置にくるように調整します。肩ベルトは胸の中央を通るようにします。詳しくは医師の指示に従ってください。



警告: シートベルトが不快な場合は、シートベルトを正しく装着しないのではなく着座位置を調整してください。



警告: 衝突事故が発生した場合の衝撃を和らげようとして、人とシートベルトの間に絶対に物を入れないでください。

シートベルトプリテンショナー

フロントシートベルトには、前方向からの激しい衝突の際にエアバッグと連動して作動するプリテンショナーが装備されています。プリテンショナーはシートベルト下部アンカーとアッパーショルダー ウェビングの両方を巻き込み、腰ベルトと肩ベルトの緩みを減らし、乗員の前方への移動を減少させます。



プリテンショナーとエアバッグが衝突時に作動しなかった場合、故障ではなくこれらの作動条件を満たすほどの強い衝撃が存在しなかったことを意味します。

後列の窓側シートには人が前に飛び出すことを抑えるため、シートベルトストラップを巻き取るためのショルダープリテンショナーが装備されています。

警告: プリテンショナー アセンブリを曲げたり、上に座ったり、妨害しないでください。そうすることでシートベルトシステムの適切な機能を妨げる損傷を引き起こす可能性があります。

警告: シートベルトプリテンショナーは一度しか作動しません。一度作動したら、交換する必要があります。衝突事故の後、エアバッグ、シートベルトプリテンショナー、すべての関連コンポーネントなど異常がないか確認し、必要に応じて交換してください。

シートベルトのテスト

シートベルトが正しく作動することを確認するため、各シートベルトで以下の点検を行ってください。

1. シートベルトを締結している状態で、バックルに最も近いストラップを素早く力強く引きします。バックルはしっかりとロックされたままでなければなりません。
2. シートベルトを締結している状態で、ドアに最も近いウェビングを素早く力強く引きします。恒久的なシートベルト固定具はしっかりとロックされたままにしておく必要があります。この添付ファイルは絶対に削除しないでください。
3. シートベルトを外した状態で、ストラップを限界まで引き出します。引き出し操作がスムーズに行えることを確認し、ストラップに摩耗や損傷がないか確認します。ストラップを引き込ませて、引き込みがスムーズで完全であることを確認します。
4. ストラップを半分引き出した状態で、バックルを持ち、前方に素早く引きします。シートベルトが自動的にロックし、それ以上引き出せなくなったことを確認します。

シートベルトがこれらのテストのいずれかに合格しない場合、ただちに修理してください。故障したシートベルトの付いている座席には人を座らせないでください。

シートベルトのクリーニングについての詳細は、[シートベルト ページ 167](#) を参照してください。

シートベルトに関する警告

警告: シートベルトは、短距離の運転であっても、すべての乗員が必ず着用しなければなりません。シートベルトを正しく着用しないと、衝突事故が発生した場合にけがや死亡事故につながる恐れがあります。

警告: 小さなお子さまは、オーナーズマニュアルに記載されているように、適切なチャイルドシートにしっかり座らせてください。取り付ける際は、必ずチャイルドシート製造元の取扱説明書の指示に従ってください。

警告: すべてのシートベルトが正しく着用されていることを確認してください。シートベルトを正しく着用しないと、衝突事故が発生した場合に負傷や死亡事故につながる危険性が増大します。

警告: シートベルトコンポーネントの上に座らないでください。そうした場合、安全具が損傷したり、不適切に展開する可能性があります。

警告: ペン、鍵、眼鏡など硬くて先端が尖った物、壊れやすい物を入れた衣服の上からシートベルトを着用しないでください。

警告: ストラップがねじれた状態でシートベルトを着用するのは避けてください。







警告: シートベルトは乗員 1 人につき 1 本使用します。お子さまを膝の上に乘せたまま、シートベルトを着用するのは危険です。

警告: 衝突事故発生時に着用されたシートベルトは、目視で損傷が確認できない場合でも、必ず Tesla または認定修理施設に点検または交換を依頼してください。

警告: シートベルトに摩耗の兆候がある、もしくは何らかの切り込みまたは損傷がある場合は、ただちに交換してください。



シートベルト

-  **警告:** シートベルトを化学物質、液体、埃、ゴミ、または洗剤等で汚さないようにしてください。シートベルトが巻き込まない、またはバックルで固定できない場合は、ただちに交換する必要があります。モバイル アプリを使用してサービス予約をする。
-  **警告:** シートベルトの緩みを除去することを妨げる、またはシートベルトが緩みを調整することを妨げるような部品の追加や改造はしないでください。シートベルトの緩みが大きいと、乗員の保護が十分にできません。
-  **警告:** シートベルトの操作を妨げる、または操作に影響を与えるような改造はしないでください。
-  **警告:** シートベルトには、快適性や利便性を高めるために後付け製品を使用しないでください。
-  **警告:** シートベルトは、未使用時に完全に巻き込まれ、緩みのない状態である必要があります。シートベルトが完全に巻き込まれない場合は、サービスを予約してください。
-  **警告:** シートベルト システムにはユーザーが整備することができる部品はなく、火薬類が使用されている可能性があります。構成部品の分解、取り外しおよび交換はしないでください。



お子様を乗せるときのガイドライン

乳幼児や小さなお子さまは年齢、体重、身長に合ったチャイルドシートで身体を固定する必要があります。助手席にお子さまを座らせることが法律で許されている販売地域では、チャイルドセーフティシートまたはブースターシートを使用したとしても助手席のエアバッグが有効になっているときは助手席にお子さまを絶対に座らせないでください。(エアバッグ ページ 45 を参照)。お子さまが大けがをしたり死亡事故につながる危険性があります。

サンバイザーに貼付されるラベルを参照してください。

注: 以下に示す画像は見本であり、実際の車両のラベルとは異なる場合があります。



助手席フロントエアバッグの状態は、タッチスクリーン上部に表示されます。



チャイルドシートを助手席に取り付けて運転する場合（地域で許可されていれば）、助手席フロントエアバッグのステータスが OFF になっていることを必ず慎重に確認してください。



次回助手席に大人が乗る場合は、フロント助手席のエアバッグを必ず ON に戻してください。

助手席フロントエアバッグのコントロール方法詳細については、[エアバッグ ページ 45](#) を参照してください。



警告: 運転席の後ろのシートにチャイルドシートを取り付けている場合、運転席を自動で最後位置に動かすような設定で「イージーエントリー」を（[ドライバー\[#10\]プロフィール ページ 80](#) に記載されているように）使用しないでください。運転席を動かして後列座席との間隔が狭くなると、お子さまの足に強く当たってしまったり、チャイルドシートを押し除けてしまう場合があります。



チャイルドシートの選択

シートベルト固定式のチャイルドシートおよび ISOFIX/i-サイズチャイルドシートの種類はお子さまの体重に合わせて選ぶ必要があります。以下の表を目安として参照してください。

⚠ 警告: Model S を運転する地域の現行の規則に従うことは、運転者の責任です。地域によっては乳児や子供を助手席に乗せることを禁止しています。

シートベルト保持式チャイルドシート

質量グループ		助手席	後部窓際席	後列中央席 ^C
グループ 0	10 kg 以下	X	U	U
グループ 0 +	13 kg 以下	L ^A	U	U
グループ I	9～18 kg	UF ^B	U、UF	U、UF
グループ II	15～25 kg	UF ^B	U、UF	U、UF
グループ III	22～36 kg	UF ^B	U、UF	U、UF

U: 汎用後ろ向きチャイルドシート。

UF: 汎用前向きチャイルドシート。

L: 推奨するチャイルドシート - Maxi-Cosi Cabrio/Cabriofix E4 04443517 または Takata Mini E4 04443717

X: シート位置がこの質量グループのお子さまには不適切です。

^A シートは最後部かつ最も低い位置にしなければなりません。

^B シートは最後部かつ最も高い位置にしなければなりません。

^C Model S にエグゼクティブリアシートがオプションで装備されている場合、後部中央座席はありません。

注: ブースター シートは必ずシートベルトで取り付けてください (ISOFIX/i-サイズは使用しないでください)。



ISOFIX チャイルドシート

注: ISOFIX/i-サイズは、乗用車内にチャイルドシートを取り付ける方法に関する国際標準規格です。

質量グループ		サイズ等級	固定具	後部窓際 ISOFIX 位置
グループ 0	10 kg 以下	E	R1 注: 補助シートは必ずシートベルトで取り付けてください (ISOFIX は使用しないでください)。	IL
グループ 0 +	13 kg 以下	E	R1	IL ^A 、C
		D	R2	IL ^A 、C
		C	R3	IL ^A 、C
グループ I	9~18 kg	D	R2	IL ^B
		C	R3	IL ^B
		B	F2	IUF、IL ^B 、D
		B1	F2X	IUF、IL ^B 、D
		A	F3	IUF、IL ^B 、D

IL: 準汎用チャイルドシート（支持脚付きの後ろ向きまたは前向きシート）に最適

IUF: 汎用チャイルドシート（テザー付き前向きシート）に最適

^A 推奨: Takata Mini E4 04443717。

^B 推奨: Takata Midi E4 04444204。

^C 推奨: Maxi-cosi Cabriofix/Easyfix E4 04443517。

^D 推奨: Maxi-cosi Pearl/Familyfix E4 043908。

注: チャイルドシートを取り付けている場合も、シートベルト警告チャイムを鳴らさないようにするにはシートベルトをバックルに挿入する必要があります。



警告: お子さまの体重とチャイルドシートの重量を合わせて 33 kg を超えるような状況で、ISOFIX/i-サイズのアンカーをチャイルドシートやシートベルト内蔵のブースターシートに使用しないでください。



チャイルドシート

より大きなお子さまを乗せるとき

お子さまの体格が大きくてチャイルドシートに収まらない、しかし車両のシートベルトで安全に固定するには小さすぎるという場合は、年齢・体格に合ったブースターシートを使用してください。ブースターシートを取り付けるときは、製造元の説明書に従ってください。

2つの取り付け方法

注: 必ずチャイルドシート製造元の説明書に従ってチャイルドシートを取り付けてください。

たくさんバリエーションがありますが、一般的にチャイルドシートには座席への固定方法により2種類あります。

- ベルト式 - 車両のシートベルトでチャイルドシートを固定（シートベルト保持式チャイルドシートを取り付ける ページ 42 を参照）。
- ISOFIX/i-サイズ使用 - 車両の座席に組み込まれているアンカーバーに固定（ISOFIX 対応チャイルドシートの取り付け ページ 42 参照）。

一部のチャイルドシートは、どちらの方法でも取り付けられます。チャイルドシートの製造元が提供する説明書を参照して、取り付け方法とその詳細を確認してください。

Model S の座席には、シートベルトで固定するチャイルドシートを取り付けられます。また、ISOFIX/i-サイズのシートも後列の窓側座席に取り付けられます。各座席に使用できるチャイルドシートのタイプに関する詳細情報は次に記載しています。

注: ISOFIX および i-サイズは、乗用車内にチャイルドシートを取り付ける方法に関する国際標準規格です。

警告: お子さまの体重とチャイルドシートの重量を合わせて 33 kg を超えるような状況で、ISOFIX/i-サイズのアンカーをチャイルドシートやシートベルト内蔵のブースターシートに使用しないでください。

シートベルト保持式チャイルドシートを取り付ける

まず、チャイルドシートがお子さまの体重、身長、年齢に適していることを確認します。

お子さまに厚い生地を着せるのは避けて、お子さまとチャイルドシートの間には何も置かないでください。

お子さまに合わせて毎回ハーネスを調整します。

チャイルドシートを取り付ける際は、必ずチャイルドシートメーカーの指示に従ってください。以下に一般的なガイドラインを示します。

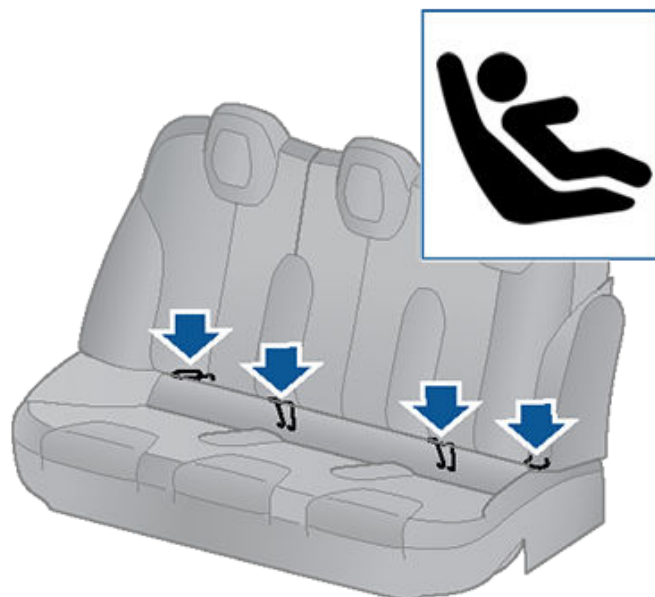
1. チャイルドシートを Model S の中に置き、シートベルトを限界まで伸ばします。チャイルドシートの製造元の指示に従ってシートベルトを通し、バックルで固定します。



2. シートベルトを巻き込み、チャイルドシートを Model S の座席にしっかり押し込みながらシートベルトの緩みを完全に取り除きます。
3. チャイルドシート製造元の指示通りに上部テザーストラップを取り付けます（トップテザーストラップを取り付ける ページ 43 参照）。

ISOFIX 対応チャイルドシートの取り付け

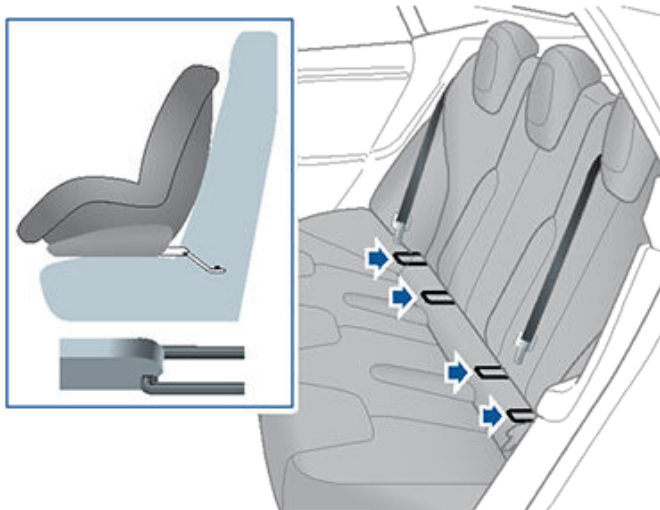
下側の ISOFIX/i-サイズアンカーは、後列の窓側座席に用意されています。座席の背もたれとクッションの間にあります。各アンカーの正確な位置は、下図に示すようにチャイルドシート識別ボタンによって識別されます。このボタンは座席の背面にあり、対応アンカーの真上に位置しています。



ISOFIX/i-サイズチャイルドシートは後列の窓側座席にだけ取り付けてください。シート中央にはシートベルト保持式のシートだけを使用します。



ISOFIX/i-サイズのチャイルドシートを取り付けるには、チャイルドシートメーカーの取扱説明書をよく読み、その指示に従ってください。取り扱い説明書には、チャイルドシートを座席アンカーバーに所定の位置まで「カチッ」というまでスライドさせる方法が記載されています。チャイルドシートをシートの背もたれにしっかりと押し付け、ぴったりと収まるようにする必要があります。



お子さまを座らせる前に、チャイルドシートの取り付けに緩みがないことを必ず確認してください。片手でチャイルドシートの前面を掴んで、次を行ってください。

- チャイルドシートを横方向に揺らします。
- チャイルドシートを前後方向に揺らします。

チャイルドシートが座席から動いて離れるようだと、両方のラッチがシートのアンカーバーにしっかりと取り付けられていません。再度付け直してください。チャイルドシートのあるラッチの両方が完全に取り付けられていることを必ず確認してください。

⚠ 警告: お子さまの体重とチャイルドシートの重量を合わせて 33 kg を超えるような状況で、ISOFIX/i-サイズのアンカーをチャイルドシートやシートベルト内蔵のブースターシートに使用しないでください。

トップテザーストラップを取り付ける

トップテザーストラップがある場合は、そのフックを後部座席の背にあるアンカーポイントに取り付けます。

注: アンカーの位置はすぐに目の付くところがないため、シート布地の切れ目を探してください。

⚠ 警告: チャイルドシートの製造元の説明書に従い、トップテザーストラップを締め付けてください。

⚠ 警告: シートベルト保持式シートは必ず中央席に取り付けてください。

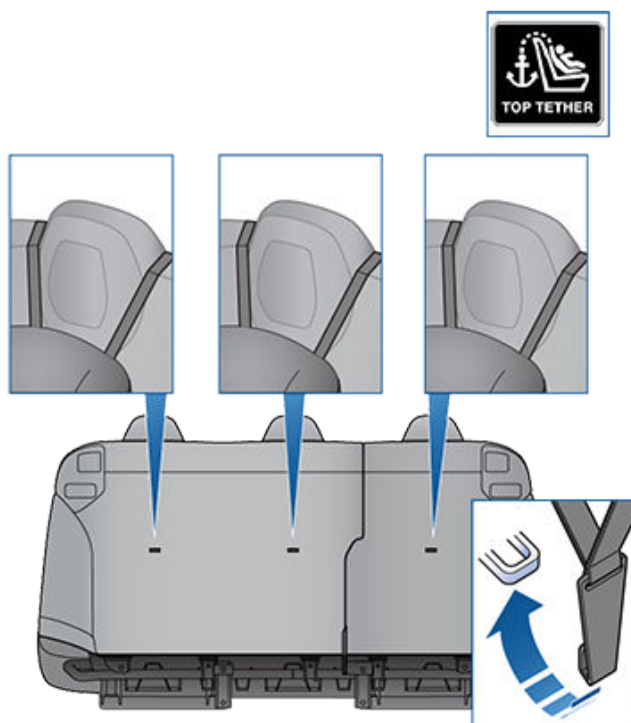
デュアルストラップテザーでは、ヘッドサポートの両脇にストラップを通します。



座席の背もたれに密着して離れないようにチャイルドシートを調節します。チャイルドシートが座席にぴったりと固定されていることを確認してください。



チャイルドシート



シングルストラップテザーは常にヘッドサポートの上を通すようにしてください。

注: シングルストラップテザーが横方向に動くのを防ぐため、ヘッドサポートの上部が変形します。

チャイルドシートをテストする

チャイルドシートにお子さまを座らせる前に、チャイルドシートの取り付けに緩みがないことを必ず確認してください。

1. ベルトごとチャイルドシートをつかみ、前後左右にスライドさせてください。
2. シートが 2.5 cm 以上動く場合は、取り付けが不十分です。ベルトの長さを調節するか、ISOFIX/i-サイズチャイルドシートの場合は取り付けをやり直します。
3. 緩みが残る場合は、取り付け位置を変えるか、または別のチャイルドシートに替えてください。

チャイルドシート警告

- 警告:** 助手席ヘッドエアバッグが ON になっているときは、お子さまを乳幼児用または小児用チャイルドシートで助手席に乗車させないでください。大けがまたは死亡事故につながる可能性があります。
- 警告:** 作動可能状態のエアバッグで保護されている座席上で後ろ向きチャイルドシートを使用するのは絶対に避けてください。大けがまたは死亡事故につながる可能性があります。サンバイザーにある警告ラベルをお読みください。

- 警告:** チャイルドシートシステムは、膝ベルト、あるいは 3 点式シートベルトの腰部分で車両のシートに固定するように作られています。チャイルドシートが適切に車両に固定されていないと、衝突時にお子さまが危険になります。
- 警告:** 衝突事故に関する統計によると、前席よりも後席で正しくシートベルトをしている方がより安全です。
- 警告:** お子さまが体重 9 kg 以下で自分一人では座れない場合は、前向きチャイルドシートの使用は避けてください。2 歳以下のお子さまは背骨と首の発達が十分でなく、正面からの衝撃による負傷を避けることができません。
- 警告:** 小さいお子さまを大人の膝上に乗せるのは避けてください。常にお子さまに合ったチャイルドシートで保護する必要があります。
- 警告:** タッチスクリーン上のシートベルトリマインダーは身体の小さな乗員やチャイルドシートが正しく固定されていることを確認するための代わりにはなりません。乗員センサーは、身体の小さな乗員やチャイルドシートを識別できないことがあります。
- 警告:** お子さまの安全な着座を確実にするため、本書およびチャイルドシートの取扱説明書に記載されている全ての指示に従ってください。
- 警告:** お子さまはできるだけ長い間、5 点式統合ハーネス使用の後ろ向きチャイルドシートに着座させる必要があります。
- 警告:** チャイルドシートまたは補助シートの取り付けに使用されているシートベルトに対して、シートベルトエクステンダーは使用しないでください。
- 警告:** より大きいお子さまを着座させる場合は、頭部が支持され、シートベルトが適切に調整され、しっかり着用されていることを確認してください。肩ベルトは顔および首から離れている必要があります。また、腰ベルトが腹部にかからないようにする必要があります。
- 警告:** 2 つのチャイルドシートを 1 つのアンカーポイントに取り付けることは絶対に避けてください。万一衝突事故が発生した場合、1 つのアンカーポイントでは 2 つのシートを支えきれない可能性があります。
- 警告:** チャイルドシート固定アンカーは、チャイルドシートが正しく取り付けられた状態で受ける荷重にのみ耐えられるように設計されています。大人用のシートベルトやハーネスとして使用したり、他の物や機器を固定するためには使用しないでください。
- 警告:** ハーネスやテザーストラップが損傷したり摩耗したりしていないか、必ず点検してください。
- 警告:** お子さまがチャイルドシート内にしっかり固定されている場合でも、お子さまのそばから離れないようにしてください。
- 警告:** 衝突事故の際に使用していたチャイルドシートは絶対に再使用しないでください。チャイルドシートの検査や取り替えはチャイルドシートの取扱説明書に従って実施してください。

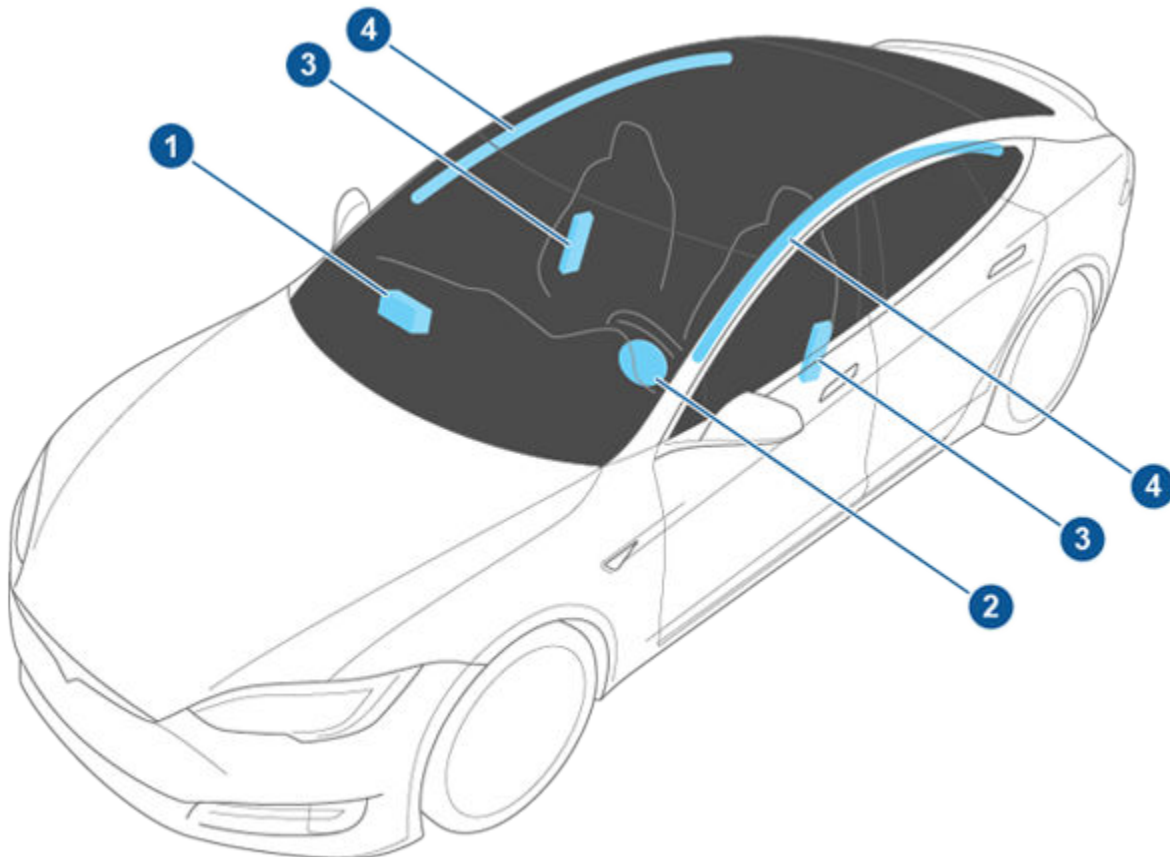


エアバッグの位置

エアバッグは以下のように適切な位置に設置されています。エアバッグについての注意事項は、サンバイザーに表示されています。

Model S は、両方の指定された前席位置に、エアバッグと肩および腰ベルト（シートベルト アセンブリとも呼ばれます）を装備しています。エアバッグは、これらの座先位置での補助拘束装置です。事故が起きたときの大けがや死亡のリスクを最小限に減らすため、座席にエアバッグが装備されているかどうかに関わらず、ドライバーを始めすべての乗員は、必ずシートベルトを着用してください。

注: 右ハンドル車では、助手席と運転席のエアバッグの位置が逆になります。



1. 助手席用フロント エアバッグ
2. 運転席用フロント エアバッグ
3. シート搭載サイドエアバッグ
4. カーテン エアバッグ

エアバッグの動作

エアバッグはセンサーが衝撃を検知して展開開始値を超えると膨張します。これらの展開開始値により、エアバッグが乗員を保護するタイミングで開けるよう衝撃の重大度を予想します。エアバッグは、大きな力で瞬時に展開し、大きな音を立てます。展開したエアバッグは、シートベルトとともに乗員の体の動きを制限し、けがのリスクを低減させます。

通常、フロントエアバッグは追突、横転、側面衝突、急ブレーキ、悪路の走行では展開しないように設計されています。同様に、フロントエアバッグは軽度の正面衝突、乗り上げ衝突、細い物体（ポールや樹木など）への軽度の衝突など、すべての正面衝突で展開するわけではありません。車体の外見が大きく変形してもエアバッグが展開しないことがあったり、逆に構造的な損傷の場合には比較的軽微な破損でもエアバッグが展開することがあります。したがって、衝突後の車両の外観から、フロントエアバッグが膨らんだかどうかを判断することはできません。

⚠ 警告: 障害者に対応するために、エアバッグシステムに影響が及ぶ可能性があるように車両を改造する場合、事前にモバイルアプリを使用してサービス予約してください。

エアバッグの種類

Model S は、次のような種類のエアバッグを装備しています。

- ・フロントエアバッグ: フロントエアバッグは、助手席に乗車した大きなお子さまや大人を最大限に保護できるように設計されています。すべての注意事項や指示に従って、助手席にお子さまを乗せてください（地域で許可されている場合）。
- ・シート搭載式サイドエアバッグ: 前席に取り付けられたサイドエアバッグは、骨盤と胴の胸部を守るのに役立ちます。運転席の内側にあるシート搭載式エアバッグは、頭部と胴体を保護します。車両の衝突側と非衝突側の両方のシート搭載式エアバッグは、重度の側面衝突または重大なオフセット正面衝突の場合に膨らみます。
- ・カーテンエアバッグ: カーテンエアバッグは頭部を保護します。車両の衝突側と非衝突側の両方に取り付けられているカーテンエアバッグは、重度の側面衝突を受けた場合、または車両が横転した場合のみに膨らみます。

エアバッグ ステータス インジケーター

助手席フロントエアバッグの状態は、タッチスクリーンに表示されます。



助手席フロントエアバッグが OFF の場合、助手席エアバッグ OFF インジケータがタッチスクリーンに表示されます。助手席側のフロントエアバッグが OFF の場合、衝突が起きてもエアバッグは展開しません。このインジケータは、座席に乗員がいないときでも表示されます。チャイルドシートを助手席に取り付けて運転する場合（地域で許可されていれば）、助手席フロントエアバッグのステータスが OFF になっていることを必ず慎重に確認してください。

注: 2019 年 12 月ごろより前に製造された車では、助手席に人が座っていない場合、助手席エアバッグ OFF インジケータは表示されません。



助手席に乗車する大人の安全を守るために、必ず助手席フロントエアバッグを ON にしてください。助手席側のエアバッグが ON の場合、衝突が起きるとエアバッグが展開します。



エアバッグシステムが故障している際は、計器クラスターのエアバッグインジケータが点灯したままになります。このインジケータが点灯するのは本来 Model S を始動したときだけで、そのときは数秒で消灯します。点灯したままになる場合、モバイルアプリを使用してただちにサービス予約をし、運転をしないでください。



⚠ 警告: お子さまを助手席に座らせることが現地の法で許可されている場合、ドライバーが責任を持って、助手席フロントエアバッグが OFF になっていることを確認してください。チャイルドシートやブースターシートを使用する場合でも、エアバッグが作動する状態の助手席にお子さまを座らさないでください。お子さまがけがをしたり死亡事故につながる危険性があります。

助手席のフロントエアバッグをコントロールする

お子さまが助手席に乗っている場合（チャイルドシートまたはブースターシートでも）、衝突時にお子さまが怪我しないように**助手席のフロントエアバッグを無効にしなければいけません**。助手席にチャイルドシートを装着する前に、車両がパーキングにシフトしていることを確認してから、「コントロール」>「安全」>「助手席用フロントエアバッグ」の順にタッチして、助手席フロントエアバッグスイッチを OFF に切り替えます。

注: 助手席用フロントエアバッグのコントロールにアクセスするには、助手席に人が座っていないことを確認してください。乗員センサーが重さ（人、チャイルドシート、物体など）を検出していると、コントロールは灰色に表示されます。**助手席用フロントエアバッグをオンまたはオフにする前に、シートから重さの原因になっているものを取り除く必要があります。**

注: Model S は静電容量式のタッチスクリーンを搭載しており、手袋をしている場合は、タッチしても反応しないことがあります。タッチスクリーンが反応しない場合は、手袋を外すか、指先に導電性の素材を使った専用の手袋を着用してください。



⚠ 警告: 手動で助手席のフロントエアバッグを無効にしたときは、助手席に大人の乗員が座るときに乗員を保護するために必ず再度手動で有効する必要があります。



⚠ 警告: 助手席側エアバッグが前述の重量しきい値に基づいて予測される通りに ON/OFF 動作しない場合は、モバイルアプリを使用してただちにサービス予約をしてください。



警告: 助手席フロント エアバッグをオンにしたまま、お子さまを前列助手席には座らせないでください。大怪我または死亡事故につながる可能性があります。お子さまを助手席に乗せて運転する前に、助手席用フロント エアバッグが OFF になっていることを確認することはドライバーの責任です。

警告: 助手席側フロント エアバッグ、または助手席側フロント エアバッグのタッチスクリーン コントロールが機能していないと思われる場合（たとえば、助手席用フロント エアバッグをオフにしたにも関わらずエアバッグステータス インジケータがオンになっていたり、またはその逆の場合だったり、またはエアバッグをオンまたはオフにするためのタッチスクリーン コントロールが灰色で表示されている場合など）は、助手席に人を座らせないでください。モバイル アプリを使用してただちにサービス予約をしてください。

正確な乗員感知を確認する

正確に助手席の乗員を感知するために、乗員は次のことを行う必要があります。

- ・シートベルトを着用する。
- ・シートクッション中央に真っすぐに座り、背もたれに肩を付け、正面のフロアに足を快適に伸ばします。適切な座位置と不適切な座位置の例 ページ 47 を参照してください。
- ・シートクッションの座位置を維持し、体重をシートから浮かせるようなことはしません（例：フロアを足で押したり、センターコンソールやアームレストを押して持ち上げたりすること）。
- ・厚く湿った衣類やかさばる衣類（スキーウェアやパッド入りの衣類）を着用しないでください。

上記事項に加えて、以下のような状況では乗員識別システムの精度に悪影響を及ぼす可能性があります：

- ・助手席にラジオ送信器（例：狩猟用ラジオまたはトランシーバー）を置くこと。
- ・助手席のクッションに AC/DC インバータまたはインバータから電源を取るデバイス（例：携帯電話、タブレット、パソコン）を置くこと。
- ・チャイルドシートを取り付けているときに座席に液体（ペットボトル飲料など）や食品の容器を置くこと。
- ・シート下に格納されている物、または背もたれとクッションの間に挟まっている物。
- ・シートに重い物（書類鞆や大きなハンドバッグ）を乗せること。
- ・シートの積み荷が妨げになる。
- ・カバー、マット、毛布など、シートと乗員の間に取り付けられている、または置かれている市販品。

こういった状態の場合、乗員センサーと干渉することがあります。上記の可能性を排除してもなお、エアバッグの状態が不正であれば、乗員にはリアシートに座ってもらい、モバイル アプリを使用してサービス予約をしてください。

注: 助手席の乗員センサーは、助手席のフロント エアバッグおよびサイド エアバッグの動作に関与しています。

警告: 上記の指示に従わないと、乗員識別システム（OCS）に悪影響を及ぼし、重傷や死亡を招く恐れがあります。

警告: 助手席のエアバッグが思うようにオン/オフに変わらない場合、助手席に人を乗せないでください。モバイル アプリを使用してサービス予約をする。

警告: 乗員感知システムの精度を確保するために、前列助手席を改造したり、シート カバーを使用したりしないでください。シートの改造やシート カバーの使用は、衝突の際、シートに取り付けられているサイド エアバッグの展開を阻害する可能性があります。また、乗員識別システムの精度が低下する可能性もあります。

適切な座位置と不適切な座位置の例

適切な座位置：



不適切な座位置 - 乗員の足がフロアに着いていないといけない：



不適切な座位置 - 乗員はシートクッションで前のめりになってはならない：



エアバッグ



不適切な座位置 - 車両が動いているときに乗員は背もたれを寝そべる位置まで後方に倒してはならない:



エアバッグ展開の影響

警告: エアバッグが展開するときは微粉末が放出されます。この粉末には皮膚に刺激を与える成分が含まれるため、目、切り傷や擦り傷に付着した際は、流水で完全に洗い流すようにしてください。

展開したエアバッグは収縮し、乗員にクッション効果を及ぼすと同時に、ドライバーの前方の視界が遮られないようにします。

エアバッグが展開したとき、あるいは車が衝突したときは、必ずエアバッグとシートベルトのプリテンショナー、その他関連部品をチェックし、必要であれば Tesla に交換を依頼してください。

衝突時には、エアバッグの膨張に加えて以下のようなことが起こります。

- ドアがアンロックされ、ドアハンドルがせり出します。
- ハザード警告灯が点灯します。
- 室内灯が点灯します。
- 高電圧が無効化されています (高電圧電力を回復させるために、モバイル アプリを使用してサービス予約をしてください)

- 窓が換気位置になります。
- 車両はブレーキがかかって停止します。

注: かかった衝撃や力の具合によっては、衝突の際にドアがロック解除しなかったり、損傷によってドアが開かなかったりする可能性があります。こういった場合、車内側の手動リリースでドアを開いたり、その他の脱出方法 (他のドアから脱出する、窓を破るなど) を用いる必要があります。

エアバッグについてのご注意

警告: エアバッグの上や近くに物を置くと、車両がエアバッグが膨らむほど強く衝突した際に怪我をすることがありますので置かないでください。

警告: 衝突時の大けがや死亡のリスクを最小限に減らすため、座席にエアバッグが装備されているかどうかに関わらず、ドライバーを始めすべての乗員は、必ずシートベルトを着用してください。

警告: フロントシートの乗員は、展開したエアバッグが破裂してけがをすることがありますので、エアバッグモジュールの上に腕を載せないでください。

警告: Model S にシートカバーを使用しないでください。使用すると衝突発生時にシート搭載サイドエアバッグの膨張が制限される可能性があります。乗員感知システムが装備されている場合は、その精度およびの精度が低下する恐れもあります。

警告: エアバッグはかなりの速度と力で展開し、それによってけがをすることがあります。けがを減らすため、乗員は必ずシートベルトを着用し、できるだけシートを後ろへ引いて正しく座るようにしてください。

警告: 地域の法令で許可されていない限り、助手席にお子さまを乗せないでください。地域のすべての法令に従い、お子さまの体重、身長、年齢に適した方法でお子さまを座らせてください。後列座席に乳幼児や小さなお子さまを安全に座らせてください。エアバッグが作動するシートには、後ろ向きのチャイルドシートで乳幼児やお子さまを座らせないでください。エアバッグが展開したときに、重傷や死亡につながる可能性があります。

警告: サイドエアバッグが正しく展開するように、乗員の胴体と Model S の側面の間のすきまをふさがないでください。

警告: 助手席に座る人はドアに頭をもたれかけないでください。カーテンエアバッグが展開したときに、けがをすることがあります。

警告: 乗員は、エアバッグの上または近くに足、ひざなど、体の一部を置いてエアバッグの作動を遮らないようにしてください。

警告: ヘッドエアバッグの上または近く、フロントシートの横、車両側面のヘッドライナー、エアバッグカバーなどには、物を取り付けたり置いたりしないでください。エアバッグの展開が妨げられる可能性があります。これらには、ハンドルカバー、デカール、シートクッション、枕などが含まれます。車両がエアバッグが展開する原因となるほど激しく衝突をした場合、物体が重傷の原因となる可能性があります。

警告: 展開したエアバッグは部分的に熱くなっています。熱がさめるまで、手で触れないでください。



Tesla モバイル アプリにより、Model SiPhone®または Android™携帯端末とリモート通信することができます。

注: 上記のリストは Tesla モバイル アプリで利用可能な機能を完全に表しているものではありません。新機能や改良機能にアクセスするためには、最新バージョンのモバイルアプリがリリースされたらすぐにダウンロードしてください。

モバイル アプリを使用する方法

Tesla モバイル アプリで Model S との通信をセットアップするには:

1. Tesla モバイル アプリをお使いのスマートフォンにダウンロードします。
2. Tesla アカунツの認証情報を入力して、Tesla モバイル アプリにログインします。
3. 「コントロール」 > 「安全」 > 「モバイル アクセスを許可」の順にタッチして、Model S へのモバイル アクセスを有効にします。

モバイルアプリが車両とリモート通信できるようにするには、スマートフォンおよび車両が両方とも携帯電話サービスまたは Wi-Fi に接続されている必要があります。屋内の駐車ガレージなど携帯電話サービスが制限されている場所や携帯電話サービスが利用できない場所に駐車する場合、Tesla では、常にすぐに利用できる物理キーを携帯することを推奨しています。

携帯電話が Model S にキーとしてペアリングされ、車両の近くにある場合は、Bluetooth 経由でもモバイルアプリのコマンドが使用できます。

注: 携帯電話の通信接続が制限されていたり、予備キーが利用できないなど、保証対象外の問題のために Tesla のロックアウトアシスタンスが必要な場合にかかる費用は、ロードサイドアシスタンスポリシーの保証対象になりません。

注: Tesla は、Model S との連絡に第三者アプリを使用することをサポートしていません。

Apple Watch 用モバイル アプリ

お持ちの Apple Watch でモバイル アプリを使用することもできます。

Apple Watch 用の Tesla モバイル アプリの使用条件:

- Apple Watch Series 6、Apple Watch SE 2、Apple Watch Ultra 1、またはこれ以降の Apple Watch で watchOS 11.0 以降を有するもの。
- 車両ファームウェア バージョン 2024.44.25 以降。
- Tesla モバイル アプリ バージョン 4.39.5 以降。

お持ちの Apple Watch で Tesla モバイル アプリを使用する前に、お持ちの iPhone および Apple Watch が利用可能な最新のソフトウェアバージョンに更新されていることをご確認ください。Tesla モバイル アプリをお持ちの Apple Watch に追加するには、お持ちの iPhone で Watch アプリを使用してください。

Tesla Apple Watch アプリを使用すると、Model S のロック/ロック解除、トランク、およびフロントトランクを開くことができます。

さらには、携帯電話をキーとして使用する場合と同様に、お持ちの Apple Watch をキーとして使うことができます。詳細な情報は、[#unique_166 ページ](#) を参照してください。

概要

電話機と車両の両方でインターネット サービスが使用できる場合、Tesla モバイル アプリのホーム画面で以下のことができます。

- 車両をロック/ロック解除する。
- 暖房または空調を有効または無効にし、キャビンの空調を監視します。
- 車両の充電情報を確認します。充電ケーブルを差し込んでも、充電の詳細情報が表示されます。
- 充電ポートの開閉。

注: バッテリー アイコンの隣にあるねじられた赤い線は、バッテリーが能動的に加熱されていることを示します (充電中や充電準備中を含む)。

- 車両の位置を確認します。
- 車両の推計航続距離を表示。
- フロントトランクを開きます。
- 車両のオドメーター、VIN、現在のファームウェア バージョンを確認します。

メディア設定がモバイル アプリに表示され、車両で現在再生されているメディアを一時停止、再生、巻戻し、早送り、および音量調整します。「オーディオ設定」 > 「オプション」 > 「モバイル制御を許可」の順にタッチしてメディア設定を有効にする必要がある場合があります。

車両がスーパーチャージャーで充電中の場合は、充電セッションに関する情報を「ライブ アクティビティ」として iPhone またはペアリングされた Apple Watch で直接確認することもできます。

注: 「ライブアクティビティの充電」には、モバイルアプリバージョン 4.45.0 以降と iOS 17.2 以降を搭載した iPhone が必要です。

サポート対象の動画ソースは、モバイルアプリのリンクを共有して動画を Tesla シアターに送信します。スマートフォンで再生したい映画、番組、ビデオに進み、共有ボタンにタッチします。Tesla アプリで動画を共有すると、Model S が駐車中の場合は、タッチスクリーンに動画が表示されます。

プロフィール

最上部の角部にある「プロフィール」タブでは以下のことが可能です。

- Tesla アカウンツを複数の車両に関連付けている場合は、車両を切り替えます。
- Tesla ショップに移動します。



モバイル アプリ

- アカウント情報を管理して、注文履歴を表示します。
- セキュリティ アラームがトリガーした場合のカレンダーの同期、充電のアップデート、新しいソフトウェアのアップデートなど「設定」タブで受信する通知を表示してカスタマイズします。離れた場所からアップデートを開始し、進行をチェックすることができます。

「コントロール」

「コントロール」タブでは次のことが行えます。

- フロントまたはリアのトランクを開く。
- 遠隔からの Model S のロック、アンロック。
注: モバイル アプリからロック解除している場合、車両は自動的に再ロックしません。
- 充電ポートの開閉。
- Model S の駐車場所を見つけるために、ライトを点滅させたり、ホーンを鳴らす。
- キーレスドライブを有効にする。
- ウィンドウを換気する。

空調

車内温度を確認して、運転開始前に（車庫にある場合でも）キャabinを冷暖房し、シートヒーターを制御し、フロント ガラスの霜取りを行なうことができます。

- デフロストを有効または無効にすると、画面の下から上にスワイプすることで、フロントガラス、ウィンドウ、およびミラーの雪、氷、霜を溶かすことができます。
- サンルーフを開け閉めします。
- キャabinを希望の温度に予め調節し、ハンドルおよびシートヒーター（装備されている場合）をオンまたはオフにします。

モバイル アプリで Model S の温度調整を行うと、必要に応じてバッテリーも暖められます。モバイル アプリは、車両が希望するプレコンディショニング温度に達したことを知らせます。

注: 極端な寒冷時や凍結するような状況では、充電ポートラッチがそのまま凍ることがあります。充電ケーブルの抜き差しができない場合、または留め金が凍結しているため車両の高速充電が行えない場合、Tesla モバイル アプリを使用し、約 30~45 分間、事前に車両の温度設定を「HI」にしてください（車両の事前調整のためにはモバイル アプリの使用が必要です。タッチスクリーンからは温度を「HI」に設定できません）。この結果、充電ポートラッチの氷が溶けて、充電ケーブルの抜き差しができるようになります。

位置

注: 一部の機能は、すべての地域で利用できない場合があります。

マップ上で Model S の位置と方向を特定し、動きを追跡する。

Tesla モバイルアプリで住所を入力してナビゲーションを開始したり、旅行の計画を立てたりし、その旅程を Model S に送信することもできます。Tesla モバイルアプリは、運転と充電にかかる時間を最小限に抑えるためのルートを選択し、必要な充電時間も提示します。「旅程を編集」をタッチすると、立ち寄り地点の変更や並べ替えが可能です。

「出発時のエネルギー量を設定」をタッチすると、旅行開始時の想定バッテリー残量を指定できます。

出発時のエネルギー量に応じて、充電ポイントを追加または調整することもできます。詳細な情報は、[トリッププランナー ページ 136](#) を参照してください。

サモン

サモン（[サモン ページ 100](#) を参照）またはスマート サモン（[スマート サモン ページ 102](#) を参照）を使用して Model S の駐車および呼び出しができます。

予約

予約充電または出発予定時刻を有効にし、車両をプレコンディショニングします。詳細情報については、[プレコンディショニングと充電の予約 ページ 153](#) を参照してください。予約充電または出発予定時刻は設定した場所に基づいて保存することができます。

将来のためにライトショーを計画することもできます。ライトショーの詳細については、[シアター、アーケード、おもちゃ箱 ページ 140](#) を参照してください。

セキュリティ

「セキュリティ」タブでは次のことを実行できます。

- セントリー モードを有効/無効に設定する（[セントリーモードの使い方（USB フラッシュドライブあり） ページ 120](#) を参照）。
- バレーモードを有効/無効に設定する（[バレーモード ページ 81](#) を参照）。
- 速度制限モード使い、車両の走行速度が選択した最大速度まで約 5 km/h に近づいたときに通知を受け取る機能を有効または無効に設定します（[速度制限モード ページ 117](#) を参照）。

アップグレード

フルセルフドライビング機能など、利用可能な最新のアップグレードを確認し、購入できます。

サービス

モバイル アプリでサービスを予約する方法については、[サービスを予約する ページ 158](#) を参照してください。

ロードサイド

ロードサイドのリソースを表示し、(該当すれば) ロードサイドアシスタンスをリクエストします。ロードサイドアシスタンスに関する詳細については、[Tesla ロードサイドアシスタンスに連絡する ページ 187](#) を参照してください。

2 人目のドライバーへのアクセス許可

Tesla モバイル アプリから別のドライバーへのアクセス許可を追加および削除することができます。

注: Tesla モバイル アプリ バージョン 4.3.1 以降が必要です。
追加されたドライバーは、事前に登録されている Tesla アカウントを使用するか、アプリを使用して新しい Tesla アカウントを作成することができます。

ドライバーを追加するには、Tesla モバイル アプリで車両のホーム画面から「**セキュリティ**」 > 「**ドライバーの追加**」に進み、画面の指示に従います。

注: 追加されたドライバーはアップグレードの購入を除くすべてのアプリ機能にアクセスできます。

アクセスを削除するには、モバイル アプリを使用して「**センター**」 > 「**ドライバーの管理**」の順に進み、画面の指示に従います。

データ接続方法として Wi-Fi が用意されており、携帯電話通信網よりも速い場合も多くあります。Wi-Fi 接続は携帯電話が通じにくい、または通じない地域で特に便利です。ソフトウェアおよびマップのアップデートを速く確実に行うには、可能な限り Model S を Wi-Fi に接続させておくことが推奨されます（例えば自宅で駐車している時間など）。

Wi-Fi ネットワークへの接続方法は以下の通りです。

1. 「**コントロール**」 > 「**Wi-Fi**」の順にタッチします。Model S 圏内にある Wi-Fi ネットワークの検索を開始し、検出されたものを表示します。

注: リストに、既知の Wi-Fi ネットワークが表示されない場合、アクセスポイントに Model S を近づけるか、レンジエクステンダーで感度を上げてください。

注:（使用可能な場合に）5GHz ネットワークに接続している場合、地域でサポートされているチャンネルを確認してください。

サポートされている 5GHz ネットワーク チャンネル

36~48	52~64	100~140	149~165
		✓	

2. 「**Wi-Fi ネットワークを検索中**」で使用する Wi-Fi ネットワークを検索してタップするか、「**Wi-Fi ネットワークを追加**」で手入力により追加し、パスワードを入力（必要な場合）してから「**確定**」にタッチします。接続すると、その Wi-Fi ネットワークには「**既知の Wi-Fi ネットワーク**」と緑色のチェックマークが表示されます。ネットワークの圏内にいるときは、Model S を自動的に接続します。

注: Model S は現在、キャプティブ Wi-Fi ネットワークへの接続をサポートしていません（キャプティブ Wi-Fi は、一般的に公共のホットスポットで使用され、ログインを許可する前にカスタム Web ポータルにアクセスし、サービス条件に同意することが必要です）。

注: 過去に接続したことのあるネットワークが圏内に複数ある場合、Model S は直近に使用したネットワークに接続されます。

注: Tesla サービス センターでは、Model S は Tesla サービス Wi-Fi ネットワークに自動的に接続されます。

診断

診断は、Wi-Fi 接続に関するより詳しい情報や、接続改善のヒントを提供します。アクセスするには、「**Wi-Fi**」 > 「**診断**」に移動するか、ソフトウェアアップデートのダウンロードまたはインストール中に、プログレスバーの下に表示されます。

ホットスポット

Wi-Fi ネットワークを使用する代わりに、モバイル ホットスポットを使用することもできます（料金がかかり、通信会社の制限があります）。運転中も接続を有効なままにしたい場合は、ホットスポットに接続した後に「**運転中に接続を維持**」を選択します。

トラブルシューティングのヒント

車両の Wi-Fi 接続が遅い、または接続に失敗する場合は、以下のヒントを試してください。

- タッチスクリーンで、Wi-Fi アイコンバーの本数（信号強度）を確認します。信号強度が低い場合は、Wi-Fi アクセスポイントを車両の近くに追加して信号を改善することを検討してください。
- タッチスクリーンを再起動します（[タッチスクリーンまたはインストールメントパネルの再起動 ページ 8](#)を参照）。
- Wi-Fi 接続を一旦削除してから、再び接続します。「**コントロール**」 > 「**Wi-Fi**」の順にタッチし、お使いのネットワークを選択して「**ネットワークを登録解除**」を実行し、それから「**既知のネットワーク**」でネットワークを再び選択します。
- 別の Wi-Fi ネットワークを試します。

Bluetooth® 互換性



Bluetooth デバイスがペアリングされていて通信範囲内にある場合、Model S でさまざまな Bluetooth デバイスを使用することができます。例えば、Bluetooth 対応電話機をペアリングして、ハンズフリーで 사용할 수 있습니다。Model S は電話機以外の Bluetooth 対応機器ともペアリングできます。例えば、iPod Touch、iPad、Android タブレットなどをペアリングして音楽を再生することができます。

電話機またはその他の Bluetooth デバイスを Model S で使用する場合、ペアリングが必要になります。ペアリングすることで、Model S はサポートしている Bluetooth デバイスと通信するようにセットアップされます。最大 10 台の Bluetooth 対応電話機をペアリングすることができます。特定の電話機を**優先デバイス**に指定していない場合、または**優先デバイス**に指定されている電話機が通信範囲内にない場合、Model S は常に最後に使用した電話機と接続します（その電話機が通信範囲内にある場合）。別の電話機に接続する場合は**ペアリングされたデバイス間の切り替え ページ 54**を参照してください。

注: 多くの電話では、電話のバッテリー電圧が低下すると、Bluetooth がオフになります。

注: 通常、Bluetooth はおよそ 9 メートルまでの距離の無線通信に対応していますが、通信の性能は使用している電話機やその他のデバイスで異なることがあります。

注: Model S は一度に最大 20 台の Bluetooth デバイスをペアリングできますが、同時に接続できるのは 2 台のデバイス（電話機 1 台とコントローラ 1 台、またはコントローラ 2 台）のみで、それぞれフロント タッチスクリーンとリヤ タッチスクリーン（装備されていれば）に接続できます。



注意: ペアリングされている電話機を車内に置いたままにしないでください（ハイキングやビーチに出かけたときなど）。車内に電話機を置いたままにしなければならない場合は、Bluetooth を無効にするか、電話機の電源をオフにしてください。

電話機または Bluetooth デバイスのペアリング

ペアリングすると、Bluetooth 対応の電話をハンズフリーで使って、電話をかけたり受けたりすることや、連絡先リストまたは最近の通話履歴にアクセスすることなどが可能になります。また、電話でメディア ファイルを再生することも可能になります。登録済みの電話機が通信範囲内にあれば、Model S はその電話機にいつでも接続できます。

1. 電話または Bluetooth デバイスをペアリングするには、Model S の車内に座り、タッチスクリーンがオンになっていることを確認します。
2. 電話機のロックを解除し、Bluetooth を有効にします（通常は電話機の [設定] で行います）。

注: 携帯電話の機種によっては、Bluetooth 設定に進み残りの手順を行う必要があります。

3. タッチスクリーンで、「コントロール」>「Bluetooth」の順にタッチすると、新しいデバイスの Bluetooth スキャンが自動的に開始されます。
4. 電話機が表示されるのを待ってから「接続」にタッチします。
5. 電話に表示される数字がタッチスクリーンの数字と同じであることを確認します。次に、電話機からペアリングすることを確定します。
6. 電話にプロンプトが表示されたら、Model S がカレンダー、連絡先、メディアファイルといった個人情報にアクセスすることを許可するかどうかを指定します（**連絡先と通話履歴のインポート ページ 53**を参照）。ペアリングされると、Model S によって「コントロール」>「Bluetooth」>「ペアリングされたデバイス」の下に電話機が表示されます。

ペアリングされたデバイスの設定を変更するには、「コントロール」>「Bluetooth」>「ペアリングされたデバイス」と進み、デバイス名の横にあるドロップダウンを開きます。

インポートまたは Bluetooth への接続に問題がある場合、詳細について **Bluetooth のトラブルシューティング ページ 54**を参照してください。

2018 年 4 月頃以前に製造された車両の場合、Bluetooth のペアリングに極めて長い時間がかかる場合、「コントロール」>「サービス」>「Bluetooth のリセット」の順にタッチして Bluetooth 機能をリセットします。数分待つ必要がある場合があります。リセットが完了したら Model S へのペアリングを再試行します。Bluetooth をリセットすると、Model S は以前ペアリングしたデバイスを記憶していない場合があります。

連絡先と通話履歴のインポート

電話がペアリングされたら、「コントロール」>「Bluetooth」>「ペアリングされたデバイス」に移動し、デバイス名の横にあるドロップダウンを開いて、電話機の連絡先、最近の通話、テキストメッセージへのアクセスを許可するかどうかを指定します。アクセスを許可している場合は、電話アプリを使用して、連絡先リストや発信履歴に登録のある人に電話をかけたり、メッセージを送信できます（**電話、カレンダー、ウェブ会議 ページ 55**参照）。連絡先をインポートするには、同期を許可するように電話を設定するか、連絡先の同期に関する確認を求める電話のポップアップ画面に応答する必要があります。この方法は使用している電話の種類によって異なります。詳細については、ご使用の電話に付属しているマニュアルを参照してください。

連絡先のインポートまたは Bluetooth を使用したペアリングに問題がある場合、詳細については **Bluetooth のトラブルシューティング ページ 54**を参照してください。

Bluetooth デバイスの切断またはペアリング解除

電話または Bluetooth デバイスを切断してもペアリングしたままにする場合は、タッチスクリーンの Bluetooth 設定ドロップダウンで「切断」にタッチします（「コントロール」>「Bluetooth」>「ペアリングされたデバイス」>「あなたの電話機」）。デバイスを Model S で再び使うことがない場合は、「デバイスの消去」をタッチし、その後の指示に従います。登録を



Bluetooth

解除したデバイスを Model S で使用するには、もう一度そのデバイスをペアリングする必要があります（[電話機または Bluetooth デバイスのペアリング ページ 53](#) を参照）。

注: Model S から離れると、電話機との接続は自動的に切断されます。

ペアリングされたデバイス間の切り替え

Model S は、「優先デバイス」に指定した電話機に自動的につながります。優先デバイスとして電話を設定していなければ、Model S は、前回接続した電話につながります（ただし、その電話が作動範囲にあり、Bluetooth がオンである必要があります）。最後の電話が動作範囲内でない場合、車両は登録されている次の電話との接続を試みます。

別の電話に接続するには、「コントロール」>「Bluetooth」>「ペアリングされたデバイス」の順にタッチします。接続したい電話を選択し、「接続」にタッチします。接続したい電話がリストにない場合は、その電話をペアリングする必要があります。[電話機または Bluetooth デバイスのペアリング ページ 53](#) を参照してください。

接続している場合、Bluetooth 設定画面では電話機名の隣に Bluetooth のロゴが表示され、Model S がその電話機に接続していることを示します。

Bluetooth のトラブルシューティング

車両は Bluetooth および BLE (Bluetooth Low Energy) を使用してスマートフォンを Model S にシームレスに接続します。いくつかの可能性のある要因により、ペアリング プロセスにおいて Bluetooth または BLE が切断され、問題が生じることがしばしばあります。Bluetooth に接続することで、車両は、オーディオ、通話、カレンダーなどの電話機能を使用することが可能になります。

BLE は電話キーなど受動的機能に使用されます。

注: 近くに有効なキーカードがない時に車両と電話機のペアリングを解除したり、電話キーとしての電話機を取り外したりしないでください。

Bluetooth のトラブルシューティングをするには、まずスマートホンを使用して、以下を試してみてください。

スマートホンのトラブルシューティング

スマートホンの設定およびアップデートのせいで、Bluetooth が接続できない。

- 電話機で Bluetooth を有効にします。既に有効になっている場合は、Bluetooth を一旦無効にしてから再び有効にします。
- 機内モードがオフになっていることを確認します。
- 電話機を充電します。電話機のバッテリー レベルが低すぎると、Bluetooth 機能をサポートできない場合があります。
- デバイスを適切にペアリングします。既にペアリングしている場合は、いったんペアリングを解除して再びペアリングしてみます。

- 電話機をメーカーが提供している最新のソフトウェアにアップデートします。
- デバイスの音声システムが、オーディオ出力ソースとして選択されていることを確認します。
- 電話機の設定で Bluetooth が許可されていることを確認します（例: データをオンにするか、Wi-Fi に接続している）。
- 電話機の電源をオフにしてから再びオンにします。
- モバイル アプリで位置の許可が「常にオン」に設定されていることを確認します。

Tesla モバイル アプリのトラブルシューティング

Tesla モバイル アプリを以下のとおり点検します。

- Tesla モバイル アプリのソフトウェアが最新であることを確認します。
- 電話キーを使用しているときに Tesla モバイル アプリにログインしていることを確認します。
- バックグラウンドで Tesla アプリが実行中であることを確認します。
- モバイル アプリでプロフィールを最後まで設定済みであり、設定を適切に構成していることをダブルチェックします。

車両のトラブルシューティング

車両の設定が、スマートホンとのペアリング機能に影響を与える可能性があります。

- Model S を充電します。車両のバッテリー レベルが低すぎる場合、Bluetooth 機能が使用不可になる可能性があります。
- 車両ソフトウェアをアップデートし、ソフトウェアが常に最新のものであることを確認します。「コントロール」>「ソフトウェア」の順に移動して、新しいソフトウェアのアップデートがないか確認します。
- タッチスクリーンを再起動します。[タッチスクリーンまたはインストールメントパネルの再起動 ページ 8](#) を参照してください。
- 車両を再起動します。

依然 Bluetooth が機能していない場合、車両とスマートホンのペアリングを解除します。次に両者を再びペアリングします。

BLE の電話キーに問題がある場合、車両の中で、「コントロール」>「ロック」の順に移動して、「キーとしての電話機」として設定されている電話機を削除します。次に再度、設定を戻します。ただしこれは車内にいて、信頼できるバックアップキー（キー カードなど）を持っている場合に限り行ってください。



電話アプリを使用する



Bluetooth を使用して電話機が Model S に接続され (Bluetooth ページ 53 を参照)、電話の連絡先にアクセスが許可されると (連絡先と通話履歴のインポート ページ 53 を参照)、電話アプリを使用して、電話に登録されている連絡先を表示して、ハンズフリーで電話をかけることができます。

- **通話:** 通話の履歴が時系列順で表示され、最新の通話が最初に表示されます。
- **メッセージ:** メッセージが時系列順で表示され、最新のメッセージが最初に表示されます。テキストメッセージを表示、送信および受信することができます。テキストメッセージを入力する代わりに、ハンドルの右側にあるマイクボタンをタップして、音声の右側にあるマイクボタンをタップして、音声入力機能。



警告: ドライバーが注意散漫となることを最小限に抑え、同乗者や他の道路利用者の安全を確保するために、走行中はテキストメッセージを確認したり送信したりしないでください。走行中は常に道路状況や交通状況に注意を払ってください。

- **「連絡先」:** 連絡先は、アルファベット順で掲載されており、名前または姓でソートできます。また、リストの右側にある文字を選択して、選択した文字で始まる名前にすばやくスクロールすることもできます。連絡先リスト上の名前をタッチすると、連絡先の利用可能な電話番号が、その他の利用可能な情報 (住所など) とともに右側のペインに表示されます。連絡先の電話番号をタッチして電話をかけます。
- **お気に入り:** お気に入りに指定した、電話機の中の連絡先を表示します。
- **カレンダー:** 電話からのカレンダー エントリーを表示します (カレンダー ページ 55 参照)。エントリーに電話番号や住所が含まれている場合、そのカレンダー エントリーの該当する情報にタッチして、電話をかけたり、目的地までのナビをしたりすることができます。

電話をかける

以下の方法で電話をかけることができます。

- 音声コマンドの入力 (音声コマンド ページ 17 を参照)。音声コマンドは、連絡先に電話を掛けたり、テキスト送信するための便利なハンズフリー手段です。
- 右側のスクロールボタンのメニューから連絡先または最近の通話履歴を選択 (ハンドルの右ボタンを使用する ページ 59 を参照)。
- 電話アプリのリストに表示される電話番号にタッチする - 連絡先、通話、カレンダー。
- 電話アプリで Model S のオンスクリーン ダイアラーを使用。

注: 安全上および法令上に問題がない場合は、電話機で直接番号をダイヤルするか、連絡先を選択することによって電話をかけることもできます。

注: 地図上のピンに触れ、ポップアップ ウィンドウで電話番号を選択することにより電話をかけることもできます (利用可能な場合)。

電話に応答する

電話機に着信があると、インストールメントパネルとタッチスクリーンに発信者の番号または名前が表示されます (発信者が連絡先リストに含まれていて、Model S がその連絡先へアクセスできる場合)。

タッチスクリーンのオプションにタッチして、電話に「応答」するか、または「無視」するかを選択します。使用している電話と最新の通話に使用したスピーカーによっては、着信コールに使用したいスピーカーを選択するように求めるメッセージが表示されることがあります。



警告: 道路の状況に常に注意して運転してください。Bluetooth をオンにした状態でも、運転中の携帯電話の使用やプログラミングは深刻な怪我や死亡につながります。



警告: テキスト送信の使用禁止やハンズフリーの使用義務など、運転中の電話の使用に関して適用されるすべての法規に常に従ってください。

通話中オプション

通話中、ハンドルの右側の最上部のボタンを押すことによってインストールメントパネルに通話メニューを表示することができます。右スクロール ボタンを上下に回してオプションを選択します (ハンドルの右ボタンを使用する ページ 59 を参照)。通話音量を調節するには、通話中にハンドルの左側にあるスクロール ボタンを上下に回します。

カレンダー



カレンダーには、スマートフォン (iPhone®または Android™) のカレンダーから送信された当日および翌日分の予定が表示されます。カレンダーは電話アプリに便利に統合されており、カレンダーの予定からミーティングに参加することができます。また、ナビゲーションシステムにも統合されているのでイベントの場所へ移動することができます。

1. 電話機が Model S。
2. Tesla モバイル アプリにログインしていることを確認します。
3. Tesla モバイル アプリで、「プロフィール」 > 「設定」 > 「カレンダー同期」の順にタッチします。

注: カレンダー アプリのすべての機能を利用できるようにするには、モバイル アプリの最新バージョンを使用することを推奨します。

4. 電話キーで、「設定」に移動し、Tesla モバイル アプリとカレンダーを共有するためのアクセスを許可します。そうすれば、カレンダーのデータがスマートフォンから Model S へ定期的 (かつ自動的) に送られるようになります。



電話、カレンダー、ウェブ会議

カレンダー イベントに住所が含まれている場合は矢印が表示されます。住所にタッチすることで、そのイベントの場所までのナビゲーションを行わせることができます。

イベント毎に住所が指定されていて、乗車して運転の準備をしてから2時間以内にイベントが始まる場合、Model S は自動でイベントの住所に経路を指定します ([オートナビゲーション ページ 134](#) 参照)。

予定の情報アイコンにタッチすれば、その予定に関する情報が表示されます。メモに1つ以上の電話番号が含まれている場合、情報アイコンに電話のアイコンが表示され、カレンダーには1番目に検出された電話番号が表示されます。タッチして通話を開始します。予定にあるメモのポップアップウィンドウ内の任意の電話番号をタッチしても通話を開始することができます (これは特に電話会議の通話に便利です)。メモにウェブリンクが含まれている場合、リンクにタッチするとウェブブラウザで開くことができます。



運転を開始

Model S に乗車するためにドアを開くと、インストゥルメントパネルおよびタッチスクリーンの電源がオンになり、すべてのコントロールを操作できます。Model S を運転する：

1. **ブレーキペダルを踏む** - Model S の電源が入り、運転できるようになります。
2. **ギアを選択する** - シフトレバーをドライブまたはリバースにします ([ギアシフト ページ 62](#) 参照)。

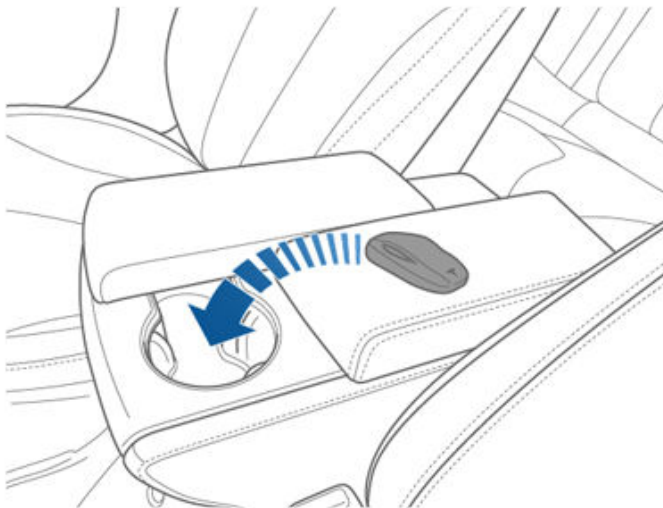
注: 「ドライブ用 PIN」の機能が有効になっている場合 ([ドライブ用 PIN ページ 116](#) を参照)、Model S を運転可能にするには、タッチスクリーンで有効な PIN を入力する必要があります。

Model S の運転に必要な事項はすべてインストゥルメントパネルに表示されます。

キーフォブが車内にない

ブレーキを踏んだときに Model S がキーフォブを検出しない場合、キーフォブが車内にないことを知らせるメッセージがインストゥルメントパネルに表示されます。

このメッセージが表示された場合、ブレーキを踏み、Model S が最も検出しやすいセンターコンソールのカップホルダーにキーフォブを入れてください。



それでも Model S がキーフォブを検出しない場合は、キーフォブをセンターコンソールの低電圧電源アウトレット ([低電圧電源アウトレット ページ 10](#) を参照) の真下に置いて試してください。または別のキーフォブを試します。キーフォブを代えても検出されないときは、Tesla に連絡してください。

Model S がキーフォブを検出できるかどうかには、いくつかの要因が影響する可能性があります。これには、キーフォブのバッテリー残量低下、他の無線デバイスとの干渉、キーフォブと受信機の間に障害物があるなどです。

キーフォブは常に携帯してください。運転終了後も、Model S を停止してから再始動するときにはキーフォブが必要です。また、Model S から降車後、Model S を手動または自動でロックするときにもキーフォブが必要です。

停止

目的地に着いたら、ドライブストック端のボタンを押してギアをパーキングに切り換えます。キーフォブを持って Model S から離れると、その時点で自動的に電源がオフになり、インストゥルメントパネルおよびタッチスクリーンもオフになります。

Model S また、運転席に座っていても、ギアをパーキングに切り換えて 30 分が経過すると自動的に電源がオフになります。

通常は必要な操作ではありませんが、車両が動いていなければ運転席に座ったまま手動で Model S の電源をオフにすることもできます。「コントロール」>「安全」>「電源オフ」の順にタッチします。Model S ブレーキを踏むか、タッチスクリーンをタッチすると、自動的に電源がオンになります。

注: Model S 乗客が車両から降りたこと (例えば、運転席シートベルトが装着されておらず、車両がほぼ停止している) を検知すると自動的にパーキングにシフトします。ニュートラルにシフトする場合、ドアを開けて車から降りると Model S はパーキングにシフトします。Model S をニュートラルにしておく方法については、[車両輸送者向け注意事項 ページ 184](#) を参照してください。

車両でパワーサイクリングを行う

異常な挙動を示す場合や、意味のない警告が表示される場合、Model S の電源を入れ直すことができます。

注: タッチスクリーンが反応しない、または異常な動作を示している場合は、車両の電源を再投入する前にタッチスクリーン再起動してください ([タッチスクリーンまたはインストゥルメントパネルの再起動 ページ 8](#) を参照)。

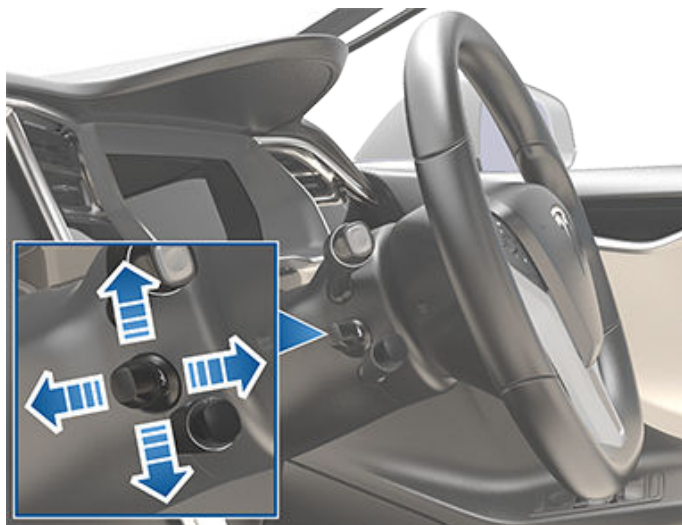
1. パーキングにシフトします。
2. タッチスクリーンで、「コントロール」>「安全」>「電源オフ」の順にタッチします。
3. 車両のどこにも触らないようにして、最低 2 分程度待ちます。ドアを開けたり、ブレーキペダルを踏んだり、タッチスクリーンを操作したりしないでください。
4. 2 分後、ブレーキペダルを踏むか、ドアを開けて車両を起動します。



ステアリングホイールの位置を調整する

シフトレバーの左側にあるノブを動かしてハンドルを好みの運転位置に調整します。このノブで、ステアリングホイールを前後上下に動かすことができます。

注意: ハンドルにアルコール系の手指消毒剤、ローション、日焼け止め、その他の製品が直接付着しないようにしてください。詳細情報については、[ハンドル ページ 166](#) を参照してください。



警告: 運転中には調整しないでください。

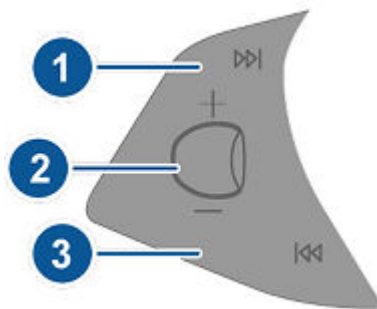
ハンドルの重みの調整

ステアリングシステムの感触と感度をお好みに合わせて調整できます。

1. タッチスクリーンで「コントロール」>「ペダル&ハンドル」>「ハンドルの重さ」の順にタッチします。
2. ステアリングのオプションを選択します。
 - 「軽い」: ハンドルを楽に回せます。この設定にすると、市街地での Model S の運転と駐車が容易になります。
 - 「標準」: ほとんどの条件で最適な操作性と応答性が得られる Tesla が推奨する設定です。
 - 「重い」: ハンドルを回すのに必要な力が増します。高速で運転する際に Model S の応答性がよくなります。

ハンドルの左ボタンを使用する

ハンドルの左側のボタンを使用して、ラジオ局を変更したり、メディア プレーヤーの音量を調整したり、インストゥルメントパネルの左側に表示される情報を変更したりすることができます（ナビゲーション アプリに指示が表示されていない場合）。



1. 次へ

地上波ラジオまたは衛星ラジオを聞いており、複数のラジオ局がプリセットにある場合、このボタンを押すと現在再生中のラジオ局の次にあるプリセットを再生します。複数のプリセットが設定されていない場合は、このボタンを押すと次に受信可能な周波数へ移動します。

インターネット ラジオ、接続している Bluetooth 機器または USB 機器のオーディオ ファイルを聞いているときにこのボタンを押すと、次の曲またはラジオ局へスキップします。

複数のお気に入り登録されている場合は、長押しするとお気に入り切り替えを表示します。

2. スクロール ボタン

- 上または下に回してメディアの音量を調整します。

注: スクロール ボタンは、使用中のメディア、ナビゲーション指示、および電話通話の音量を調整します。メディア、ナビゲーション、電話のいずれかの音量を調整すると、インストゥルメントパネルに音量レベルが表示されます。

- メディアの音量をミュートしたり、オーディオ ファイルを一時停止/再生したりするには、スクロール ボタンをタップします。
- インストゥルメントパネルの左側に表示される情報を選択するには、スクロール ボタンを押し続けて利用可能なオプションを表示します。スクロール ボタンを回転して「表示しない」、「車両の状態」、「時計」、「メディア」、「エネルギー」または「走行データ」、「サスペンション」などを選択します。希望するオプションがハイライト表示されたらスクロール ボタンをタップします。

注: オプションで選択した左スクロール ボタンの表示設定は、手動で変更されるまで保持されます。

注: 車両の状態では、ドアやトランクなどの開閉状況や、新しい車両ではタイヤ空気圧などの情報が表示されます。

3. 戻る

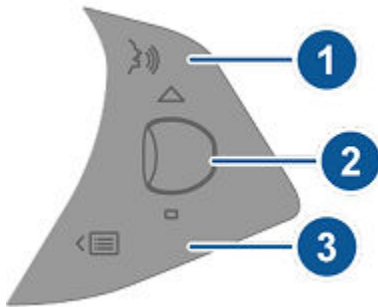
前の曲またはラジオ局へスキップする点を除いて、操作方法は上記の「次へ」と同じです。複数のお気に入り登録されている場合は、長押しするとお気に入り切り替えを表示します。

注: インストゥルメントパネル左側がどのようにカスタマイズされても、Model S がドライブまたはリバースに入っているときは、ナビゲーションの案内（該当する場合）や、ドアやトランクが開いていることを自動的に表示します。

ハンドルの右ボタンを使用する

ハンドルの右側にあるボタンを使用して、通話中に通話オプションにアクセスしたり、インストゥルメントパネルの右側に表示されるものを選択したり、Model S 機能の調整や、音声コマンドの利用ができます。

注: 電話を受信中または発信中は、インストゥルメントパネルの右側に自動的に通話オプションが表示され、Bluetooth 接続されている電話の通話を簡単に操作できます。



1. 押すと音声コマンドを使用して連絡先にある番号に電話をかけたり、ナビゲートさせることができます。トーンが聞こえたら、認識させたいコマンドを話します。詳細は[音声コマンド ページ 17](#)を参照してください。

2. スクロール ボタン

- 通話中に、スクロール ボタンをタッチして通話オプションを表示させ、通話中に利用できるアクションを使用することができます。
- スクロール ボタンを回転させると、機能リストの中から最近選択した機能を並べ替えることができます（「メニュー」ボタンを参照）。
- インストゥルメントパネルの右側に表示される情報を選択するには、スクロール ボタンを押し続けて利用可能なオプションを表示します。スクロール ボタンを回転して「表示しない」、「車両の状態」、「時計」、「メディア」、「エネルギー」または「走行データ」、「サスペンション」などを選択します。希望するオプションがハイライト表示されたらスクロール ボタンをタップします。

注: 車両の状態では、ドアやトランクなどの開閉状況や、新しい車両ではタイヤ空気圧などの情報が表示されます。

注: オプションで選択した右スクロール ボタンの表示設定は、手動で変更されるまで保持されます。

- タッチスクリーンを再起動するには、両方のスクロール ボタンを約 5 秒長押ししてください。[タッチスクリーン](#)または[インストゥルメントパネルの再起動 ページ 8](#)を参照してください。

- サスペンション。** 変化する路面状況に合わせて、サスペンションシステムで各ホイールのダンピングが動的に調整されている状態をリアルタイムで視覚化できるようになりました。スクロール ボタンを回転して、「サスペンション」を選択し、スクロール ボタンを押します。[エアサスペンション ページ 72](#)を参照してください。

3. メニューボタン

ボタンを押すと表示されるメニューから、Model S の以下を操作することができます。

- 温度。** ホイールを回して運転席側の温度を変更するか、スクロール ボタンを押して空調システムを ON/OFF します。
- 「ファン速度」:** スクロール ボタンを回してキャビンの冷房または暖房に使用されるファンの速度を調整します。
- 「画面の明るさ」:** スクロール ボタンを回してディスプレイの明るさの度合いを調整したり、ホイールを押して標準設定に戻したりします。
- 「サンルーフ」** (装備されている場合): スクロール ボタンを回してサンルーフの位置を調整します。
- 通話履歴。** 携帯電話が Model S とペアリングされている場合は、スクロール ボタンを回して通話履歴が表示できます。スクロール ボタンを押して表示されている連絡先に電話をかけます。携帯電話をペアリングするには、[電話機または Bluetooth デバイスのペアリング ページ 53](#)を参照してください。
- 連絡先。** 携帯電話が Model S にペアリングされている場合は、スクロール ボタンを回して携帯電話の連絡先を参照してください。連絡先は、姓がアルファベット順にリスト表示されます。Model S が確実にあなたの連絡先にアクセスできるようにするには、[連絡先と通話履歴のインポート ページ 53](#)を参照してください。

機能リストを閉じるには、もう一度メニュー ボタンを押します。

暖房装備 ハンドル

Model S にオプションの寒冷地パッケージが装備されている場合は、タッチスクリーンから空調をタッチしてハンドルを暖めることができます（[空調を操作する ページ 124](#)参照）。オンにすると、輻射熱でハンドルを快適な温度に保ちます。

注: 製造日により、オプションの寒冷地パッケージ仕様車であったとしても、お客様の Model S にヒーター付きハンドルが装備されていない場合があります。

クラクション

クラクションを鳴らすには、ハンドル中央のパッドを押し続けます。



ハンドル



外側ミラーの調整

左または右のサイドミラーボタンを押します。ボタンのランプが点灯している状態でダイヤルを押すと、ミラーを希望の位置まで動かすことができます。もう一方のサイドミラーも同様に調整します。入力を求められた時点で、タッチスクリーンにある「保存」をタッチしてミラー調整をドライバープロフィールに保存します。



オートチルトでは後進時にミラーが自動的に下向きになります。オートチルトをオンまたはオフにするには、「コントロール」>「車両」>「ミラー角度の自動調整」の順にタッチします。オートチルト位置を調整するには、Model S をリバースにシフトしてミラー調整をします。ギアをリバース以外に戻すと、ミラーの角度はまた通常的位置（上方）へ戻ります。しかし、ミラーの角度を後進用に調整したことで、ギアをリバースに入れるたびに、ミラーは選択した下向きの位置に自動的に傾きます。

注: 製造日および購入時点で選んだオプションによっては、ミラー角度自動調節機能が装備されていない Model S 車両もあります。

運転席側のサイドミラーは、後続の車両からのヘッドライトのグレア（眩しさ）に応じて自動的に薄暗くなります（リバースにシフトされている場合を除く）。また、左右どちらのサイドミラーも、リア ウィンドウ デフロスターとともにオン/オフするヒーターを備えています。

注: 製造日および購入時点で選んだオプションによって、夜間に自動的に薄暗くなるサイドミラーや加熱式サイドミラーが装備されていない Model S 車両もあります。これに加え、ミラー調整がドライバープロフィールに保存されていないことがあります。

注: 寒冷時にミラーを正しく作動させるには、[寒冷環境におけるベストプラクティス ページ 129](#) を参照してください。

格納式ミラー

（狭い車庫やスペースの少ない場所に駐車する場合などに）ドアミラーを操作して格納および展開するにはセンター ボタンを押します。また、「コントロール」>「格納」/「展開」にタッチすることでもミラーの格納および展開を操作できます。



ミラーを操作して格納した場合、走行速度が 50 km/h に達するまでミラーは格納されたままになります。

注: 走行速度が 50 km/h を超えている場合、ミラーを格納することはできません。

降車して Model S をロックしたときにミラーを自動的に格納するように設定するには、「コントロール」>「車両」>「ミラー自動格納」の順にタッチします。Model S をロック解除するとミラーが自動的に展開します。

また、指定した場所に来るとミラーを自動的に格納するように設定することもでき、頻繁に訪れる場所でその都度操作して格納する必要がなくなります。設定するには、Model S が低速（3 mph（5 km/h）未満）で走行しているか、車両に記憶させたい場所で停止していなければいけません。次に、「コントロール」>「この場所ではいつもミラーを自動格納する」の順にタッチします。次に保存した場所に来た時には、指定した場所の 25 フィート（7.5 メートル）以内でミラーの格納および展開が行われます。保存した場所においてミラーの格納を停止するには、保存した場所まで走行してから、「この場所で自動格納を設定」の隣にある X にタッチします。

注: 保存済みの場所から離れる場合、走行速度が 5 km/h に達するか、または、「コントロール」>「ミラーを展開」の順にタッチするまでミラーは格納されたままになります。

注: 保存した場所に戻り、50 km/h 未満で走行している場合、ミラーを自動的に格納することができます。

注: ミラーの自動格納/展開は、いつでも（例えば Model S に電力がない場合でも）ミラーアセンブリを奥へ押し込むと展開され、手前に引くと格納されて、無効にすることができます。

インテリア ミラー

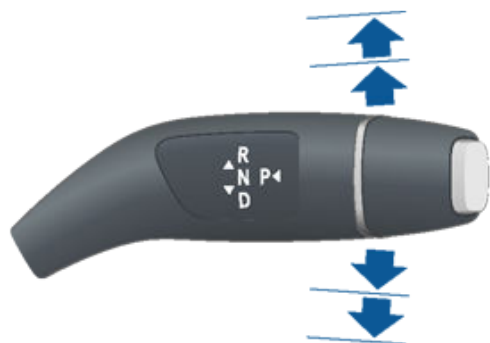
バックミラー

バックミラーを操作して調整します。ドライブまたはニュートラルにシフトされているとき、バックミラーは時刻に基づき低照明では周囲の明るさに合わせて自動的に暗くなります（夜間の走行時など）。

シフト方法

Model S がパーキングにシフトしている場合、シフト変更するにはブレーキ ペダルを踏む必要があります。

シフトレバーを上下に動かすと、違うドライブ モードにシフトします。ギアシフトのたびにチャイムが鳴ります。



現在の走行速度では禁止されているシフトを試みると、チャイムが鳴り、ドライブ モードは変更されません。

ギアシフト時のチャイム音を無効にしたい場合は、「コントロール」>「安全」>「ギア チャイム」の順にタッチします。

リバース

レバーを一番上まで押し上げて、離します。リバースへのシフトは Model S が停止状態かまたは走行速度が時速 8 km/h 未満の場合にのみ行うことができます。

ニュートラル

ブレーキを踏んでいないときにニュートラルにシフトすると、Model S は自由に動ける状態になります。

- パーキングにシフトしている場合、ドライブ レバーを上または下に短く押して最初の位置にすると、ニュートラルにシフトします。
- ドライブにシフトしている場合、ドライブ レバーを上にも短く押して最初の位置にすると、ニュートラルにシフトします。オートステアリングまたはトラフィックアウェア クルーズコントロール（装備されている場合）が起動している場合、シフト レバーを上にも押して最初のポジションにシフトして、そこで 1 秒以上保持します。これを行うと、オートステアリングまたはトラフィックアウェア クルーズコントロールが無効になります。
- リバースにシフトしている場合、ドライブ レバーを下にも短く押して最初の位置にすると、ニュートラルにシフトします。

注: 8 km/h 前後より低速で走行中にニュートラル ポジションからシフトするには、ブレーキ ペダルを踏みます。

Model S がパーキングに入っている状態で、タッチスクリーンでパーキング ブレーキを解除すると（「コントロール」>「安全」>「パーキング ブレーキ」）、Model S はニュートラルにシフトします（パーキングブレーキ ページ 70 を参照）。

ドライブ

レバーを一番下まで押して、離します。ドライブへのシフトは Model S が停止状態かまたはリバースに入った状態で、走行速度が時速 8 km/h 未満の場合にのみ行うことができます。

パーキング

Model S の停車中にドライブ レバー先端を押します。



Model S 低速走行中に移動しないように自動的にパーキングにシフトします。これは、充電ケーブルを接続した場合、シートベルトを外した場合、またはドライブ、リバース、ニュートラルにシフトしているときにドアを開いた場合に発生します。充電ケーブルが取り外されていること、シートベルトを着用していること、ドアが閉まっていることを確認したうえで、パーキングからシフトしてください。

車両に乗車しやすくするために、シフトレバーをパーキングに入れてから「P」ボタンを再度押し、全てのドアをロック解除するかまたはドア ハンドルをせり出すこともできます。

注: パーキング ブレーキを解除するにはブレーキ ペダルを踏みます。

注: 上記の条件は、Model S が自動的にパーキングに切り替わる、または切り替わらない原因をすべて網羅したものではありません。特定の想定状況においては、上記条件 1 つにでも該当する場合、車両がパーキングに切り替わる可能性があります。



注意: 緊急時にブレーキが正常に機能しない場合、ドライブ レバーのパーキング ボタンを長押しして Model S を停車させてください。必要時以外は、この方法で車両を停車させないでください。



警告: ドライバーは自分で責任を持って、降車する前に必ず車両をパーキングに切り替えてください。ドライバーの代わりに Model S が自動的にパーキングに切り替えるといってもそれに任せきりにしないでください。すべての状況に対応するものではありません（例: 徐行や傾斜が原因で、車両が約時速 2 km 以上で走行する場合があります）。

ライトの調整



ライトを操作するには、タッチスクリーンで「コントロール」>「ライト」にタッチします。

タッチスクリーンでコントロールできるライトに加え、Model S には運転者の動作によって自動的にオン・オフするコンビエンスライトがあります。例えば、Model S をロック解除したとき、ドアを開けたとき、パーキングにシフトしたときに、ルームライト、標識灯、テールランプ、ドアハンドルランプ、パドルランプが点灯します。これらは Model S をシフトまたはロックしてから 1~2 分後、自動的に消灯します。

エクステリアライト

エクステリアライト（ヘッドライト、テールライト、サイドマーカーライト、パーキングライト、ナンバープレートライト）は、Model S の起動時に「自動」に設定されます。

この設定を変更した場合、ライトは次に運転する際に「自動」設定に戻ります。

これらのオプションのどれかにタッチすると、エクステリアライトの設定が変更され、もう一度調整するか、次回運転するまでその設定を維持します。

オフ

エクステリアライトは消灯します。走行すると、各販売地域の法律に応じて、デイトタイムランニングライトが点灯したままになる場合があります。



パーキングランプ、側面標識灯、テールランプ、ナンバープレートランプが点灯します。



ロービームヘッドライト、側面標識灯、パーキングライト、ライセンスプレートナンバーが点灯します。



注意: 視認性が良好でない条件下(例えば暗い場所、霧、雪、あるいは道がぬれているなど)では、ヘッドライトおよびリアライトを必ずオンにしてください。デイトタイムランニングライトがオンになっている間は、後部テールライトがオフになります。確認を怠ると、損傷や深刻な大けがにつながる可能性があります。

注: 左側通行地域から右側通行地域へ、および逆に移動した場合、現地交通規則に従って、ヘッドライトは調節が必要です。ヘッドライトを調節する必要がある地域を走行する場合は、モバイルアプリを使用してサービスを予約します。

フォグランプ

これをタッチしてリアフォグランプ（装備されている場合）をオンまたはオフにします。フォグランプはヘッドライトがロービームで点灯している場合のみ作動します。ヘッドライトが消灯しているときは、フォグランプも消灯します。



リアフォグランプ（装備されていれば）が点灯していると、必ずインストールメントパネルにリアフォグインジケーターが表示されます。



オプションのフロントフォグランプが点灯していると、必ず計器パネルのフロントフォグインジケーターが表示されます。

注: 使用する地域や車両オプションにより、フロントフォグランプまたはリアフォグランプが搭載されていないことがあります。

注: いくつかの地域では、フロントフォグランプをコントロールすることはできません。これらはヘッドライトと連動し、ヘッドライトがロービームの時のみ点灯します。

ドームライト

ルームライト（マップ）をオンまたはオフにします。「自動」に設定すると、応援される Model S のロックを解除したとき、これまで同様にドアを開けたとき、またはパーキングにシフトしたときに、すべてのルームライトが点灯します。

ルームライトのレンズをタッチすると、それぞれのルームライトをオン/オフすることができます。ルームライトをオンにすると、Model S の電源がオフになったときにルームライトが消灯します。手でライトを点灯させたとき、すでに Model S の電源がオフになっていた場合、ライトは 60 分後に消灯します。

降車後のヘッドライト

周囲が暗い場所に Model S を停めて駐車すると、エクステリアライトは一時的に点灯し続けます。1 分後または Model S をロックした時点のどちらか早い時点で、ヘッドライトは自動的に消灯します。

注: Tesla モバイルアプリまたはキー FOB を使用して Model S をロックすると、ヘッドライトがただちに消灯します。ただし、降車後オートロックが有効になっているために車両がロックされた場合（降車後オートロック機能 ページ 23 を参照）、ヘッドライトは 1 分後に自動的に消灯します。

この機能のオンオフを切り替えるには、「コントロール」>「ライト」>「降車後ヘッドライト」にタッチします。「降車後のヘッドライト」がオフになっていると、パーキングにシフトしてドアを開けるとヘッドライトがすぐに消灯します。

注: Model S にはヘッドライトのリムに沿って、「シグネチャー」ライトと呼ばれる一連のライトが装備されています。これらのライトは、Model S の電源がオンになってドライブモードになると自動的に点灯します。

ハイビームヘッドライト

ウィンカーレバーを前方に押すとハイビームヘッドライトがオンのままになります。操作を取り消すには、レバーを手前に引きます。

ハイビームヘッドライトをパッシングさせるには、レバーを手前に引いて離します。



ライト



ヘッドライトがハイビームの時、Model S の前方にライトが検知されると（例えば対向車など）自動的にロービームに切り替えます。この機能のオン/オフを切り替えるには、「コントロール」>「オートハイビーム」または「コントロール」>「ライト」>「オートハイビーム」の順にタッチします。

注: 選択した設定は、手動で変更されるまで維持されます。

注: オートハイビームはオートパイロットコンポーネントが装備されている車両でのみ利用可能です。

注: オートハイビームはオートステアリングが有効になると自動的に有効になります。

「オートハイビーム」がオンのときに、Model S 前方の光を検知してハイビームが消灯した場合は、レバーを手前一杯に引くと一時的にハイビームをオンにできます。

ヘッドライトの状態を示すために、インストゥルメントパネルに以下のインジケータライトが表示されます。

ロービーム ヘッドライトが点灯しています。



ハイビーム ヘッドライトが点灯しています。「オートハイビーム」設定がオフでハイビームが点灯しているとき、または「オートハイビーム」設定がオンにされているが一時的に使用できない場合に点灯します。



ハイビームが現在オンになっており、Model S の前方に光を検知した場合には、「オートハイビーム」はハイビームをオフにする準備ができています。



「オートハイビーム」が作動していて、Model S の前方に光が検知されたため、一時的にハイビームがオフになっています。光が検知されなくなるとハイビーム ヘッドライトは自動的にオンに戻ります。



警告: オートハイビームは利便性のためのものに過ぎず、動作に制約があります。気象条件や走行状態に合わせて常に適切にヘッドライトを使用することは、ドライバーの責任です。

アダプティブ フロント ライティング システム (AFS)

装備されている場合、アダプティブ フロント ライティング システム (AFS) は、運転時の視認性をよくするためにヘッドライトのビームを自動調整します。電気センサーが運転速度、ステアリング角度、ヨー（垂直軸を中心にした車両の回転角度）を検知し、現在の運転条件に基づいてヘッドライトの最適位置を決定します。たとえば、曲がりくねった道を夜間に走行するときの視認性をよくするため、AFS はカーブと同じ方向にビームを投射します。ヘッドライトをロービームで点灯して低速で運転している時、AFS は側面照明効果を向上させてることで歩行者や縁石などの見通しを良くするとともに、暗い交差点や車庫までの道、または U ターンを行う時の視界を向上させます。

アダプティブ フロント ライティング システム (AFS) は、ヘッドライトがオンのときは常に動作します。Model S が移動していないとき、または逆方向に移動しているときは、アダプティブ ヘッドライトは機能しません。これは、ヘッドライトが他のドライバーを眩惑するのを防ぐためです。



AFS が故障した場合、インストゥルメントパネルに警告が表示されます。Tesla サービスにお問い合わせください。

ウィンカー



左側のウィンカー レバーを上げるか（右折時）、下げます（左折時）。レバー上げ下げの程度に応じて、ウィンカーの点滅は、3 回点滅が連続点滅になります。ウィンカー レバーを軽く押し上げると 3 回点滅します。連続して点灯させるには、レバーを一杯まで上か下に押しします。



ハンドルを使用してキャンセルするか、レバーを中央に戻すと、ウィンカーが停止します。



ウィンカー作動中は、インストゥルメントパネルの該当するウィンカー インジケータ ライトが点滅し、カチカチという音が鳴ります。

-  **警告:** トラフィックアウェア クルーズコントロールを能動的に使用しているときに（装備されている場合）、ウィンカーを操作すると、状況によっては Model S が加速する原因となることがあります（[追い越し加速 ページ 90](#) を参照）。
-  **警告:** オートステアリング（装備されている場合）を能動的に使用している場合、ウィンカーを作動させると Model S が車線変更する可能性があります（[オートレーンチェンジ ページ 94](#) を参照）。

ハザードランプの点滅

ハザードランプを点滅させるには、タッチスクリーン脇のハンドルに近い側にあるボタンを押します。すべてのハザードランプが点滅します。もう一度押すとハザードランプが消灯します。

注: ハザードランプはキーが近くになくても動作します。

ヘッドライトまたはテールライト内の水分

天候の変化、湿度レベル、または水の浸入（洗車など）により、車両のヘッドライトやテールライトに水分がたまることがあります。これは正常なことであり、暖かくなったり、湿度が減少すると、ほとんどの場合、水分は自然になくなります。エクステリアレンズに水がたまっていることに気付いた場合や、水分がエクステリアライトの視認性に影響を与えている場合は、Tesla サービスにお問い合わせください。



ワイパーとウォッシャー

ワイパー

フロント ガラスのワイパーを動作させるには、方向指示器レバー先端を前方へ回します。レバーには次の 5 つの回転（調整）ポジションがあります。

- 1st: オフ。
- 2nd: 低レインセンサー感度* で自動
- 3rd: 高レインセンサー感度* で自動
- 4th: 連続、低速。
- 5th: 連続、高速。



ワイパーを 1 回だけ作動させるには、レバーの先端を押して離します。

ワイパーが自動に設定されていて、Model S がフロントガラスに液体を検出しない場合、ワイパーは動作しません。

* 「自動」設定を有効にするには、「コントロール」>「車両」>「自動ワイパー（ベータ版）」の順にタッチします。ワイパーを自動に設定すると、Model S は雨が降っているかどうかを検出します。間欠ワイパーの間隔はフロントガラスに検出される雨の量で変わります。ワイパーが雨滴高感度に設定されていると、Model S は霧雨程度でワイパーを作動させます。

注: オートパイロットが作動している場合、ワイパーは「自動」に設定されます。オートパイロット作動時にワイパー設定を「自動」から変更することは可能ですが、次にオートパイロットを作動させるとワイパーは再び「自動」に初期設定されます。

注: 現時点では、自動設定はベータ版です。ベータ版で自動設定を使用することに抵抗を感じる方には、必要に応じてワイパーを手動で動作させることをお勧めします。

注: ワイパーを動かすと、ヘッドライトが（点灯していなければ）約 1 分間、自動的に点灯します。

注: 音声コマンドを使用してもフロント ガラス ワイパーの速度と作動間隔を調整することができます（音声コマンド ページ 17 を参照）。

注意: ワイパーの損傷を避けるために、Model S を洗車する前に必ずワイパーがオフ位置あることを確認してください。

ワイパーブレードを長持ちさせるために、ワイパーを動かす前にフロントガラスの氷を取り除いてください。氷の角が尖っていてワイパーブレードのゴムを傷める可能性があります。

ワイパーブレードの先端を定期的にチェックし、クリーニングしてください。損傷している場合は、直ちにワイパーブレードを交換してください。ワイパーブレードの点検と交換についての詳細は、[フロント ガラスのワイパー ブレード、ジェットおよびウォッシャー液 ページ 169](#) を参照してください。



注意: 厳しい寒冷下では、ワイパーブレードが凍結していたり、フロントガラスに張り付いていないことを確認してください。

ワイパーの霜取り

氷や雪を除去するため、ワイパー ブレードに手が届きやすくなるよう、Model S をパーキングにシフトし、ワイパーをオフにしてから、タッチスクリーンを操作して、ワイパーを整備位置に動かします。「コントロール」>「サービス」>「ワイパー サービス モード」の順にタッチします。寒い屋外に駐車するときは、Model S のワイパーをサービス ポジションにしておくとう便利です。このポジションではワイパーが除霜通気口により近くなるため、空調システムから出る空気をフロントガラスに向けてることによって氷を溶かすことができます。

Model S にオプションの寒冷地パッケージが装備されている場合は、タッチスクリーンの「空調」にタッチしてワイパーの霜取りを行なうことができます（[空調を操作する ページ 124](#) を参照）。ワイパー デフロスターは 15 分後に自動的にオフになります。

注: Model S をパーキング以外にシフトすると、ワイパーは自動的に通常の位置に戻ります。

ウォッシャー

方向指示器レバー先端のボタンを押すと、フロント ガラスにウォッシャー液が噴射されます。このボタンを押すレベルには 2 段階あります。軽く押すとワイパーが 1 回作動し、ウォッシャー液は噴射されません。ワイパーとウォッシャーの両方をしっかり押します。フロント ガラスを洗っている間、ワイパーが作動します。ボタンから手を離れた後、ワイパーはさらに 2 回動作し、その後数秒おいてから 3 回目の動作を行います。



秒

ウォッシャー液は定期的に補充してください（[フロント ガラスのワイパー ブレード、ジェットおよびウォッシャー液 ページ 169](#) を参照）。



ウォッシャー ノズルの霜取り

Model S にオプションの寒冷地パッケージが装備されている場合、ウォッシャー ノズルにはデフロスターが装備されており、外気温が氷点近くになるか、ワイパー デフロスターをオンにすると、オンになります ([空調を操作する ページ 124](#) を参照)。十分に暖かく凍結が発生しない条件下では、ワイパー デフロスターがオフになると (15 分後に) ウォッシャー デフロスターがオフになります。

ブレーキと停車

ブレーキシステム

警告: ブレーキ システムは安全にかかわるため正常に機能することが非常に重要です。Model S ブレーキング システムのブレーキペダル、ブレーキ キャリパー、またはその他のコンポーネントで何か問題を感じた場合は、直ぐに Tesla までご連絡ください。

Model S 最大のブレーキ圧をかけたときにホイールがロックすることを防止するアンチロック ブレーキ システム (ABS) を装備しています。この機構によって、大半の路面状態で急ブレーキ時のステアリング制御が改善されます。

緊急ブレーキ操作中は ABS が常に各ホイールの速度をモニターし、利用可能なグリップに応じてブレーキ圧を変更します。

ブレーキ圧が変わると、ブレーキ ペダルから振動が伝わります。これは ABS が作動していることを示すもので、異常な動作ではありません。振動が感じられる間は、ブレーキ ペダルを一定の圧力でしっかり踏み続けてください。



Model S を最初にスタートさせると、最初に ABS インジケーターが「インストゥルメントパネル」上で短く黄色に点滅します。このインジケーターが点灯したときは ABS に故障が発生しており、ABS は機能していませんので、Tesla にご連絡ください。ABS が故障していても、ブレーキ システムは影響を受けることなく完全に機能します。ただし、ブレーキの制動距離が長くなる場合があります。慎重に運転し、急ブレーキは避けてください。



Model S を最初に始動したときに短く表示される以外で、「インストゥルメントパネル」にこの赤色のブレーキ インジケーターが表示された場合は、ブレーキシステムの不具合が検出されているか、ブレーキ液の量が少なくなっています。ただちに Tesla にご連絡ください。安全に停車できる状況であれば、ブレーキをしっかりと踏み続けて車両を停車させてください。



ブレーキ ブースターの故障が検出された場合、または回生ブレーキが使用できない場合、インストゥルメント パネルに黄色のブレーキ インジケーターが表示されます ([回生ブレーキ ページ 69](#) を参照)。安全に停車できる状況であれば、ブレーキをしっかりと踏み続けて車両を停車させてください。油圧ブースト補正が作動する場合があります ([油圧ブースト補正 ページ 69](#) を参照)。

緊急ブレーキ操作

緊急時は、摩擦力の低い路面上でも、ブレーキ ペダルを床まで力一杯踏み込んで圧力を保ち続けます。ABS は、利用可能な摩擦力に従って各ホイールのブレーキ圧を調整します。この機能によってホイールのロックが防止され、可能な限り安全に停車することができます。

別の手段を使用して車両を停止させる必要がある場合は、ドライブレバーのパーキング ボタンを長押しして、ブレーキをかけ、ボタンを押したままにして駆動トルクを取ります。

警告: ブレーキ ペダルを軽く何度も踏むポンピングはしないでください。ポンピングは ABS の動作を妨げ、制動距離を長くするおそれがあります。

警告: 常に前の車との間に安全距離を保ち、危険な運転状況に注意してください。ABS は制動距離を改善することができますが、物理法則を変えることはできません。ABS はハイドロプレーニング現象 (水の層がタイヤと路面との直接の接触を妨げる現象) の危険を防ぐこともできません。

注意: 衝突の危険が差し迫っている状況では、自動緊急ブレーキ (衝突回避アシスト ページ 111 参照) は自動的にブレーキをかけることがあります。自動緊急ブレーキは、衝突を防止するように設計されたものではありません。最善の場合でも、走行スピードを落とすことによって正面衝突の衝撃を最小限にいくとめるにすぎません。衝突回避を自動緊急ブレーキに頼りすぎると、重大な事故や死亡事故につながるおそれがあります。

注意: 緊急時にブレーキが正常に機能しない場合、ドライブレバーのパーキング ボタンを長押しして Model S を停車させてください。必要時以外は、この方法で車両を停車させないでください。

ダイナミック ブレーキ ライト (装備されている場合)

時速 50 km 以上で走行している時に急ブレーキをかけた場合 (または、自動緊急ブレーキが作動した場合)、ブレーキライトが短い間隔で点滅し、他のドライバーに Model S が急に減速していることを警告します。Model S が完全に停止すると、ハザードランプが点滅します。アクセルを踏むか、ハザード ライト ボタンを手動で押して消灯するまで、点滅は続きます (を参照)。

注: トレーラーをけん引する場合は (該当する場合)、独立したブレーキ装置がトレーラーになくても、トレーラーのブレーキ ライトも前述のように動作します。

警告: トレーラーをけん引する場合は (該当する場合)、必ず車間距離を十分に空けてください。急ブレーキを踏むと、横滑り、ジャックナイフ、およびコントロールの損失につながる場合があります。

ブレーキディスク ワイピング

寒冷気候や雨天でもブレーキを確実に制動させるために、Model S にはブレーキ ディスク ワイピング機能が搭載されています。寒冷気候や雨天を検知すると、この機能はごくわずかな制動力を繰り返しかけて、ブレーキ ディスク表面から水分を取り除きます。

油圧フェード補正

Model S 油圧フェード補正も搭載しています。これは、ブレーキ圧と ABS 動作でブレーキ性能の低下がないかを監視するのに役立ちます。ブレーキ性能の低下が検出されると (ブレーキがフェードしたり、寒冷時や雨天時など)、異音が聞こえたり、ブレーキ ペダルが足から離れるような感触があったり、ブレーキ圧力が大幅に上昇したと感ずることがあります。ブレーキは通常どおりに使用します。ブレーキ ペダルから足を離したり、「ポンピング」したりすることなく、ブレーキを踏み続けます。



注意: 緊急時にブレーキが正常に機能しない場合、ドライバーのパーキング ボタンを長押しして Model S を停車させてください。必要時以外は、この方法で車両を停車させないでください。

警告: 運転状況に危険が増している場合は、常に前方の車両との間に安全な車間距離を保ち、注意を払ってください。ブレーキ ディスク ワイピングおよび油圧フェード補正を使用中であっても、必ず適切な圧力をブレーキに付加してください。

油圧ブースト補正

Model S ブレーキ ペダルを踏んだときにブレーキを動作させるブレーキ ブースターを搭載しています。油圧ブースト補正には、ブレーキ ブースター故障時に機械動作面で支援する機能があります。ブレーキ ブースターの故障が検出されると、ブレーキ ペダルの踏み込みが固くなったように感じられ、ブレーキ ペダルを踏んだときにノイズが聞こえます。ほかの車両や歩行者とは安全な距離を確保し、慎重に運転します。ブレーキ ペダルの反応性の劣化があり得ます。ブレーキの制動距離が長くなる場合があります。

回生ブレーキ

Model S の走行中に、運転者の足がアクセルペダル離れていると、回生ブレーキによって車両は減速し、余剰電力をバッテリーに戻します。停車に備えアクセルペダルから足を離して減速することで、回生ブレーキを利用して航続距離を伸ばすことができます。

エネルギー アプリのパワー メーターには使用中の電力量がリアルタイムで表示されます。ハンドルのスクロール ボタンで「電力」を選択すれば、インストルメント パネルの両側にパワー メーターを表示させることもできます（[ハンドル ページ 58](#) を参照）。回生ブレーキによってエネルギーが取得されると、パワー メーターには、バッテリーに戻される電力量が緑色のエリアで表示されます。

回生ブレーキを利用してバッテリーに戻される電力量は、バッテリーの現在の状態によって異なる可能性があります。例えば、バッテリーが冷えている場合や既に完全に充電されている場合、回生ブレーキが制限される場合があります。回生ブレーキが制限されている場合、パワー メーターには、バッテリーに戻されていない減速電力量が点線で表示されます。



注: Model S が回生ブレーキで減速されると（高速走行中に足をアクセルペダルから完全に離すなど）、ブレーキランプが点灯して、後続の人たちに車両が減速していることを知らせます。

注: Model S は回生ブレーキを使用しているため、このブレーキパッドは一般的に、従来のブレーキ システムのパッドほど頻繁には使用されません。ブレーキディスクワイピング機能（[ブレーキディスク ワイピング ページ 68](#) を参照）は、ブレーキディスクの表面から水を取り除くために、定期的にわずかなブレーキ力をかけますが、それでも錆や腐食が蓄積する可能性があります（特に冬季に道路に凍結防止剤を撒く地域では）。ブレーキペダルを定期的に使用したり、必要に応じてブレーキを磨いたりすることで、このような汚れの蓄積を防ぐことができます（[Do It Yourself ガイド](#) の「ブレーキの磨き」を参照）。

警告: 積雪時やまたは凍結した道路状況では、標準設定時や、冬用タイヤを使用していない場合は特に、回生ブレーキの動作中に Model S のトラクションが失われる場合があります。Tesla では、積雪時や凍結路面で車両の安定性を維持するために。

回生ブレーキ レベルを設定するには

注: 回生ブレーキ設定は、すべての車両で利用できるわけではありません。

タッチスクリーンを使用して回生ブレーキのレベルを変更できます。

1. 「コントロール」 > 「ペダル&ハンドル」 > 「回生ブレーキ」の順にタッチします。
2. 2 つのレベルのどちらかを選択します。
 - **Standard:** 回生ブレーキのレベルを最大にします。アクセル ペダルをゆるめると、Model S は減速します。
 - **低:** 回生ブレーキを制限します。アクセル ペダルをゆるめると、「標準」に設定した場合に比べて、Model S が減速するまでの時間がより長くなり、惰性走行がより長く続きます。



ブレーキと停車

ストップモード

走行中アクセルを踏まずに、回生ブレーキにより Model S を減速させます。アクセルペダルもブレーキペダルも踏まずに走行速度が非常に遅くなった（ほぼ停車する程度）、お好みの Model S の動作を選択することができます。駐車中、「コントロール」>「ドライブ」>「ストップモード」の順にタッチして以下のオプションから選択します。

- ・ **クリープ**: 完全に停車しそうなとき、または完全に停車しているときには、従来のオートマチックトランスミッションの車両同様に、Model S を（ドライブで）ゆっくりと前進させたり（リバースで）後退させたりしてモーターがトルクをかけ続けます。坂道や車道などの一部の状況では、アクセルペダルを踏んで移動させ続けたり、Model S が反対方向に移動しないようにする必要があります。

警告: 坂道では、車両が下がらないようにするために、クリープ機能のみに頼らないでください。坂道では車両を制動するためにブレーキを必ず踏むか、アクセルペダルを踏んで坂道を登ってください。そうしない場合は 物損事故や衝突事故を起こす恐れがあります。

- ・ **ホールド**: 「クリープ」または「ロール」の設定時よりも低速で回生ブレーキを利用することで、航続距離を最大限に伸ばしブレーキ摩耗を低減させます。Model S が停車すると、ブレーキペダルを足で踏まなくても自動的にブレーキがかかります。平らな道路で停車しても坂道で停車しても、「車両ホールド」ではアクセルペダルやブレーキペダルを踏んでいない状態でブレーキをかけ続けます。[オートブレーキ ホールド ページ 76](#) を参照してください。

警告: 車両を減速または完全停止するために、ホールド機能のみに頼らないでください。下り坂、低い設定の回生ブレーキ、回生ブレーキの低減化など、様々な要因で停車距離が伸びることがあります（[回生ブレーキ ページ 69](#) 参照）。必ず、ブレーキペダルを踏んで十分に減速したり停止させたりできるように準備をしておいてください。

- ・ **ロール**: 完全に停車しそうなときや完全に停車しているとき、Model S は車両のニュートラルのように勝手にタイヤが回転する状態になります。そのため、坂道で停車すると Model S が坂道の下に向かって動きます。ブレーキがかからず、（アクセルペダルを踏むまで）モーターはトルクをかけません。

注: 「クリープ」または「ロール」を選択する場合でも、「車両ホールド」を利用してブレーキをかけることができます。ただし、車両が停車しているときには、ブレーキペダルを軽く踏む必要があります。[オートブレーキ ホールド ページ 76](#) を参照してください。

注: 希望されたストップモード設定はドライバーのプロフィールに同期していません。

警告: 安全でないときに Model S が動く場合、ブレーキペダルを踏んでください。常に路上に注意を払い、車両を制御することはドライバーの責任です。これを怠ると重大な事故や死亡事故につながる恐れがあります。



警告: 回生ブレーキや選択したストップモードに任せきりにせず、ドライバーや車両を安全に保ってください。重い荷重がある場合の走行、急な坂道の走行、濡れた道路や凍った道路の走行などの様々な要因が、減速の程度や Model S が停車するまでの距離に影響します。十分に注意を払って運転し、必ず、交通状況や道路状況に合わせて適切にブレーキペダルを踏んで停車させられるよう準備をしておいてください。



警告: 非常に遅い速度で走行しているときには、正面衝突警告および自動緊急ブレーキは作動しません（[衝突回避アシスト ページ 111](#) 参照）。これらの機能が常に警告してくれるあるいは衝突の衝撃を回避または低減してくれるわけではないことをご認識ください。

パーキングブレーキ

パーキングにシフトした状態で、ドライブストックの先端にあるボタンを押し続けると、パーキング ブレーキを手動で作動させることができます。



パーキングブレーキをかけると、インストゥルメントパネルに赤色のパーキングブレーキ インジケーターが表示されます。

パーキングブレーキは、他のギアにシフトすると解除されます。



パーキングブレーキに電気上の問題が生じると、「インストゥルメントパネル」に黄色のパーキングブレーキインジケーターが点灯し、不具合発生のメッセージが表示されます。

注: パーキング ブレーキは後輪のみに作用し、ペダル ブレーキシステムからは独立しています。



注意: 万一、Model S の電力が失われると、タッチスクリーンにアクセスできなくなるため、ジャンプスタートしないと（[ジャンプスタート ページ 190](#) を参照）、パーキングブレーキを解除することはできません。



警告: 積雪や凍結した場所では、特に冬用タイヤを装着していない場合、勾配のある路面で Model S がスリップするのを防ぐための十分なトラクションが後輪で得られない場合があります。積雪または凍結した場所での駐車は避けてください。車両を安全に駐車させることはドライバーの責任です。



⚠ 警告: 駐車するには道路が急傾斜過ぎる場合、またはパーキング ブレーキが適切に作動していない場合、Model S にアラートが表示される場合があります。アラートはガイダンスを提供することを目的とし、特定の道路や天候条件などを含め、安全に車両を駐車するためにドライバーの判断を代行に行うものではありません。車両を安全に駐車することができるかどうかの判断はこのアラートのみに頼らないでください。車両を安全に駐車させることはドライバーの責任です。

ブレーキの摩耗

Model S ブレーキ パッドはウェア インジケーターを備えています。ウェア インジケーターは、ブレーキ パッドに取り付けられた薄い金属片で、パッドが摩耗するとローターとの間でこすれてスキール音が鳴ります。このスキール音は、ブレーキ パッドの耐用寿命が尽き、交換が必要であることを示します。ブレーキパッドを交換するには、Tesla サービスにお問い合わせください。

タイヤとホイールを取り外して定期的にブレーキを点検する必要があります。ローターとブレーキ パッドの詳細な仕様と整備期限については、[サブシステム ページ 178](#) を参照してください。さらに、Tesla では、冬季、凍結防止剤がまかれる道路では、毎年または 20,000 km 走行毎にブレーキキャリパーを清掃および潤滑することを推奨しています。

⚠ 警告: 摩耗したブレーキ パッドを交換しないと、ブレーキシステムを損傷し、危険なブレーキ動作を招くおそれがあります。



エアサスペンション

注: Model S の電源を入れると、エアサスペンションのリザーバーに空気を注入するためにコンプレッサーの音が聞こえる場合があります。

Model S は、快適な乗り心地を提供し、好みに合わせてサスペンションを軟らかめまたは硬めに設定することができるアダプティブエアサスペンションを装備しています。荷物を積載する場合、エアサスペンションがフロントとリア間の水平を自動的に維持します。状況に合わせて手動で車高を調整することができます（たとえば、急な車道や傾斜路、積雪のある場所、減速ランプ、駐車場などを走行するときにさらに地上高が必要な場合に Model S の車高を上げることができます）



車の性能に関わるアダプティブエアサスペンションシステムの不具合が検知されると、インストゥルメントパネル上で黄色の表示灯が点灯します。不具合が解消しない場合は、Tesla にご連絡ください。



故障によりアダプティブエアサスペンションシステムが無効になったことが検知されると、インストゥルメントパネル上で赤色の表示灯が点灯します。Tesla にご連絡ください。

車高調整

注意: サスペンションの高さを調整する際は、Model S の上下に障害物が一切ないことを確認してください。

ブレーキペダルを踏んでタッチスクリーンの「コントロール」>「サスペンション」をタッチすれば、手動で車高を調整できます。利用できる車高設定は、走行速度とその他条件（ドア開放時はサスペンションは下がらないなど）によって異なります。タッチスクリーンには、各設定の概算最低地上高が表示されます。以下のオプションからはスライダーをドラッグしてします。

- **Very High** - 「Very High」に設定しておく、約 30 m 走行後、または走行速度が 24 km/h に達するとサスペンションは自動的にデフォルト車高*（「Standard」、または「Low」）に下がります。速度がしきい値に達するまで、距離制限なく「Very High」設定を維持するには、「24 km/h まで維持」にタッチします。
- **High** - 「High」に設定しておく、約 30 m 走行後、または走行速度が 56 km/h に達するとサスペンションは自動的にデフォルト車高*（「Standard」、または「Low」）に下がります。速度がしきい値に達するまで、距離制限なく **High** 設定を維持するには、「56 km/h まで維持」にタッチします。
- **Standard** - 「Standard」に設定されている場合、あらゆる積載条件下で最大の快適性と最良の操作性が得られます。
- **Low** - 車高を下げると、空力性能が向上し、荷物の積み下ろしや乗員の乗降が楽になり、ハンドリングが向上します。

*「デフォルト車高は低」設定がオフのとき、車高は、乗り心地、ハンドリング、航続距離のバランスを取るよう「Standard」および「Low」の間で調整されます。ハンドリングと航続距離を最適化するには、「デフォルト車高は低」設定をオンにします。



注意: エアサスペンションが、「HIGH」または「VERY HIGH」に設定されている時は、アグレッシブな運転（急加速、急カーブ、など）は避けてください。車高が高い時にアグレッシブな運転を行うと、振動が発生し、車両を損傷する恐れがあります。

アダプティブサスペンションダンピング

「アダプティブサスペンションダンピング」に関連する設定では、サスペンションシステムをリアルタイムで調整して、乗り心地とハンドリングの両方を最適化できます。オプション:

- **コンフォート** - 柔らかい乗り心地でゆったりと運転することができます。
- **オート** - さまざまな道路や運転スタイルに合わせて調整を行ない、滑らかな走行ながらもきちんとコントロールされた乗り心地を提供します。
- **スポーツ** - 確実にコントロールされた乗り心地を提供し、ドライバーの意思がより反映され、道路と連動しているような感覚になります。
- **Advanced** - 「乗り心地」および「ハンドリング」を調節する個々のスライダーを動かして、サスペンションを微調整することができます。

「サスペンションデータを表示」をタッチすると、車高、圧縮値、リバウンド値、車体の加速度など各ホイールのダンパーの詳細情報が表示されます。

注: アダプティブサスペンションダンピングが「コンフォート」または「自動」に設定されている場合、荒れた路面での乗り心地を向上させるためにサスペンションが上昇することがあります。

オートパイロットのコンフォートダンピングを使用（装備されている場合）- デフォルトでは、オートパイロットを使用するとダンピングは自動的にコンフォートに設定され、オートパイロットの使用をやめると選択していた設定に戻ります。この設定をオフにするとこの機能は無効になります。

リアルタイムの視覚化

サスペンション画面の Model S の画像では、エアサスペンションシステムのリアルタイムのステータスを知ることができます。ここでは、視覚的に車高の変化が表示されるだけでなく、設定した設定と変化する道路条件に応じて、サスペンションシステムで各ホイールのダンパーが制御される様子を反映した圧縮ラインとリバウンドラインが表示されます。いずれも同時制御されます。「サスペンションデータを表示」をタッチすると、車高、圧縮値、リバウンド値、車体の加速度など各ホイールのダンパーの詳細情報が表示されます。

注: インストゥルメントパネルでは、サスペンションシステムによって、変化する路面状況に合わせて各ホイールのダンピングが動的に調整されている様子をリアルタイムで確認できるようになりました。表示するには、利用できるオプションが表示されるまで、各ハンドルスクロールボタンを長押しします。スクロールホイールを回してサスペンションをハイライト表示したら、スクロールボタンをもう一度タップします。



自動車高調整位置

サスペンションを「High」または「Very High」に上げると、その場所が自動的に保存されます。場所を保存することで、以前車高を上げたことがある場所で頻繁に車高を上げる必要がある場合に、その都度手動で車高を上げる必要がなくなります。保存した場所に戻ると、Model S はサスペンションを上げて、インストゥルメント パネルには、サスペンションが上げられていることを示すメッセージが表示されます。

場所を保存するとき、Model S は「XX km/h まで維持」設定も保存します（指定された場合）。

注: 保存された場所に戻って「High」および「Very High」サスペンション設定で走行可能な速度以上の速度で走行した場合、Model S の速度が下がるまでサスペンションは上がりません。

注: 保存した場所を離れると、サスペンションは自動的に下がります。ただし、Model S の速度と距離がしきい値に達するまで、サスペンションが低下しない場合があります。

注: 保存された場所に Model S が着いても、その場所のために保存されたサスペンション設定の車高より現在のサスペンション設定の車高の方が高い場合は、車高は調節されません。

車高自動上昇場所を取り消す

ある場所でサスペンションを自動で上昇させたくない場合は、保存場所まで上昇したときに表示されるポップアップでタッチして、「この場所ではいつでも車高オート調整を有効にする」の選択を解除します。

セルフレベリング

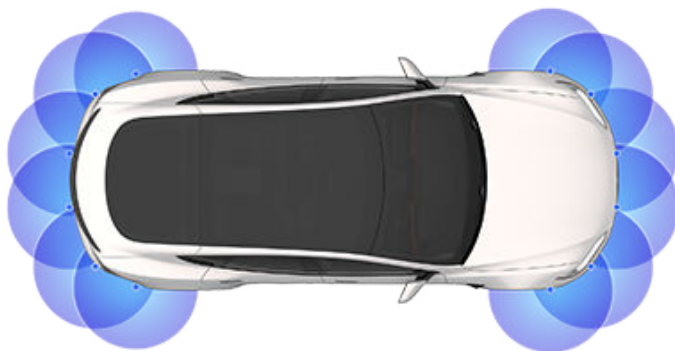
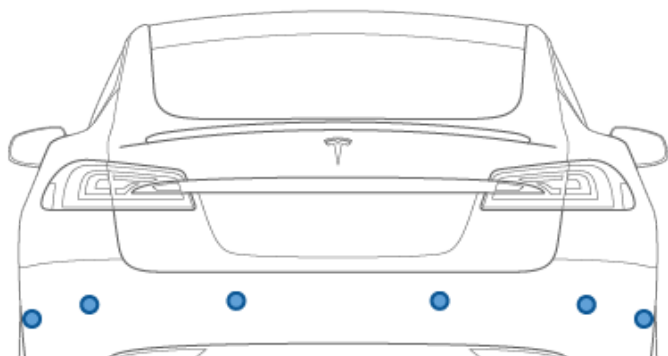
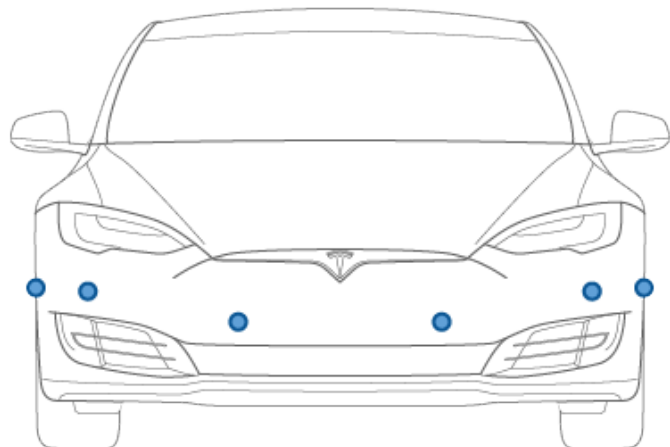
Model S エアサスペンション装備の場合、電源がオフでも自動的にセルフレベリングが働きます。ジャッキアップやリフトアップの際に破損するのを防ぐため、「ジャッキ モード」を起動して、セルフレベリングを無効にする必要があります。（ブレーキ ペダルを踏み、「コントロール」>「サービス」>「ジャッキ モード」の順にタッチします）。詳細については、[ジャッキアップと引き上げ ページ 171](#) を参照してください。



パーキングアシスト

Model S には、近くの物体の存在を検出するためのセンサーがいくつか搭載されています。ゆっくり走行しているときに（駐車時など）、Model S の近くに物体が検出されると、車両が警告を発します。ドライブ時に Model S の前方で、リバース時に Model S の後方で物体が検出されると、車両が警告を発します。

警告: 反対方向に Model S が勝手に動き出した場合に警告されることがあります（たとえば、上り坂でドライブにシフトしているときに Model S が後退しても、パーキングアシストからは警告が表示されません）。



警告: 近づいている場所に物体があったり人がいたりするかどうかを調べるときに、パーキングアシストに頼らないでください。外部要因によってパーキングアシストの性能が低下し、センサーが読み取り不能になったり読み取りエラーが生じる場合があります（[制約と誤警告 ページ 75](#) を参照）。したがって、Model S が障害物に近づいているかどうかをパーキングアシストに頼って判断すると、車両や物品を損傷したり、大けがの原因となるおそれがあります。必ずご自分の目で確認してください。バックするときは、後ろを振り返り、すべてのミラーを使用するようにし、パーキングアシストは子ども、歩行者、自転車、動物、または移動したり突起している物体、カメラのすぐ近くもしくは離れたところにある物体、または、カメラのはるか上または下にある物体を検出できません。パーキングアシストは誘導のみを目的としており、運転者自身の直接の目視による確認を肩代わりすることは意図していません。パーキングアシストは注意深い運転に代わるものではありません。

視覚的、聴覚的フィードバック

リバースにシフトすると、インストゥルメントパネルの左側にパーキングアシストビューが表示され、Model S の前後の直近位置に存在する物体を表示します。このビューは、Model S の前方に物体が検出されていない状態でドライブにシフトしたときに閉じます。この場合、パーキングアシストビューは、パーキングアシストの作動する速度より高速な速度で運転を開始すると自動的に閉じます。リバース時は、タッチスクリーンにも視覚的なフィードバックが表示されます（[リアビューカメラ ページ 83](#) 参照）。X にタッチすると、手動でパーキングアシストビューを終了できます。

タッチスクリーンにカメラアプリを表示し、低速で運転している場合、カメラアプリ画面の左上にあるボタンをタッチすることで、パーキングアシストビューに切り替えることができます。縦列駐車の援助が必要な場合に便利です。

チャイムがオンになっていれば（[チャイムによるフィードバックの調整 ページ 74](#) を参照）、物体に近づいたときにピープ音が鳴ります。パーキングアシストビューの下隅にあるスピーカーアイコンにタッチすると、チャイムを一時的にミュートすることができます。

注: パーキングアシストがフィードバックを提供できない場合は、インストゥルメントパネルに警告メッセージが表示されます。

注意: カメラを汚れ、異物、雪および氷のない状態に維持してください。高圧洗浄機をカメラに使用しないでください。センサーの表面を傷つけたり損傷したりするおそれのある尖ったものや研磨剤でカメラをクリーニングしないでください。

注意: カメラの近くにアクセサリやステッカーを取り付けないでください。

チャイムによるフィードバックの調整


パーキングアシストを使用するときの音によるフィードバックをオン/オフすることができます。チャイムをオン/オフするには、「コントロール」>「安全」>「パーキングアシストチャイム」の順にタッチします。



チャイムの音を一時的に鳴らさないようにするには、パーキングアシスト ビューの隅にあるスピーカー アイコンにタッチします。パーキング アシストの作動する速度より高速にシフトするか運転するまでチャイムは鳴りません。

制約と誤警告

以下の場合、パーキング アシストが正常に機能していない可能性があります。

- 物体がおおよそ 20 cm 下方にある場合（縁石や低い柵など）。
-  **注意:** 高さがない物体（縁石や低障壁など）が死角に入ることがあります。Model S 物体が死角にある間は、その物体について警告することはできません。
- 気象状態（豪雨、雪、または霧）。
- 物体が薄い場合（道路標識など）。
- パーキング アシストの動作範囲を超えている場合。
- 物体が音を吸収する場合またはやわらかい場合（粉雪など）。
- 物体が傾斜している場合（傾斜している土手など）。
- Model S 外気温度が極端に高いまたは低い環境で駐車したり運転した場合。
- 物体がバンパーに近すぎる場合。
- バンパーがずれている場合または損傷している場合。
- Model S に取り付けられている物体（バイク ラックやバンパー ステッカーなど）がパーキング アシストを妨害または遮蔽している場合。
- Model S が選択したのとは反対方向に勝手に動き出す場合（たとえば、上り坂でドライブにシフトしているときに Model S が後退しても、パーキング アシストからは警告が表示されません）。

その他のパーキング補助装置

パーキング アシストによる補助に加えて、リバースにシフトするとバックアップ カメラに Model S の周囲の映像が表示されます（[リアビュー カメラ ページ 83](#) を参照）。



オートブレーキ ホールド

Model S が停止したときに、ブレーキペダルから足を離したあとも、オートブレーキホールドにより、ブレーキをかけ続けるようにすることができます。

オートブレーキ ホールドが有効になります。

- **ホールド:** 車両が完全に停止すると、常に車両ホールドが自動的に有効になります。
- **クリープまたはロール:** 車両が停止していてブレーキを目一杯踏んでいるときは、常に車両のホールドが自動的に有効になります。



このインジケータは、Model S のオートブレーキホールドが作動しているときは常にインストゥルメントパネルに表示されます。

オートブレーキホールドを解除するには、アクセル ペダルを踏むか、ブレーキ ペダルを踏んで離します。

注: ギアをニュートラルにシフトしてもホールドは解除されません。

注: 走行用のギアに入れたまま、Model S のブレーキを約 10 分間有効にしておくと、Model S はパーキングにシフトされブレーキホールドはキャンセルされます。Model S また、ドライバーが車両を降りたことを検知した場合にもパーキングにシフトされます。



説明

トラクション コントロール システムは、フロントとリアのホイールの速度を常に監視しています。Model S のトラクションが低下すると、システムがブレーキ圧とモーターの電力を制御してホイールスピンを最小にします。初期設定ではトラクション コントロール システムはオンになっています。通常の条件下では、安全性を最大にするためオンのままにしてください。



トラクション コントロール システムがホイールスピンを最小限に抑えるためにブレーキ圧とモーター出力を制御している際には、「インストゥルメントパネル」上のこの黄色いインジケーターが常に点滅しています。トラクション コントロール システムに異常が検出されると、このインジケーターが点灯します。Tesla サービスにお問い合わせください。



警告: トラクション コントロール システムは、危険な運転や高速で急転回することで引き起こされる衝突事故を防止するものではありません。

ホイールのスリップを可能にする

スリップスタートを有効にすると、ホイールが一定の速度以下で回転するようになります。**スリップスタート**は、Model S が 48 km/h 以下の速度で走行している場合にのみ有効にすることができます。**スリップスタート**は、走行速度が 時速 80 km を超えると自動的に無効になります。

通常時には、**スリップスタート**を有効にしないでください。ホイールを故意にスピンさせたい次のような場合にのみ有効にしてください。

- 積雪路面や砂利道での発進。
- 深雪や砂、泥道での走行。
- 穴や深い轍からの脱出。

ホイールを空転させるには、「コントロール」>「ペダル&ハンドル」>「スリップスタート」の順にタッチします。



インストゥルメントパネルに**スリップスタート**が有効になったことを知らせる警告メッセージが表示されます。

スリップスタートは次回 Model S を始動したとき自動的に無効になりますが、有効にする必要がなくなった場合はすみやかに無効にすることを強く推奨します。

注: クルーズコントロールを使用しているときは、**スリップスタート**を有効にすることはできません。



加速モード

お客様の Model S で利用できる加速設定は、製造日および購入時に装備したオプションにより異なります。

- **コンフォート**：滑らかで乗り心地を優先するよう加速を制限します（オートパイロットハードウェアを搭載したすべての車両で利用可能）。
- **標準**：通常レベルの加速を提供します（非パフォーマンス四輪駆動仕様車およびオートパイロットハードウェアが装備されて後輪駆動仕様の Model S で利用可能）。
- **スポーツ**：通常レベルの加速を提供します（パフォーマンス四輪駆動仕様車で利用可能）。
- **インセイン**：ピークトルクを約 30% 増加させます（Ludicrous アップグレードを装備していないパフォーマンス四輪駆動仕様車で利用可能）。
- **Ludicrous**：ピークトルクを約 60% 増加させます（Ludicrous アップグレードを装備しているパフォーマンス四輪駆動仕様車で利用可能）。
- 理想的なバッテリー動作温度までバッテリーを温め、確実に 100% の電力を利用できるようにしながら、**インセイン+** がおよそ 30 パーセントまでピークのトルク値を上昇させます（Ludicrous アップグレード装備のないパフォーマンス全輪駆動車両でご利用いただけます）。本設定を選択する前に、**インセイン+または Ludicrous+を使用する ページ 78** に関してお読みください。
- **Ludicrous+**：理想的なバッテリー動作温度までバッテリーを温め、確実に 100% の電力を利用できるようにしながら、およそ 60 パーセントまでピークのトルク値を上昇させます（Ludicrous アップグレード装備のパフォーマンス全輪駆動車両でご利用いただけます）。本設定を選択する前に、**インセイン+または Ludicrous+を使用する ページ 78** に関してお読みください。

注: コンフォートは航続距離を向上させることはありませんが、インセインまたは Ludicrous モードでトルクとパワーを増加させると、航続距離と効率が低下します。

注: コンフォートが選択されると、インストルメントパネルに表示される運転速度の上に「コンフォート」が表示されます。

これに加え、パフォーマンス四輪駆動仕様の Model S にはローンチモードが装備され、トラクションが良好な路面で最高の加速を実現します。ローンチモードを使用する際の具体的な運転説明は、**ローンチモード ページ 78** をご参照ください。

加速モードを選択するには、「コントロール」>「ペダル&ハンドル」>「加速」の順にタッチします。

インセイン+または Ludicrous+を使用する

インセインまたは Ludicrous を選択すると、直ちに出力が増加します。ただし、絶対的な最大電力（短時間利用設計）を発揮するために、**インセイン+または Ludicrous+**を選択でき、バッテリーをその理想的な動作温度まで温めます。これにより、確実に 100% の電力を利用できるようになります。

バッテリーを温めている最中、タッチスクリーンにはおおよその待ち時間、いつ追加の電力を利用できるかを知らせるメッセージが表示されます。バッテリーを加熱することに加えて、**インセイン+** および **Ludicrous+** モードは、バッテリーを最適な温度範囲内に維持するよう努めます。このため、ハードな走行をしたときは、温度が下がるまで「冷却中」ステータスが数分間表示される場合があります。Model S で選択したモードは、車両を離れても 3 時間維持されます。この機能は、3 時間後にタイムアウトします。

注: インセイン+および Ludicrous+は、短時間の加速を最大限に発揮するよう設計されています。これらの設定は、日常運転での利用を想定したものではありません。出力が増大する代わりにエネルギーが余分に消費されるため、最大出力モードでの走行を長く続けるほど電力消費量が増大します。インセイン+または Ludicrous+設定を選択していない時でも、インセインまたは Ludicrous の加速設定では、著しくパフォーマンスが上昇し、バッテリー出力最大化を達成します。実際に、通常の運転状況下では、インセイン+または Ludicrous+を利用してさらにパワーを発揮することができますが、ほとんど気づきません。

注: インセイン+または Ludicrous+を対応させるには、充電レベルが 20% 以上でなければいけません。充電レベルが 20% 以下の場合、本設定を初期化することはできません。さらに、使用中に充電レベルが 20% 以下になった場合、本設定は直ちにキャンセルされます。

インセイン+または Ludicrous+の使用時、バッテリーを最適な温度範囲内に保つために Model S はより多くの電力を消費します。

インセイン+または Ludicrous+をキャンセルする時には、加速レベルを他の設定に変更します。過剰な電力消費や不必要なエネルギー消費（例えば、車両を放置してインセイン+または Ludicrous+のキャンセルを忘れるなど）を防ぐために、運転中か車両降車後かに関わらず、本設定は自動的に 3 時間でキャンセルされます。

注: インセイン+または Ludicrous+では、バッテリーを最適な温度範囲内に保ちます。バッテリーを温めるだけでなく、本設定では必要に応じてバッテリーを冷却します（例：高速運転時、急速な加速の間、長時間の運転時など）。

ローンチモード

パフォーマンス四輪駆動仕様車のみで利用できるローンチモードは、トラクションが良好な路面で最高の加速を実現します。

注: ローンチモードの使用などで急激な加速を行うと、車両のパワートレインへの負荷が増すため、コンポーネント各部の摩損および疲労が進みます。Model S パワートレインの疲労具合や損傷などがないかを継続的に監視し、整備が必要なコンポーネントがあればお知らせします。



警告: ローンチモードは交通の妨げにならず、歩行者のいない適切な状況下に限り使用してください。ローンチモードはレースサーキット場での走行のために設計されています。ドライバーは、他の道路使用者への危険行為および迷惑行為にならないように、運転方法および加速に責任を持つ必要があります。



ローンチモードを作動させる

1. 数分間運転をし、さらにブレーキを数回使用して、ブレーキを少し温めておきます。
2. エアサスペンションを「Low」に設定します（[エアサスペンション ページ 72](#) 参照）。
3. 加速レベルを**インセイン+**または**Ludicrous+**（備わっている場合）に設定します。

注: **Ludicrous+**設定が備わっている場合、この設定を3秒間長押しして最適なパフォーマンスを実現することができます。

4. Model S のシフトを「D」位置にし、完全に停止している状態でハンドルをまっすぐにし、ブレーキペダルを左足でしっかりと奥まで踏み込みます。1秒以内に、計器パネルに、ローンチモードが有効になったことを示すメッセージが表示されます。

注: ローンチモードでは、さらにフロントサスペンションを低下させ、地面からのクリアランスが著しく縮小されます。

5. ローンチモードを有効にしてから12秒以内に、ブレーキペダルから足を離し車両を始動します。

ブレーキを離すと、Model S が前進します。

注: でスリップスタートがオン（ホイールのスピンを許す）場合、ローンチモードは利用できません。[Traction Control ページ 77](#) を参照してください。

注: ローンチモードは、周囲温度が3°C 以上の場合にのみ利用できます。



ドライバー[#10]プロフィール

運転席シート、ハンドルポジション、またはドアミラーの調整を初めて行う際は、これらの調整を保存するためのドライバープロフィールを作成することを促すメッセージがタッチスクリーンに表示されます。ドライバープロフィールでは、Model S をカスタマイズする際に実施したさまざまな設定の保存もします。



新しいドライバープロフィールを追加するには、タッチスクリーン上部にあるドライバープロフィールアイコンをタッチします。「**ドライバープロフィール設定**」>「**ドライバーを追加**」をタッチして、ドライバーの名前を入力し、「**プロフィールを作成**」をタッチします。画面の指示に従い、

ドライバーに合わせて運転席とハンドルを自動的に調整して Model S への出入りをより便利にする **イージー エントリー** 設定を保存（または既存のものを使用）する場合は、「**イージーエントリーを使用**」チェックボックスにチェックを入れます。

ドライバープロフィールの保存または選択後、運転席シート、ハンドル、またはサイドミラーの位置を変更すると、新しい位置を **保存** するか、または前回保存した位置へと **元に戻す** ことを促すメッセージがタッチスクリーンに表示されます（その他の設定は自動的に保存されます）。保存や復元せずに設定を変更するには、そのメッセージを無視して構いません。

ドライバーのプロフィールを削除するには、タッチスクリーンの上部にあるドライバープロフィールのアイコンをタッチし、「**ドライバーのプロフィール設定**」をタッチして、削除するドライバープロフィールを選択します。選択したら、そのドライバープロフィールを「**削除**」します。

注: バレーモードは、速度制限および Model S の一部の機能へのアクセスを制限する場合に使用するビルトインドライバープロフィールです（[バレーモード ページ 81](#) を参照）。

注: 製造日および購入時点で選んだオプションによっては、Model S 車両がドライバープロフィールの機能を装備していないこともあります。また、車両にドライバープロフィールが装備されていても、そのプロフィールに合わせていくつかの機能を自動的に保存、調整しないことがあります（例えばミラー位置など）。

注: ドライバープロフィールに基づいて実行されている自動調整を停止するには、ドライバーのプロフィールのドロップダウンメニューにある「**停止**」をタッチします。手動でシート、ミラー、ハンドルを調整すると、自動調整も停止します。

ドライバープロフィールの選択



ドライバープロフィールに従って Model S を調整するには、タッチスクリーンの最上部にあるドライバープロフィールアイコンにタッチします。続いてドライバーを選択すると、そのドライバープロフィールで保存されている設定に合わせて Model S が調整されます。

保存されている設定

Model S をカスタマイズするために指定した設定の一部は、ドライバープロフィールに自動的に保存されます。保存されると、タッチスクリーンのドライバープロフィールアイコンの隣に緑色のチェックマークが表示されます。自動的に保存されるドライバープロフィールの例としては、

- ナビゲーション、温度、ライトおよびディスプレイ設定があります。
- オートパイロット およびドライブの好み。

注: ドライバープロフィールに関わる設定は、車両の製造日およびインストールされているソフトウェアのバージョンによって異なります。

ドライバーのプロフィールとキーフォブのリンク

ドライバーのプロフィールを特定のキーフォブにリンクさせ、そのキーフォブを持って車両に近づくとも運転席側ドアを開き、Model S が正しいドライバーのプロフィールを自動的に選択できるようにします。ドライバープロフィールをキーフォブにリンクさせるには、キーフォブを持って Model S に乗車し、タッチスクリーン上部にあるドライバープロフィールアイコンにタッチします。キーフォブにリンクさせたいドライバープロフィールを選択して、「**キーフォブにリンク**」をタッチします。

注: Model S 一度に検出するキーフォブは 1 つだけです。ドライバーのプロフィールはその時点で車両が検出したキーフォブにリンクされます。そのため、ドライバープロフィールを複数のキーフォブにリンクさせたい場合は、リンク確立手順を行っている間、ドライバープロフィールをリンクさせたいキーフォブだけが検出範囲内にあるようにしてください。その他のすべてのキーフォブを検出範囲外（Model S から少なくとも 1 メートル離れた場所）に移動します。

注: Model S 一度に 3 個までのキーフォブをリンクさせることができます。ただし、1 つのドライバープロフィールは 1 つのキーフォブにしかリンクさせることができません。

ドライバーのプロフィールとキーフォブとの間のリンクを削除するには、タッチスクリーンの上部にあるドライバープロフィールをタッチします。ドライバープロフィールを選択して、をタッチします X「**キーフォブにリンクしました**」のとなりです。

イージー エントリー

イージー エントリー設定を定義すると、Model S への出入りを容易にするようにハンドルと運転席を動かすことができます。ドライバーは自分のドライバーのプロフィールに関連付けることで、イージーエントリー設定を使用することができます。イージー エントリー設定がドライバーのプロフィールに関連付けられると、パーキングにシフトして、運転席シートベルトが外されたときに、ハンドルと運転席が自動的に調整され、Model S からの降車（および次回の乗り込み）が楽にできるようになります。車両に戻りブレーキペダルを踏むと、設定は自動的に前回のドライバープロフィールで使用された（またはドライバーのプロフィールがリンクされている場合はキーに基づく）設定を使用します。



ドライバーのプロフィールで **イージーエントリー** を使用するには、「**イージーエントリーを使用**」ボックスにチェックが入っていることを確認してください。

警告: 運転席の後ろの後列シートにチャイルドシートを取り付けているときには、運転席を自動で最後位置に動かすために「イージーエントリー」を使用しないでください。後列座席との間隔が狭くなると、運転席を動かしたときにお子さまの足に当たってしまったり、チャイルドシートを押し除けてしまう場合があります。

バレーモード

Model S がバレーモードになっているときは、次の制限が適用されます。

- 速度は 113 km/h 以下に規制されます。
- 最大加速と最大出力は制限されます。
- フロントトランクとグローブボックスはロックされます。
- 自宅および職場のロケーションはナビゲーション システムで使用できません。
- 音声指示が無効になります。
- テキスト メッセージは非表示になります。
- オートパイロット の便利な機能が無効になります。
- 「モバイル アクセスを許可」設定は変更できません。
- ドライバープロフィールにアクセスできません。
- Toybox や Theater などの一部のアプリは利用できません。
- Wi-Fi と Bluetooth が無効になります。Model S がバレーモードにあるときは、新しい Bluetooth 機器をペアリングしたり、接続済みの機器を閲覧したり削除したりすることはできません。しかし通信エリア内に Bluetooth でペアリングした機器または既知の Wi-Fi ネットワークがある場合は、Model S は接続を行いません。

バレーモードの開始

Model S をパーキングにシフトして、「**コントロール**」 > 「**安全**」 > 「**バレー モード**」にタッチするか、タッチスクリーンの最上部にあるドライバーのプロフィールアイコンにタッチしてから、**バレーモード**にタッチします。

バレーモードを初めて使用する場合は、バレーモードをキャンセルするときに使用する 4 桁の暗証番号を作成するようにタッチスクリーンから求められます。

バレーモードが動作している場合、インストルメントパネル上に「**バレー**」の文字が表示され、タッチスクリーンでドライバーのプロフィールが「**バレーモード**」に変わります。

また、モバイル アプリを使って、バレー モードを開始またはキャンセルすることもできます (Model S のギアがパーキングに入っている必要があります)。モバイル アプリを使用している場合は、アプリにログインする際、すでに Tesla アカウント認証情報を使ってログインしているので、PIN を入力する必要はありません。

注: 「**ドライブ用 PIN**」の設定が有効になっている場合 (**ドライブ用 PIN ページ 116** を参照)、バレー PIN を定義または入力するには、ドライブ PIN を入力する必要があります。バレーモードになると、Model S は、ドライブ用 PIN の入力なしに車両を運転することが可能になります。

注: 「**ドライブ用 PIN**」の設定は、バレーモードが有効のときは利用できません。

PIN を忘れた場合は、Model S 内で Tesla アカウント認証情報を入力するとリセットできます (バレーモードもキャンセルされます)。モバイル アプリを使って PIN をリセットすることもできます。

バレーモードのキャンセル

Model S をパーキングにして、タッチスクリーンの最上部にあるドライバー プロフィール アイコンにタッチしてから、「**バレーモード**」にタッチして 4 桁の PIN を入力します。

バレーモードをキャンセルすると、直前まで使用していたドライバー プロフィールと温度調整の設定に関連するすべての設定が回復し、すべての機能が使用可能になります。

注: バレーモードをキャンセルするにはモバイル アプリから PIN を入力する必要はありません。



走行情報を表示する

走行情報は、タッチスクリーンの「コントロール」>「走行データ」の順にタッチしたときに、表示されます。現在の走行データとして、距離、期間、平均エネルギー使用量を表示できます。前回の充電以降の距離とエネルギーの総使用量および平均使用量、さらにこの後の走行についてのエネルギーの総使用量および平均使用量も表示できます。

トリップに名前を付ける、あるいは既存の名前を変更するには、トリップ名をタッチしてからトリップの新しい名前を入力し、最後に**保存**を押します。特定の走行データのメーターをリセットするには、対応する**リセット**にタッチします。

最大3つまでのトリップの情報をインストゥルメントパネルに表示できます。チェックボックスを使って表示させたいトリップを指定します。次にハンドルの右側にあるスクロールホイールを使用して、選択したトリップを表示します（[ハンドルの右ボタンを使用する ページ 59](#)を参照）。

オドメーター

オドメーターを表示して走行距離を確認するには、以下のいずれかの操作を行います。

- ・「コントロール」>「ソフトウェア」の順にタッチします。
- ・「コントロール」>「トリップ」の順にタッチします。
- ・モバイル アプリを開き、メイン画面の最下部までスクロールダウンします。



カメラ位置

Model S のリアビューカメラが搭載されています。



ギアをリバースに入れると、このカメラの画像がタッチスクリーンに表示されます。ハンドルの位置に応じてラインが運転方向を示します。ハンドルが動いても、これらのラインは調整されます。

Model S が車両の後ろを横切ろうとする物体（他の車両や歩行者など）を検出すると、リアビューカメラの画像に重なって赤い縦棒が表示されます。詳細な情報については、[リアクロストラフィックアラート ページ 112](#) を参照してください。

Model S は、サイドカメラの画像も表示します（装備されている場合）。

注: インストルメントパネルにパーキングアシストからの視覚的フィードバックも表示されます（[パーキングアシスト ページ 74](#) を参照）。



リアビューカメラのビューを表示するには、常にアプリランチャーを開いて、カメラアプリにタッチします。

リバースにシフトしているときに、リアビューカメラの画像の代わりにタッチスクリーンに黒い画面が現れた場合、バックミラーを使用して周囲が安全であることを確認してから、後進を継続してください。リアビューカメラが使用できない状態が継続する場合、モバイルアプリを使用してサービス予約してください。



警告: 車両の背後に人の存在や障害物の有無はカメラ（複数）の映像だけで判断しないでください。このカメラでは、車両への損傷や人身事故を招くおそれのある障害物や人を検出できない場合があります。また、カメラの検出能力はレンズの汚れや視界の遮断など、いくつかの外的要因で低下することがあります。このため、カメラに頼って、Model S が障害物に近づいているかどうかを判断することは、車両や物体に損傷を与えたり、人身事故につながる恐れがあります。必ずご自分の目で確認してください。バックするときは、後ろを振り返り、すべてのミラーを使用するようにし、カメラはあくまで補助手段としてご利用ください。カメラは目視確認の代わりではなく、安全運転を不要にするものではありません。

明瞭な画像を維持するには、カメラのレンズをきれいに保ち、視界が遮られないようにしてください。[洗車 ページ 165](#) を参照してください。



歩行者警告システム

(装備している場合) 歩行者警告システムは、33 km/h (21 mph) より低速で走行している場合、または後進している場合に、Model S を鳴動させます。電気自動車は音がしないため、歩行者に車が接近していることを音で知らせます。この音は、Model S がパーキング以外にシフトされているときに鳴り、速度が上がるにつれて音量が上がります。

注: およそ 2021 年 7 月 1 日より前に製造された車両には、歩行者警告システムが搭載されていないことがあります。



警告: 音が聞こえないと、歩行者は近づく車両に気づかない可能性があり、重傷事故や死亡事故につながる恐れがあります。歩行者に車両を確実に気付かせるために、歩行者警告システムを頼ることはしないでください。歩行者警告システムが作動していない場合、サービス予約をしてください。



オートパイロットは、運転をより快適で負担の少ないものにするを目的とした高度なドライビングアシスト機能を組み合わせたものです。これらの機能のどれも、Model S を完全に自律的にはしませんし、ドライバーとしてのあなたに取って代わることもありません。

すべての Tesla 車両にはトラフィックアウェア クルーズコントロールが搭載されています。トラフィックアウェア クルーズコントロールは、前方に車両がある場合に速度を維持し、調整可能な車間距離を保ちます（[トラフィックアウェア クルーズコントロール ページ 87](#) を参照）。

また、お使いの車両には、次のオートパイロット機能が利用可能な場合があります。有効になる具体的な機能は、市場地域、製造時期、ソフトウェアバージョン、オートパイロットハードウェア、車両構成によって異なります。お客様の車両に合わせた情報については、車両のタッチスクリーンでアプリ ランチャーにタッチして、マニュアル アプリを選択してオーナーズマニュアルをご覧ください。

- **オートステアリング**：車速と先行車両との車間距離を維持しながら、インテリジェントに Model S が車線を維持するようにします（「[オートステアリング ページ 92](#)」を参照）。オートステアリングには、**オートレーンチェンジ**（[オートレーンチェンジ ページ 94](#)）および**ナビゲート オン オートパイロット**が含まれます。（[ナビゲート オン オートパイロット ページ 96](#) を参照）。
- **オートパーキング**：Model S の縦列駐車または車庫入れ駐車を実行します（[オートパーキング ページ 98](#) を参照）。
- **サモン**：車外にいる状態で、Tesla モバイル アプリを使用して Model S の駐車および呼び寄せを可能にします（[サモン ページ 100](#) および [スマート サモン ページ 102](#) を参照）。

オートパイロットが作動している場合、Model S には段階的に強まる一連の警告が表示され、ハンドルを握ったまま道路に注意を払うように促します。対応しない場合、オートパイロットは解除され、残りのドライブでは使用できなくなります。

オートパイロットの制限を理解することはお客様の責任であり、常にハンドルの上に手を置き、道路に注意を払い、直ちに対処できるように備えてください。

警告：オートパイロットはハンズフリーの機能ではありません。常にハンドルの上に手を置き、道路状況、周囲の交通状況、その他の道路利用者（歩行者や自転車など）に注意を払ってください。即座に対応できるように準備してください。これらの指示に従わない場合、損傷、重傷、または死亡の原因となる可能性があります。

警告：オートパイロットは衝突警報システムでも衝突回避システムでもありません。常に路上に注意を払い、安全運転を心がけ、車両を制御することはドライバーの責任です。オートパイロットに頼って Model S を十分に減速させようとししないでください。常に道路の前方に注意を払い、修正行動をとれるように準備してください。これらを怠ると重大な事故や死亡事故につながる恐れがあります。

オートパイロットが作動している場合、Model S には段階的に強まる一連の警告が表示され、ハンドルを握ったまま道路に注意を払うように促します。対応しない場合、オートパイロットは解除され、残りのドライブでは使用できなくなります。

警告：オートパイロットは衝突警報システムでも衝突回避システムでもありません。常に路上に注意を払い、安全運転を心がけ、車両を制御することはドライバーの責任です。オートパイロットに頼って Model S を十分に減速させようとししないでください。常に道路の前方に注意を払い、修正行動をとれるように準備してください。これらを怠ると重大な事故や死亡事故につながる恐れがあります。

オートパイロットの限界を理解し、常に自ら制御できるように準備することはドライバーの責任です。

動作の仕組み

オートパイロットは Model S 上のカメラを使用します。Model S の前面、背面、左側および右側にカメラが取り付けられています（「[カメラ](#)」 [ページ 19](#) を参照）。



オートパイロット 条件

それぞれのドライブを開始する前、またはオートパイロットの機能を使用する前に、すべてのカメラが汚れていないこと、および障害物がないことを確認します（[カメラのクリーニング ページ 165](#) を参照）。カメラやセンサー（装備されていれば）の汚れは、周囲状況や消えかけた車線マーキングなどの周囲条件と同様に、オートパイロットのパフォーマンスに影響をもたらします。カメラが遮られている場合、または覆われている場合、Model S のインストールメントクラスターにメッセージが表示され、オートパイロット機能が使用できなくなる可能性があります。

オートパイロット機能を使用する前、および一部のサービスのための訪問の後、カメラをキャリブレーションするために短い距離をドライブする必要があります。詳細な情報については、[走行中のカメラキャリブレーション ページ 19](#) を参照してください。

また、以下の場合、これらの機能が意図したとおりに動作しないことがあります。

- 道路に急カーブがある、または標高が大幅に変化している。
- 道路標識や信号機が不明瞭、あいまい、または整備が不十分である。
- 視認性が低い（激しい雨、雪、雹など、または夜間の道路照明が貧弱である）
- トンネル内や、カメラの視界を妨げる分離帯の近くなどを走行している。
- 明るい光（対向車のヘッドライトや直射日光）がカメラの視野を妨げている。

上記の一覧はオートパイロット機能の正常な動作を妨げる可能性のある状況をすべて網羅したものではありません。

オートパイロット 機能	使用可能な条件
トラフィックアウェアクルーズコントロール	<ul style="list-style-type: none"> • 30 km/h から 140 km/h で運転中 <p>注: Model S の前方 1.5 m 以上のところに車両が検出された場合、より低速でトラフィックアウェアクルーズコントロールを作動させることができます。</p>
オートステアリング	<ul style="list-style-type: none"> • 30 km/h から 140 km/h で運転中 <p>注: Model S の前方 1.5 m 以上のところに車両が検出された場合、より低速でオートステアリングを作動させることができます。</p> <p>注: 生活道路、センターラインのない道路、またはアクセス管理されていない道路では、最大許容巡航速度が制限され、インストールメントパネルにメッセージが表示されます。制限速度は、道路の制限速度に 10 km/h プラスした値です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ヘッドライトは「オン」または「自動」に設定されます。オートパイロットは昼間でも暗い場所（夕暮れ時や夜間）でも使用できますが、オートステアリングは、ヘッドライトが「オフ」に設定されると停止するか利用できません。オートステアリングが作動すると、自動的に有効になり（ハイビーム ヘッドライト ページ 63 を参照）、ワイパーが「自動」に設定されます。
ナビゲートオンオートパイロット	<ul style="list-style-type: none"> • 30 km/h から 140 km/h で運転中。 <p>注: Model S の前方 1.5 m 以上のところに車両が検出された場合、より低速でナビゲートオンオートパイロットを作動させることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • アクセス管理された高速道路を走行しています。アクセス制限のある高速道路を離れると、ナビゲートオンオートパイロットはオートステアリングに戻ります。



注: 販売地域、車両構成、購入したオプション、ソフトウェアバージョンによっては、車両にトラフィックアウェア クルーズコントロールが装備されていない場合や、その機能が記述通りには作動しない場合があります。車両にトラフィックアウェア クルーズコントロール機能がいない場合、車両のタッチスクリーンでオーナーズ マニュアルを表示してクルーズコントロールの使用方法を確認してください。

注: トラフィックアウェア クルーズコントロールはベータ版の機能です。

トラフィックアウェア クルーズコントロール は、同じ車線上の前方に車両があるかを判断します。Model S の前方を車両が走行していない場合、トラフィックアウェア クルーズコントロールは設定されている走行速度を維持します。車両が検出された場合、トラフィックアウェア クルーズコントロールは、前方車両との間に時間に基いて設定された車間距離が保たれるように、設定速度を上限として、必要に応じて Model S を減速させるように設計されています。トラフィックアウェア クルーズコントロールを使用している場合、ドライバーは道路の進行方向に常に注意を払い、状況に応じて自らブレーキを踏む必要があります。

トラフィックアウェア クルーズコントロール は、高速道路などでの乾いた真っ直ぐな道路での運転を想定しています。

注意: 運転の前に、カメラ、センサー類（装備されている場合）すべてに汚れがないことを確認してください。カメラやセンサーが汚れていると、雨天時や車線マークが色あせしている場合などと同様にオートパイロットのパフォーマンスに影響が出ます。

警告: トラフィックアウェア クルーズコントロールは、運転の快適性と利便性を高めることを目的に設計されたものであって、衝突警告システムや衝突回避システムではありません。常に路上に注意を払い、安全運転を心がけ、車両を制御することはドライバーの責任です。トラフィックアウェア クルーズコントロールに頼って Model S を十分に減速させようとししないでください。常に道路の前方に注意を払い、修正行動をとれるように準備してください。これらを怠ると重大な事故や死亡事故につながる恐れがあります。

警告: トラフィックアウェア クルーズコントロールは歩行者や自転車を認識することが可能ですが、Model S の速度を減速するのに決してトラフィックアウェア クルーズコントロールだけに頼らないでください。常に道路の前方に注意を払い、修正行動をとれるように準備してください。これらを怠ると重大な事故や死亡事故につながる恐れがあります。

警告: 急カーブが続く曲がりくねった道路、表面が凍結していたり滑りやすくなっている道路、または一定速度での運転が不適切な悪天候（豪雨、雪、霧など）の中でトラフィックアウェア クルーズコントロールを使用しないでください。トラフィックアウェア クルーズコントロールは道路や運転の状況に応じて運転速度を調整しません。

トラフィックアウェア クルーズコントロールを使用するには

前方に車両が検出されていない状態では、30 km/h 以上の速度で走行していないとトラフィックアウェア クルーズコントロールを起動できません。ただし、一定の車両条件と環境条件が満たされていれば、それより遅い速度でもオートステアリングを起動できます。前方に車両が検出されている場合、自分の車両がたとえ静止していても、Model S 当該車両から少なくとも、1.5 m 離れていて、一定の車両条件と環境条件が満たされていれば、トラフィックアウェア クルーズコントロールを任意の速度で使用することができます。

注: 最大巡航速度は、時速 150km です。常に道路状況や制限速度に応じた安全な速度で走行することはドライバーの責任となります。



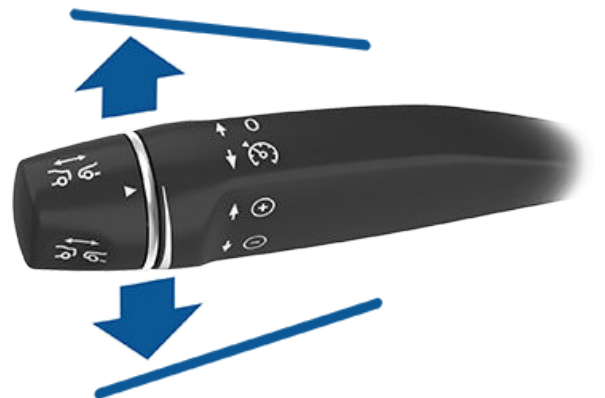
トラフィックアウェア クルーズコントロールが利用可能であっても有効となっていない場合、インストゥルメントパネルに灰色のクルーズ速度アイコンが表示されます。灰色で表示された数値は、トラフィックアウェア クルーズコントロールを有効にしたときに設定される巡航速度を表しています。



トラフィックアウェア クルーズコントロールが有効で、設定された巡航速度で巡航している場合、アイコンは青色になり巡航速度を表示します。

1. 利用できるときは、トラフィックアウェア クルーズコントロールを起動して、制限速度や現在の走行速度に合わせることができます。次の選択肢があります：

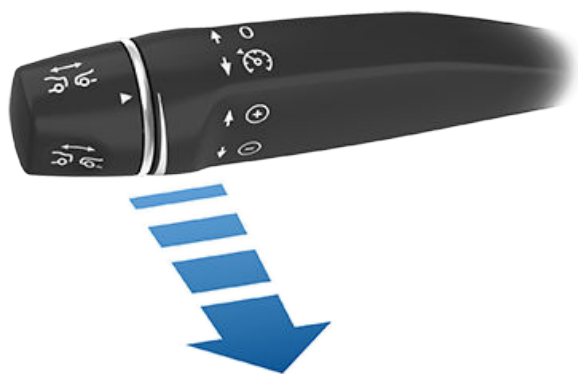
- 現在の走行速度でトラフィックアウェア クルーズコントロールを起動するには、オートパイロットレバーを 1 回引き上げるか押し下げて、アクセル ペダルから足を離すと、トラフィックアウェア クルーズコントロールで巡航速度が維持されます。



- 現在検出されている制限速度でトラフィックアウェア クルーズコントロールを起動するには、オートパイロットレバーを手前に 1 回引いて、アクセル ペダルから足を離すと、トラフィックアウェア クルーズコントロールでクルージング速度が保たれます。



トラフィックアウェア クルーズコントロール



注: オートパイロットの起動が「1 回引き下げ」に設定されている場合、オートパイロットレバーを 1 回手前に動かすと、オートステアリングが作動します（[オートステアリング ページ 92](#) を参照）。コントロール > オートパイロット > オートパイロットの起動にタッチして「2 回引き下げ」を選択すると、オートステアリングレバーを手前に引いたときに、トラフィックアウェア クルーズコントロールから独立してオートステアリングを使用することができます。

注: 現在検出されている走行速度でトラフィックアウェア クルーズコントロールの起動を選択すると、オフセットを指定できます。コントロール > オートパイロットをタッチし、次に設定速度のオフセットをタッチします。すべての道路で巡航速度が指定した数値の km/h に調整される「固定」オフセットと、現在走行している道路で検出した速度制限のパーセンテージとして調整される「パーセント」オフセットのいずれかを指定できます。オートパイロットレバーを手前に引くと、速度制限を超えて運転している場合、設定速度は、速度制限ではなく現在の走行速度に調整されます。速度制限で巡航中にオートパイロットレバーを上げ下げすると、設定速度が現在の走行速度に変更されます。

トラフィックアウェア クルーズコントロールが有効になったことを示すチャイムが鳴ります。

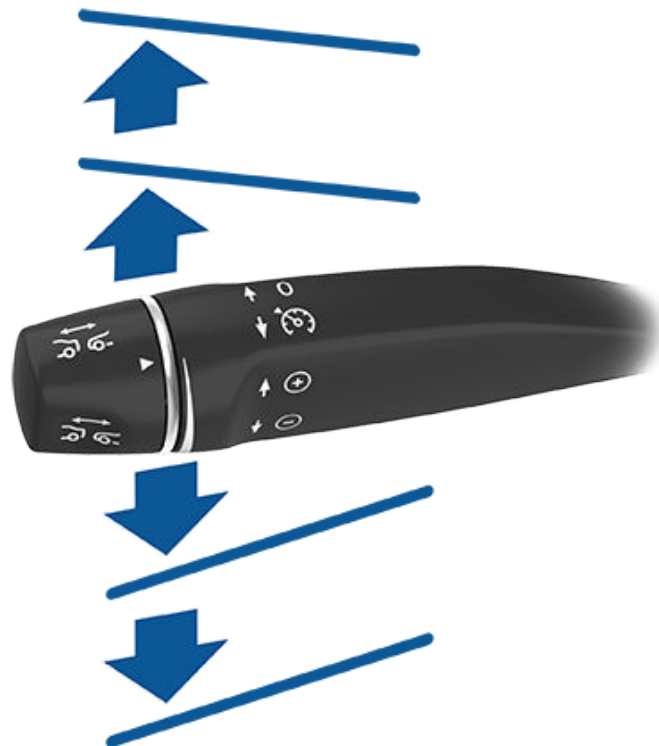
警告: 速度制限をもとに巡航速度を調節する場合、速度制限を変更しても設定した巡航速度は変更されない場合があります。

警告: トラフィックアウェア クルーズコントロールまたはスピードアシストに依存して、正確または適切なクルーズ速度を決定しないようにしてください。常に道路状況や該当の速度制限に応じた安全な速度で走行することはドライバーの責任となります。

2. トラフィックアウェア クルーズコントロールの使用時に速度を変更するには、右スクロール ホイールまたはオートパイロットレバーを使用します。詳細は[巡航速度の変更 ページ 88](#) を参照してください。
3. トラフィックアウェア クルーズコントロールをキャンセルするには、レバーを前方に 1 回押すか、ブレーキペダルを踏みます。詳細情報については、[キャンセルおよび再開 ページ 90](#) を参照してください。

巡航速度の変更

トラフィックアウェア クルーズコントロールの使用中に設定巡航速度を変更するには、インストゥルメントパネルに希望の巡航速度が表示されるまで、オートパイロットレバーを上（加速）または下（減速）に動かします。



時速 1km 刻みで加減速するには、レバーを第 1 ポジションまで上げるか、下げて離します。現在の速度に最も近い時速 5km の倍数まで加減速するには、レバーを第 2 ポジションまで上げるか、下げて離します。たとえば、時速 83km で走行時にレバーを第 2 ポジションまで上げて離すと、速度は時速 85km になります。レバーを一番上か一番下で抑えて、インストゥルメントパネルのアイコンに希望の巡航速度が表示されたときにレバーを離しても、加減速ができます。

オートパイロットレバーを手前に約 0.5 秒間引き続けても、検出された制限速度で巡航します。

注: Model S は、設定速度より遅い速度で走行する車両の後方で Model S が巡航していない場合、新しい巡航速度を決定するために数秒かかることがあります。

設定速度で巡航

トラフィックアウェア クルーズコントロール は、Model S の前方に他の車両が検出されていない場合、設定巡航速度を維持します。検出した車両の後ろを走行すると、選択した車間距離（[車間距離の調整 ページ 89](#) 参照）を維持するために必要に応じて、トラフィックアウェア クルーズコントロールが設定速度まで Model S を加減速します。

トラフィックアウェア クルーズコントロール カーブに進入または退出する際も巡航速度を調整します。



設定速度で巡航するとき、いつでも手動で加速することができますが、アクセルを離せばトラフィックアウェア クルーズコントロールが再開します。

注: トラフィックアウェア クルーズコントロールが前方車両との車間距離を選択されている距離に保つために Model S を減速させているときは、ブレーキ ランプが点灯し、他のドライバーに自車が減速していることを知らせます。ブレーキ ペダルのわずかな動きに気付くことがあります。ただし、トラフィックアウェア クルーズコントロールが Model S を加速をしているときは、アクセル ペダルは動きません。

警告: トラフィックアウェア クルーズコントロールは、時折ブレーキが必要でないとき、または予期しないときに Model S にブレーキをかけることがあります。その原因は、先行車両との車間距離が短いことや（特にカーブで）隣の車線上の車両や物体を検出することなどです。

警告: 車載 GPS（グローバル ポジショニング システム）の限界により、特に高速道路出口付近でカーブが検出されたり、ナビを使って目的地に向かっていて提示ルートに従わない時など、Model S によって車両が減速することがあります。

警告: トラフィックアウェア クルーズコントロールは、物体を検知できない場合があります。静止した車両や物体と衝突しないようにブレーキをかけたり減速したりできなくなることがあります。特に 80 km/h 以上で走行しているときに追尾していた車両がいなくなり、その代わりに静止した車両や速度の遅い車両、または物体が前方に現れると、この現象が起きやすくなります。常に前方の道路に注意を払い、ただちに対処できるように備えてください。トラフィックアウェア クルーズコントロールに任せきりになると、重大な事故や死亡事故につながるおそれがあります。さらに、トラフィックアウェア クルーズコントロールが、走行車線上を走行していない車両や走行車線上に存在しない物体に反応し、Model S を不必要または不適切に減速させる場合もあります。

警告: 制動能力が限定されている、坂道を走行しているなどの理由でトラフィックアウェア クルーズコントロールが適切な速度制御を行えないこともあります。トラフィックアウェア クルーズコントロールが先行車両との車間距離を誤判定することもあります。下り坂を走行すると、Model S の走行速度が上がり、設定速度（場合によっては制限速度を超過する恐れがある）を超えてしまうことがあります。衝突回避のための Model S の減速をトラフィックアウェア クルーズコントロールに依存しないようにしてください。常に道路に注意を払い、いつでも必要に応じて対応できるようにしてください。衝突回避のための走行速度の減速をトラフィックアウェア クルーズコントロールに依存すると、重大な事故や死亡事故につながるおそれがあります。

ホールド状態

前方に他の車両がある場合、Model S が完全停車したとしても、トラフィックアウェア クルーズコントロールは低速において有効となったままとなります。前方の車両が再び動き始めると、トラフィックアウェア クルーズコントロールは設定速度で走行を再開します。ただし、以下のような状況では、トラフィックアウェア クルーズコントロールが「ホールド」状態に入るため、巡航を再開するには、アクセル ペダルを軽く踏むか、オートパイロット レバーを手前に引く（[キャンセルおよび再開 ページ 90](#) を参照）必要があります。「ホールド」状態が有効な場

合、インストゥルメントパネルには「ホールド」アイコンとメッセージが表示され、クルーズコントロールを再開する必要があります。トラフィックアウェア クルーズコントロールがホールド状態に入るのは次の状況です。

- Model S が、5 分間停車している場合。
- Model S が歩行者を検出した場合（歩行者が検出されなくなるとホールド状態は解除されます）。
- Model S の前方にいた車両が突然視界からなくなった場合。
- Model S の前方に障害物を検出した場合。

高速道路出口またはその付近で巡航する

進入制限のある道路（高速道路や自動車専用道路など）の出口付近を巡航し、出口方向に向かって方向指示器を入れると、トラフィックアウェア クルーズコントロールは Model S が出口から退出するものとみなし減速を開始します。オフランプに向かって走行していない場合、トラフィックアウェア クルーズコントロールは設定速度での巡航を再開します。右側通行の地域の場合は、最右車線を走行している時に出口の 50 メートル手前で右に方向指示器を出したときのみに行われます。同様に、左側通行の地域の場合は、最左車線を走行している時に出口の 50 メートル手前で左に方向指示器を出します。

進入制限のある道路（高速道路や自動車専用道路など）に進入するとき、トラフィックアウェア クルーズコントロールは、高速道路の速度制限にユーザーが指定したオフセットを反映した走行速度に自動的に調整します。

注: 車載グローバル ポジショニング システム（GPS）を使用して、走行している地域が右側通行か左側通行かを判断します。GPS データが利用できない状況（例えば、電波が弱い場合など）では、出口手前で方向指示器を出してもトラフィックアウェア クルーズコントロールは Model S を減速しません。

車間距離の調整

Model S と先行車両の間で維持したい車間距離を調節するには、オートパイロット レバーを回します。各設定は、Model S が現在の位置から先行車両のリアバンパーの位置に到達するまでにかかる時間に基づいた距離に相当します。設定は、手動で変更するまで保持されます。

最も短い追従距離は 2 です。



オートパイロット レバーの回転に応じて、インストゥルメントパネルに現在の設定値が表示されます。目的の設定値が表示されたら、レバーを離します。



トラフィックアウェア クルーズコントロール



警告: 十分な車間距離を取って安全に運転することはドライバーの責任となります。適切な車間距離を維持するために、トラフィックアウェア クルーズコントロールのみに頼らないでください。

警告: 衝突を避けるために、Model S を適切に減速させる操作をトラフィックアウェア クルーズコントロールに依存してはいけません。常に前方の道路に注意を払い、適切な行動をすばやく取れるようにしてください。

追い越し加速

トラフィックアウェア クルーズコントロールが作動している状態で前方車両を追っている場合、方向指示器をオンにすると（追い越し車線へ移動することを示すと）、Model S は前方車両がいる方向へ短時間加速します。方向指示器レバーを一瞬上げたままにするか、下げたままにしておくと、アクセルペダルを踏まなくても、設定速度まで素早く加速できます。方向指示器の操作による加速は、以下の条件がすべて満たされている場合に限られます。

- トラフィックアウェア クルーズコントロール が作動中で前方に車両を検出している場合。
- 追い越し車線に障害物または車両が検出されていない場合。
- Model S が、設定速度未満であるが時速 72 km を超える速度で走行している。

追い越し加速は前方車両を追いつく際の補助を目的としています。方向指示器が出されると、トラフィックアウェア クルーズコントロールは引き続き前方車両との車間距離を保ちますが、設定距離よりも若干短い車間距離で運転することができるようになります。

以下のうち 1 つの条件が満たされたときに加速がキャンセルされます。

- 設定した巡航速度に到達した場合。
- 車線変更にかかる場合。
- Model S と前方車両との距離が近すぎる。

または

- 方向指示器を取り消した場合。

注: ウィンカーを完全に作動させる場合、追い越し加速が発生します。方向指示器から手を放すと、Model S は（アクセルペダルを放した場合と同様に）加速を中止し、設定速度での走行を再開します。

警告: 追い越し加速は、上記の状況（たとえば GPS データの欠落）以外にも、予測不可能な理由によってキャンセルされることがあります。走行中は常に注意を払い、車両の加速を追い越し加速機能にのみ依存しないようにしてください。

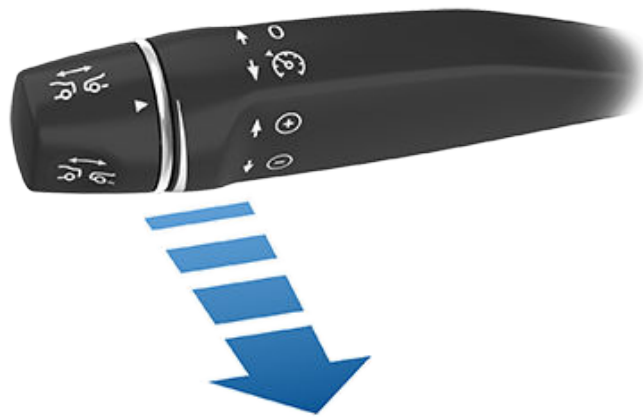
警告: 追い越し加速では、該当するウィンカーを出すと車速が増し、Model S は加速して先行車両に近づきます。トラフィックアウェア クルーズコントロールは先行車両との車間距離を保ち続けますが、特に先行車両を追い越すつもりがない場合は、追い越し加速が作動すると選択されている車間距離が短くなる点に注意することが重要です。

キャンセルおよび再開

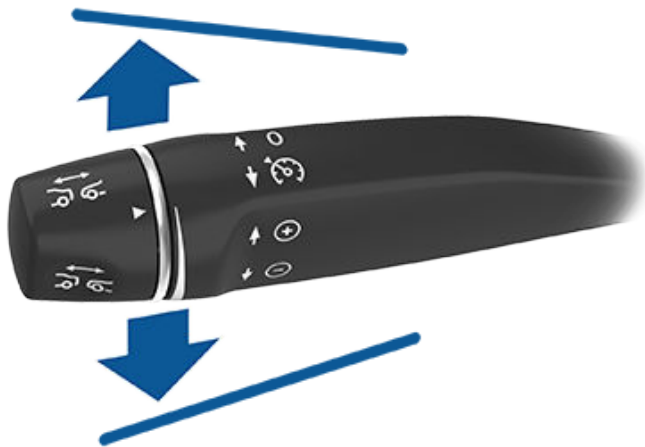
トラフィックアウェア クルーズコントロールを手動でキャンセルするには、ブレーキペダルを踏むか、オートパイロットレバーを短い間押し込みます。インストルメントパネル上の巡航速度アイコンが灰色になり、トラフィックアウェア クルーズコントロールが無効になっていることが示されます。



前回の設定速度で巡航を再開する場合は、オートパイロットレバーを少しだけ手前に引きます。



現在の走行速度で巡航を再開するには、オートパイロットレバーを上または下に動かしてから放します。



トラフィックアウェア クルーズコントロール が能動的に巡航を実行し、設定速度を維持している（前方に車両がない）かまたは前方の車両と設定した車間距離を保ちます（設定速度まで）。



Model S が完全に停止したが、**ホールド**状態にある。安全に行える場合、設定速度で巡航を再開するにはアクセル ペダルを踏みます。

注: トラフィックアウェア クルーズコントロールをキャンセルした場合、Model S は慣性走行しません。代わりに、トラフィックアウェア クルーズコントロールが動作していないときにアクセル ペダルから足を放した場合と同様、回生ブレーキによって Model S が減速します（[回生ブレーキ ページ 69](#) を参照）。

警告: トラフィックアウェア クルーズコントロールは次のような場合にキャンセルされるか、利用できない場合があります。

- ブレーキ ペダルを踏んだ場合。
- 走行速度が最大巡航速度である時速 150 km を超えた場合。
- Model S をシフトした場合。
- ドアが開いた場合。
- カメラまたはセンサー（装備されていれば）に障害物に覆われている場合。これは汚れ、泥、氷、雪、霧などが原因により発生する場合があります。
- トラクション コントロールの設定が手動で無効にされた、またはスリップを防ぐため何度も作動している場合。
- ホイールが回転しているにも関わらずその場から動かない場合。
- トラフィックアウェア クルーズコントロールシステムに障害が発生している、またはサービスが必要です。

トラフィックアウェア クルーズコントロールが利用できない場合またはキャンセルされた場合、Model S は一定の設定速度で走行しなくなり、前方車両との間に指定された車間距離を保たなくなります。

警告: トラフィックアウェア クルーズコントロールは、予想外の理由により予期せずキャンセルされる可能性があります。常に前方の道路に注意を払い、適切な行動をとれるようにしてください。Model S を常にコントロールできる状態に保つことは、ドライバーの責任です。

制限事項

トラフィックアウェア クルーズコントロール は、以下の状況では設計どおりに動作しない可能性が特にあります。

- 道が鋭くカーブしている場合。
- 視界が悪い場合（激しい雨、雪、霧など）。
- 明るい光（対向車のヘッドライトや直射日光）がカメラの視野を妨げている。
- カメラまたはセンサー（装備されていれば）が障害物に覆われている（霧の発生、汚れ、ステッカーで覆われているなど）。

警告: 上記の一覧はトラフィックアウェア クルーズコントロールの正常な動作を妨げる可能性のある状況をすべて網羅したものではありません。

クルーズ インジケーターのまとめ



トラフィックアウェア クルーズコントロール は利用できますが、この機能を有効にするまでは車両の速度をコントロールすることはできません。灰色で表示された数値は、トラフィックアウェア クルーズコントロールを有効にしたときに設定される巡航速度です。



オートステアリング

注: 販売地域、車両構成、購入したオプション、ソフトウェアバージョンによっては、車両にオートステアリングが装備されていない場合や、その機能が記述通りには作動しない場合があります。

注: オートステアリングは、ベータ版の機能です。

オートステアリングでは、トラフィックアウェアクルーズコントロールに基づき（[トラフィックアウェアクルーズコントロール ページ 87](#) を参照）、Model S が設定速度で走行中に走行車線を維持します。オートステアリングは、ターニングナルを使用して Model S を隣接車線へ移動させることもできます（[オートレーンチェンジ ページ 94](#) を参照）。オートステアリングは車線標示および周囲の車両や物体を検知して、ステアリング操作を支援します Model S。

注意: カメラ、センサー類（装備されている場合）すべてに汚れがないことを確認してください。カメラやセンサーが汚れていると、雨天時や車線マークが色あせしている場合などと同様にパフォーマンスに影響が出ます。

警告: オートステアリングはハンズフリーの機能ではありません。使用中も常にハンドルを握っておいてください。

警告: オートステアリングは、注意力の高いドライバーが進入制限された高速道路などを走行するときに使用することを前提としています。オートステアリングを使用する時は、ハンドルを握り、道路条件や周囲の車両に十分に注意を払ってください。オートステアリングを道路工事のある区間、自転車や移動している人または歩行者がいる可能性のある場所では使用しないでください。適切な運転経路を決定する際に、オートステアリングに依存しないようにしてください。即座に対応できるように準備してください。これらの指示に従わない場合、損傷、重傷、または死亡の原因となる可能性があります。

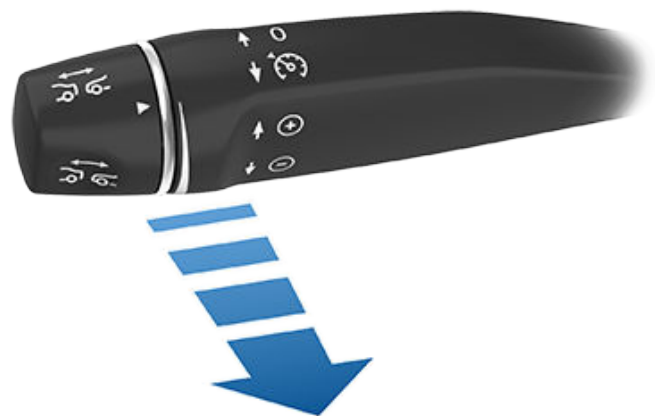
動作中 オートステアリング

オートステアリングを操作する前に、**コントロール > オートパイロット > オートステアリング（ベータ版）** をタッチして有効にする必要があります。



オートステアリングが利用可能状態（ただし、Model S を能動的に作動していない状態）であることを示すため、インストゥルメントパネルに灰色のオートステアリングアイコンが表示されます。

オートステアリングを作動させるには、オートパイロットをすばやく続けて手前に 2 回引きます。



注: オートパイロットの起動の設定を「1 回引き下げ」（コントロール > オートパイロット > オートパイロットの起動にタッチ）にしている場合、オートパイロットレバーを手前に 1 回引くとオートステアリングが作動します。「2 回引き下げ」に設定している場合、オートステアリングを作動させるにはオートパイロットレバーをすばやく続けて手前に 2 回引く必要があります。



オートステアリングが作動してアシストし始め操舵を開始 Model S すると、インストゥルメントパネルのオートステアリングのアイコンの表示が青に変わります。オートステアリングが車線マーキングを検出できる場合、車線も青で表示されます。

オートステアリングでは、道路に注意を払い、ハンドルに両手を置いておくことを注意喚起するために、インストゥルメントパネルに短いメッセージが表示されます。

オートステアリングを開始できる速度は、さまざまな条件や前方に車両が検出されているかどうかによって異なります。前方に車両が検出されていない状態では、30 km/h 以上の速度で走行していないと起動できません。ただし、一定の車両条件と環境条件が満たされていれば、それより遅い速度でも起動できます。前方に車両が検出されている場合、自分の車両がたとえ静止していても、Model S から少なくとも、150cm 離れていれば、オートステアリングを任意の速度で起動できます。

注: オートステアリングが有効な場合、**オートハイビーム**が自動的に有効になって、最高巡航速度が 140 km/h になります。

警告: 緊急車両の有無を判断するのにオートパイロット機能に依存しないでください。Model S 緊急車両からのライトを検出できるとは限りません。進行方向に注意を払い、常に即座に反応できるよう準備をしてください。

オートステアリングが一時的に利用できない状況では、オートステアリングアイコンが消えます。たとえば、運転速度がオートステアリングの動作に必要な速度内にない場合などです。オートステアリングがカメラから適切なデータを受信していない場合も、オートステアリングが利用できないことがあります。

注: 低照明の状態（薄暮または暗がり）においてヘッドライトを「オフ」に設定すると、オートステアリングは中断されるか使用できなくなります。最善の結果を得るためにはヘッドライトを「オート」に設定します。



オートステアリングが車線マーカースを検知できない場合、先行車両を元に車線を決定します。

オートステアリングは通常、Model S に走行車線の中央の位置を維持させようとします。ただし、オートステアリングが車線の中心からオフセットされた走行経路で Model S をハンドル操作する場合があります（たとえばガードレールが検出された場合）。

警告: オートステアリングは、部分的に車線内にある物体の周りを Model S で回避するようには設計されていません。また、場合によっては、車線を完全にブロックしている物体に対して停止しない場合もあります。常に前方の道路に注意を払い、適切な行動をすばやく取れるようにしてください。Model S を常にコントロールできる状態に保つことは、ドライバーの責任です。

速度制限

進入制御された高速道路では、巡航速度はスピードアシストで設定したオフセットを考慮して、制限速度を反映します。住宅地や中央分離帯のない道路、または侵入が制限されていない道路でオートステアリングの使用を選択すると、オートステアリングにより許容される最高巡航速度に制限が入り、インストゥルメントパネルに速度が制限されていることを伝えるメッセージが表示される場合があります。制限速度は、道路の制限速度に 10 km/h プラスした値です。

オートステアリングが起動していて制限速度を検出できない場合、巡航速度はオートステアリングによって 70 km/h に制限されます。手動で、制限速度を超えて加速することはできませんが、Model S は検出した障害物に合わせてブレーキをかけることができなくなる場合があります。オートステアリングは、アクセルペダルから足を離すとこの制限速度まで減速させます。その道路から離れるか、またはハンドルを使用してオートステアリングをオフにすると、必要に応じて再度、設定速度を上げることができます。

ハンドルを握る ハンドル

オートステアリングは Model S のハンドル操作支援を決定します。オートステアリングがオンになっている間は、ハンドルを握っておく必要があります。ハンドルに手が置かれていることが一定時間検知されなかった場合、インストゥルメントパネルの状態セクションの最上部に青色ライトが点滅表示され、次のメッセージが表示されます。

ハンドルを少し回してください



オートステアリングは、ハンドルを回したときの軽い抵抗や、ハンドルをわずかに（ハンドル制御が切り替わらない程度に）回す動作から運転者の手を検知します。

注: 手が検知されると、警告メッセージは消え、オートステアリングは通常動作に戻ります。

オートステアリングは、ドライバーは周囲に注意を配り、すぐに運転を代われるように備えていなければなりません。それでもオートステアリングがハンドルに置かれている手を検出しない場合は、インストゥルメントパネルの車両ステータスセクションにあるライトの点滅が速くなり、チャイムが鳴ります。

ハンドルに手を置くよう促すオートステアリングの注意を繰り返し無視すると、残りの運転でオートステアリングは無効となり、自分で運転するようメッセージ表示します。手動で運転を再開しないと、オートステアリングは連続してチャイム音を鳴らし続け、警告灯を点滅し、速度を落として車両を完全に停止させます。



オートパイロットは現在の走行では利用不可です。オートパイロット 強制解除 - 注意力警告の無視のため。

次の運転まで、オートステアリングを使用することはできません。オートステアリングは、次の運転でも再び利用できます（停車し Model S をパーキングに切り替えた後）。

オートパイロットの一時停止

不適切な使用が検出された場合、オートパイロット機能の使用は一時停止されます。

「強制解除」が 3 回オートパイロットに達すると、オートステアリングの使用は 1 週間停止されます。強制解除とは、ドライバーが不注意のため音声および表示による警告を数回受けた後、現在の走行サイクルでそれ以降、オートパイロットシステムが解除されることを指します。

オートパイロットへのアクセスが一時停止されるまでの解除の残数は、**コントロール > オートパイロット** にタッチして確認できます。

強制解除は、再度強制解除を受けない限り、半週（3.5 日間）経過後に免除されます。

注: オートステアリングへのアクセスが一時停止されると、トラフィックアウェア クルーズコントロールは引き続き使用でき、アクティブセーフティ機能はすべて有効のままです。

ドライバーの介入が必要な場合や、安全な走行を続けるためにすばやく運転を引き継ぐ必要がある場合があります。ドライバー側からの解除は、ドライバーの想定される操作であり、不正利用としてはカウントされません。

オートステアリングは中止しています

オートステアリングが Model S を操作できない状況では、オートステアリングは警告チャイムを鳴らし、インストゥルメントパネルにメッセージを表示します：

オートステアリングは中止しています



キャンセル オートステアリング

オートステアリング 以下の時にキャンセルされます：

- ・ブレーキ ペダルを押します。
- ・手でハンドルに回転力を加えた場合（少しの量であっても）。

注: オートパイロットの起動が「2 回引き下げ」に設定されているときに、ハンドルに回転力を掛けると、オートステアリングはキャンセルされますが、トラフィックアウェア クルーズコントロールは有効なままになります。オートパイロットの起動が「1 回引き下げ」に設定されているときにドライバーが自ら操舵を開始すると、オートステアリングはキャンセルされ、トラフィックアウェア クルーズコントロールもキャンセルされます。

- ・オートパイロットレバーを前に倒した場合。
- ・オートステアリングが動作できる最高速度の時速 140 km/h を超えています。
- ・ギアシフトした場合。
- ・ドアが開いた場合。
- ・自動緊急ブレーキが作動したとき（衝突回避アシスト ページ 111 参照）。

オートステアリングをキャンセルすると、チャイムが鳴り、オートステアリング アイコンが灰色になって、オートステアリングが無効になっていることを示すか、アイコンが完全に消えて現在利用できないことを示します。

注: オートステアリングは、ハンドルを回そうと力を入れるとキャンセルされますが、トラフィックアウェア クルーズコントロールは有効状態を保ちます。通常どおりに、ブレーキ ペダルを踏む、またはオートパイロットレバーを前方に短く押して、トラフィックアウェア クルーズコントロールをオフにします。

オートステアリングを無効にして使用できないようにするには、コントロール > オートパイロット > オートステアリング（ベータ版）をタッチします。

オートレーンチェンジ

注: 販売地域、車両構成、購入したオプション、ソフトウェアバージョンによっては、車両にオートレーンチェンジが装備されていない場合や、その機能が記述通りには作動しない場合があります。

オートステアリングが有効なときは、方向指示器を使用すると Model S を隣の車線に移動することができます（ハンドルを動かすとオートステアリングはキャンセルされます）。

警告: 車線変更が安全で適切であるかどうかを判断するのはドライバーの責任です。したがって、車線変更を開始する前に、常に死角、車線マーカー、および周囲の道路状況をチェックし、目標車線への移動が安全で適切であることを確認してください。

警告: 適切な運転経路を決定する際に、自動車線変更機能に依存しないようにしてください。前方の道路と車両を注視し、周囲を確認し、インストゥルメントパネルの警告に気を配りながら注意深く運転してください。即座に対応できるように準備してください。

警告: 交通状況が常に変化し自転車や歩行者が多い市街地の道路では、自動車線変更機能を使用しないでください。

警告: 自動車線変更機能のパフォーマンスは、車線マーカーを認識するカメラの性能に左右されます。

警告: 急なカーブのある曲がりくねった道路、凍結道路あるいは滑りやすい道路、または豪雨、雪や霧などの天候がカメラ、またはセンサー（装備されていれば）の機能を妨害している場合は、自動車線変更機能を使用しないでください。

警告: すべての警告および指示に従わないと、損害、重大な怪我、または死亡事故につながる恐れがあります。

動作中 オートレーンチェンジ

インストゥルメントクラスターのインジケーターは、自動車線変更が利用可能かどうかを示します。



オートレーンチェンジが利用可能な方向（左、右、または両方）を示すために、インストゥルメントクラスターパネルにインジケーターが表示されます。オートステアリングが有効な場合にのみ表示されます。



オートレーンチェンジが左右どちら側にも利用できないことを示します。オートステアリングが有効な場合にのみ表示されます。

オートレーンチェンジを使用して車線変更するには：

1. 目標車線への移動が安全で適切であることを確認するために目視チェックを行います。
2. ハンドルに手を置いたまま、方向指示器を作動させます。
3. 必要に応じて、目的の車線に入ったら、方向指示器を解除します。

注: オートレーンチェンジ は、車線変更を 5 秒以内に完了できない場合キャンセルされます。

注: オートレーンチェンジが実行される最低速度は、地域、隣接する車線の速度、およびその他の要因によって異なる場合があります。いつでも手動でハンドルを操作して、必要に応じて車線変更をする準備をしておいてください。

オートレーンチェンジ は、次の条件が満たされた場合、方向指示器が示す隣接した車線に Model S を移動するアシストを行います。

- ・ウィンカーを作動させている。



- オートレーンチェンジ は、ハンドルに手が乗せられていることを検出しました。
- Model S 死角にある車両、または目標車線の中心まで車両や障害物を検出しません。
- この車線区分線は車線変更が行えることを示しています。
- 車線変更の途中で、Model S は目標車線の外側車線マーカを検出する必要があります。車線区分線を検出できない場合は、車線変更は中止され、Model S は元の車線に戻ります。
- カメラの視野が遮られていない。

自動車線変更を実行中に、追い越し加速が作動し Model S が前方の車両に近づくように加速します (追い越し加速 ページ 90 を参照)。

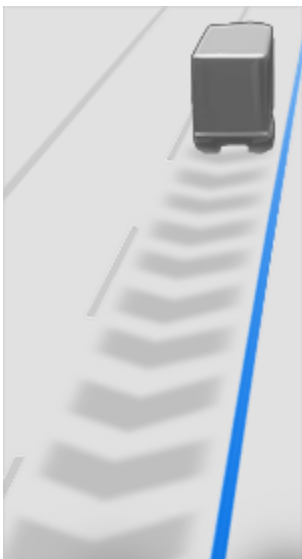
注: オートレーンチェンジ は一度に 1 車線ずつ Model S を移動させる操作をアシストします。さらに車線を変更するためには、最初の車線変更が完了した後にウィンカーを再度作動させる必要があります。

オートレーンチェンジを使用するときは、前方の運転経路と周囲の状況を注視して動作を監視することが重要です。いつでもハンドルを引き継げるように準備しておいてください。隣の車線に入ると、インストゥルメントパネルに、Model S が入った車線の場所が表示されます。

オートレーンチェンジが最適な性能を発揮できない場合、またはデータが不十分なために機能しない場合、インストゥルメントパネルが連続した警告を表示します。そのため、オートレーンチェンジの使用中は、常にインストゥルメントパネルに注意を払い、Model S のハンドルを手動で制御できるように準備しておく必要があります。

隣接する車線の走行速度

注: 販売地域、車両構成、購入したオプション、ソフトウェアバージョンによっては、車両に自動車線変更が装備されていない場合や、その機能が記述通りに作動しない場合があります。



隣接する車線を走行する車両より著しく速い速度で走行しているとき、Model S は自動的に走行速度を減速します。これは、交通量が多い場合や他の車両が頻繁に車線変更するような状況などにとても効果的です。Model S が他の車両が非常に低速であることを検知すると、インストゥルメントパネルに隣の車線が矢印でハイライト表示され、検知された車両は灰色に表示され、Model S は適宜減速します。一時的にこの機能を無効にするためには、アクセルペダルを踏み込みます。



警告: オートパイロットに安全な走行速度の判断を頼らず、ドライバーが責任を持って安全に運転し、交通規則を順守してください。

制限事項

オートステアリング および関連する機能は、特に以下の状況下では設計どおりに動作しない可能性があります。

- オートステアリング が車線マーカを正確に認識できない場合。たとえば、車線マーカがひどくかすれている、以前のマーカが見えている、道路工事のために車線マーカを変更している、車線マーカが短区間で変更されている (車線の分岐、交差、合流で)、車線マーカに物体や景観物が影を落としている、あるいは道路の表面に舗装の継ぎ目あるいは他のコントラストの高い線があるといった状況。
- 視界不良 (豪雨、降雪、濃霧など) あるいは気候条件がセンサーの動作を妨げている場合。
- カメラまたはセンサーがふさがれていたり、覆われていたり、損傷している状況。
- 坂道を運転している時。
- 料金所に接近している時。
- 運転している道路が急カーブしている場合、または過度にでこぼこしている場合。
- 明るい光 (直射日光など) がカメラの視野を妨げている場合。
- センサー (装備されていれば) が超音波を発する他の電子機器の影響を受けている場合。
- ウィンカーを出した時に、車両がドライバーの死角で検出された場合。
- Model S が走行中に先行車両に近づきすぎて、カメラの視界がさえぎられている場合。



警告: 様々な不測の事態によって、オートステアリングの機能が妨害される場合があります。この点に留意し、結果的にオートステアリングでは Model S を適切に操縦する操作を支援できない場合があることを常に頭に入れておいてください。常に運転に注意を払い、素早く行動できるようにしてください。



ナビゲート オン オートパイロット

注: 販売地域、車両構成、購入したオプション、ソフトウェアバージョンによっては、車両にナビゲート オン オートパイロットが装備されていない場合や、その機能が記述通りには作動しない場合があります。

注: ナビゲート オン オートパイロット は、ベータ版の機能です。

進入制限のある高速道路（ドライバーがオンランプとオフランプを使用して出入りする主要高速道路）でオートステアリングを使用する場合。ナビゲート オン オートパイロット が、Model S を提示ルートに基づいてオフランプとインターチェンジに誘導します。ナビゲーション ルートの高速道路の部分において、オートパイロットは高速道路の出口に備えた車線変更（経路を優先にした車線変更）や、目的地までの運転時間を最短にするための車線変更（速度を優先した車線変更）も提案します。

警告: ドライバーは自らの責任で交通法規を遵守して車両を運転する必要があります。ナビゲート オン オートパイロット は、常に実際の交通法規に適合する案内をするものではありませんので、車線変更提案の内容にかかわらず常に実際の交通法規に従って走行してください。

警告: 車線変更が安全で適切であるかどうかを判断するのはドライバーの責任です。車線変更提案の内容にかかわらずドライバーが周囲の状況を注意深く確認した上で当該提案に従うか自分で判断してください。

警告: ナビゲート オン オートパイロット は、自律運転するものではありません。ドライバーは、走行する道路に注意を払い、常にハンドルを握った状態を維持し、ナビゲーション ルートを認識し続けている必要があります。

警告: 通常の運転と同様に、見通しの悪い曲がり角や高速道路の入口、出口、またはインターチェンジでは、障害物が突然現れる可能性がありますので特に注意を払ってください。

警告: ナビゲート オン オートパイロット では、近づいてくる車両、静止した物体、バイクやカープールや緊急車両などの専用の特別な車線を認識したり検出したりすることができない場合があります。常に警戒を怠らずに、即座に対応できる準備をしておいてください。そうしない場合は、損傷や重大な事故や死亡事故につながる恐れがあります。

ナビゲート オンの有効化とカスタマイズ オートパイロット

ナビゲート オン オートパイロットを有効にするには、コントロール > オートパイロット > ナビゲート オン オートパイロット（ベータ版）をタッチします。そうしたら、ナビゲート オン オートパイロットを希望に合わせて動作するよう **カスタマイズナビゲート オン オートパイロット** をタッチします。

- ・ **毎回運転開始時に有効にする:** ナビを実行する時にナビゲート オン オートパイロットを自動的に有効にするかどうかを選択します。有効にすると、運転を開始するたびに「ナビゲート オン オートパイロット」ボタンが経路案内リストに表示されます。
- ・ **速度に応じた車線変更:** ナビゲート オン オートパイロット は、経路に応じた車線変更と速度に応じた車線変更の両方を実行できるように設計されています。経路に応じた車線変更は、ナビゲーション ルート上を継続して走行するように設計されています（たとえば、近づいてくるオフランプに備

えて隣の車線に移動したりします）が、速度に応じた車線変更は、（前の車を追い越すために隣の車線に移動するなどして）目的地に到着するまでの時間が最短になる運転速度（巡航速度以内）を維持する設計になっています。速度に応じた車線変更はオプションです。この設定を使用して、速度に応じた車線変更を無効にすることや、ナビゲート オン オートパイロットで設定した巡航速度を順守するためにどの程度車線変更を行うかを指定することができます。「マイルド」設定では、車線変更の頻度が下がるため、運転時間が長めになることがあります。一方、「マッドマックス」は、可能な最短時間で目的地に到達できるようにする設定ですが、車線変更の実行は安全な場合に限られます。

注: タッチスクリーンには、マップの経路案内リストの上部に経路に応じた車線変更を表示して、ナビゲーションルートに沿うともうすぐ車線変更が必要となることを知らせます。

動作中 ナビゲート オン オートパイロット

有効になると、ナビゲーション ルートが有効になっていて、ルートに少なくとも 1 つの進入制限されている道路が含まれる場合、「ナビゲート オン オートパイロット」ボタンが常に地図の経路案内リストの上部に表示されます。オンになっていると、ナビゲート オン オートパイロットボタンは青色で表示され、経路案内（高速の出口など）の横にオートステアリングアイコンを表示してナビゲート オン オートパイロットがその操作を行うことを示します。



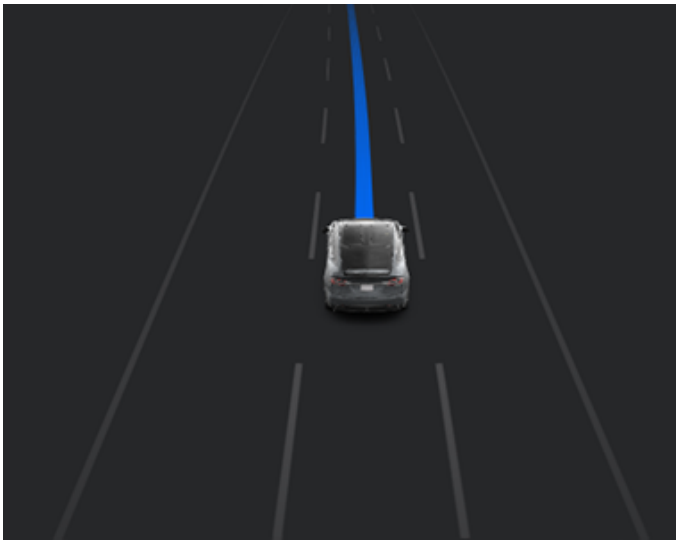
目的地に移動中に、「ナビゲート オン オートパイロット」が使用可能ではあるがアクティブではない場合、「ナビゲート オン オートパイロット」アイコンが経路案内リストに表示されます。



「ナビゲート オン オートパイロット」が有効な場合、アイコンは青色になります。「**運転開始時に有効にする**」がオンになっている場合、ナビゲーションを開始する際に「ナビゲート オン オートパイロット」アイコンが選択されます。アイコンをタッチするとナビゲート オン オートパイロットがキャンセルされ、オートステアリングに戻ります。毎回運転開始時に有効にするがオフになっている場合、ナビを使って走行するたびにナビゲート オン オートパイロットボタンをタッチする必要があります。

ナビゲート オン オートパイロット は、走行中の道路の種類に応じて、有効または無効に切り替わります。例：オートステアリングがオンの状態でオートパイロットが有効となっている場合、ナビゲーション ルートにある進入制限されている高速道路に差し掛かると、ナビゲート オン オートパイロットが自動的に起動されます。

ナビゲート オン オートパイロットが有効になっているときは常に、インストルメント パネルで、Model S の前方の走行車線が青色の単線で表示されます。



上部に、ナビ走行のルートで進むためにもうすぐに車線変更が必要であることを知らせるメッセージが表示されます。インストゥルメントパネルにこれからの走行経路が表示されます。



ナビゲート オン オートパイロットが有効で、経路案内に従ってオフランプまたはインターチェンジに近づく、該当するウィンカーが作動して、オートステアリングにより Model S がオフランプまたはインターチェンジに誘導されます。

警告: オフランプでの適切な車線を決定する際は、ナビゲート オン オートパイロットに依存しないでください。常に注意を払い、目視チェックを行い、安全で適切な走行車線を実際に選ぶように心がけてください。

進入制限のある道路を離れる場合（たとえばその道路を出るときや、サポート対象外となっているナビゲーション ルート部分に入るときなど）、オートパイロットはオートステアリングに戻り、チャイムが鳴り、インストゥルメントパネルに、(Model S の前方の青色の一本線に代わって) 青色で走行車線が表示されます。

警告: オートパイロットが無効になった時でも、オートステアリングは有効なままです。常に適切に対応できるように準備してください。

警告: ナビゲート オン オートパイロット では、ナビゲーション ルートによって退出や車線変更が決められている場合でも、オフランプでの退出や車線変更を試みない可能性があります。オフランプに向けて手動でハンドルを切れるよう、オフランプまたはインターチェンジから出るために必要な車線変更を行えるように、常に警戒を怠らずに、準備をしておいてください。

マップ上のターン バイ ターン経路リストでナビゲート オン オートパイロットをタッチする (Model S はオートステアリングに戻ります) か、オートステアリングを完全にキャンセルすることでナビゲート オン オートパイロットをいつでもキャンセルすることができます (キャンセル オートステアリング ページ 94 を参照)。

車線変更

ナビゲート オン オートパイロット では、近づく 高速道路の出口へ向かうために Model S が準備するために、(設定した走行速度を超えずに) 運転速度を上げるために、または他の道路使用者を追い越していない時に、追い越し車線から Model S を出すために、車線変更を行います。マップの進路変更ごとの方向一覧

インストゥルメントパネルに車線変更の確認を求めるメッセージが表示されたら、該当するウィンカーを作動させるか、オートパイロットレバーを手前に引きます。3 秒以内に車線変更の確認を行わない場合、ナビゲート オン オートパイロットで車線変更の確認が必要であることを知らせるチャイムが鳴ります。

注: ルートベースの車線変更推奨を無視する (高速道路の右側の出口車線に向かっているが左車線を運転している場合など) と、ナビゲート オン オートパイロットでは出口へ誘導することができなくなるため、目的地に向かって再度ルート設定を行います。

警告: ナビゲート オン オートパイロット では、ナビゲーション ルートによって退出や車線変更が決められている場合でも、オフランプでの退出や車線変更を試みない可能性があります。オフランプに向けて手動でハンドルを切れるよう、オフランプまたはインターチェンジから出るために必要な車線変更を行えるように、常に警戒を怠らずに、準備をしておいてください。

引継ぎの準備

車線変更や Model S の運転を試みる時、または建設工事ゾーンに近づく時、ナビゲート オン オートパイロットでは適した走行車線を判断することができない場合があります (例: 複雑なクロバー型の合流車線や複数レーンの出口ランプなど)。また、インストゥルメントパネルには、ナビゲート オン オートパイロットが運転を試みており、アシスタンスが必要となる可能性があることを示す警告が表示されます。メッセージが表示された場合は、車線変更や誘導を安全で適切に完了できるよう、すぐに対応できるようにしておいてください。



オートパーキング

注: 販売地域、車両構成、購入したオプション、ソフトウェアバージョンによっては、お客様の車両にオートパーキングが装備されていない場合があります。

オートパーキングではデータを使用して Model S を操作して、縦列駐車や直角駐車スペースに駐車することで、駐車を簡単にしています。

注意: カメラ、センサー類（装備されている場合）すべてに汚れがないことを確認してください。カメラやセンサーが汚れていると、雨天時や車線マークが色あせしている場合などと同様にオートパイロットのパフォーマンスに影響が出ます。

警告: オートパーキングのパフォーマンスは、車両が縁石、物体およびその他の車両に接近している程度を、カメラおよびセンサー（装備されていれば）が判定する能力によって左右されます。

警告: ボールヒッチ、バイクラック、トレーラーなどをけん引ヒッチに取り付けている場合はオートパーキングを使用しないでください。オートパーキングは、他の車両の間や前方に駐車する場合、ヒッチで停止しない可能性があります。

パラメーター

オートパーキングは、以下のパラメーターに基づいて駐車できる可能性のあるスペースを検知します。

直角駐車

- 走行速度が 13 km/h 未満である必要があります。走行速度が速いと、オートパーキングが希望する駐車スペースを正確に検知することができない可能性があります。
- 駐車スペースの幅は 2.2 m 以上ある必要があります。
- 駐車スペースに車両を駐車させるためには、その駐車スペースに、駐車ライン、道路のマーキング、またははっきりした縁石といった、視認可能な 3 本以上のラインがある必要があります。オートパーキングは、3 本の視認可能な駐車ラインのない車庫などでは作動しない可能性があります。
- オートパーキングは、玉石やレンガといった凹凸のある路面では作動しない可能性があります。

縦列駐車

- 走行速度が 21 km/h 未満である必要があります。走行速度が速いと、オートパーキングが希望する駐車スペースを正確に検知することができない可能性があります。
- 駐車しようとしているスペースの前に車両がある必要があります。
- 縁石や縁がはっきりと視認できる必要があります。オートパーキングは、縁石の部分が芝生や泥により明確に識別できない場合、その駐車スペースを正しく認識しない可能性があります。

注: オートパーキングは斜め駐車スペースには対応していません。

使用方法 オートパーキング

運転中、オートパーキングで、Model S を駐車スペースに駐車するには以下のステップに従ってください。

- 低速で公道を走行している場合、インストゥルメントパネルを監視することで、オートパーキングが駐車可能なスペースを検出した時点を確認します。車両が駐車可能なスポットを検出すると、インストゥルメントパネルにパーキングアイコンが表示されます。



注: パーキングアイコンは、車両の位置および/または車両の周囲でオートパーキングが適切な運転経路を検出した時のみ表示されます。オートパーキングが適切な経路を決定できない場合（例えば、幅の狭い道路で駐車スペースに入ろうとすると車両の前部が隣接する車線をはみ出してしまうなど）は、車両の位置を変えるか、他の駐車スペースを探すか、手動で駐車してください。

- スポットを選択して適切で安全であることを確認したら、（縦列駐車または後進で直角に車庫入れする際に通常行うように）車両を駐車スペースの前方、車 1 台分のところまで車を前進させて停車します。
- ハンドルを離し、Model S をリバースにシフトしてからタッチスクリーンの「」をタッチします。
- オートパーキングは、駐車が完了するとメッセージを表示します。

注: オートパーキングが Model S を駐車動作をしているときにブレーキペダルを踏むと、タッチスクリーンの「復帰」ボタンが押されるまで、駐車動作は停止します。

警告: 決してオートパーキングに任せきりにせず、合法かつ適切で、安全な駐車スペースを見つけてください。オートパーキングは、常にパーキングスペースの目標物を検出できるとは限りません。駐車スペースが適切かつ安全であることを、常に目で見て確認してください。

警告: オートパーキングがアクティブにステアリングを操作している場合 Model S

- ハンドルの動きを邪魔しないようにしてください。ハンドルの動きを妨げると、オートパーキングがキャンセルされます。
- 周囲を継続的に確認してください。いつでもブレーキをかけて車両や歩行者や物体を避けられるようにしてください。
- タッチスクリーンおよびインストゥルメントパネルを監視し、オートパーキングからの指示に注意を払ってください。



パーキングを一時停止する

オートパーキングを一時停止させるには、ブレーキペダルを一度踏んでください。Model S は、タッチスクリーンにある「再開」をタッチするまで停止します。

パーキングをキャンセルする

オートパーキング は、ハンドルを手動で動かすか、ギヤを変更するか、またはタッチスクリーンの「キャンセル」をタッチすると駐車操作をキャンセルします。オートパーキング は以下の場合でもキャンセルされます：

- 駐車するための動作が 7 回以上ある場合。
- Model S が、ドライバーは車両から退出していると検出した場合。
- ドアが開いた場合。
- ドライバーがアクセル ペダルを踏んだ場合。
- オートパーキングが一時停止中にドライバーがブレーキペダルを踏んだ場合。
- 自動緊急ブレーキが作動したとき（衝突回避アシスト ページ 111 参照）。

制限事項

オートパーキング は、特に以下の状況下では設計どおりに動作しない可能性があります。

- 道路が傾斜している場合。オートパーキング は平らな道路のみで動作するよう設計されています。
- 視界が悪い場合（激しい雨、雪、霧など）。
- 縁石が石以外のものでできている場合、または縁石が検出できない場合。
- 目標とする駐車スペースが、壁または柱に直接隣接している場合（たとえば地下立体駐車場の駐車スペースの列の終端など）。
- 1 つ以上のセンサー（装備されていれば）またはカメラのいくつかが損傷を受けたり、汚れたり（泥、氷、雪、車両のブラ、過剰なペンキ、またはラップ、ステッカー、ゴムコーティングなど接着製品により）、遮られたりした時。
- 気象条件（豪雨、降雪、霧、または極端な高温や低温）が、センサー（装備されていれば）の動作を妨げている場合。
- センサー（装備されていれば）が超音波を発する他の電子機器の影響を受けている場合。



警告: 予期しない状況により、オートパーキングで Model S を駐車できないことがあります。この点に留意してください。結果的にオートパーキングでは Model S を適切に駐車できない場合があります。Model S のパーキング時には注意を怠らず、いつでもすぐに制御ができるようにしてください。

注: 販売地域、車両構成、購入したオプション、ソフトウェアバージョンによっては、車両にサモンが装備されていない場合や、その機能が記述通りには作動しない場合があります。

サモンでは、車外に立って、Model S を自動的に駐車させたり、呼び寄せたりできます。サモンでは、Model S を前後に最大 12 m 駐車スペースとの間で移動させます。

Model S をより長い距離移動させ、障害物をステアリング操作で回避するには、スマート サモン（装備されている場合）と携帯電話を利用して行うことができます。スマート サモンを使用すれば、車両がお客様のいる位置を検知することができます（または、選択した場所まで車両を移動させることができます）。[スマート サモン ページ 102](#) を参照してください。

Model S を動かすには、携帯電話が Bluetooth でペアリングされている必要があります（[電話機または Bluetooth デバイスのペアリング ページ 53](#) を参照）。

サモンを使用するには、Model S の近くに有効なキーが検出できる必要があります。

注意: カメラ、センサー類（装備されている場合）すべてに汚れがないことを確認してください。カメラやセンサーが汚れていると、雨天時や車線マークが色あせている場合などと同様にオートパイロットのパフォーマンスに影響が出ます。

警告: サモンは、周囲環境をよく知っていて予測できる駐車場および私有地内の車道で使用することを目的として設計されています。

警告: サモンは、ベータ版の機能です。継続して車両とその周囲を監視し、いつでもすぐに対応できるようにしてください。サモンを安全に、責任を持って意図されたとおりに使用することはドライバーの責任となります。

警告: サモンの性能は、物、人、動物、また他の車両への車両の接近を把握するカメラおよびセンサー（装備されている場合）の性能によって決まります。

ご利用の前に サモン

サモンを作動させる前に、タッチスクリーンでサモンをオンにして好みの動作方法にカスタマイズしてください。[コントロール > オートパイロット > サモンのカスタマイズ](#) をタッチして、好みに合わせて次の設定を調整します。

- **バンパークリアランス:** サモンが検知した物体から離れて停止する距離を設定します（例: サモンがガレージの壁から数インチ内に停止することを希望）。この距離は、サモンが前進時に Model S の前面に検知する物体、または後進時に Model S の後ろに検知する物体にのみ適用されますので、ご注意ください。
- **サモン 距離:** 駐車スペースへの出入り時に、Model S が移動する最長距離の設定。
- **サイド クリアランス:** サイドクリアランスの許容距離を指定するオプションを選びます。「**タイト**」では、Model S が非常に狭い駐車スペースに出入りできるようになります。

警告: 狭いスペースに駐車することは、カメラおよびセンサー（装備されていれば）が障害物の位置を正確に検出する能力を制限するため、Model S または周囲にある物体に損傷を与えるリスクがあります。

注: サモン装備車のみに適用されサモン、スマート サモン（装備されている場合）には適用されません（[ご利用の前に スマート サモン ページ 102](#) を参照）。スマート サモンでバンパーとの間隔、距離、側面の間隔はカスタマイズできません。スマート サモン使用時には、必ずモバイルアプリ上のボタンを長押しして Model S を動かしてください。また、スマート サモンはモバイルアプリでのみ作動し、キーでは作動しません。

注: 設定はすべて手動で変更するまで保たれます。

サモンを使用した車両の駐車・呼び出し

サモンを使用して Model S を駐車するには、次の手順を行います。

- Model S を 12 m の駐車スペース内に駐車させますので、前進でも後進でも Model S はスペースの内外へ一直線の経路を辿ります。
- Model S キーフォブが近くにあることを確認してください。
- Bluetooth を介して携帯電話と Model S をペアリングします（[電話機または Bluetooth デバイスのペアリング ページ 53](#) 参照）。一度ペアリングすると、携帯電話は常に自動で Model S に接続します。サモンを動作させるには、車両から約 6 m 以内に携帯電話がある必要があります。
- モバイルアプリで「**サモン**」をタッチすることで、車外から駐車動作を開始し、「**前進**」または「**後進**」ボタンを長押しします。

サモンが、Model S をドライブまたはリバース（指定した方向に基づく）に切り替え、駐車スペースに進入または駐車スペースから退出します。駐車完了時、または障害物を検知した場合、サモンは Model S をパーキングへと切り替えます。サモンは、次の場合に Model S をパーキングに切り替えます：

- Model S その進行経路（指定した「**バンパークリアランス**」設定範囲内）に障害物を検知した。
- サモンが Model S を最大移動距離 12 m 移動させた場合。
- 「**前進**」または「**後進**」ボタンから指を離します。
- いずれかのボタンを押すと、サモンを手動で停止できます。

Model S の駐車にサモンを使用した場合、サモンを使用して Model S を元の位置（Model S がパーキングのままの状態）に戻す、または指定した最大の「**サモン距離**」（どちらか先に来た方）に戻すことができます。障害物がない場合は、モバイルアプリ上で反対方向を指定するだけで、サモンが元の経路に沿って Model S を移動させます。障害物を検知した場合、Model S はその元の経路にごく近い経路を辿りながら障害物の回避を試みます（サモンはステアリング操作による障害物の回避は行いません）。

注: サモンを使用して Model S を複数回同じ方向へ動かす（最大移動距離が 12 m 以内）には、サモンをキャンセルし、同じ方向を用いて駐車動作を再開してください。

注: サモンは、障害物を避けるために Model S を少しだけ横方向に移動させることはできますが、障害物をステアリング操作で回避して Model S を元の走行経路に戻すことはありません。スマートサモン（装備されている場合）の場合のみ、Model S が障害物周辺を操舵して動くことができます。

注: サモンを使用するには、Model S の近くに有効なキーが検出できる必要があります。

警告: Model S バンパーより低い位置にある物体、幅の非常に狭い物体、または天井からぶら下がっている物体（例、自転車など）などは検出できません。加えて、予期せぬ事態が起きると、サモンの駐車スペース内外へ移動させる性能が低下する場合があります、そのためにサモンは Model S を適切に移動できないことがあります。このため、車両の動きや周囲の状況を常に監視し、いつでもキーのいずれかのボタンを押して Model S を停止できるように準備して待機する必要があります。

停車またはキャンセル サモン

サモンがオンになっている間は、モバイル アプリを使用するか、またはキー フォブのボタンを押すいつでも Model S を停止することができます。サモンは、次の場合もキャンセルされます：

- ドア ハンドルが押されている、またはドアが開いている場合。
- ハンドル、ブレーキ ペダル、アクセル ペダル、シフトのいずれかを操作している場合。
- Model S が障害物を検知した場合。
- サモン が、Model S を最大移動距離約 12 m 動かした場合。
- お使いの携帯電話がスリープモードになっているか、Model S への接続が途切れた場合。

制限事項

サモン は、以下の状況では設計どおりに動作しない可能性があります。

- 走行経路に傾斜・勾配がある場合。サモン は平坦な道路（最大傾斜 10%）に限り、動作するように設計されています。
- 高くなっているコンクリート片を検出した場合。サモン は、端部の高さが Model S よりも約 2.5 cm 以上あると始動しません。
- 1 つ以上のセンサー（装備されていれば）またはカメラのいくつかが損傷を受けたり、汚れたり（泥、氷、雪、車両のブラ、過剰なペンキ、またはラップ、ステッカー、ゴムコーティングなど接着製品により）、遮られたりした時。
- 気象条件（豪雨、降雪、霧、または極端な高温や低温）が、センサーの動作を妨げている場合。
- センサー（装備されていれば）が超音波を発する他の電子機器の影響を受けている場合。

注: サモン は、Model S がバレーモードにある場合無効になります（[バレーモード ページ 81](#) を参照）。

警告: 上記の一覧はサモンの正常な動作を妨げる可能性のある状況をすべて網羅したものではありません。Model S を常にコントロールできる状態にいることは、ドライバーの責任です。サモンが Model S を動かしているときは、その動きに注意を払い、即座に対応できるように備えておいてください。これを怠ると、重大な損害や怪我、死亡事故につながる恐れがあります。



スマート サモン

注: 販売地域、車両構成、購入したオプション、ソフトウェアバージョンによっては、車両にスマート サモンが装備されていない場合や、その機能が記述通りには作動しない場合があります。

スマート サモンは、Model S がドライバーのいる場所（携帯電話の GPS を設定目的地として）まで、または選択した場所まで、必要に応じて物体を避けながら走行できるように設計されています。スマート サモンは、携帯電話が Model S から約 6 m 以内にあるときに、Tesla モバイル アプリを使って操作します。

スマート サモンは、駐車スペースからの車両の出し入れを行い、ドライバーがいる近くの場所まで Model S を運転します。狭い駐車場の外へ Model S を移動させるとき、水溜りを通るとき、荷物を運んでいる最中に車を呼び寄せるのに役立ちます。お客様と Model S の間に障害物のない見通しの良い場所を選び、車両やその周囲を常にしっかりと監視するようにしてください。

注意: カメラ、センサー類（装備されている場合）すべてに汚れがないことを確認してください。カメラやセンサーが汚れていると、雨天時や車線マークが色あせている場合などと同様にオートパイロットのパフォーマンスに影響が出ます。

警告: スマート サモンは、周囲環境をよく知っていて何が起こるか予測できる駐車場および私有地内の車道で使用することを目的として設計されています。スマート サモンは、公道で使用しないでください。

警告: スマート サモンは、舗装道路でのみ使用してください。

警告: スマート サモンは、ベータ版の機能です。継続して車両とその周囲を監視し、いつでもすぐに対応できるようにしてください。スマート サモンを安全に、責任を持って意図されたとおりに使用することはドライバーの責任となります。

警告: スマート サモンはすべての物体（特に縁石などの非常に低い物体、または柵などの非常に高い物体）を検知して停止するわけではなく、あらゆる交通状況に反応するというわけでもありません。スマート サモンは、交通の進行方向を認識せず、他に車両が停まっていない駐車場ではナビ走行を行いません。また、交差点での車の行き来を予測することはできません。

警告: スマート サモンの性能は、センサー（装備されている場合）、カメラの視認性、携帯電話の電波や GPS データの有効性に左右されます。

警告: スマート サモンの使用時、お客様と Model S 間に障害物がなく見渡せるようにし、いつでもモバイルアプリのボタンから指を放して車両を停止できるようにしておいてください。

ご利用の前に スマート サモン

- 最新版の Tesla モバイルアプリを携帯電話にダウンロードして、必ず携帯電話のサービス圏内にあるようにし、GPS を有効にしてください。
- 車両から約 6 m 以内で、携帯電話を Bluetooth を使って Model S とペアリング（電話機または Bluetooth デバイスのペアリング ページ 53 を参照）してください。

- 車両のカメラを正しくキャリブレーションしてください（走行中のカメラキャリブレーション ページ 19 を参照）。
- Model S まで障害物なく見渡せるように視界を保ってください。
- Model S を充電中の状態ではなく駐車状態にしてください。そして、すべてのドアとトランクを開めてください。

使用する スマート サモン

1. Tesla モバイルアプリを開き、「サモン」にタッチします。
2. Model S の画像中央にあるスマート サモンアイコンをタッチします。スマート サモンサモンが起動するまで数秒かかります。

注: スタンバイモードを使用して、スマート サモンの起動時に発生する遅れを解消することができます（スタンバイモード ページ 103 参照）。

モバイルアプリの地図に 65 m という使用可能範囲を示す青い円が表示されます。Model S から携帯電話までの距離がこの範囲内となるような場所で使用してください。地図上の青い点がお客様の現在地を表し、赤い矢印が車両を表しています。

3. 障害物がなく Model S をはっきりと見渡せる、青い円内の場所で使用してください。
4. これで以下のどちらかのモードを使用して、スマート サモンを操作することができます。

◦ 「ここに来る」モード: 「ここに来る」ボタンを長押しします。Model S GPS が検知されている場所まで車両が移動します。お客様が動くと、Model S も後を着いて行きます。お客様の場所に Model S がたどり着くと停車し、ギアをパーキングに切り替えます。

◦ 「指定地に進む」モード: 十字アイコンをタッチしてから地図をドラッグして、選択する目的地にピンを置きます。「指定地に進む」ボタンを長押しします。Model S は目的地へ移動します。場所に到着したら、Model S は停止し、パーキングにギアを切り替えます。また、モバイルアプリにサモンが終了した旨のメッセージが表示されます。

注: 続けて場所を変更したい場合、指を放してから地図に再度ピンを置き、「指定地に進む」をもう一度長押しします。

「ここに来る」または「指定地に進む」ボタンから指を話せばいつでも Model S を停車させることができます。



地図の十字アイコンが「指定地に進む」と「ここに来る」モード間で切り替わります。「ここに来る」モードが選択されているときには、アイコンが青色になります。

注: 地図には、衛星画像を表示/非表示できるアイコンもあります。

どちらのモードでもスマート サモンを開始するとすぐに、ハザードランプが点滅し、ミラーが格納され、Model S はドライブまたはリバースにシフトします。Model S はその後、「ここに来る」モードでは自分のいる位置の 1 m 範囲内まで、「指定地に進む」モードでは選択した場所まで、必要に応じて障害

物を避けながらゆっくりと移動します。Model S が移動すると、地図上で対応している赤い矢印も動き車両の位置を示します。お客様が動くと、対応している青い点も動き、お客様の位置を示します。

いずれのモードでも、以下の状況では Model S が移動を停止しパーキングに切り替わります。

- モバイルアプリのボタンから指を離したとき。
- 携帯電話と Model S 間の最大範囲を超えた場合（車両をドライバーの位置から離れていくように目的地に移動させる場合、ドライバーはこの利用範囲内を維持するために車両の後についていく必要があります）。
- 走行経路が遮られているとき。
- Model S が、スマート サモンの使用を開始してから、移動最長距離の 20 m を移動している場合。

注: スマート サモンが Model S を 3 m 前方に動かしてから 2 m 後方へ動かす場合、5 m の移動距離となります。

注: モバイルアプリを見る必要はありませんので、常に Model S やその走行経路を注視しながらボタンを押し続けてください。また、必要に応じて車両を停車させられるようにボタンから指を離すことができるようにしておいてください。

⚠ 警告: ボタンから指を離して Model S を停止させる時、車両の停止までわずかに遅れが出ます。そのため、常に車両の走行経路に細心の注意を払い、前もって車両が検知できない可能性のある障害物を予測することが重要です。

⚠ 警告: 障害物の動きが予測できない環境でスマート サモンを使用する場合は、厳重に注意してください。例: 人、子供、または動物がいる場所。

⚠ 警告: スマート サモン はすべての物体（特に縁石などの非常に低い物体、または柵などの非常に高い物体）を検知して停止するわけではなく、すべての対向または縦断交通状況に反応するわけでもありません。モバイルアプリ上のボタンを放して、常に Model S を停止できるように注意を払ってください。

スタンバイ モード

Model S でサモンを開始できるようにしてウォームアップ時間を短縮するためには、スタンバイ モードをオンにします。**コントロール > オートパイロット > サモンのカスタマイズ**をタッチしてから、「**スタンバイ モード**」を選択します。スタンバイモードがオンのとき、以下の場所でスタンバイモードを無効にしてバッテリーを省エネモードにすることができます。

- **自宅を除く** - お気に入りリストに自宅として設定した場所でスタンバイモードを無効にします。
- **勤務先を除く** - お気に入りリストに勤務先として設定した場所でスタンバイモードを無効にします。
- **お気に入りを除く** - お気に入りリストに登録した場所でスタンバイモードを無効にします。

注: 省エネのため、スマート サモンは深夜から午前 6 時まで自動的にスタンバイ モードでなくなります。この時間帯は、スマート サモンの起動には少し時間がかかります。

注: スタンバイ モードが有効になっている間は、バッテリー電力が追加で消費されます。

注: 目的地を自宅、勤務先、またはお気に入りとして設定する方法の詳細は、[自宅、勤務先、お気に入りの目的地 ページ 134](#) を参照してください。

スマートの停止またはキャンセル サモン

スマート サモン は、いつでもモバイル アプリ上のボタンを離すと、Model S を停止させます。スマート サモンは、「**ここに来る**」または「**指定地に進む**」をもう一度押すだけで再開できます。

⚠ 警告: 常に Model S を停車させる必要があるかどうかを予測してください。携帯電話と Model S 間の通信接続状況により、ボタンから指を放してから車が停車するまでに多少の遅れが生じる場合があります。

スマート サモン は、次の場合にキャンセルされ、再開の操作が必要となります。

- キー フォブ上のいずれかのボタンを押した場合。
- ドア ハンドルが押されている、またはドアが開いている場合。
- ハンドル、ブレーキ ペダル、アクセル ペダル、シフトのいずれかを操作している場合。
- Model S が障害物で遮られている場合。
- スマート サモン が Model S を最大距離まで移動させた場合。この距離よりも遠くに移動させるには、Model S をドライブまたはリバースに切り替えてから、スマート サモンの操作をはじめから再開します。
- お使いの携帯電話がスリープモードになっているか、Model S への接続が途切れた場合。

制限事項

スマート サモン は、以下の状況では設計どおりに動作しない可能性があります。

- 携帯電話の電波通信が弱いために GPS データが利用できない時。
- 走行経路に傾斜・勾配がある場合。スマート サモンは平坦な道路（最大傾斜 10%）でのみ動作するように設計されています。
- 高くなっているコンクリート片を検出した場合。コンクリートの角が高い場合、スマート サモンでは Model S がその上を超えられない場合があります。
- 1 つ以上のセンサー（装備されていれば）またはカメラのいくつかが損傷を受けたり、汚れたり（泥、氷、雪、車両のブラ、過剰なペンキ、またはラップ、ステッカー、ゴムコーティングなど接着製品により）、遮られたりした時。
- 気象条件（豪雨、降雪、霧、または極端な高温や低温）が、センサー（装備されていれば）やカメラの動作を妨げている場合。



スマート サモン

- センサー（装備されていれば）が超音波を発する他の電子機器の影響を受けている場合。

注: スマート サモン は、Model S がバレーモードにある場合無効になります（[バレーモード ページ 81](#) を参照）。



警告: 上記の一覧はスマート サモンの正常な動作を妨げる可能性のある状況をすべて網羅したものではありません。Model S を常にコントロールできる状態にいることは、ドライバーの責任です。スマート サモンが Model S を動かしているときは、その動きに注意を払い、即座に対応できるよう備えておいてください。これを怠ると、重大な損害や怪我、死亡事故につながる恐れがあります。



このトピックでは、以下のオートパイロット機能に関する警告、注意、および制限事項について説明します。

- [トラフィックアウェア クルーズコントロール ページ 87](#)
- [オートステアリング ページ 92](#)
- [ナビゲート オン オートパイロット ページ 96](#)
- [オートパーキング ページ 98](#)
- [サモン ページ 100](#)
- [スマート サモン ページ 102](#)

注: 販売地域、車両構成、購入したオプション、ソフトウェアバージョンによっては、前述の機能がすべては装備されてはいない場合や、機能が記述通りには作動しない場合があります。

警告: オートパイロットを使用する前に、以下の警告と制限をよくお読みください。すべての警告および指示に従わないと、損害、重大な怪我、または死亡事故につながる恐れがあります。

注: それぞれのドライブを開始する前、またはオートパイロットの機能を使用する前に、すべてのカメラが汚れていないこと、および障害物がないことを確認します（[カメラのクリーニング ページ 165](#)を参照）。カメラやセンサー（装備されていれば）の汚れは、周囲状況や見えなかった車線マーキングなどの周囲条件と同様に、オートパイロットのパフォーマンスに影響をもたらします。カメラが遮られている場合、または覆われている場合、Model S のインストールメントクラスターにメッセージが表示され、オートパイロット機能が使用できなくなる可能性があります。

トラフィックアウェア クルーズコントロール

トラフィックアウェア クルーズコントロールを使用する際は、**常に路上に注意を払い、安全運転を心がけ、車両を制御することはドライバーの責任です。**常に道路に注意を払い、いつでも必要に応じて対応できるようにしてください。

さらに、常に道路状況や制限速度に応じた安全な速度で走行することはドライバーの責任となります。トラフィックアウェア クルーズコントロールが作動している間は、次の制限に注意してください。

- 速度制限で変わっても巡航速度は変わらないような状況があることが考えられます。
- トラフィックアウェア クルーズコントロール は道路や運転の状況に応じて運転速度を調整しません。急カーブが続く曲がりくねった道路、表面が凍結していたり滑りやすくなっている道路、または一定速度での運転が不適切な悪天候（豪雨、雪、霧など）の中でトラフィックアウェア クルーズコントロールを使用しないでください。
- 適切な車間距離を維持するために、トラフィックアウェア クルーズコントロールのみに頼らないでください。

- トラフィックアウェア クルーズコントロール が、制動能力が限定されている、坂道を走行しているなどの理由で適切な速度制御を行えない場合があります。トラフィックアウェア クルーズコントロールが先行車両との車間距離を誤判定することもあります。下り坂を走行すると、Model S の走行速度が上がり、設定速度（場合によっては制限速度を超過する恐れがある）を超えてしまうことがあります。
- トラフィックアウェア クルーズコントロール は、時折ブレーキが必要でないとき、または予期しないときに Model S にブレーキをかけることがあります。その原因は、先行車両との車間距離が短いことや（特にカーブで）隣の車線上の車両や物体を検出することなどです。
- 車載 GPS（グローバル ポジショニング システム）の限界により、特に高速道路出口付近でカーブが検出されたり、ナビを使って目的地に向かっていて時に提示ルートに従わない時など、Model S によって車両が減速することがあります。
- 場合によっては（データが不足している場合など）、トラフィックアウェア クルーズコントロールは高速道路のインターチェンジまたはオフランプの走行時に設定された速度を自動的に減速しない場合があります。
- トラフィックアウェア クルーズコントロール は、物体を検知できない場合があります、静止した車両や物体と衝突しないようにブレーキをかけたり減速したりできなくなることがあります。特に 80 km/h 以上で走行しているときに追尾していた車両が視界から消え、その代わりに静止した車両や速度の遅い車両、または物体が前方に現れると、この現象が起きやすくなります。
- トラフィックアウェア クルーズコントロール が、走行車線上を走行していない車両や走行車線上に存在しない物体に反応し、Model S を必要でないときまたは不適切なタイミングで減速させる場合もあります。

警告: トラフィックアウェア クルーズコントロールは、以下の状況下では設計通りに動作しない可能性があります。

- 道路に急カーブがある、または標高が大幅に変化している。
- 道路標識や信号機が不明瞭、あいまい、または整備が不十分である。
- 視認性が低い（激しい雨、雪、雹など、または夜間の道路照明が貧弱である）
- トンネル内や、カメラの視界を妨げる分離帯の近くなどを走行している。
- 明るい光（対向車のヘッドライトや直射日光）がカメラの視野を妨げている。

警告: 上記の一覧はトラフィックアウェア クルーズコントロールの正常な動作を妨げる可能性のある状況をすべて網羅したものではありません。トラフィックアウェア クルーズコントロール は、予想外の理由により予期せずキャンセルされる可能性があります。常に前方の道路に注意を払い、適切な行動をとれるようにしてください。Model S を常にコントロールできる状態に保つことは、ドライバーの責任です。



制限と警告

警告: トラフィックアウェア クルーズコントロールは、運転の快適性と利便性を高めることを目的に設計されたものであって、衝突警告システムや衝突回避システムではありません。トラフィックアウェア クルーズコントロールに頼って Model S を十分に減速させようとしないでください。常に道路の前方に注意を払い、修正行動をとれるように準備してください。これらを怠ると重大な事故や死亡事故につながる恐れがあります。

警告: トラフィックアウェア クルーズコントロールは歩行者や自転車認識することが可能ですが、Model S の速度を減速するのに決してトラフィックアウェア クルーズコントロールだけに頼らないでください。これらを怠ると重大な事故や死亡事故につながる恐れがあります。

オートステアリング

警告: オートステアリング はハンズフリーの機能ではありません。常にハンドルに手を置いて、道路状況や周囲の交通状況に注意し、すぐに行動できるように常に準備してください。これらの指示に従わない場合、損傷、重傷、または死亡の原因となる可能性があります。

警告: オートステアリング は、注意力の高いドライバーが進入制限された高速道路などを走行するときに使用することを前提としています。オートステアリングを道路工事のある区間、自転車で移動している人または歩行者がいる可能性のある場所では使用しないでください。

警告: 適切な運転経路を決定する際に、オートステアリングに依存しないようにしてください。

注意: オートステアリング および関連する機能は、特に以下の状況下では設計どおりに動作しない可能性があります。

- オートステアリング が車線マーカーを正確に認識できない場合。たとえば、車線マーカーがひどくかすれている、以前のマーカーが見えている、道路工事のために車線マーカーを変更している、車線マーカーが短区間で変更されている（車線の分岐、交差、合流で）、車線マーカーに物体や景観物が影を落としている、あるいは道路の表面に舗装の継ぎ目あるいは他のコントラストの高い線があるといった状況。
- 視界不良（豪雨、降雪、濃霧など）あるいは気候条件がセンサーの動作を妨げている場合。
- カメラまたはセンサーがふさがれていたり、覆われていたり、損傷している状況。
- 坂道を運転している時。
- 料金所に接近している時。
- 運転している道路が急カーブしている場合、または過度にでこぼこしている場合。
- 明るい光（直射日光など）がカメラの視野を妨げている場合。
- センサー（装備されていれば）が超音波を発する他の電子機器の影響を受けている場合。
- ウィンカーを出した時に、車両がドライバーの死角で検出された場合。
- Model S が走行中に先行車両に近づきすぎて、カメラの視界がさえぎられている場合。

警告: 様々な不測の事態によって、オートステアリングの機能が妨害される場合があります。この点に留意し、結果的にオートステアリングでは Model S を適切に操車できないことがあることを常に頭に入れておいてください。常に運転に注意を払い、素早く行動できるようにしてください。

警告: オートステアリング は、部分的に車線内にある物体の周りで Model S を操舵するようには設計されていません。また、場合によっては、車線を完全にブロックしている物体に対して停止しない場合もあります。常に前方の道路に注意を払い、適切な行動をすばやく取れるようにしてください。Model S を常にコントロールできる状態に保つことは、ドライバーの責任です。

オートレーンチェンジ





注意: オートレーンチェンジを使用して車線を変更する場合、車線変更が安全かつ適切であるかどうかを判断するのは運転者の責任です。したがって、車線変更を開始する前に、常に死角、車線マーカー、および周囲の道路状況をチェックし、目標車線への移動が安全で適切であることを確認してください。

注意: オートレーンチェンジを使用する場合は、次の制限に注意してください。


- 適切な運転経路を決定する際に、オートレーンチェンジに依存しないようにしてください。前方の道路と車両を注視し、周囲を確認し、タッチスクリーンの警告に気を配りながら注意深く運転してください。即座に対応できるように準備してください。
- 交通状況が常に変化し自転車や歩行者が多い市街地の道路では、オートレーンチェンジを使用しないでください。
- オートレーンチェンジのパフォーマンスは、車線マーカーを認識するカメラの性能に左右されます。
- 急なカーブのある曲がりくねった道路、凍結道路あるいは滑りやすい道路、または豪雨、雪や霧などの天候がカメラ、またはセンサー（装備されている場合）の機能が妨害されている場合は、オートレーンチェンジを使用しないでください。
- 追い越し加速は、上記の状況（たとえば GPS データの欠落）以外にも、予測不可能な理由によってキャンセルされることがあります。走行中は常に注意を払い、車両の加速を追い越し加速機能にのみ依存しないようにしてください。
- 追い越し加速では、該当するウィンカーを出すと車速が増し、Model S は加速して先行車両に近づきます。トラフィックアウェア クルーズコントロールは先行車両との車間距離を保ち続けますが、特に先行車両を追い越すつもりがない場合は、追い越し加速が作動すると選択されている車間距離が短くなる点に注意することが重要です。



ナビゲート オン オートパイロット

-  **警告:** オフランプでの適切な車線を決定する際は、ナビゲート オン オートパイロットに依存しないでください。常に注意を払い、目視チェックを行い、安全で適切な走行車線を実際に選ぶように心がけてください。
-  **警告:** ナビゲート オン オートパイロットは、自律的な運転を行うものではありません。ドライバーは、走行する道路に注意を払い、常にハンドルを握った状態を維持し、ナビゲーション ルートを認識し続けている必要があります。
-  **警告:** 通常の運転と同様に、見通しの悪い曲がり角や高速道路の入口、出口、またはインターチェンジでは、障害物が突然現れる可能性がありますので特に注意を払ってください。
-  **警告:** ナビゲート オン オートパイロットでは、近づいてくる車両、静止した物体、バイクやカーブールや緊急車両などの専用の特別な車線を認識したり検出したりすることができない場合があります。常に警戒を怠らずに、即座に対応できる準備をしておいてください。そうしない場合は、損傷や重大な事故や死亡事故につながる恐れがあります。


オートパーキング

-  **注意:** オートパーキングのパフォーマンスは、車両が縁石、物体およびその他の車両に接近している程度を、カメラおよびセンサー（装備されていれば）が判定する能力によって左右されます。オートパーキングの使用前および使用中は、以下の警告に注意してください。
- ボールヒッチ、バイク ラック、トレーラーなどをけん引ヒッチに取り付けている場合はオートパーキングを使用しないでください。オートパーキングは、他の車両の間や前方に駐車する場合、ヒッチで停止しない可能性があります。
- 決してオートパーキングに任せきりにせず、合法かつ適切で、安全な駐車スペースを見つけてください。オートパーキングでは、常にパーキングスペースの目標物を検出できるとは限りません。駐車スペースが適切かつ安全であることを、常に目で見て確認してください。
- Model S のオートパーキングが作動している時、ハンドルはオートパーキングによる調整に従って動きます。ハンドルの動きを邪魔しないようにしてください。ハンドルの動きを妨げると、オートパーキングがキャンセルされます。
- パーキング中は、常時周囲に目を配ってください。いつでもブレーキをかけて車両や歩行者や物体を避けられるようにしてください。
- オートパーキング作動中はタッチスクリーンに目を配り、オートパーキングからの指示を認識できるようにしてください。


注意:

オートパーキング は、特に以下の状況下では設計どおりに動作しない可能性があります。

- 道路が傾斜している場合。オートパーキング は平らな道路のみで動作するように設計されています。
- 視界が悪い場合 (激しい雨、雪、霧など)。
- 縁石が石以外のものでできている場合、または縁石が検出できない場合。
- 目標とする駐車スペースが、壁または柱に直接隣接している場合 (たとえば地下立体駐車場の駐車スペースの列の終端など)。
- 1 つ以上のセンサー（装備されていれば）またはカメラのいくつかが損傷を受けたり、汚れたり（泥、氷、雪、車両のブラ、過剰なペンキ、またはラップ、ステッカー、ゴムコーティングなど接着製品により）、遮られたりした時。
- センサー（装備されていれば）が超音波を発する他の電子機器の影響を受けている場合。

-  **警告:** 予期しない状況により、オートパーキングで Model S を駐車できないことがあります。この点に留意してください。結果的にオートパーキングでは Model S を適切に駐車できない場合があります。Model S のパーキング時には注意を怠らず、いつでもすぐに制御ができるようにしてください。

サモン

-  **注意:** サモンの性能は、物、人、動物、または他の車両への車両の接近を把握するカメラおよびセンサー（装備されている場合）の性能によって決まります。サモンは、以下の状況では設計どおりに動作しない可能性があります。
- 走行経路に傾斜・勾配がある場合。サモン は平坦な道路（最大傾斜 10%）に限り、動作するように設計されています。
- 高くなっているコンクリート片を検出した場合。サモン では、約 1 インチ (2.5 cm) の差がある端部を越えて Model S を動かしません。
- 1 つ以上のセンサー（装備されていれば）またはカメラのいくつかは損傷を受けたり、汚れたり（泥、氷、雪、車両のブラ、過剰なペンキ、またはラップ、ステッカー、ゴムコーティングなど接着製品により）、遮られたりした時。
- 気象条件（豪雨、降雪、霧、または極端な高温や低温）が、センサーの動作を妨げている場合。
- センサー（装備されていれば）が超音波を発する他の電子機器の影響を受けている場合。
- Model S は、けん引モードになっているか、アクセサリが取り付けられています。



制限と警告

警告: 上記の一覧はサモンの正常な動作を妨げる可能性のある状況をすべて網羅したものではありません。Model S を常にコントロールできる状態でいることは、ドライバーの責任です。サモンが Model S を動かしているときは、その動きに注意を払い、即座に対応できるよう備えておいてください。これを怠ると、重大な損害や怪我、死亡事故につながる恐れがあります。

警告: Model S バンパーより低い位置にある物体、幅の非常に狭い物体、または天井からぶら下がっている物体（例、自転車など）などは検出できません。加えて、予期せぬ事態が起きると、サモンの駐車スペース内外へ移動させる性能が低下する場合があります。そのため、サモンは Model S を適切に移動できないことがあります。このため、車両の動きや周囲の状況を常に監視し、いつでもキーのいずれかのボタンを押して Model S を停止できるように準備して待機する必要があります。

スマート サモン

注意: スマート サモン は、ベータ版の機能です。車両とその周囲を常にモニターし、何かあった場合はすぐに対応できるようにしてください。スマート サモンを安全に、責任を持って意図されたとおりに使用することはドライバーの責任となります。

注意: スマート サモン は、周囲環境をよく知っていて何が起こるか予測できる駐車場および私有地内の車道で使用することを目的として設計されています。スマート サモンを公道で使用しないでください。

注: スマート サモン は、Model S がパーレーモードにある場合無効になります（[パーレーモード ページ 81](#) を参照）。

注意:

スマート サモン は、以下の状況では設計どおりに動作しない可能性があります。

- 携帯電話の電波通信が弱いために GPS データが利用できない時。
- 走行経路に傾斜・勾配がある場合。スマート サモンは平坦な道路（最大傾斜 10%）に限り、動作するように設計されています。
- 高くなっているコンクリート片を検出した場合。コンクリートの角が高い場合、スマート サモンでは Model S がその上を超えられない場合があります。
- 1 つ以上のセンサー（装備されていれば）またはカメラのいくつかが損傷を受けたり、汚れたり（泥、氷、雪、車両のブラ、過剰なペンキ、またはラップ、ステッカー、ゴムコーティングなど接着製品により）、遮られたりした時。
- 気象条件（豪雨、降雪、霧、または極端な高温や低温）が、センサー（装備されていれば）やカメラの動作を妨げている場合。
- センサー（装備されていれば）が超音波を発する他の電子機器の影響を受けている場合。
- Model S は、けん引モードになっているか、アクセサリが取り付けられています。

警告: 上記の一覧はスマート サモンの正常な動作を妨げる可能性のある状況をすべて網羅したものではありません。Model S を常にコントロールできる状態でいることは、ドライバーの責任です。スマート サモンが Model S を動かしているときは、その動きに注意を払い、即座に対応できるよう備えておいてください。これを怠ると、重大な損害や怪我、死亡事故につながる恐れがあります。

警告: スマート サモン は、舗装道路でのみ使用してください。

警告: スマート サモン はすべての物体（特に縁石などの非常に低い物体、または柵などの非常に高い物体）を検知して停止するわけではなく、あらゆる交通状況に反応するというわけでもありません。スマート サモン は、交通の進行方向を認識せず、他に車両が停まっていない駐車場ではナビ走行を行いません。また、交差点での車の行き来を予測することはできません。

警告: スマート サモンの使用時、お客様と Model S 間に障害物がなく見渡せるようにし、いつでもモバイルアプリのボタンから指を放して車両を停止できるようにしておいてください。

警告: ボタンから指を離して Model S を停止させる時、車両の停止までわずかに遅れが出ます。そのため、常に車両の走行経路に細心の注意を払い、前もって車両が検知できない可能性のある障害物を予測することが重要です。

警告: 障害物の動きが予測できない環境でスマート サモンを使用する場合は、厳重に注意してください。例: 人、子供、または動物がいる場所。

警告: スマート サモン はすべての物体（特に縁石などの非常に低い物体、または柵などの非常に高い物体）を検知して停止するわけではなく、すべての対向または縦断交通状況に反応するわけでもありません。モバイルアプリ上のボタンを放して、常に Model S を停止できるように注意を払ってください。



Model S 走行中の車線のマーカーおよび周囲に車両やその他の障害物がないか監視します。



警告: それぞれのドライブを開始する前、またはオートパイロットの機能を使用する前に、すべてのカメラが汚れていないこと、および障害物がないことを確認します (カメラのクリーニング ページ 165 を参照)。カメラやセンサー (装備されていれば) の汚れは、周囲状況や見えかかった車線マーキングなどの周囲条件と同様に、オートパイロットのパフォーマンスに影響をもたらします。カメラが遮られている場合、または覆われている場合、Model S のインストゥルメントクラスターにメッセージが表示され、オートパイロット機能が使用できなくなる可能性があります。

警告: レーンアシストは誘導のみを目的としており、運転者の目視による確認の代わりになるものではありません。車線変更前には、必ずサイドミラーを使用し、適切な肩越しチェックを実行して、車線を変更しても安全で、それが適切であるかを目で確認する必要があります。

警告: レーン アシストは、気付かないうちに走行レーンの外側を運転している状態や、自車のそばや死角に車両がいるなどの状態を知らせてくれるものではありません。レーン アシストのパフォーマンスを損なう外的な要因はいくつかあります (制限事項および不正確性 ページ 110 を参照)。警戒を怠らず、走行車線や他の車両に注意を払うのはドライバーの責任です。これらを怠ると重大な事故や死亡事故につながる恐れがあります。

ステアリング介入

レーンアシストは、Model S が隣の車線に入り込み (近づいて) 車両などの物体が検出された場合、操舵に介入します。このような状況では、Model S は自動的にハンドルを操作して、走行車線内の安全な位置に移動します。このステアリングは、車線区分線がよく見える主要道路を Model S が 48~140 km/h で移動しているときのみ作動します。自動的なハンドリングが実行されると、少しの間、インストゥルメント パネルに警告メッセージが表示されます。

車線逸脱防止

車線逸脱防止機能は、Model S が走行車線から逸脱している、または走行車線の端に接近した場合に警告するように設計されています。

車線逸脱防止機能は、車線区分線がはっきり見える道路を時速 64~145km で走行中にのみ作動します。車線逸脱警報の有無、警告方法を選択するには、**コントロール > オートパイロット、 「車線逸脱防止」** の順にタッチして以下のオプションのいずれかを選択します。

- **オフ:** 車線逸脱や隣接車線の車両との衝突が起こりそうな場合も警告は発せられません。
- **警告:** 前輪が車線区分線を越えると、ハンドルが振動します。
- **アシスト:** Model S が隣接車線に入り込むか、道路の端に接近した場合、Model S を安全な位置に留めるため、ステアリング修正が適用されます。

車線逸脱防止が有効で、トラフィックアウェア クルーズコントロールが機能している場合、該当するウィンカーがオフの場合に Model S が走行車線を逸脱すると、レーンアシストが、ドライバーの手がハンドルの上にあるかを確認します。ドライバーの手が検知されなければ、インストゥルメント パネルには、オートステアリングで運転するときに使用したものと同様の連続警報が表示されます。手の検知に繰り返し失敗すると、Model S は速度制限または設定クルージング速度から 25 km/h 遅い速度まで徐々に減速し、ハザード ライトが点滅し始めます。

注: 車線逸脱防止機能では、対応する方向指示器がオンになっていて意図的な車線変更が示されていれば、車線を離れても警告は発生せず、操舵の割り込み動作も発生しません。

警告: 車線逸脱防止機能は、安全に走行できるようにアシストすることを目的としたものですが、必ず作動するものではありませんので、ドライバーは注意して車両を運転する必要があります。

警告: 常に手はハンドルに置いて、慎重に運転してください。

警告: ステアリング介入は最小限しか行われず、Model S を走行車線外に移動させることはありません。側面衝突を避けるためにステアリング介入に頼ることはしないでください。

緊急車線逸脱防止

緊急車線逸脱防止機能では、以下のような状況で衝突の危険性を回避するため、ハンドルが自動的に切られます:

- Model S が車線を離れて (方向指示器のステータスとは無関係に)、隣の車線で同じ方向に走行している車両と衝突しそうなとき。
- Model S が方向指示器がオフで車線を離れて対向車線に入りそうになり、対向車が検知されたとき。
- Model S が道路から逸脱しそうで、方向指示器がオフのとき (道路端に非常に近寄り過ぎて、衝突する恐れがある場合など)。

この機能をオン、オフするには、**コントロール > オートパイロット** をタッチして、「緊急車線逸脱防止」をタッチします。



レーン アシスト

緊急車線逸脱防止がステアリングに適用されると、チャイムが鳴り、インストゥルメント パネルには警告が表示されて車線区分線が赤色で強調表示されます。

緊急車線逸脱防止機能は、車線区分線がよく見える主要道路を Model S が 48~145 km/h で移動しているときのみ作動します。



警告: 緊急車線逸脱防止機能があるからといって、注意深い運転や適切な判断が不要になるわけではありません。運転時は道路を注視し、緊急車線逸脱防止機能で衝突が回避できるとは思わないでください。運転パフォーマンスを低下させ、損なう要因がいくつかあります。緊急車線逸脱防止機能で衝突が回避できると考えてしまうと、重傷事故や死亡事故につながるおそれがあります。

ブラインドスポット インジケータ

ブラインドスポット衝突警告チャイム

死角に他の車両があり衝突の危険が検知されたときにチャイムがなるよう設定するには、「コントロール」>「安全」>「ブラインドスポット衝突警告チャイム」の順にタッチします。



警告: ブラインドスポットカメラ が搭載されていても、車線変更するときは周囲に注意を払い、肩ごしから後方確認を必ず行ってください。



警告: ブラインドスポット衝突警告チャイムは、すべての衝突を検出できるわけではありません。車線変更するときは、注意を怠らず、肩越しから後方確認を行うことはドライバーの責任です。

制限事項および不正確性

レーン アシスト機能は、必ずしも常に車線区分線を検出できるわけではなく、以下の場合、不必要な警告または不正警告が発生することがあります。

- ・視界が悪く、車線区分線がはっきり見えない場合（豪雨、降雪、濃霧など）。
- ・明るい光（対向車のヘッドライトや直射日光）がカメラの視野を妨げている。
- ・Model S の前の車両がカメラの視野を妨げている。
- ・フロント ガラスのカメラの視野に入る部分が覆われている（曇り、汚れ、ステッカーが貼られているなど）。
- ・車線区分線が摩耗しすぎている、以前の車線区分線が見える、または道路工事のために変更されている、または（車線が分岐、交差、合流しているなど）急激に変化している場合。
- ・道路がせまく、曲がりくねっている場合。
- ・車線区分線上に影を落とすような物体や景観物がある場合。

以下の場合、レーンアシストが警告を出さなかったり、誤った警告を出したりすることがあります。

- ・1 つ以上のセンサー（装備されている場合）またはカメラが損傷を受けたり、汚れたり（泥、氷、雪、車両のブラ、過剰なペンキ、またはラップ、ステッカー、ゴムコーティングなど接着製品により）、遮られたりしている場合。
- ・気象条件（豪雨、降雪、霧、または極端な高温や低温）が、センサーの動作を妨げている場合。
- ・センサー（装備されていれば）が超音波を発する他の電子機器の影響を受けている場合。
- ・Model S に取り付けられている物体（バイクラックやバンパーステッカーなど）がセンサーに干渉していたり、センサーを遮っている場合。

さらに、以下の状況では、レーンアシストは Model S を隣の車両から離れるようにステアリング操作しなかったり、不要または不適切なステアリング制御をする場合があります。

- ・Model S が急カーブを走行中か、比較的高速でカーブを曲がっている。
- ・明るい光（対向車のヘッドライトや直射日光）がカメラの視野を妨げている。
- ・隣のレーンにふらついたが、物体（車両など）が存在しない。
- ・隣のレーンにいる車両が前に割り込むかあるいは自分の車線にふらついてきた。
- ・Model S レーン アシスト 機能が動作する設計上の速度範囲内で走行していない。
- ・1 つ以上のセンサー（装備されていれば）が損傷を受けたり、汚れたり（泥、氷、雪、車両のブラ、過剰なペンキ、またはラップ、ステッカー、ゴムコーティングなど接着製品により）、遮られたりした時。
- ・気象条件（豪雨、降雪、霧、または極端な高温や低温）が、センサーの動作を妨げている場合。
- ・センサー（装備されていれば）が超音波を発する他の電子機器の影響を受けている場合。
- ・Model S に取り付けられている物（自転車ラックやバンパーステッカーなど）がセンサーに干渉していたり、センサーを遮っている場合。
- ・視界が悪く、車線区分線がはっきり見えない場合（豪雨、降雪、濃霧など）。
- ・車線区分線が摩耗しすぎている、以前の車線区分線が見える、または道路工事のために変更されている、または（車線が分岐、交差、合流しているなど）急激に変化している場合。



注意: トラック モードがオンの場合、ドライビングアシスト機能は自動的に無効になります。どのような場合にも（サーキット走行時を含みます）、安全運転と車両の制御維持はドライバーの責任です。トラック モードをオフにすると、ドライビングアシスト機能が自動的に再有効化されます。



警告: 上記のリストは、レーン アシスト機能を妨げるすべての状況を表しているわけではありません。レーンアシスト機能が想定どおり機能しない理由はさまざまです。衝突を回避するために、万が一の場合にできるだけ早く反応できるよう走行する道路に注意を払ってください。



Model S にオートパイロットコンポーネント（カメラ ページ 19 を参照）が装備されている場合は、次の衝突回避機能が乗員の安全性を高めるように設計されています。

以下の衝突回避機能は乗員の安全性を高めることを目的とするものです。

- **正面衝突警告**は、Model S が正面衝突の危険が高い状況を検出した場合、視覚、聴覚、による警告を発します（**正面衝突警告 ページ 111** を参照）。
- **自動緊急ブレーキ**は、正面衝突の衝撃を緩和するために自動的にブレーキをかけます（**自動緊急ブレーキ ページ 112** を参照）。
- **障害物検知走行モード** - Model S がその直進経路内に物体を検出した場合に加速を減少させます（**障害物検知走行モード ページ 113** を参照）。

注意: それぞれのドライブを開始する前、またはオートパイロットの機能を使用する前に、すべてのカメラが汚れていないこと、および障害物がないことを確認します（**カメラのクリーニング ページ 165** を参照）。カメラやセンサー（装備されていれば）の汚れは、周囲状況や見えなかった車線マーキングなどの周囲条件と同様に、オートパイロットのパフォーマンスに影響をもたらします。カメラが遮られている場合、または覆われている場合、Model S のインストゥルメントクラスターにメッセージが表示され、オートパイロット機能が使用できなくなる可能性があります。

警告: 正面衝突警告は運転補助の目的のみに作られており、注意深い運転や適切な判断に代わるものではありません。走行中は常に道路に注意を払い、正面衝突警告に頼らずに衝突を回避するように心がけてください。性能はさまざまな要因によって低下するか妨げられ、不必要または不正確な警告を行う、あるいは警告を行わない可能性があります。衝突危険性の探知を正面衝突警告のみに頼ることで、重大な事故や死亡事故が発生する恐れがあります。

警告: 自動緊急ブレーキは、衝突を完全に防止するように設計されたものではありません。状況によっては、走行速度を落とすことにより衝突の衝撃を最小限に抑えることができます。衝突回避を自動緊急ブレーキに頼りすぎると、重大な事故や死亡事故につながるおそれがあります。

警告: 障害物検知走行モードは、衝突を防止するように設計されたものではありません。状況によって、衝突時の衝撃を最小限に抑えるよう働きます。衝突回避を障害物検知走行モードに任せきりにすると、重大な事故や死亡事故につながるおそれがあります。

正面衝突警告

Model S 前方に、車両、オートバイ、自転車または歩行者といった障害物が存在しているかを監視します。ドライバーがすばやい是正行動をとらない限り、衝突すると思われる場合、正面衝突警告によってチャイムが鳴り、インストゥルメントパネルに前方の車両が赤色で強調表示されます。これが表示されたら、直ちに是正措置を取ってください。



視覚および聴覚による警告は衝突の危険性が低くなったときに自動的に停止します（例えば Model S を減速または停止させた場合や、車両前方の物体が走行経路から外れた場合など）。

Model S が正面衝突警告を出したとき、衝突を回避する操作が即座に行われずに衝突の可能性が非常に高くなった場合は、自動緊急ブレーキ（有効になっている場合）がかかる場合があります（**自動緊急ブレーキ ページ 112** を参照）。

初期設定では正面衝突警告はオンになっています。オフにする、または感度を調整するには、**コントロール > オートパイロット** にタッチして、「**正面衝突警告**」を選択します。標準設定の「**中間**」のほか、警告を「**OFF**」、「**遅め**」または「**早め**」に設定することができます。

注: 手で正面衝突警告を「**OFF**」にすると、それぞれのドライブの開始時に、正面衝突警告は自動で「**中間**」にリセットされます。

警告: 正面衝突警告に関係するカメラやセンサー（装備されていれば）は、走行ルート上およそ 160 m の範囲を監視するように設計されています。正面衝突警告システムは道路や気象条件によって悪影響を受ける場合があります。運転時には適切な注意を払ってください。

警告: 正面衝突警告は視覚的および音声的な警告を行うためだけに設計されています。ブレーキを作動させたり、Model S を減速させるものではありません。警告の表示や音声通知があった場合は、ただちに是正措置をとるのはドライバーの責任です。

警告: 正面衝突警告は、衝突の危険性がないにも関わらず誤って警告する場合があります。常に警戒を怠らず、Model S の前方に注意を払い、何らかのアクションの必要がないか予測してください。

正面衝突警告は、5 km/h から 200 km/h で運転している場合にのみ作動します。

警告: 正面衝突警告は、ドライバーがすでにブレーキを踏んでいる場合、警告を出さないことがあります。ただし、他のアクティブ セーフティ 機能（自動緊急ブレーキなど）が作動した場合は、Model S がドライバーがブレーキペダルを踏んでいる状態でもブレーキを作動させることがあります。この場合、インストゥルメントクラスターにメッセージが表示され、チャイム音が鳴ります。



衝突回避アシスト

自動緊急ブレーキ

Model S 検出した物体までの距離を判定するように設計されています。自動緊急ブレーキは、衝突が不可避と見なされたときにブレーキをかけ、減速して衝突の衝撃を和らげるように設計されています。減速の程度は、巡航速度や環境など多数の要因に左右されます。

自動緊急ブレーキがかかると、インストルメントパネルに警告が表示され、チャイムが鳴ります。ブレーキ ペダルが急に押し下げられることにも気がつくでしょう。ブレーキ ライトも点灯し、他の道路ユーザーに減速中であることを知らせます。



緊急ブレーキが作動中です

自動緊急ブレーキは、5 km/h~200 km/h で運転している場合にのみ作動します。

自動緊急ブレーキは以下の状況ではブレーキをかけない場合や、作動させていたブレーキを解除する場合があります。

- ハンドルを急に回転させた場合。
- 自動緊急ブレーキがブレーキをかけている間、ブレーキ ペダルを踏んで放した場合。
- 自動緊急ブレーキがブレーキを作動させている際に運転手が加速した場合。
- 車両の前方または後方に、車両、オートバイ、自転車、および歩行者が検出されなくなった場合。

自動緊急ブレーキは、Model S を始動すると常に有効になります。現在の運転でこれを一時的に無効にするときは、**コントロール > オートパイロット**にタッチして、「**自動緊急ブレーキ**」にタッチします。

注: 自動緊急ブレーキは、正面衝突および後進時の衝突の衝撃を緩和するように設計されていますが、リバースにシフトしているときは機能に制限があります。

警告: 自動緊急ブレーキは無効にしないことを強く推奨します。無効にすると、Model S は衝突不可避と見られる状況でも自動的にブレーキをかけません。

警告: 自動緊急ブレーキは衝撃を緩和するように設計されています。衝突を回避するようには設計されていません。

警告: 車両の一部が走行経路内にあるときや道路の破損があるときなど、自動緊急ブレーキの性能に影響を及ぼすいくつかの要因により、制動しない場合や、不適切またはタイミングの悪いブレーキをかける場合があります。どのような場合にも、安全運転と車両の制御維持はドライバーの責任です。決して自動緊急ブレーキに頼って衝突の衝撃を回避または緩和しようとししないでください。

警告: 自動緊急ブレーキは、前方の車両との安全な車間距離を維持する代わりになるものではありません。



警告: 自動ブレーキが作動すると、ブレーキ ペダルが急に下がります。ブレーキ ペダルは常に自由に動くようにしておいてください。運転席フロアマット（追加のマットも含む）の下にも上にも物を置かないようにして、常に運転席のフロアマットは正しく固定されているようにしてください。これを怠ると、ブレーキ ペダルの自由な動きが妨げられることがあります。

リア クロストラフィック アラート

Model S がリバースにシフトしていて、タッチスクリーンにはリア ビュー カメラの送信画像が表示されている場合、ある物体（他の車両または歩行者）が Model S の後方を横切ろうとしていることを Model S が検知すると、赤色の縦棒が表示されます。

例えば、駐車スペースから後進で出ようとしているときに、他の車両がドライバーの左側から接近している場合、カメラ表示の左側に赤色の棒が表示されます。Model S の両側から複数の物体が接近している場合、カメラ画像の両側に赤色の棒が表示されます。

Model S の後退中に、リア クロストラフィック アラートが物体の接近を検出したときにチャイムを鳴らしたい場合は、「**コントロール**」 > 「**安全**」 > 「**リア クロストラフィック チャイム**」の順にタップします。

「**リア クロストラフィック チャイム**」を有効にすると、以下の条件をすべて満たした場合にのみチャイムが鳴ります。

- Model S がリバースにシフトされている。
- Model S が動いている（速度に関係なく）。
- Model S が横切る方向の他の交通を検知した。

Model S がリバースにシフトされているが、停止状態である場合、横切る方向の他の交通を検知してもチャイムは鳴りません。

Model S が後進しているときに、これを横切る交通が検出されると、衝突を回避しようとして、自動緊急ブレーキまたは障害物検知走行モードによってブレーキが作動することがあります。自動緊急ブレーキまたは障害物検知走行モードに頼って、衝突を回避しようとししないでください。詳細については、[自動緊急ブレーキ ページ 112](#) と [障害物検知走行モード ページ 113](#) を参照してください。



警告: 車両の周囲に物体や人間が存在しないことを確認するのに、リア クロストラフィック アラートの通知に過度に依存しないでください。このカメラは、損害や障害の原因となるおそれのある物体や障壁を、特にそれらが地上から極めて低い場合に、検出できない可能性があります。また、カメラの検出能力はレンズの汚れや視界の遮断など、いくつかの外的要因によって低下することがあります。必ずご自分の目で確認してください。バックするときは、後ろを振り返り、すべてのミラーを使用するようにし、カメラは補助としてご利用ください。リア クロストラフィック アラートは目視確認の代わりとなるものではなく、また安全運転を不要にするものでもありません。




障害物検知走行モード


障害物検知走行モードは、Model S が走行経路に物体を検出すると、モーターのトルクを下げることによって、衝突の衝撃を緩和するように設計されています。ブレーキが自動適用されると、インストゥルメントパネルに、警告が表示され、チャイム音が鳴動します。例えば、Model S がドライブにシフトされた状態で閉じたガレージドアの前で駐車しているときに、アクセルペダルが強く踏まれたことを検出します。Model S は加速してガレージドアに衝突してしまいますが、トルクを下げたため損傷が軽減されることが期待できます。


障害物検知走行モードは、以下の条件が同時にすべて満たされると作動します：


- ドライブまたはリバースにシフトされている。
- Model S 停止しているか、または 16 km/h 未満で走行している。
- Model S 進路方向にある直近の物体を検出している。

障害物検知走行モードを無効にするには、**コントロール > オートパイロット** をタッチしてから、「**障害物検知加速**」をタッチします。

 **警告：** 障害物検知走行モードは衝撃を緩和するように設計されています。衝突を回避するようには設計されていません。

 **警告：** 障害物検知走行モードはあらゆる状況でトルクを制限するものではありません（例：駐車スペースへの小回り旋回を実施している場合）。環境条件、障害物からの距離、およびドライバーの反応などの要因により、障害物検知走行モードは動作が制限、遅延、または抑制される場合があります。

 **警告：** 障害物検知走行モードを利用して加速を制御したり、重大な衝突の回避を試みるなど、障害物検知走行モードを試さないでください。これを行うと、重大な損害やけが、死亡事故につながる恐れがあります。


 **警告：** いくつかの要因が障害物検知走行モードの性能に影響して、モータートルクの不適切な、またはタイミングのずれた減少が生じたり、あるいは意図しないブレーキ効果が生じたりすることがあります。どのような場合にも、安全運転と Model S のコントロール維持はドライバーの責任です。


制限事項および不正確性


衝突回避機能はすべての物体、車両、自転車または歩行者を確実に検知できるものではなく、特に以下の場合を含むさまざまな理由から不必要、不正確な警告あるいは見逃しが起こる場合があります。

- 道が鋭くカーブしている場合。
- 視界が悪い場合（激しい雨、雪、霧など）。
- 明るい光（対向車のヘッドライトや直射日光）がカメラの視野を妨げている。
- カメラまたはセンサーがさえぎられている（汚れている、覆われている、曇っている、ステッカーなどでふさがれている）。

- 1 つ以上のセンサー（装備されていれば）が損傷を受けたり、汚れたり（泥、氷、雪、車両のブラ、過剰なペンキ、またはラップ、ステッカー、ゴムコーティングなど接着製品により）、遮られたりした時。
- 気象条件（豪雨、降雪、霧、または極端な高温や低温）が、センサーの動作を妨げている場合。
- センサー（装備されていれば）が超音波を発する他の電子機器の影響を受けている場合。

 **注意：** 衝突回避アシスト機能が故障した場合は、Model S に警告が表示されます。Tesla サービスにお問い合わせください。

 **注意：** トラック モードがオンの場合、ドライビングアシスト機能は自動的に無効になります。どのような場合にも（サーキット走行時を含みます）、安全運転と車両の制御維持はドライバーの責任です。トラック モードをオフにすると、ドライビングアシスト機能が自動的に再有効化されます。

 **警告：** 前述の制限事項は衝突回避アシスト機能の正常な動作を妨げる可能性のある状況をすべて網羅したものではありません。これらの機能はその他の多くの理由でも当初の機能を発揮しない場合があります。ドライバーは、衝突を回避するために常に周囲に注意を払い、素早く回避行動が取れるようにする責任があります。

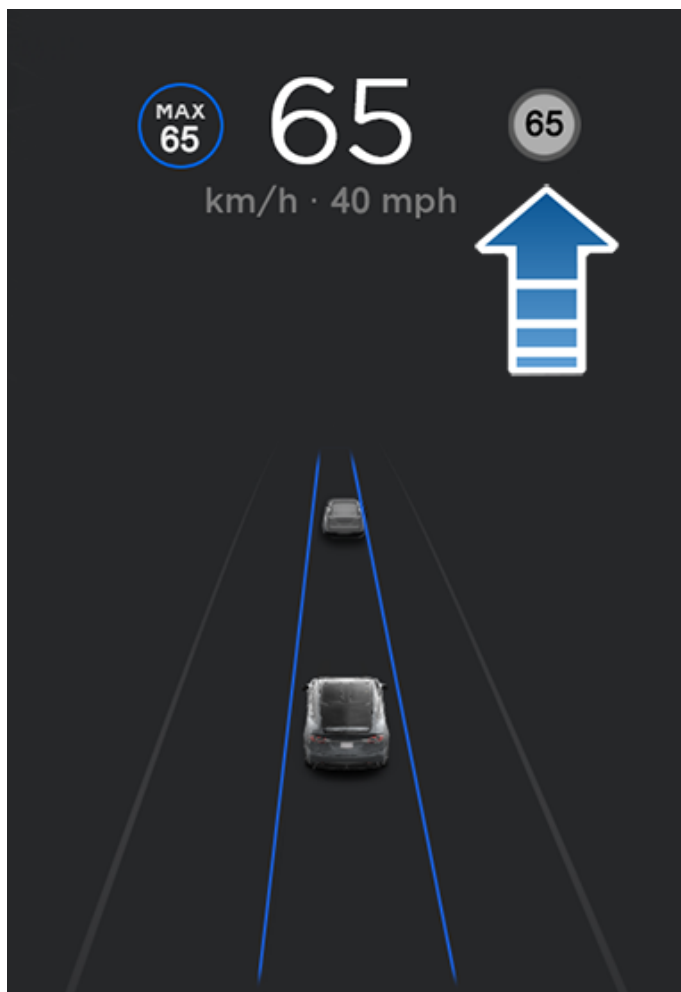


スピードアシスト機能

スピードアシストの動作原理

Model S インストゥルメントパネル上に制限速度が表示され、走行速度が制限速度を超えたときの警告の有無、警告方法を選択することができます。また、速度制限のアイコンの周りに青色の輪郭が表示された場合、速度制限を超えていることを知らせています。

検出された速度制限を利用せずに、手動で入力する任意の速度制限をもとに警告を出すこともできます。



Model S が速度制限を判断できない状況、またはスピードアシストが不確実で取得された速度制限が正確であった場合、インストゥルメントパネルに速度制限標識が表示されず、警告がないことがあります。

注: 速度制限警告は 10 秒後または Model S が速度制限未満に減速すると解除されます。

警告: 適切な速度制限または運転速度を判断するためにスピードアシストに頼らないでください。常に交通と道路の状況に基づいて安全な速度で運転してください。

スピードアシストの制御

制限速度警告を調整するには、**コントロール > オートパイロット** をタッチしてから、「**制限速度警告**」にタッチして、以下のいずれかのオプションを選択します。

- **オフ** - 速度制限警告は表示されず、警告チャイムが鳴りません。
- **表示** - インストゥルメント パネルに速度制限標識が表示され、設定した制限を超えると標識のサイズが徐々に大きくなります。
- **チャイム** - 速度制限を超えたら、視覚的な表示に加えて、チャイムを鳴らします。

速度制限をどのように決めるかを指定することもできます。

- **相対** - 速度制限に指定したオフセット分だけ超えた時に警告を出したい場合は、速度制限のオフセット値 (+または-) を設定することができます。たとえば、速度制限を 時速 10 km 超えるときだけ警告を出したい場合、オフセット値を 時速 10 km 上げます。
注: 制限速度からのオフセットは、インストゥルメントパネルの灰色の速度アイコンに表示される数値にも影響を及ぼします。
- **絶対** - 時速 30 km から 240 km の間で速度制限を手動で指定します。

注: スピードアシストが必ずしも正確というわけではありません。道路の位置を誤って計算し、スピードアシストが速度制限の異なる直接隣接した道路の速度を表示する状況が発生する可能性があります。たとえば、Model S が高速道路または有料道路などアクセスが制限された道路を走行しているとスピードアシストが判断しても、実際には近く的一般道路を走っていることや、その逆となる場合があります。

注: 選択した設定は、手動で変更されるまで維持されます。

制限事項および不正確性

スピードアシストは完全に機能しないことがあり、以下のような場合に不正確な情報を提示することがあります。

- 視界が悪く、速度制限標識がはっきり見えない (豪雨、降雪、霧など)。
- 明るい光 (対向車のヘッドライトや直射日光) がカメラの視野を妨げている。
- Model S 走行中前方車両に近づきすぎて、カメラの視界がさげられている。
- フロントガラスのカメラの視野に入る部分が覆われている (くもり、汚れ、ステッカーが貼られているなど)。
- 速度制限標識が何かで隠れている。
- 地図データベースに保存されている速度制限が不正確であるか、古い情報である場合。
- Model S が GPS や地図データが利用できない場所や、速度制限標識が検出できない領域を走行している場合。
- デジタル式や一時的な速度制限標識といった、標準認識可能な様式に準拠していない交通標識である。
- 道路や速度制限が最近変わった。



警告: 前記のリストはオートパイロットコンポーネントの正常な動作を妨げる可能性のある状況をすべて網羅したものではありません。スピードアシスト警報が正しい警報を発することができなくなる理由は他にも数多くあります。



セキュリティ システムについて

Model S が近くにキーがあることを検出していない状態でドアやトランクのロックが解除されると、アラーム音が鳴ります。ヘッドライトと方向指示器のランプが点滅します。アラームを解除するには、キー フォブのボタンを押します。

アラーム システムを手動でオン/オフするには、「コントロール」>「安全」>「セキュリティ アラーム」の順にタッチします。ON に設定すると、Model S から離れ、認識されたキーが車内またはその近くで検出されなくなってから 1 分経つとアラームが作動し、ドアがロックされます。

ロックされたドアやトランクが開かれたときに Model S が近くにキーを検知できない状況においては、バッテリーでバックアップされたサイレン（装備されている場合）が鳴動します。車両がキャビン内で動きを検知した時にこのサイレンが鳴るように設定したい場合は、「チルト/侵入」を有効にします（チルト/侵入（装備されている場合） ページ 116 を参照）。

注: Model S がセントリーモードの場合（セントリーモードの使い方（USB フラッシュドライブあり） ページ 120 を参照）、「セキュリティアラーム」設定は使用できません。

チルト/侵入（装備されている場合）

構成、販売地域、または製造日により、この機能が車両に装備されていない場合があります。

「セキュリティ アラーム」を有効にするには、「傾き/侵入検知」をオンにしなければなりません。

「傾き/侵入」設定がオンになっていると、Model S がキャビン内の動きを検出したり、車両が動かされたり傾けられたりした場合（けん引やジャッキアップにより）にサイレンが鳴ります。有効にするには、「コントロール」>「安全」>「チルト/侵入」の順にタッチします。

車両を離れた後に空調システムが作動している場合、侵入センサーは自動的に無効になります（を参照）。これを有効のままにするには、「エアコンをオンのままにする」、「ドッグ モード」、または「キャンプモード」を選択した後に手動で侵入センサーを ON にします。

チルト/侵入センサーは、各走行サイクルの開始時に自動的に再度有効になります。

注: キャビン過熱保護を使用するには、チルト/侵入アラームをオフにする必要があります（キャビン過熱保護 ページ 127 を参照）。

注: ロックした後、車内に何か動くものを残さなければならない場合、チルト/侵入は必ずオフにしてください。この設定がオンの場合、Model S 内部で動きが検知された場合、侵入アラームが鳴動します。

注: Model S がセントリーモードの場合（セントリーモードの使い方（USB フラッシュドライブあり） ページ 120 を参照）、「チルト/侵入」設定は使用できません。

改良型盗難防止機能にアップグレード（装備されている場合）

お客様の車両に改良型盗難防止アップグレードが装備されている場合は、Model S 近くにキーが検知されていない状態で、ロックされているドアやトランクが開かれるとホーンが鳴動します。「チルト/侵入」がオンになっていると、Model S が車内の動きを検出したり、（けん引やジャッキアップにより）車両が動かされたり傾けられたりした場合にもホーンが鳴ります。チルト/検知システムを ON/OFF するには、「コントロール」>「安全」>「チルト/侵入」の順にタッチします。

サードパーティアプリデータストリーミングを許可する

サードパーティアプリ向けのデータストリーミングは、サードパーティアプリケーションが Model S と連携できるようにすることで、フリート管理を支援します。「サードパーティアプリデータストリーミングを許可する」を有効にすると、認証済みのサードパーティ アプリケーションが Model S と連携し、車両コマンドを送信したり車両データを取得したりできるようになります。サードパーティ向けデータ ストリーミングを有効にするには、「コントロール」>「安全」>「サードパーティアプリデータストリーミングを許可する」をタッチします。

ドライブ用 PIN

セキュリティ強化のため、4 桁の PIN（個人識別番号）を入力するまでは Model S を運転することができません。この設定をオンにするには、「コントロール」>「安全」>「ドライブ用 PIN」の順にタッチして、画面の指示に従ってドライブ用 PIN を作成してください。

有効にすると、運転する前だけではなく、初めてバレーモードをオンにするときにも、4 桁のドライブ用 PIN が必要となるため、バレーモードを開始、終了するための 4 桁の暗証番号を作成します。バレーモードを開始すると、ドライブ用 PIN を入力せずにバレー係の人が Model S を運転できるようになります。バレーモードがオンになっているときは常にドライブ用 PIN 設定はオフとなります。

ドライブ用 PIN を忘れた場合は、リンクをタッチして「ドライブ用 PIN」ポップアップに Tesla ログイン認証情報を入力し、タッチスクリーンの指示に従います。

注: まず発生しませんが、万一タッチスクリーンが反応しなくなると、PIN を入力することができなくなります。この場合は、まずタッチスクリーンの再起動を試みてください（タッチスクリーンまたはインストールメントパネルの再起動 ページ 8 を参照）。タッチスクリーンが依然として反応しない場合でも、Tesla モバイルアプリの「セキュリティとドライバー」>「PIN をクリア」をタップすることで、ドライブ用 PIN を回避できます。PIN をクリアできるのは、車両のオーナーのみです。



グローブボックス PIN

都合に応じて、タッチスクリーン ポップアップのボックスをオンにして、ブックマークや履歴を除外します。

4桁のPIN（ドライブ用PINと無関係）を使用してグローブボックス内の物を保護します。有効にするには、「コントロール」>「安全」>「グローブボックス PIN」の順にタッチして、タッチスクリーンの指示に従います。有効にすると、グローブボックスを開くためのPINの入力を求めるプロンプトが表示されます。このセキュリティ保護を削除するには、トグルを選択して無効にしてから、PINを入力します。

グローブボックス PIN を忘れた場合は、Tesla ログイン認証情報を入力してグローブボックスのPINをいったんリセットし、タッチスクリーンの指示に従います。

注: グローブボックス PIN を使用すると、Model S がバレーモードのときでもグローブボックスを開けることができます。

速度制限モード

速度制限モードでは、加速や最大走行速度を 80~193 km/h の範囲内の所定の値で制限できます。この速度制限モードを初めて使用する際は、オンオフを切り替えるときに使用する4桁のPINを設定する必要があります。有効な場合に車速が最大速度の約 5 km/h 以内に近づくと、チャイムが鳴り、インストゥルメントクラスターにメッセージが表示され、Model S がモバイルアプリに通知を送信します。また「セキュリティ」>「速度制限モード」の順にタッチして Tesla モバイル アプリから有効にすることもできます。速度制限モードの有効化:

1. Model S がパーキングに入っていることを確認してください。
2. タッチスクリーンで「コントロール」>「安全」>「速度制限モード」の順にタッチします。
3. 最大走行速度を設定します。
4. スライダーを**オン**の位置までドラッグします。
5. 速度制限モードをオンオフを切り替えるには、4桁のPINを入力します。

注: PIN を忘れてしまった場合、Tesla アカウントのログイン認証情報を入力して速度制限モードを無効にすることができます。

注: 速度制限モードが有効になっている場合、加速設定は自動的に「チル」になります。



警告: 下り坂では走行速度が上昇し、Model S の速度が選択した最大速度を超えてしまうことがあります。



警告: 速度制限モードは、ドライバーの正しい状況判断、日々の鍛錬、制限速度および運転状態の注視にとってかわるものではありません。どの速度でも事故は発生します。安全に運転することはドライバーの責任です。

ブラウザのデータをクリア

「コントロール」>「サービス」>「ブラウザのデータのクリア」の順に進むと、(コンピュータやスマートフォンで行う場合と同様の方法で) 車両のブラウザのデータをクリアできます。これは、設定や他のドライバーがした検索を消去するといった、多くの状況で役立ちます。

注: 販売地域、車両構成、購入したオプション、ソフトウェアバージョンによっては、車両にダッシュカムが装備されていない場合や、その機能が記述通りには作動しない場合があります。
カメラの使用に関しては、ドライバーの単独の責任において、すべての地域の規則および財産権の制限を確認して、それらを遵守する必要があります。

走行中、ダッシュカムは車両の周囲の動画を撮影しています。他の車両の外部ダッシュカムに対するのと同様に、ダッシュカムを使用して走行中のインシデントやその他の注目されるイベントを記録します。

ダッシュカムアイコンはアプリランチャーにあります。アクセスを容易にするためにダッシュカムアプリを下部バーに追加することができます（[マイアプリをカスタマイズ ページ 7](#)を参照）。Model S がパーキングにシフトされているときに、ダッシュカムアイコンをタッチするとビューアが立ち上がります（[録画映像を見る ページ 122](#)を参照）。



プライバシーを守るため、録画はフォーマットされた USB フラッシュドライブの車載メモリにローカルに保存されます。記録が Tesla に送信されることはありません。Model S ダッシュカムが「オフ」のときは、録画は実行されません。

ダッシュカムの使用方法

1. USB フラッシュドライブをフォーマットします。ダッシュカムで映像を保存し検索するには、正しくフォーマットされた USB ドライブを車両の USB ポートに挿入する必要があります。およそ 2020 年以降に製造された車両の場合、グローブボックスにフォーマット済みの USB ドライブが装備されています。必要な場合にフラッシュドライブをフォーマットするには次に示す 2 つの方法があります。
 - Model S を使用してフラッシュドライブをフォーマットします。フラッシュドライブを USB ポートに挿入し、「コントロール」>「安全」>「USB ドライブをフォーマット」の順に移動します。
 - コンピューター上でフラッシュドライブをフォーマットします。詳細情報については、[ビデオ録画のための USB ドライブの要件 ページ 122](#)を参照してください。
2. USB フラッシュドライブを車両の USB ポートに挿入してください。グローブボックス内のポートを使用することを推奨します（装備されている場合）。
3. 「コントロール」>「安全」>「ダッシュカム」の順にタッチしてダッシュカムを有効にします。ダッシュカムを使用して、映像の保存方法および保存タイミングを選択することができます。次から選択できます。
 - オート:** Model S が衝突やエアバッグの展開といった安全重要イベントを検知すると、ダッシュカムは USB ドライブに録画を自動保存します。「オート」を選択している場合、検知はばらつく可能性があり、車両の電力、スリプおよびオートパイロットの状態に影響されます。

注: ダッシュカムが安全上の重大な状況を自動保存するかしないかは、いくつかの要因によって決まります（力のかかり具合、エアバッグが作動したかなど）。安全上の重大な状況がすべてダッシュカムにより自動録画されることを期待しないでください。

- マニユアル: 最新 10 分間の映像を USB フラッシュドライブに保存するにはダッシュカムアイコンをタッチする必要があります。
 - クラクション: ホーンを押すと、ダッシュカムは最新 10 分間の映像を保存します。この機能は「オート」または「マニユアル」と同時に有効化することができます。
4. 有効にしている場合、ダッシュカムアイコンは映像が保存されていることを示します。



アイコンが変化してダッシュカムの状態を示します。



録画しています: ダッシュカムは録画中です。ビデオクリップを保存するには、このアイコンにタッチします。録画を一時停止するには、このアイコンを長押しします。



利用可能: ダッシュカムは利用可能ですが、アクティブな録画中ではありません。ダッシュカムアイコンにタッチすると映像の録画を開始します。



一時停止: ダッシュカムは一時停止しています。録画を再開するには、このアイコンにタッチします。ビデオクリップを消去してしまわないようにするには、ダッシュカムを一時停止してから、フラッシュドライブを取り出すようにしてください。



ビジー: ダッシュカムは映像の読み込み、保存または上書きをしています。ダッシュカムがビジー状態の場合、映像はキャプチャしたり録画されたりしていません。



保存済み: 映像が保存されました。

5. 希望する映像を保存すると、そのクリップをタッチスクリーンまたはコンピューターで表示することができます。
 - タッチスクリーン: Model S がパーキングにシフトしていることを確認し、アプリランチャーのダッシュカムアイコンをタッチします。動画はタイムスタンプの順序で並んでいます。詳細情報については、[録画映像を見る ページ 122](#)を参照してください。
 - コンピューター: USB フラッシュドライブをコンピューターに挿入し、TeslaCam フォルダに移動します。動画はタイムスタンプの順序で並んでいます。詳細情報については、[録画映像を見る ページ 122](#)を参照してください。

6. ダッシュカムをオフにするには「コントロール」>「安全」>「ダッシュカム」>「オフ」の順に移動します。「オート」「マニュアル」または「ホーン使用時」に設定している場合、運転する度にダッシュカムは自動的に有効になります（ただし設定によってはアクティブに画像を保存しない場合があります）。



セントリーモード

注: 販売地域、車両構成、購入オプション、ソフトウェアバージョンによっては、車両にセントリーモードがない場合がありますまたは機能が説明通りに作動しない可能性があります。カメラの使用に関しては、ドライバーの単独の責任において、すべての地域の規則および財産権の制限を確認して、それらを遵守する必要があります。

有効な場合、Model S をロックしてパーキングにシフトしているときに車両のカメラやセンサー（装備されていれば）の電源がオンのままになり、不審な行動があればそれを記録できるようになります。セントリーモードは、近くに潜在的脅威を検知したときにアラートを発する、インテリジェントな車両セキュリティシステムであるとお考えください。

脅威が検知された場合、またはけん引されたり揺さぶられたりしたときのような、ぎくしゃくした動きが多いと車両のセンサーが判断した場合、セントリーモードは次の動作を行います。

- ヘッドライトを点滅させます。
- アラームを鳴らします。
- カメラが録画中であることを示すメッセージをタッチスクリーンに表示して、車外にいる人に知らせます。
- モバイルアプリでお客様にアラームの作動を知らせます。
- イベントの映像を USB ドライブ（取り付けられている場合）に保存します。

セントリーモードはデフォルトでは無効になっています音声コマンドや Tesla モバイルアプリを使用して、セントリーモードを簡単に有効化または無効化することができます。音声コマンドを使用してセントリーモードを有効にするには、「Tesla を安全に」、「自分の車の安全に」、「セントリー オン」、または「セントリーを有効にする」などと発話します（[音声コマンド ページ 17](#) を参照）。

低電力モードではセントリーモードを使用できません。（[#unique_352 ページ](#) を参照）。Model S が低電力モードに入ると、セントリーモードが無効になり、モバイルアプリから通知が送信されます。セントリーモードを有効にすると、バッテリー消費が増加する場合があります。

注: セントリーモードが有効になっている場合、セキュリティアラーム設定（「コントロール」 > 「安全」 > 「セキュリティアラーム」）は使用できません。



注意: セントリーモードを有効にしたからといって、潜在的なあらゆるセキュリティ上の脅威から Model S を保護できるわけではありません。セントリーモードは多くの要因を利用してセキュリティアラームを発動させるかを判断します。すべての影響因子が検出されるわけではない可能性がありますし、あらゆる状況でアラームが発動するわけではない可能性があります。セントリーモードは車両を脅威から保護するのに役立ちますが、すべての攻撃を防げるわけではありません。

注: セントリーモードは、アラームがトリガーされたとき、誰かがドアやトランクを開けようとしたとき、または車両が突然のぎくしゃくした動きを検知したときに限って、モバイルアプリに通知を送信します。セントリーモードがそのイベントを明確な脅威とみなさない場合、車両は映像を記録しますが、アラームはトリガーされません。

セントリーモードの使い方（USB フラッシュドライブあり）

1. セントリーモードでは車両の USB ポートに正しくフォーマットされた USB ドライブを挿入する必要があります。およそ 2020 年以降に製造された車両の場合、グローブボックスにフォーマット済みの USB ドライブが装備されています。フラッシュドライブをフォーマットするには次に示す 2 つの方法があります。
 - USB ドライブを USB ポートに挿入し「コントロール」 > 「安全」 > 「USB ドライブのフォーマット」の順に移動します。車両は自動的に USB ドライブをフォーマットします。
 - コンピューターで USB ドライブをフォーマットします。詳細情報については、[ビデオ録画のための USB ドライブの要件 ページ 122](#) を参照してください。
2. USB ドライブを車両の USB ポート（できればグローブボックスの USB ポート（装備されていれば））に挿入します。
3. 車両をパーキングにシフトした状態で、「コントロール」 > 「安全」 > 「ダッシュカム」の順に移動してダッシュカムを有効にします（セントリーモードが機能するには、ダッシュカムを有効にする必要があります）。
4. 「コントロール」 > 「安全」 > 「セントリーモード」 > 「オン」の順にタッチします。有効になるとステータスバーにあるセントリーモードアイコンが赤色に変わります。



注: リアカメラでの録画は 2018 年 2 月ごろ以降に製造された車両のみ使用可能です。

有効になっている場合、セントリーモードはアイドル状態になり、トリガーされた場合に、すぐにアラームを出して、そのセキュリティイベントを録画することができます。映像の表示については、[録画映像を見る ページ 122](#) を参照してください。

5. 次回の走行までセントリーモードを手動で有効/無効にするには、セントリーモードアイコンにタッチします。このアイコンが赤くならない場合、セントリーモードはオフです。



「コントロール」 > 「安全」 > 「セントリーモード」でセントリーモードを「オフ」にすると複数回の走行サイクルで無効になります。

セントリーモードの使い方 (USB フラッシュドライブなし)

セントリーモードが有効な場合に、セキュリティ イベントが検知されたものの、USB ドライブは USB ポートに挿入されていない場合、車両はモバイルアプリを介してドライバーに警告を出しますが、カメラ録画は行いません。

セントリーモードの設定

・ 指定場所を除外する

「コントロール」 > 「安全」 > 「セントリーモード」では、指定された場所でセントリーモードを有効にしないことを設定することができます (詳細情報については [自宅、勤務先、お気に入りの目的地 ページ 134](#) を参照)。

- **自宅を除く:** お気に入りリストで「自宅」と設定した場所では、セントリーモードが自動でオンになりません。
- **勤務先を除く:** お気に入りリストで「勤務先」と設定した場所では、セントリーモードが自動でオンになりません。
- **お気に入りを除く:** お気に入りリストにある場所では、セントリーモードは自動でオンになりません。

注: 自宅、勤務先またはお気に入りとしてリストされている場所を認識させるには、Model S を保存した場所の約 500 m 以内に駐車する必要があります。

自宅または勤務先を設定するには、「ナビ」 > 「自宅を設定/勤務先を設定」の順にタッチします。「お気に入り」を設定するには、マップに住所が表示されているときに星印にタッチします。タッチスクリーンまたはモバイル アプリを使用して手動でセントリーモードをオンまたはオフにすると、次に車を運転するまで、自宅、勤務先またはお気に入りの無効になります。

・ カメラベース検出を設定する

「カメラベース検出」を有効にすると、セントリーモードが車両のセンサーの他に外部カメラを使用して駐車中のセキュリティ イベントを検出します。無効にした場合、物理的脅威が検出されても、車両は映像を USB ドライブに保存する以外のことをしません。調整するには「コントロール」 > 「安全」 > 「セントリーモード」 > 「カメラベース検出」の順にタッチします。

セントリーモードの映像の表示に関する詳細は、[録画映像を見る ページ 122](#) を参照してください。

注: 内部ストレージの空き容量がなくなると、新たな録画によって古い録画が上書きされます。



ビデオ録画のための USB ドライブの要件

注: 製造日および車両の構成によっては、USB ドライブでフォーマットを行う機能やビデオクリップを保存する機能が、車両で使用できない可能性があります。

一部の機能（ダッシュカム、セントリーモード）では、以下の要件に適合する USB ドライブの使用が必要です。

- 最小ストレージ容量 64 GB。できるだけ保存領域が多い USB ドライブを使用してください。動画は大量の保存領域を占有することがあります。
- 4 MB/s 以上の持続書き込み速度であること。持続書き込み速度はピーク書き込み速度とは異なることに注意してください。
- USB 2.0 互換であること。USB 3.0 のドライブを使用する場合、USB 2.0 もサポートしている必要があります。
- （自動または手動 ページ 122 のいずれかで）（自動または手動のいずれかで）正しくフォーマットされています。

注: 一部の販売地域では、<http://www.tesla.com> の推奨 USB ドライブを購入することができます。

USB ドライブの自動フォーマット

USB ドライブを、ビデオクリップのフォーマット、保存、視聴が可能なフロント USB ポートに挿入します（[車内の電子装備品 ページ 10](#) を参照）。次に、「コントロール」>「安全」>「USB ドライブをフォーマット」の順にタッチします。これによって USB ドライブが exFAT として自動的にフォーマットされ、TeslaCam フォルダが作成されます。これで USB ドライブで動画映像を記録して保存する準備が整いました。

「USB ドライブをフォーマット」は、USB ドライブ（1 つ以下のパーティションを持つもの）をフロント USB ポートに差し込んでいる場合に限って利用可能です。「USB ドライブをフォーマット」を選択すると、USB ドライブ上の既存のデータがすべて消去されます。この機能を使用する前に、保持したいデータを別のデバイスに移動してください。

USB ドライブの手動フォーマット

Model S で USB ドライブをフォーマットできない場合は、コンピューターを使用してフォーマットしてください。

1. USB ドライブを exFAT、MS-DOS FAT (for Mac)、ext3、または ext4 でフォーマットします（NTFS は現在サポートされていません）。
2. **TeslaCam** という名前のベース レベル フォルダを作成します。1 つの USB ドライブを、ダッシュカム、セントリーモード、およびオーディオ ファイル用に使用することができますが、exFAT USB ドライブ上に個別のパーティションまたはフォルダを作成する必要があります。
3. フォーマットが完了したら、USB ドライブをグローブボックスの USB ポート（装備されていれば）に挿入するか、センター コンソール内のフロント USB ポートを使用してください。後部にある USB ポートはデバイスの充電専用ですので、使用しないでください。Model S が USB ドライブを認識するまでに数秒かかる場合があります。

4. 認識されたら、タッチスクリーンの上部にダッシュカムおよびセントリーモードのアイコンが表示され、Model S はこれで動画を記録をすることができます。

注: 最初にセントリーモード（装備されている場合）を有効にする必要がある場合があります。「コントロール」>「安全」>「セントリーモード」の順にタッチしてください。

録画映像を見る

映像が保存されている場合、クリップをタッチスクリーン、Tesla モバイルアプリ、またはコンピューターで表示することができます。

USB ドライブに空き容量がない場合、これ以上動画を保存することはできません。USB ドライブに空きがなくなることを防ぐため、保存されたビデオを定期的に別の装置に移動し、USB ドライブから削除してください。

有効な場合、ダッシュカムとセントリーモードが映像を周期的に記録します。保存しない場合、映像は継続的に上書きされます。表示するためには希望する映像を保存する必要があります。そうしないとその映像は消去されて上書きされます。映像の保存については、[セントリー モード ページ 120](#) および [ダッシュカム ページ 118](#) を参照してください。

保存された各クリップには、各カメラ（フロント、リア、左および右）から 4 本の動画が録画されています。

注: リア カメラでの録画は 2018 年 2 月ごろ以降に製造された車両でのみ使用可能です。

タッチスクリーンまたはモバイルアプリで録画を表示すると、録画時のギア位置、速度、ハンドル角度などの情報を確認できます。

注: この機能には、Tesla モバイルアプリ バージョン 4.51.5 以降が必要です。



注意: ダッシュカムの録画には、車両の速度、ハンドルの角度、オートパイロットシステムの状態などの情報が表示されます。データのサンプリング方式や時間基準の違いにより、表示される情報と他の車両システムによって記録されたデータとの間に、わずかな遅延や差異が生じる場合があります。表示される情報は参考用であり、特定の車両イベントのすべての詳細を反映しているとは限りません。

タッチスクリーンでの表示

Model S がパーキングにシフトしているときに、タッチスクリーンで録画した映像を見ることができます。アプリ ランチャーにあるダッシュカム アイコンにタッチします。

ビデオクリップの一覧は、場所とタイムスタンプ順に整理されています。必要に応じて、再生の一時停止、巻き戻し、早送りが可能です。クリップを削除するには、リスト上部の「**その他のオプション**」（三点リーダー）をタッチし、削除したいクリップを選択します。

「コントロール」>「安全」>「ダッシュカムのクリップを消去」の順に移動して、すべてのダッシュカムおよびセントリーモードの映像を消去することができます。



注: ビューアを起動すると、ダッシュカムの録画が一時停止します。

コンピューターで表示

USB ドライブをコンピューターに挿入し、TeslaCam フォルダに移動します。

TeslaCam フォルダには、以下のサブフォルダがあります。

- **RecentClips** : 最大 60 分の録画されたコンテンツが含まれています。
- **SavedClips** : RecentClips フォルダから移動し、名前を変更して保存したすべての録画が含まれます。
- **SentryClips** : すべてのセントリーモード セキュリティ イベントで記録された録画が含まれます。USB ドライブの記憶スペースが制限されると、もっとも古いセントリー クリップが削除されて、新しいクリップのためのスペースを提供します。一旦削除されたクリップを復元することはできません。



空調を操作する

温度調節の概要

空調は、タッチスクリーン下部からアクセスできます。温度調整は標準で「オート」に設定されています。この設定では、過酷な気象条件を除くあらゆる環境で最高の快適さが保たれます。キャビンの温度を「オート」で設定すると、空調システムは、暖房、エアコン、空気配分、ファン速度を調整して選択した温度を維持します。

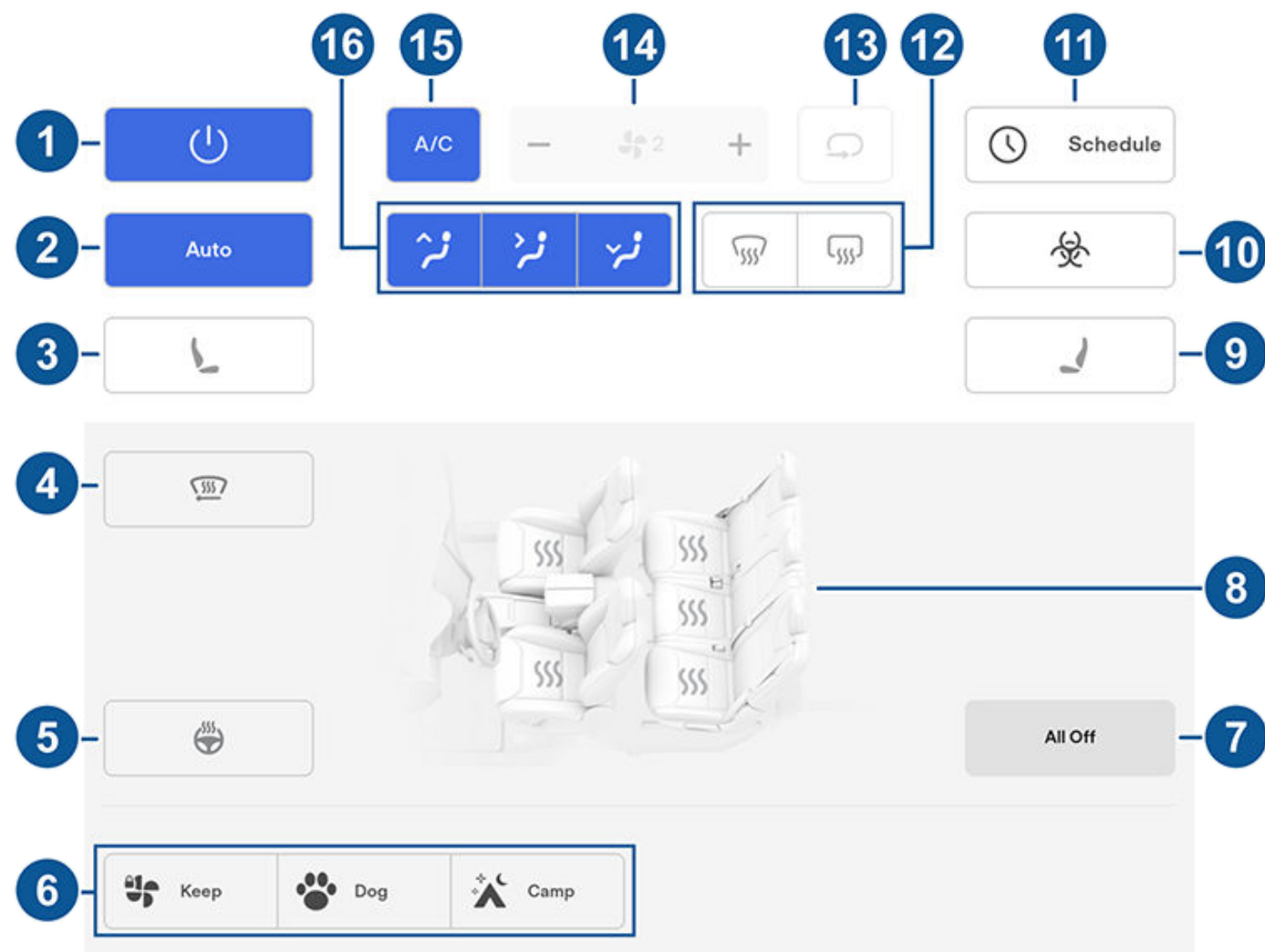
空調設定を調整できるときは、タッチスクリーンの下部側にある表示温度にタッチして、メイン空調画面にアクセスできます。「自動」にタッチするといつでも自動に戻ることができます。メイン空調コントロール画面の電源ボタンにタッチすると、オンまたはオフに切り替えることができます。一般的なコントロールにすばやくアクセスするには、<または>にタッチして空調ポップアップを表示します。

注: 空調システムは高電圧バッテリーからの電力で運転します。したがって、長時間使用すると航続距離が減少します。

警告: 長時間の使用によるやけどを防止するために、末梢神経障害を患っている方、糖尿病、加齢、神経損傷、その他の症状が原因で痛みを感じる機能が低下している方は、空調システムやシートヒーターの使用の際に十分注意してください。

空調設定の調整

注: シートヒーターをオンにしたり、キャビン温度を変更したりするといった空調の設定を、音声コマンドを使用してハンズフリーで簡単に調整することができます (音声コマンド ページ 17 を参照)。



注: シートヒーターおよびデフロスターにワンタッチでアクセスするために、これらのコントロールをマイ アプリに追加することができます。マイ アプリをカスタマイズ ページ 7 を参照してください。



1. タッチすると、空調システムのオンオフを切り替えできます。
2. 「オート」をタッチしてオート設定をオンまたはオフにします。
3. 運転席側のシートアイコンにタッチすると、運転席のシートヒーターを調整できます。シートには、3（最高）から1（最低）までの3段階あります。シートヒーターにワンタッチアクセスするため、シートヒーターをタッチスクリーンの下部バーに追加することができます（[マイアプリをカスタマイズ ページ 7](#)を参照）。
4. タッチするとワイパーデフロスターがオンになります（装備されている場合）。ワイパーは15分間霜取りしてから、自動でオフになります。
5. タッチすると、ハンドルヒーターのオンオフを切り替えることができます（装備されている場合）。
6. 「パーキング」にシフトされている場合、これらの設定が表示され、Model S から離れても空調システムを動作したままにしておくことができます（[エアコンをオンに保つ、ドッグ、およびキャンプ ページ 126](#)を参照）。
7. タッチして、全てのシートヒーターをオフにします。
8. タッチして、フロントおよびリアシートのヒーターの温度を調整します。
9. 助手席側のシートアイコンにタッチすると、前席乗客のシートヒーターを調整できます。シートには、3（最高）から1（最低）までの3段階あります。シートヒーターにワンタッチアクセスするため、シートヒーターをタッチスクリーンの下部バーに追加することができます（[マイアプリをカスタマイズ ページ 7](#)を参照）。
10. Model S に、医療グレードの HEPA（High Efficiency Particulate Air）フィルターが備わっている場合、空調システムを起動して、外気を車内に導入する状態にしておく（再循環はオフ）車内の空気は最良な状態に維持されます。この HEPA フィルターは、大気汚染、アレルギー、バクテリア、花粉、カビ孢子、ウィルスなどの微粒子を効率的に排除する超高性能フィルターです。また、HEPA フィルターと補助フィルターシステムの両方に活性炭が使用されているので、あらゆる種類のにおいやガスを除去します。Bioweapon Defense Mode（対生物兵器モード）を起動すると、車内が正圧に保たれ、車内に侵入する外気量を最小限に抑えることができます。

注: 一酸化炭素などの一部のガスは、活性炭では効率的に排除することできません。

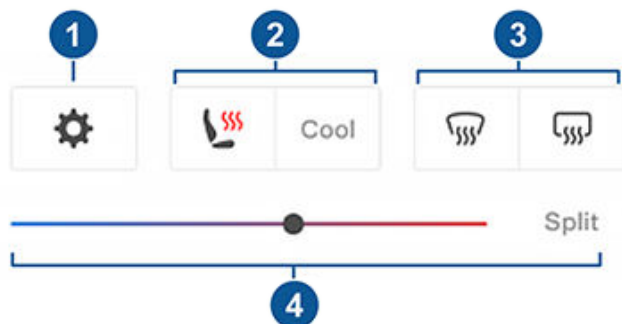
11. Model S をパーキングに入れた状態で、「予約」にタッチし、バッテリーと車内の空調をプレコンディショニングし、オフピーク時間帯に充電して、毎日同じ時刻に Model S の出発準備が整うように設定します（[プレコンディショニングと充電の予約 ページ 153](#)を参照）。
12. フロントガラスのデフロスターはフロントガラスの表面に空気を流します。1回タッチすると、フロントガラスの霜取りができます（アイコンが橙色に変わります）。2回タッチするとフロントガラスの霜取りを行ないます。3回タッチするとオフに切り替わり、空気供給、ヒーター、ファンが元の設定に戻ります。
13. タッチすると、キャビン内の空気の流れを制御できます。外部から Model S への空気の導入や、キャビン内での空気循環ができます。
14. スライダーを使用してファン速度を調節します。
注: ファンの速度を調整すると、空気吹出し風量を増加または減少させるために、Model S 内への空気吹出し設定が変更される場合があります。
15. これをタッチしてエアコンシステムをオンまたはオフにします。オフにすると冷房効果は下がりますが、エネルギーの節約になります。
注: これは、Model S はガソリン車と比べ走行音が格段に静かなため、エアコンコンプレッサーの動作音が気になることがあります。騒音を抑えるには、ファンの速度を下げてください。
16. フロントキャビンに送風する位置を選択します（フロントガラス、顔の高さ、足元のいずれか）。1つ以上の通気口を選択できます。



空調を操作する

空調用ポップアップ

タッチスクリーンの下部にある温度矢印をタッチしてポップアップを表示すると、よく使う空調設定に簡単にアクセスできます。



注: シートヒーターおよびデフロスターにワンタッチでアクセスするために、これらのコントロールをマイ アプリに追加することができます。マイ アプリをカスタマイズ ページ 7 を参照してください。

1. タッチして、メインの空調画面にアクセスします。
2. シートヒーターまたはシートクーラー（装備されている場合）を有効または無効にします。
3. フロントまたはリアのウィンドウ デフロスターを有効または無効にします。
4. スライダーをドラックしてキャビンの温度を調整します。また、温度調整する部分をスプリットして、運転席と助手席に座る人が自分の好みの温度にカスタマイズできるようにすることもできます。助手席に座る人は、タッチスクリーンの下部にある温度アイコンまたはメインの温度調節画面をタッチして調整します。もう一度「スプリット」をタッチして空調の分割を無効にします。

エアコンをオンに保つ、ドッグ、およびキャンプ

「エアコンをオンに保つ」、「ドッグ」および「キャンプ」設定を使うと、Model S から離れた後でも、車内にとどまることを選んでも、駐車中に空調を ON のままにしておくことができます。これらの設定は、暑い天候時や寒い天候時に車内温度を保つ必要がある場合に役立ちます。例：暑い日に Model S 内に食料品を入れたままにすると、「エアコンをオンに保つ」を使用して食料品が傷まないようにしたいと思う場合。

「ドッグ」は、ペットのために快適なキャビン温度を維持するように設計されており、モバイル アプリを使用してこの温度を積極的にかつ頻繁に監視します（電話機と車両にセルラー接続を確立する必要があります）。「ドッグ」では、タッチスクリーンに現在のキャビン温度が表示され、ペットが安全であることを通り過ぎる人に教えます。この設定は人用ではなく、短い間だけに使用して、温度を維持することができない状況で車両に戻る必要があるため、ドライバーは近くにいる必要があります。

「キャンプ」では、車内温度を維持することに加え、USB ポートと低電圧アウトレットから電子機器の電源を取ることができます。タッチスクリーンは表示されたままになりますので、音楽を再生したり、インターネット検索をしたり、アーケードでゲームをプレイしたり、Tesla シアターで映画を観ることができます。ペアリングした携帯電話でメディアや空調設定をコントロールすることもできます。「キャンプ」はキャンプ時やお子さまに付きそう場合など、車内に留まるときに最適です。このモードが有効な場合、セントリーモードと車両のアラームシステムが無効になります。降車後オートロックが作動していません。

「エアコンをオンに保つ」、「ドッグ」、または「キャンプ」を有効にするには次のようにします。

1. Model S が低電力モードになっていないことを確認してください（#unique_352 ページ を参照）。
2. シフトをパーキングにします。「エアコンをオンに保つ」、「ドッグ」、および「キャンプ」設定は Model S のギアがパーキングに入っているときのみ使用できます。
3. 必要に応じて、空調設定を調節します。
4. 空調画面で、「エアコンをオンに保つ」、「ドッグ」、または「キャンプ」をタッチします。

注: 空調画面の灰色のバーから上にスワイプすることで、モバイル アプリから「ドッグ」および「キャンプ」を制御することもできます。

空調システムは、パーキングからギアを動かす、または空調システムを手動でオフにするまで、空調の設定を維持しようとします。バッテリーの充電レベルが低い場合、「エアコンをオンに保つ」、「ドッグ」、または「キャンプ」の使用を控えてください。

「エアコンをオンのままにする」、「ドッグ」、または「キャンプ」がオンの場合、Tesla モバイル アプリはバッテリーの充電レベルが 20%未満に低下した場合に、Model S に入れたままにしているものを確認するよう繰り返し通知を送信しようとします。

注: 「エアコンを ON のままにする」、「ドッグ」、または「キャンプ」が有効なときは、ソフトウェアアップデートは行えません。

注: 侵入センサー（装備されている場合）は、「エアコンをオンに保つ」、「ドッグ」、または「キャンプ」が設定されると自動的に無効になります。しかし、これを強制的に侵入センサーを有効にしたままにすることもできます。これを行うには、「エアコンをオンに保つ」、「ドッグ モード」、または「キャンプモード」を有効にしてから、「コントロール」>「安全」>「チルト/侵入」の順にタッチします。ただし、「エアコンをオンに保つ」、「ドッグ」、または「キャンプ」が設定されているときに侵入センサーを有効にすると、室内の空気の流れを検知してアラームが作動することがあるので注意が必要です。

警告: 子供を車の中に放置しないでください。

警告: 車両にペットを放置することに関する制限事項については、現地の法令を確認してください。

警告: ドライバーは犬などのペットの安全に責任を負っています。ペットを Model S の中に長時間放置しないでください。継続的に車内温度およびペットの健康状態を監視してください。電話機がカバーエリア内にあることや、必要に応じて、車両に戻るまでの時間を確認してください。



⚠ 警告: 万が一、空調システムの整備が必要になったり、空調システムが予期した通りに作動しない場合は、「エアコンをオンのままにする」、「ドッグ」および「キャンプ」の使用を避けてください。ペットや子供の保護を車両に任せないでください。

⚠ 警告: 空調システムはモバイル アプリから遠隔で調整および監視することができます。ただし、空調システムをモバイルアプリでオフにすると、「エアコンをオンに保つ」、「ドッグ」、「キャンプ」も併せて停止されます。

キャビン過熱保護

キャビン過熱保護は高外気温状態でキャビンが高温になりすぎないようにします。Model S から離れているときにいつも作動させる必要がない場合でも、空調システムは車両のキャビン温度を下げ、維持することができます。この機能は日光の当たる場所に駐車にしたときにキャビンが過熱することを防止し、帰ってきたときに車両をより快適にすることができます。キャビン過熱保護は、降車してから作動するまでに最長で 15 分かかる可能性があります。この機能は搭乗者の快適性を目的としたものであり、車両のコンポーネントの信頼性に影響を与えません。

オンにするには、「コントロール」>「安全」>「キャビン過熱保護」の順にタッチし、以下を選択します。

- **オン:** エアコンは、キャビンの温度が 40°C を超えるか、温度を調整するには、最新バージョンのモバイル アプリが必要になる場合があります。
- **オフ:** キャビン過熱保護を無効にします。

「除外：自宅」を有効にすると、Model S は、お気に入りリストで自宅として設定した場所に車両がある間、キャビン過熱保護がオフになります（[自宅、勤務先、お気に入りの目的地 ページ 134](#) を参照）。

また、「空調」にタッチすることで、モバイル アプリからリモートでキャビン過熱保護を有効にすることもできます。下のメニューをスワイプアップして「キャビン過熱保護」から設定を選択します（[モバイル アプリ ページ 49](#) を参照）。

キャビン過熱保護は、Model S を降りてから 12 時間経過またはバッテリー残量が低電力モードのしきい値を下回った時点（[#unique_352 ページ](#) を参照）のいずれか早い方の時点まで動作します。キャビン過熱保護を使用するにはバッテリーからのエネルギーが必要なので、航続距離が減少する可能性があります。

注: キャビン過熱保護を有効にするには、**チルト/侵入**をオフにする必要があります。

⚠ 警告: 自動シャットダウン、極端な外気温またはその他の潜在的な機能不全などにより、キャビン過熱保護機能が有効になっていたとしても車内の温度が危険な状態まで上昇する場合があります。選択した温度を繰り返し超える温度が発生する場合は、Tesla サービスまでお問い合わせください。

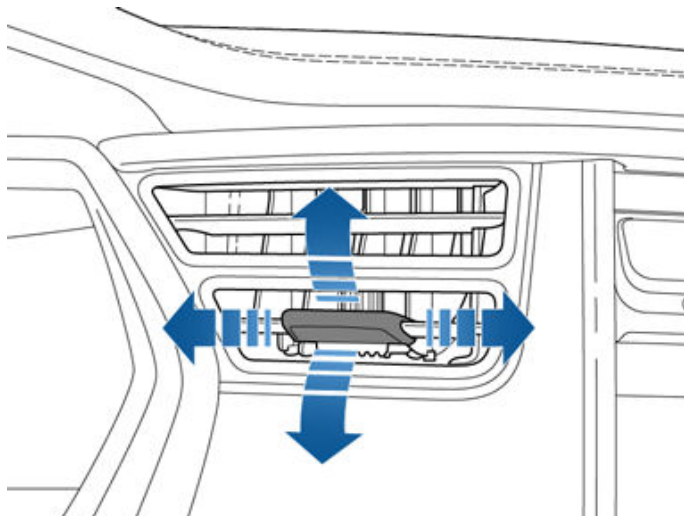
⚠ 警告: 子供またはペットを車の中に置き去りにしないでください。自動シャットダウンまたは気温が著しく高い時などにより、キャビン過熱保護機能が有効になっていたとしても車内の温度が危険な状態まで上昇する場合があります。

温度調整の使い方のヒント

- モバイル アプリを使用して空調システムを起動すると、システムは 2 時間後に自動的に終了します。より長い間キャビンの暖房または冷房を行なうには、車両を充電し、モバイル アプリから空調設定を再度有効にしてください。
- 電力を節約するには、レンジモード（装備されている場合）を有効にして空調システムの使用電力を制限します（「コントロール」>「運転モード」>「レンジモード」の順にタッチします）。車内の冷暖房はあまり効果的ではない場合もありますが、寒冷時には暖を取るためにシートヒーターを利用できます。
- 空調システムの運転音が気になる場合は、手動で風量を下げてください。
- 車内を冷房するほか、エアーコンディショナー コンプレッサーはバッテリーも冷却します。したがって、暑いときは、エアーコンディショナー コンプレッサーを OFF に設定したとしても、ON になることがあります。これは、バッテリーの寿命を保ち、バッテリーの最適化性能に必要とされる最適な温度範囲にバッテリーを保つために、システムがバッテリーの冷却を優先するためであり、正常な動作です。
- 使用していないときでも、Model S からうなり音や水が循環するような音が聞こえる場合があります。これらの音が発せられるのは通常の状態、内部の冷却システムがオンになり、低電圧バッテリーのメンテナンス、高電圧バッテリーの温度調節など、さまざまな車両の機能をサポートするときに発せられます。
- 空調システムを効率的に動作させるために、すべてのウィンドウを閉め、フロント ガラス前面の外部のグリルに氷、雪、木の葉、その他の破片がつかまらないように注意してください。
- 湿度が非常に高い場合、空調を ON にした直後にフロント ガラスが少し曇ることがあります。
- 駐車している間、Model S の下に小さい水溜まりができることがあります。これは、湿気を除去する過程で発生した余分な水分が下から排出されたためで、正常な動作です。
- 駐車中、高温の気象条件で車内の温度を下げるために、ファンで送風を行うことがあります。これは、Model S が低電力モードでない場合にのみ発生します。

外気はフロント ガラスの前のグリルを通して Model S に取り込まれます。木の葉や雪などの障害物がグリルをふさがないようにしてください。

Model S 車内の空気の流れを変えるには、車内の通気口を上下左右に動かします。



注: 顔の高さにある外側の通気口をサイド ウィンドウに向けると、サイド ウィンドウの霜や曇りの除去に役立ちます。

キャビン エア フィルター

Model S は、花粉、産業降下物、道のほこり、その他の粒子が通気口から入り込むことを防止するエア フィルターを 1 つ以上備えています。

注: キャビン エア フィルターは定期交換が必要です。定期サービス ページ 158 を参照してください。



寒冷環境において Model S でのユーザー体験を最大限に向上させるには、次のベストプラクティスを実施します。

運転の前に

雪や氷が車両に付着すると、ドアハンドル、ウィンドウ、ミラー、ワイパーなどの可動部が凍結する場合があります。走行距離を最大限に伸ばし、性能を確保するためにも、走行前にキャビンやバッテリーを暖めておくといでしょう。方法としてはいくつかあります：

- ・「コントロール」>「予約」（充電画面と空調画面でもアクセス可能）をタッチして、車両を運転する予定時刻を設定します（[プレコンディショニングと充電の予約 ページ 153](#) を参照）。
- ・モバイルアプリで、「空調」に移動し、車内を暖める温度を調整できます。また、これにより必要に応じて高電圧バッテリーも温まります。
- ・モバイルアプリで、「空調」>「霜取り」を選択すると、フロントガラス、ウィンドウ、ミラーについた雪、氷、霜を溶かすことができます。また、これにより必要に応じて高電圧バッテリーも温まります。

注: 空調は、少なくとも出発の 30～45 分前に作動させておくことをお勧めします（[空調を操作する ページ 124](#) を参照）。プレコンディション開始時間は外気温およびその他の条件により異なります。モバイルアプリは、車両が希望するプレコンディショニング温度に達したことを知らせます。

充電ポート

充電ポートのラッチが凍結して充電ケーブルがポートに固定された場合は、「コントロール」>「サービス」>「インレットヒーター」をタッチします。この方法で数分経って外れない場合は、手動で充電ケーブルの解除を試みてください。[手動で充電ケーブルを外す ページ 151](#) を参照してください。

極端な寒冷時や凍結するような状況では、充電ポートラッチがそのまま凍ることがあります。ラッチが凍結したために、充電ケーブルの取り外しまたは挿入ができない、または車両のスーパーチャージャーが機能しない場合、モバイルアプリで「車の霜取り」設定を使用します。この結果、充電ポートラッチの氷が溶けて、充電ケーブルの抜き差しができるようになります。

「スケジュール」設定を使用しても、充電ポートのラッチの凍結を防止することができます（[プレコンディショニングと充電の予約 ページ 153](#) を参照）。

注: 充電ポートのラッチが凍結してしまった場合、充電ケーブルを挿入した時にロックしないことがあります。しかし、ラッチがかかっているなくても充電速度は低下しますが充電は可能です。

充電通知

トリッププランナー（使用可能な場合）を使用して Tesla 充電ポイントまで移動すると、Model S が高電圧バッテリーを予熱するので、充電ポイントに到着したときには、バッテリー温度は最適化され、充電の準備が完了しています。これにより、充電の所要時間を短縮できます。参照（[トリッププランナー ページ 136](#) を参照）。

注: Tesla では、充電ポイントに到着する前の少なくとも 30 分から 45 分間、トリッププランナーを使用して充電ポイントへ移動することで、最適なバッテリー温度と充電条件を整えることをおすすめしています。充電ポイント到着までの走行時間が 30 分から 45 分よりも短い場合、運転前にバッテリーをプレコンディショニングしておくことを検討してください（[運転の前に ページ 129](#) を参照）。

ウィンドウ

モバイルアプリで、「空調」に移動し「車を霜取り」を選択します。これで、フロントガラス、ウィンドウ、ミラーについた雪、氷、霜を溶かすことができます。

Tesla ではサイドウィンドウおよびリアウィンドウ（フロントガラスは対象外）への疎水性コーティングを低価格で提供しておりますので、モバイルアプリを使用してサービス予約してください。

ミラー

駐車時に着氷が予想される場合は、「自動格納式ミラー」をオフにしておきます。「コントロール」>「車両」>「自動格納」の順にタッチします。凍結により、サイドミラーの展開、格納ができなくなる場合があります。

注: プレコンディショニング中や、リアデフロスターをオンにしたとき、サイドミラーが必要に応じて自動的に温められます。

ワイパー

駐車中に積雪や凍結が予想される場合は、「コントロール」>「サービス」>「ワイパー サービスモード」の順にタッチします。これで、ワイパーがフロントガラスから持ち上がり、フロントガラスの霜取り時に同時にワイパーの霜取りができます（[ワイパーとウォッシャー ページ 66](#) を参照）。また、ワイパーデフロスターをオンにすることもできます（装備されていれば）。[空調を操作する ページ 124](#) を参照してください。

タイヤおよびタイヤチェーン

雪道や凍結路面でトラクションを高めるにはスタッドレスタイヤを使用してください。ウィンタータイヤは Tesla ショップで購入することができます（[季節別タイヤ保管 ページ 163](#) を参照）。

タイヤチェーンを装着することで、雪道や凍結路でトラクションを高めることができます。地域の法令を確認し、冬季に地域でタイヤチェーンが推奨されているか、使用が義務付けられているかを確認してください。詳細情報については、[タイヤチェーンの使用 ページ 164](#) を参照してください。



寒冷環境におけるベストプラクティス

周辺温度が低くなると、車両のタイヤ空気圧は低下します。TPMS インジケータ ライトが点灯した場合、走行前にタイヤに空気を補充してください。外気温が 6°C 低下するとタイヤ空気圧は 1 PSI 低下します（[タイヤのお手入れとメンテナンス ページ 160](#) を参照）。タイヤ空気圧を適正に保つことで、タイヤを路上の穴から保護し、航続距離を延ばせます。

運転中

寒冷時は、運転や車内の暖房、バッテリーの加熱などで電力消費が多くなります。電力消費を下げるためには以下が推奨されます。

- シート ヒーターで暖めます。シート ヒーターは車内ヒーターより消費エネルギーが少なくてすみます。車内の温度設定を下げ、シートヒーターを使用すれば電力消費を削減することができます（[空調を操作する ページ 124](#) を参照）。
- 運転速度を落とし、急激、頻繁な加速を避けてください。
- レンジモード（装備されている場合）をオンにすると、車内とバッテリーの温度を維持するために必要な空調システムの消費電力を自動的に制限します。レンジモードはシグネチャーライト（装備されている場合）を消灯し、フロントおよびリアのモータートルクを調整して航続距離を最大限引き伸ばします（[航続距離を最大限に伸ばす ページ 154](#) を参照）。

回生ブレーキ

バッテリーの温度が低すぎると回生ブレーキの働きが制限されることがあります。運転を続けるとバッテリーの温度が上がり、回生電力が増加します（[回生ブレーキ ページ 69](#) を参照）。

注: 回生ブレーキの制限は、車両のプレコンディショニングに十分な時間をとるか、「[スケジュール](#)」を使用して出発時刻まで Model S をプレコンディショニングすれば回避できます（[プレコンディショニングと充電の予約 ページ 153](#) を参照）。

バッテリー低温



バッテリー温度が下がって電力の利用可能量が減ると青色の雪の結晶アイコンがインストルメントパネルに表示されます。利用できない電力量はバッテリーメーターで青色に表示されます。回生ブレーキ、アクセセル、および充電速度が制限される場合があります。バッテリーが十分に温まると、雪の結晶アイコンが消えます。

運転後

使用していないときは、Model S に充電プラグを挿入してください。これにより、バッテリーの代わりに充電システムが使用され、バッテリーは温めておくことができます（[高電圧バッテリーに関する情報 ページ 145](#) を参照）。

プレコンディショニングの予約

駐車したら、充電画面と空調画面の両方にある「コントロール」>「予約」設定で Model S のプレコンディショニングを実行する時刻を設定します（[プレコンディショニングと充電の予約 ページ 153](#) を参照）。「予約」を使用して、所定の場所での充電ポートラッチの凍結を防止することもできます。車両は、出発予定時刻までに車内とバッテリーが温まっているようプレコンディショニングを開始する時間を決定します。

Tesla では、車両に十分なエネルギーがあることを確認するため、プレコンディショニングに予約充電を設定することをお勧めしています。Model S が接続されていない場合でも、Model S が低電力モードでない限り、プレコンディショニングは作動します（[#unique_352 ページ](#) を参照）。

車両の保管

Model S を長期間駐車する場合は、充電ケーブルを挿入しておけば、正常な走行可能距離の短縮を防ぐことができ、さらにバッテリーを適切な温度に保つことができます。車両に充電ケーブルを挿したまま長期間放置しても安全です。

使用していないとき、Model S は自動的にスリープモードに入ってエネルギーを節約します。モバイル アプリで車両の状態をチェックする回数を減らしてください。チェックするたびに車両は自動的に起動し通常の電力を消費します。



暑熱環境において Model S でのユーザー体験を最大限に向上させるには、次のベストプラクティスを実施します。

運転の前に

以下に示すいくつかの方法でドライブのために車両を準備して、既に熱くなっている車両に乗り込まなくても済むようにすることができます。

- 通気口からの気流の向きを動かしてキャabinをプレコンディショニングし、シートヒーターをオンまたはオフにします。モバイルアプリで、「空調」に移動し、車内冷房温度を調整できます。
- 充電画面と空調画面の両方にある「スケジュール」をタッチして、車両を運転する予定時刻を設定します（[プレコンディショニングと充電の予約 ページ 153](#) を参照）。
- 暑い時にキャabinが熱くなりすぎないようにするための**キャabin過熱保護**を有効にします。
- モバイルアプリで「コントロール」に移動して、ウィンドウを換気します。

注: 空調は、少なくとも出発の 30～45 分前に作動させておくことを Tesla は推奨しています（[空調を操作する ページ 124](#) を参照）。プレコンディショニング開始時間は外気温およびその他の条件により異なります。モバイルアプリは、車両が希望するプレコンディショニング温度に達したことを知らせます。

運転後

使用しないとき、特にプレコンディショニングまたはキャabin過熱保護を使用している場合は、Model S にプラグを挿入したままにしてください。これにより、バッテリーの代わりに充電システムを使用して、快適温度を維持します（[高電圧バッテリーに関する情報 ページ 145](#) を参照）。さらに、以下に示すいくつかの方法で、キャabin温度の上昇を最小限に抑えることができます。

- 車両から離れる（ちょっと用足しするなどの）前に、ドッグモードを使用して、ペットや生鮮食料のためにキャabinを涼しく保ちます。詳細情報については、[エアコンをオンに保つ、ドッグ、およびキャンプ ページ 126](#) を参照してください。
- Tesla では、車両の下に水たまりが発生するのをできる限り抑えるため、空調を 30 秒間オフにしてからパーキングにシフトすることを推奨しています。
- 日陰に駐車することは、電力消費の削減およびキャabin温度を低く維持するために役立ちます。
- 日の当たる屋外に駐車しなければならない場合は、サンシェード（Tesla ショップで購入可能）を使用してください。
- 駐車する際は Model S にプラグを挿入し、充電を**スケジュール**します。車両が充電を開始する適切なタイミングを判断し、オフピーク時間帯に充電を完了します。キャabinおよびバッテリーも設定した出発時刻までに準備されます。詳細な情報は、[プレコンディショニングと充電の予約 ページ 153](#) を参照してください。

充電

トリッププランナーを使用している場合またはスーパーチャージャーステーションに移動している場合、最も効率的な充電をするために、車両が自動的にバッテリーの準備をします。酷暑の場合、スーパーチャージャーへの移動の際に車両がバッテリーのプレコンディショニングをしているメッセージが表示されないことがありますが、それでも車両はバッテリーの準備をしています。

注: Tesla では、充電ポイントに到着する前の少なくとも 30 分から 45 分間、トリッププランナーを使用して充電ポイントへ移動することで、最適なバッテリー温度と充電条件を整えることをおすすめしています。充電ポイント到着までの走行時間が 30 分から 45 分よりも短い場合、運転前にバッテリーをプレコンディショニングしておくことを検討してください（[運転の前に ページ 129](#) を参照）。

可能であれば、温暖な天候であっても、使用していないときは、とりわけプレコンディショニングやキャabin過熱保護を使用している場合、車両に充電器のプラグを差し込んだままにしてください。

車両の保管

Model S を長期間駐車する場合は、充電ケーブルを挿入しておけば、正常な走行可能距離の短縮を防ぐことができ、さらにバッテリーを適切な温度に保つことができます。車両に充電ケーブルを挿したまま長期間放置しても安全です。

使用していないとき、Model S は自動的にスリープモードに入ってエネルギーを節約します。モバイルアプリで車両の状態をチェックする回数を減らしてください。チェックするたびに車両は自動的に起動し通常の電力を消費します。



地図とナビゲーション

地図の概要

タッチスクリーンには常に地図が表示されます（Model S がリバースにシフトされたときを除く）。

地図は指で操作します。

- 地図を任意の方向に動かすには、指を置いてドラッグします。
- 地図を任意の方向に回転させるには、2本の指を置いて回転させます。
- ズームイン、ズームアウトするには、それぞれ2本の指でピンチイン、ピンチアウトします。

注: 地図を回転あるいは移動すると、現在位置の追跡はなくなります。地図の向きを示すアイコンのとなりに「トラッキングは無効」というメッセージが短時間表示され、アイコンはグレーになります。トラッキングを再度有効にするには、地図の向きを示すアイコンにタッチして北向きか進行方向を選択します。

注: ナビゲーションルートがオンになっていると、地図は自動でズームイン、ズームアウトします。

マップの向きを変えるには以下のオプションを切り替えます。



ノースアップ: 北が常に画面の上になります。



ヘディングアップ: 進行方向が常に画面の上になります。車の向きが変わると地図が回転します。このアイコンには運転方向を示すコンパスが組み込まれています。

注: 目的地に向かってナビゲーション中に、このアイコンにタッチすると、ルート概要が表示されます。



目的地に向かって移動しているときはルート概要が利用可能であり、（下にスワイプして）道順リストを開くと表示されます。上にスワイプして道順リストを折り畳むと、地図の表示は前回選択した向きになります。

注: 車両の地図上での位置は、GPSによって決定されます。GPSの精度は、天候や建物による遮蔽といった環境要因のほか、他の機器（他社製のドライブレコーダーや、車内の他のGPS機器など）による干渉の影響を受ける可能性があります。

地図表示

Model S がパーキングにシフトしていると、マップ上に次のアイコンが表示され、マップに表示する情報のタイプをカスタマイズできます。走行中にこれらのアイコンにアクセスするためには、マップ上のどこかをタッチします（数秒するとアイコンは消えます）。



衛星の画像（プレミアムコネクティビティが装備されている場合）。



交通状況（プレミアムコネクティビティが装備されている場合）。



マップの詳細情報（人気スポットなど）

地図の任意の場所にピンを設定するには、行きたい場所を指で長押しします。ピンを立てるかまたは既存のピンをタッチすると、その場所がマップの中央になり、その場所に関する情報がポップアップ表示されます。このポップアップでは、その場所へのナビゲーションを開始したり、目的地のお気に入りリストに追加または削除したり、自宅または勤務先として設定したりできます。（[自宅、勤務先、お気に入りの目的地 ページ 134](#) を参照）。



充電ポイントです。マップ上の都市および対応するステーションの近辺を含むポップアップリストを表示します。充電場所には、Tesla スーパーチャージャー、ディスティネーションチャージングサイト、サードパーティの急速充電器およびこれまでに使用したことのある公共の充電ポイントが含まれます。[充電ポイント ページ 135](#) を参照してください。ポップアップリストの雷アイコンにタッチし、最大出力に応じて充電器のタイプの検索範囲を絞ります。

注: 一部の市場地域では、充電場所を表示する場合、サードパーティの急速充電器もダークグレーのピンとして地図に含まれています。

ナビ設定

注: 使用可能なナビ設定は、地域や車両構成によって変わる可能性があります。



目的地への移動を開始してから...をタッチすると、ナビゲーション設定アイコンが表示されます。

注: このナビ設定は、「コントロール」>「ナビゲーション」をタッチしてもアクセスできます。

ナビゲーション設定アイコンをタッチしてナビゲーションシステムが自分の好みに合うようにします（利用できる設定は、販売地域と車両構成によって異なります）。

- **ナビ ガイダンス:** 「音声」にタッチして、ナビゲーション指示の音声読み取りを有効にします。



- ナビゲーションの音声指示の音量は、-または+をタッチして増減します。左端まで下げるか、またはスピーカー アイコンにタッチすると、指示はミュートされます。ナビゲーション指示をミュート/ミュート解除するには、スピーカー アイコンにタッチします。この音量設定はナビゲーションシステムの音声指示だけに適用されます。メディア プレーヤーや電話の音量は変わりません。

注: 車速および空調設定に基づいて音量が自動的に調整されるようにすることができます。

注: ペアリングしている電話が通話中のときは、ナビゲーションの指示はミュートされます。

- Model S に乗車したときに目的地までのナビを自動的に開始するには、オートナビゲーションを有効にします。目的地は、日常的に運転される経路、時刻、およびカレンダーの予定に基づいて予測されます（[オートナビゲーション ページ 134](#) を参照）。
- **トリッププランナー**（販売地域で利用可能な場合）を有効にして、必要に応じてスーパーチャージャーストップを追加します。スーパーチャージャーストップを経路案内に追加するのは、運転と充電に費やす時間を最小限に抑えることが目的です（[トリッププランナー ページ 136](#) を参照）。
- 「**オンラインルート案内**」を有効にすると渋滞（[オンラインルート案内 ページ 136](#) を参照）。
- フェリーを利用しないよう自動的に経路変更させるには、「**フェリーを使用しない**」をタッチします。
- 可能であれば、有料道路を利用しないよう自動的に経路変更させるために、「**有料道路を使用しない**」をタッチします。

目的地へのナビゲーション

場所にナビゲートするには、地図の角にある検索バーをタッチして目的地を入力し、携帯電話から目的地を送信するか、音声コマンド（[音声コマンド ページ 17](#) を参照）を使用して住所、ランドマーク、会社名などを指定します。選択した目的地に他の目的地（空港のターミナルなど）が含まれている場合は、サブ目的地も選択できます。

検索バーをタッチすると、さまざまなオプションが表示されます：

- マップの別のエリアにズームインまたはドラッグしたときに検索を更新するには、「**このエリアを検索**」が表示されたらタップします（販売地域で利用可能な場合）。
- 保存された「**自宅**」または「**勤務先**」の場所（[自宅、勤務先、お気に入りの目的地 ページ 134](#) 参照）を選択します。
- 「**充電**」の場所（[充電ポイント ページ 135](#) 参照）を選択します。
- 「**最近の履歴**」の場所（最も直近の目的地がトップに表示）から選択します。
- 「**お気に入り**」に設定した場所（[自宅、勤務先、お気に入りの目的地 ページ 134](#) 参照）から選択します。
- お腹がすいて人気レストランに行きたければ、「**食事**」。美術館やテーマパークなどの人気スポットに行きたければ、「**名所**」（[名所 および「食事」 ページ 134](#) を参照）。

次の方法でも目的地まで移動できます。

- 車両のタッチスクリーンで「**コントロール**」>「**検索**」をタッチし、目的地を入力します。
- Tesla モバイル アプリへのアクセスを許可した後、iOS®または Android デバイスの「共有」機能を使用します。
- 検索バーの下に表示される最近の目的地をタッチします。

注: iOS®または Android™デバイスからリモート操作でナビゲーションを開始するには、Tesla モバイル アプリのアクセスを許可してから「共有」機能を使用します。

場所を指定すると、タッチスクリーンがズームアウトして経路案内の概要が表示され、道順案内方式の経路案内リストが表示されます。予定到着時刻、運転時間、および走行距離が道順リストの下に表示されます。進路変更の一覧については次の事項をご確認ください。

- 目的地を入力した後、「**より速く**」または「**より少ない経由地**」を選択できます。
- ターン リストにあるバッテリー アイコンは、目的地に到着したときおよび目的地に行き現在地に戻った場合の残存エネルギーの推定値を視覚的に示したものです。[エネルギー消費量の推測 ページ 136](#) を参照してください。
- 目的地に到着する前に充電が必要な場合で、なおかつ「トリッププランナー」がオンになっている場合（販売地域で利用できる場合）は、経路案内にスーパーチャージャーストップが自動的に含まれます（[トリッププランナー ページ 136](#) 参照）。
- 目的地に到達するために充電量が充分ではなく、かつスーパーチャージャーが予定ルート上にない場合、ナビゲーション表示の上部に警告が表示され、目的地に到着するまでに充電が必要であることを知らせます。
- 各進路変更では、曲がり角までの距離が先に表示されます。
- リストの一番最後を見るには、リストを上ドラッグしてください。
- リストを最小化するには、リスト最上部をタッチします。

目的地を設定すると検索バーには経由地を追加するための「**Search Along Route**」オプションが与えられます（[経路に経由地を追加する ページ 134](#) を参照）。

ナビゲーション中、地図は車両の位置を追跡し、現在の行程を表示します。下にスワイプして、ターンバイターンの方向リストを展開するか、またはルート概要アイコンにタッチすると、いつでもルート全体を表示することができます。

ターンバイターンリストの下には、目的地や次の停車地点までの距離を示す進捗バーが表示されます。オンラインルート案内が有効になっていると、進捗バーにはルート上の実際の交通状況も表示されます（[オンラインルート案内 ページ 136](#) を参照）。

ナビゲーションを終了するには、道順案内の経路案内リストの下隅にある「**キャンセル**」にタッチします。候補の場所を右にスワイプするか、場所を長押しすると、特定の最近のナビゲーション検索結果を素早く削除できます。

注: データ接続ができない場合でも車載マップを使用すれば任意の目的地へのナビゲーションが可能です。その場所の正確かつ完全な住所の入力が必要です。



地図とナビゲーション



ナビゲート オン オートパイロットが有効になっている場合（販売地域で利用できる場合）、ターンバイターンの方向リストの**ナビゲート オン オートパイロット**をタッチして、ナビゲーションルート上で機能をオンにできます（この機能が有効な場合、アイコンは青色です）。**ナビゲート オン オートパイロット**は、高速道路などのアクセス管理された道路において、ナビルートに沿って、自動的に車線変更や Model S の操舵を行いません。詳細は**ナビゲート オン オートパイロット ページ 96**を参照してください。

代替経路を選択する

地域や車両の設定により、お客様の車両でこの機能が利用できない場合があります。車両にプレミアム コネクティビティが装備されている必要があります。

1 つの経由地を持つ目的地を入力すると、マップには最大で 3 つの代替経路が表示されます。これにより、各ルートの総移動時間および交通情報を簡単に比較することができます。タイムアウトにする前に希望のルートを選択しなければ、最速の経路が自動的に選択されます。

経路に経由地を追加する

目的地を入力した後に、経由地を追加、消去または順序付けすることで経路を編集することができます。道順の下にある 3 つのドットをタッチして、ルートを編集するためのオプションを表示します。



経由地の追加は、場所を検索する、自宅を追加する、最近の目的地、またはお気に入りの目的地を追加することで経由地を追加できます。検索すると、ルートに近い場所が、そこまでの寄り道にかかる時間と共に表示されます。マップ上のピンをタップして、情報ポップアップから**追加**を選択することで、経由地を追加することもできます。



経由地の編集では、経路に経由地を追加または削除することで詳細な経路を設定することができます。等号サインをタッチして経由地をドラッグアンドドロップすると順番を並べ替えることができます。

ナビゲーション作動中は、タッチスクリーンに付近の休憩エリア情報が表示されます。希望する休憩エリアにタッチするだけで、その休憩エリアが走行ルートに追加されます。

また Tesla モバイル アプリを使用してルートを編集することもできます（販売地域で利用可能な場合）Tesla モバイル アプリで、「場所」>「ナビゲート」の順に移動し、「**走行ルートを編集**」>「**経由地を追加**」の順にタッチしてルートを編集したら、「**車に送信**」にタッチしてその走行ルートを車両と共有します。

注: Tesla モバイル アプリのバージョン 4.27.5 以降が必要です。

オートナビゲーション

注: オートナビゲーションは、販売地域や車両構成によっては使用できない場合があります。

オートナビゲーションは、乗車したときに目的地を予測することができます。Model S に携帯電話のカレンダーが同期されている場合、カレンダーには車両運転のために乗車したときから 2 時間以内に発生するイベントが含まれます。オートナビゲーションでは、そのイベントの位置を提案します（イベントが発生する有効な住所があることを前提とします）。

さらに、平日（月曜日～金曜日）の午前 5 時～午前 11 時の間に自宅で車両に乗車すると、オートナビゲーションによって自動的に指定されている「勤務先」までの経路が表示されます（**自宅、勤務先、お気に入りの目的地 ページ 134**を参照）。平日の午後 3 時から午後 11 時の間に勤務先で車両に乗り込むと、オートナビゲーションは自動的に指定されている「自宅」までの経路を示します。

オートナビゲーションを有効にするには、「コントロール」>「ナビゲーション」をタッチして、**オートナビゲーション**を選択します。電話機のカレンダーを Model S に同期させる必要があります。イベントに重複のない指定された有効な住所を含める必要があります（**電話、カレンダー、ウェブ会議 ページ 55**を参照）。

注: 手入力した、または Model S に送信したナビの道順は、オートナビゲーションの推奨経路より優先されます。

「名所」および「食事」

注: 販売地域や車両構成によっては、機能が使用できない場合があります。

選択した目的地までのナビに加え、Model S はお客様の気分に合わせて近所にある**食事**または**名所**を提案することもできます。ナビ検索バーで「**食事**」または「**名所**」をタッチします。「**食事**」では、人気のレストランの一覧を提案し、「**名所**」では人気の目的地（美術館やアミューズメントパークなど）の一覧を提案します。関心のある目的地を見つけたら、「**ナビゲート**」をタッチして目的地へ進みます。

この機能には、最新版のナビゲーションマップが必要です。ダウンロードするには、Model S を Wi-Fi に接続してから、「コントロール」>「ソフトウェア」にタッチして、利用できるアップデートの有無をチェックします（**地図のアップデート ページ 137**参照）。

自宅、勤務先、お気に入りの目的地

目的地をお気に入りとして追加する場合、ナビゲーション検索バーをタッチしてから**お気に入り**をタッチし、お気に入りのリストから目的地を選択することで、目的地に簡単に向かうことができます。

目的地をお気に入りに追加するには：



1. 地図上でそのピンをタッチし、表示されるポップアップ画面で星形アイコンをタッチします。



- 名前(またはデフォルト名のまま)を入力し、**お気に入り**に追加をタッチします。

星マークが塗りつぶされると、その目的地がお気に入りリストに設定されたことになります。

最近あるいはお気に入りの目的地を削除するには、目的地リストでその項目を長押しし、表示される「X」をタッチします。お気に入りの目的地リストは、目的地をタッチしてドラッグすることで並べ替えることもできます。変更が完了したら、「完了」をタッチします。

自宅または職場の場所を設定するには：

- ナビゲーションの検索バーをタッチします。
- 「**自宅を設定**」または「**職場を設定**」をタッチします。
- 住所を入力し、「**自宅として保存**」または「**勤務先として保存**」をタッチします。または、「**現在地を使用**」をタッチします。

ピンをドロップして、自宅または職場として設定することもできます。ピンのドロップ方法については、[地図表示 ページ 132](#)を参照してください。自宅および職場を設定すると、それぞれのショートカットをタッチするだけで自宅や勤務先のナビゲーションができます。

自宅または職場の位置を変更するには、「自宅」または「職場」アイコンを長押しします。

自宅や勤務先が保存されると、Model S は、朝は勤務先、夕方は自宅にナビゲーションする指示を求めてくるようになります。ともに、現在の交通状況に基づいて到着予定時刻が表示されます。[オートナビゲーション ページ 134](#)を参照してください。「**自宅を削除**」または「**勤務先を削除**」にタッチして関連する住所を完全に削除します。使用パターンによっては、検索した目的地を自宅または勤務先として保存するように Model S から求められることがあります。

セキュリティ上の理由から、Model S を売却する、所有権譲渡する、または他の人に運転させる場合は、自宅と勤務先の場所情報を削除することを推奨します。個別に削除することもできますが、工場出荷リセットを実行して個人データをすべて消去することもできます（「**コントロール**」 > 「**サービス**」 > 「**工場出荷リセット**」にタッチします）。

充電ポイント

充電ポイントを地図に表示するには、地図の検索バーにタッチしてから、「**充電ポイント**」にタッチします。充電ポイントはリストで一覧表示（最寄りの充電ポイントが一番上に表示）されるとともに、地図上ではピンで表示されます。ピンにタッチすると、詳細情報を表示、ナビゲーション、またはお気に入りとしてマークできます。

充電器リストと地図に、Tesla が所有および運営していない充電ステーションを表示するには、「**コントロール**」 > 「**ナビゲーション**」 > 「**サードパーティ充電ステーション**」の順にタッチします。この機能はデフォルトで無効になっていますトリッププランナーは、サードパーティ充電ステーションに自動的にナビゲートすることはありませんが、手動でルートに追加できます。

スーパーチャージャーへのルート案内中は、高電圧バッテリーのプレコンディショニングが行われます。これにより、最適なバッテリー温度で到着するので充電時間が短縮されます。サードパーティー製の急速充電器でバッテリーをプレコンディショニングするには、車両のナビゲーションでその充電器を検索し、目的地として選択してください。選択された目的地が急速充電器であると車両が自動的に認識し、それに応じてバッテリーのプレコンディショニングを行います。

稲妻アイコンをタッチして、地図に含める充電場所のタイプを指定します（デフォルトでは、マップにはスーパーチャージャーのみが表示されます）。



タッチして 25 kW までの低電力ステーション（ディスティネーションチャージングサイトなど）を含めます。



タッチして 25 kW～75 kW の中レベルの電力チャージャーを含めます。



タッチして 75 kW 以上の高電力チャージャーを含めます。

注：一部の販売地域では、すべての充電場所を表示する設定にした場合、サードパーティーの急速充電器もダークグレーのピンとして表示されます。

充電ポイントにピンが表示されると、その場所の状態予測情報が表示されるようになります。ピンをタッチすると詳細が表示されます。



そのスーパーチャージャーのある場所は稼働しており、ピンに付けられている数字は到着時に使用可能であると予測されるスーパーチャージャー区画の数です。

注：現在のナビゲーションルート上にあるスーパーチャージャーは黒で表示されます（タッチスクリーンが夜間モードのときは白）。



このスーパーチャージャーの場所は利用者が混雑することが予測されています。充電までお待ちいただく必要がある場合があります。



この場所では、通常より利用可能なスーパーチャージャーが少ない可能性があります。



スーパーチャージャーステーションは閉場している可能性があります。



地図とナビゲーション



この場所のスーパーチャージャーに関するデータはありませんが、稼働中です。



この場所にあるのは、目的の充電ステーションの場所、サードパーティの急速充電器、または過去に使用したことのある公共充電ステーションです。タッチすると、使用制限や利用可能な充電電流など詳細な情報が表示されます。

注: 地図がズームアウトされ、エリア内に利用可能な充電ステーションが複数ある場合、ピンは丸くなりステーションの台数を表示します。ピンをタッチするとズームインされます。そこで個々のピンにタッチすると各地点の詳細が表示されます。

充電ポイントのピンにタッチすると、ポップアップが表示され、以下のようなことができます。

- 正確な場所と現在地からのおおよその距離がわかります。
- スーパーチャージャー設置場所がトレーラーフレンドリーであるかどうかを確認します。トレーラーフレンドリーのスーパーチャージャー設置場所には、トレーラーをけん引したまま車両を乗り入れて充電することができるスーパーチャージャー区画があります。

注: Model S がけん引モード（装備されている場合）のとき、地図にはトレーラーフレンドリーのスーパーチャージャー設置場所がリストの一番上に表示されます。

- 徒歩で行ける範囲にある施設のリストを表示します。
- スーパーチャージャーのポップアップで施設アイコンをタッチすると、トイレ、レストラン、宿泊施設、ショッピング、Wi-Fi など、周辺エリアを手動で検索できます。
- 矢印アイコンにタッチすると、充電ポイントまでのナビを利用できます。

注: スーパーチャージャー（地域によってはサードパーティの急速充電器）へと移動する場合、Model S は充電に備えてバッテリーのプレコンディショニングを実行します。場合によっては（寒冷時など）、モーターやコンポーネントからノイズが聞こえることがありますが、これはバッテリーを温めているためで異常ではありません（[充電通知 ページ 129](#) を参照）。

- スーパーチャージャーの時間帯別の一般的な混雑状態と該当する充電料金および混雑時料金／超過時間料金を表示します（[スーパーチャージャー料金 ページ 150](#) を参照）。

エネルギー消費量の推測

目的地までナビゲートしている際に、Model S は目的地に到着した時点でのエネルギー残量を計算して、ドライバーが充電の必要性を事前に把握できるようにします。ナビゲーション中、地図にはターンバイターンの方向リストにあるバッテリーアイコンの隣にこの計算値が表示されます（[目的地へのナビゲーション ページ 133](#) 参照）。ターンバイターンの方向リストが縮小されている場合は、リストの上部をタッチすると広がります。

使用エネルギーを予測する計算は、運転スタイル（予測速度など）と環境要因（風速と風向、周囲温度と予報温度、空気密度、および湿度など）に基づいた推定値です。運転中、Model S は使用エネルギー量を継続的に学習し、時間の経過とともに精度を向上させます。Model S は個々の車両で行われた運転スタイルに基づいてエネルギー使用量を予測します。たとえば、一定期間アグレッシブに運転すると、将来の航続距離予測では大きな消費量を想定します。エネルギー予測に寄与する要因（予測されている温度や風速など）の一部は、Model S がインターネットに接続されている場合にのみ使用できます。

注: 中古の Tesla 車両を購入する場合は工場出荷リセットを実施して（「[コントロール](#)」>「[サービス](#)」>「[工場出荷リセット](#)」）、予測エネルギーにできるだけ高い精度を確保することをお勧めします。

ルートの全体にわたって、Model S はエネルギー使用量を監視して、走行後の推定残存エネルギーを更新します。次の場合、ターンバイターン方式の方向リストに警告のポップアップが表示されます。

- 目的地到着までに必要な充電残量がごくわずかになったら黄色の警告が表示されます。電力を浪費しないように減速してください。エネルギーを節約する方法は[航続距離を最大限に伸ばす ページ 154](#) を参照してください。
- 赤色の警告が表示される場合は、目的地に到達するために充電する必要があります。

往路および復路の走行に充電残量が十分か確認するには、ターンバイターンの方向リストにあるバッテリーアイコンにタッチして、往復走行に要する想定エネルギー量を表示します。

オンラインルート案内

Model S は、リアルタイムの交通状況を検出して、自動的に所要時間と到着時刻を調整します。交通状況により予想到着時間が遅れる状況で別のルートがある場合、ナビゲーションシステムは目的地へのルート変更を行うことがあります。別のルートを拒否するには、タッチスクリーンのルート変更通知をタップします。ルートを変更する前に、時間短縮しなければならない最短時間を分数で指定することもできます。この機能のオンまたはオフを行うには、「[コントロール](#)」>「[ナビゲーション](#)」>「[オンラインルート案内](#)」の順にタッチします。

トリッププランナー

トリッププランナー（販売地域で利用可能な場合）を使えば、安心して長い道のりを運転できます。目的地到着までに充電が必要な場合、トリッププランナーは適切なスーパーチャージャー施設を経由するように経路設定します。トリッププランナーは、運転と充電にかかる時間を最小化するルートの選択と、充電時間を提供します。トリッププランナーを有効にするには、地図の設定アイコン（[ナビ設定 ページ 132](#) 参照）をタッチしてから、[トリッププランナー](#)をタッチします。

トリッププランナーがオンになっていて、なおかつ目的地への到達に充電が必要な場合、ターンバイターン方式の方向リストにスーパーチャージャー所在地、各スーパーチャージャーでの推奨充電時間、スーパーチャージャー所在地到着時点の予測エネルギー残量が表示されます。



スーパーチャージャー所在地を削除して、道順だけを表示させるには、道順リストの下部にある「**充電ポイントを全て削除**」にタッチします。充電ポイントを削除する場合に、目的地到着には充電が必要だというアラートがターンバイターンの方向リストに表示されることがあります。スーパーチャージャーストップを道順に再度追加するには、**充電ポイントを追加**をタッチします。

スーパーチャージャーで充電している間充電スクリーンには次のスーパーチャージャー所在地または目的地まで（これ以上の充電が不要な場合）の運転に必要な残り充電時間が表示されます。実際の充電時間が長かったり、短かったりした場合には、後続のスーパーチャージャー所在地での充電時間が再調整されます。モバイルアプリを使用して、充電に要する残り時間を監視することもできます。

注: トリッププランナーによってスーパーチャージャーまたは一部地域のサードパーティーの急速充電施設にナビゲーションされているあいだは、スーパーチャージャーまたはサードパーティーの急速充電施設に到着時点で最適なバッテリー温度になるように、Model S によりエネルギーが自動的に予熱に割り当てられることがあります。この結果、充電時間が短縮されます（[充電通知 ページ 129](#) 参照）。

トリッププランナーが目的地までの往復に必要な電力がないと判断しても、ルート上にスーパーチャージャーが見つからない場合、トリッププランナーはターンバイターンの方向リストの最上部に警告を表示し、目的地到着には充電を要することを通知します。

注: ナビゲーションルート上にあるスーパーチャージャーが故障中の場合には、トリッププランナーは通知を表示して、別のスーパーチャージャー所在地に経路変更しようと試みます。

地図のアップデート

地図のアップデートが利用可能になると、それはWi-Fi経由で自動的にModel Sに送られます。忘れずにそれを受け取るよう、定期的にModel SをWi-Fiネットワークに接続してください（[Wi-Fi ページ 52](#) 参照）。タッチスクリーンには、新しい地図がインストールされたことを告げるメッセージが表示されます。

概要

注: メディア アプリは販売地域、車両設定、購入時オプション、およびソフトウェアバージョンによって異なります。販売地域によっては利用できないアプリがあり、別のアプリで代用されることがあります。

メディア プレイヤーはタッチスクリーンに表示され、さまざまなタイプのメディアからの再生に使用できます。ミニプレイヤーの表示と同様に、メディア プレイヤーを上ドラッグすると展開し（ブラウズすることが可能になる）、下ドラッグすると最小化できます。ミニプレイヤーは便利にできており、現在再生中のものをタッチスクリーンに最小スペースで表示するとともに、再生に必要な基本機能だけを表示します。

ウェブブラウザから音楽を再生し、それからブラウザを最小化する場合、Model S はバックグラウンドでブラウザの音楽の再生を継続します。メディア Miniplayer を使って、ブラウザの音楽を一時停止または再生することができます。ブラウザオーディオが開始される前に、あるメディアを再生していた場合、ブラウザの音楽が一時停止または終了した後に、そのメディアは再開されます。

ストリーミング サービスはデータ接続（Wi-Fi やプレミアムコネクティビティなど）が利用可能な場合に限り利用することができます。一部のメディア サービスでは、Tesla アカウントがデフォルト設定されています。

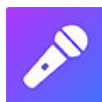
注: メディア プレイヤーのドロップダウン リストからソースを選択して、メディア プレイヤー ウィンドウでソースを変更することができるため、さまざまなメディア アプリを起動する必要はありません。



「ラジオ」: 聴取可能なラジオ局のリストから選択するか、または数字キーパッドにタッチして、ラジオ局の周波数を直接入力して選曲します。周波数を次へ（または前へ）移動させるには、周波数を選んでから、次への矢印あるいは戻るの矢印をタッチします。



「Bluetooth」: Bluetooth 接続された電話や USB デバイスに保存されている音源を再生します（[デバイスからメディアを再生 ページ 139](#) 参照）。



Karaoke（装備されている場合）：さまざまな曲を歌うことができます（[カラオケ ページ 139](#) を参照）。

注: メディア アプリ/ソースを表示するまたは非表示にすることができます。[メディアの設定 ページ 138](#) を参照してください。

Model S は、地域で利用可能な場合、以下のメディア アプリをサポートします。

- Amazon Music
- Apple Music
- Apple Podcasts
- Audible
- LiveOne
- スポットファイ

- チューンイン
- YouTube Music

インターネット ラジオや音楽ストリーミング サービスを聴く場合、メディア プレイヤーで選択できるオプションは何を視聴するかによって変わります。次に進む（または、前に戻る）矢印にタッチすると、利用可能な次の（または前の）ラジオ局、エピソード、楽曲が再生されます。次の曲を再生、または前の曲を再生の操作は、ハンドル上の左スクロール ボタンでもできます。

注: 音声コマンドを使用して、音量コントロール、音楽再生、またはメディアソースの切り替えといったメディア設定や好みを調整することができます（[音声コマンド ページ 17](#) を参照）。

音量調節

音量は次のようにして制御することが可能です。

- 再生音量を調節するには、ハンドルの左側にあるスクロールホイールを上下に回します。これにより、メディア、音声コマンド、電話の音量が調整されます。
- 車速および空調設定に基づいて音量を調整することができます。
- タッチスクリーンのボタン コーナーにあるスピーカーアイコンに関連する「<」「>」の矢印にタッチします。
- メディアを一時停止するには、左スクロール ボタンを押してください。もう一回押すと再開します。
- 通話中に左のスクロール ボタンを押すと、サウンドとマイクの両方がミュートされます。

メディアの設定

注: 各種設定は、販売地域によって異なります。また、設定が適用されない音源もあります。



オーディオ設定にアクセスするには、「コントロール」>「オーディオ」をタッチするか、タッチスクリーン下部の音量調整の上にある設定アイコンをタッチしてください。

以下の設定を調整することができます。

- **「トーン」:** スライダーをドラッグすることで、サブウーファーおよび 5 種類の波長帯域（低音、低中音、中音、中高音、高音）を調節できます。または、ドロップダウンリストをタッチしてプリセットを選択します。プリセットを作成するには、トーン設定をお好みに調整し、「**新しいプリセットに追加**」をタッチしてください。カスタムプリセットを削除するには、ドロップダウンから該当するプリセットを選択し、「**プリセットを削除**」をタッチします。
- **イマーシブサウンド:** プレミアム オーディオが装備されている場合、お好みに合わせてスライダーをドラッグすることで、サウンド イマーシジョンのレベルを調整してミュージックエクスペリエンスをより魅力あるものにすることができます。または、「**オート**」を選択すると、再生中のメディアに応じてイマーシジョンが自動的に調整されます。

- 「**バランス**」: 聴きたい Model S の位置に合わせて中央の円をドラッグします。
- 「**オプション**」: オプション機能を設定します。たとえば、「**DJ コメンタリー**」、「**不適切なコンテンツ**」、「**モバイルコントロールを許可**」のオンオフの切り替えができます。
- 「**ソース**」: 利用可能なすべてのメディアソースを表示して、それぞれのソースの表示/非表示を選択することができます。使用しないメディアソースは非表示にすることができます。非表示にすると、そのメディアソースはメディアプレイヤーのドロップダウン リストに表示されなくなり、アプリランチャーにタッチしてもアプリトレイに表示されなくなります。いつでもこの設定画面に戻って、非表示になったメディアソースを再度表示させることができます。

けます。「**X**」はすべてのお気に入り項目上に表示されます。お気に入りリストから削除したい項目の「**X**」にタッチします。

最近再生した選択は継続的に更新されるため、それらを削除する必要はありません。



注: (装備されていれば) FM ラジオ局で再生する選択局は「最近の履歴」リストには表示されません。

デバイスからメディアを再生

USB フラッシュドライブ

フロント USB ポートにフラッシュドライブを挿入します ([USB ポート ページ 10](#) 参照)。「**メディアプレイヤー**」 > 「**USB**」の順にタッチして、希望するフォルダーの名前にタッチします。USB 接続したメディアを再生する場合、Model S はフラッシュドライブのみを認識します。iPod など別のタイプのデバイスからメディアを再生するには、当該デバイスを Bluetooth で接続する必要があります ([Bluetooth 接続された機器 ページ 139](#) を参照)。

注: メディアプレイヤーは、exFAT でフォーマットされた USB フラッシュドライブに対応しています (NTFS には現在対応していません)。

注: センター コンソール前にある USB ポートを使用します。コンソールのリア側にある USB 接続は充電専用です。

Bluetooth 接続された機器

Bluetooth 機能を持つデバイスを Model S にペアリングして ([Bluetooth ページ 53](#) を参照)、保存されたオーディオ ファイルを再生します。メディア プレイヤーの「**電話**」ソースを選択して、Bluetooth 接続したデバイスの名前にタッチしてから、「**接続**」にタッチします。

オーディオ コンテンツの検索



特定の曲、アルバム、アーティスト、ポッドキャスト、ステーションを検索するにはメディアプレイヤーの虫眼鏡アイコンをタッチします。音声コマンドを使用してハンズフリーで検索することもできます ([音声コマンド ページ 17](#) を参照)。

カラオケ

注: 車両の設定や地域により、お客様の車両ではカラオケを利用できない場合があります。

メディアプレイヤーに移動して、ドロップダウンメニューを選択してメディアソースをカラオケに変更します。または、カラオケをアプリランチャーのアプリとして追加します。様々な曲を検索して、歌いたい曲を選択します。マイクアイコンをタッチして曲のメインボーカルを有効/無効にします。マイクを無効にすると、曲の演奏やバックコーラスのみが流れます。歌詞アイコン (マイクアイコンの隣) をタッチして曲の歌詞を有効/無効にします。



警告: 運転中には絶対にカラオケの歌詞を読まないでください。常に道路状況や交通状況に注意を払ってください。運転時には、他の乗員がカラオケの歌詞を見ることを目的としています。

最近の履歴とお気に入り

もっとも直近に使用したコンテンツは、最近の履歴でもお気に入りでも、使いやすいようにトップに表示されます。



現在再生中のラジオ局、ポッドキャスト、オーディオファイルをお気に入りリストに追加するには、メディア プレイヤー上の「**お気に入り**」アイコンをタッチします。



ある項目をお気に入りから削除するには、強調表示された「**お気に入り**」アイコンにタッチします。複数のお気に入り削除するには、メディアプレイヤーを展開して、適用できるソース コンテンツのタイプごとにすべてのお気に入りを表示します。そして好きなお気に入りを押し続



シアター、アーケード、おもちゃ箱

概要

注: 地域、製造日、および車両構成によって、エンターテインメントオプションが異なる場合があります。



「シアター」: 駐車中は、さまざまな動画ストリーミング サービス (Netflix、YouTube、Hulu など) をお楽しみください。Model S が Wi-Fi に接続しているか、プレミアムコネクティビティが装備されていて、携帯電話信号が使用できる場合に限り利用可能です。

注: タッチスクリーンでコンテンツをストリーミング中にパーキングからシフトすると、映像は一時停止し、音声のみ再生が続きます。タッチスクリーンでストリーミングを閉じて、リア タッチスクリーンでは映像と音声引き続き有効な状態でストリーミングが続きます。



「アーケード ゲーム」プレーしてみませんか。プレーするには、ハンドルのボタンや Bluetooth または USB のコントローラーを使用する必要があることがあります。 [ゲーミング コントローラー ページ 142](#) を参照してください。



「おもちゃ箱」: パーキングにシフトしているときにおもちゃ箱で遊んでください。

警告: これらの機能は、Model S が駐車しているときのみ使用してください。運転する時は、常に道路と周囲の交通環境に注意を払ってください。運転中のエンターテインメント機能の使用は、違法なうえに非常に危険です。

注: 音声コマンドを使用してこれらの機能にアクセスすることもできます ([音声コマンド ページ 17](#) を参照)。

おもちゃ箱

車両のおもちゃ箱には、楽しく使える機能が含まれています。ここでは、おもちゃ箱の機能の一例をご紹介します。

これを選択すると...	できることは...
007(エア サスペンション車両のみ)	これであなたはもはや「ドライバー」ではありません、「ダイバー」です! 「コントロール」 > 「車高」の順にタッチして潜水深度を変更します。
Boombox	Model S に歩行者警告システムが備わっていれば、パーキングにシフトしているときに、車両の外部スピーカーからさまざまなサウンドを流して歩行者を楽しませることができます。詳細については ブームボックス ページ 141 を参照してください。 注: 公共の場所でブームボックスを使用する前に、現地の法律をご確認ください。 注意: この機能を使用して、ホーン音、ホーン音に類似する音、またはホーン音と混同するおそれのある音を発生させないでください。この機能を使用する場合、常に周囲の環境、他の人の生活、作業や交通の安全などに配慮し、発生させる音の種類と音量を慎重に選択して、調整してください。不適切に使用すると、道路交通法およびその他の適用法令違反と見なされる可能性があります。
排出ガス	楽しみは、意外なところからやってくるものです。お好みのブービー スタイルと目的のシートを選んでください。「いたずら」する準備ができたなら、ウィンカーか左スクロール ホイールを押してブービークッションを鳴らします。歩行者警告システムが備わっていれば、お客様の車両がパーキングにシフトしているときに、外部に向かって音を出すことができます。でも待ってください。お楽しみはそれだけではありません。モバイル アプリを使用すると、4 個のクイック コントロール ボタンのどれかを長押ししてから「おなら」ボタンを選択することで、遠隔音出しテストを実行することができます。
Ludicrous スピード (P100D 車両のみ)	ルーディークラス設定を約 5 秒間押したままにします (「コントロール」 > 「ペダル&ハンドル」 > 「加速」 > 「ルーディークラス」の順にタッチします)。飛ばしたい場合は、 もちろん! をタッチします。インストゥルメントパネルに出力と加速度の測定値を表示するには、いずれかのスクロール ボタンを使用可能なオプションが表示されるまで押します。その後、スクロール ホイールを回して測定値をハイライト表示したら、スクロール ボタンをもう一度押します。



火星	マップには Model S が火星の大地を走る流浪者として表示され、お客様の Tesla について ボックスには SpaceX の惑星間スペースシップが表示されます。
レインボー 充電ポート	Model S がロック状態で充電されているとき、モバイル コネクターのボタンを素早く 10 回押してください。どうです？
レインボーロード	カウベルがもっと必要？一部のオートパイロット機能が有効なときは、タッチスクリーンで「アプリランチャー」>「おもちゃ箱」>「レインボーロード」に進み、「常にレインボー表示」をオンにします。[レインボーロード] は、(装備されている場合) オートパイロットドライブストークを手前に引く、4 回下まで押し下げることで起動することもできます。 ボーナスレインボーを楽しみたいですか？「Gotta Have More Rainbows」をオンにすると、(装備されている場合) アクセントライトがレインボーにアニメーション表示されます！
ロマンス	もちろん車内で焚火を焚いて栗を焼くことはできませんが、このバーチャル暖炉を使えば大切な人とロマンティックなひと時を過ごすことができます。お気に入りの音楽を流して、ロマンチックな雰囲気を演出！
スケッチパッド	あなたの内なるピカソを呼び出してみましょう。あなたの才能を見せるチャンス！出版をタッチしてあなたの作品を Tesla まで送付ください。
TRAX	世界的に有名な DJ になる夢を追い続けるのに遅すぎるなんて決してありません。を使えば TRAX、車両を自分だけの音楽スタジオに変えられます。「P (パーキング)」に入れている間、たくさんの楽器やユニークなサウンドを組み合わせる新しいヒットソングを作り出せます。マイクとヘッドセットは含まれておりません。
生命、宇宙、そしてすべてにおける究極の質問に答える	車両の名前を「42」に変更します（「コントロール」>「ソフトウェア」にタッチしてから、車両の名前にタッチします）。新しい名前に注目してください。
車載用カラーライザー (装備されている場合)	タッチスクリーンで Model S の色を変更します。車両名の隣にある色見本にタッチすると、エクステリアのカラー、トーン、などをカスタマイズできます。

ブームボックス

注: ブームボックスは、歩行者警告システム (PWS) の装備車でしか使用できません。

注: 公共の場所でブームボックスを使用する前に、現地の法律をご確認ください。

ブームボックスを使用すると、Model S が駐車時に、歩行者警告システム (PWS) スピーカーから外部に音を出すことができます。例:

- 現在のメディアを再生。
- メガホンを使用して、声を変調できます。
- ホーンを押すと互換性のある USB デバイスから任意のサウンドの最初の 5 秒間を再生します。

注: 空調でキャンプモードを選択している場合、降車後 Tesla アプリで音量を調整することができます。

ブームボックス用の USB ドライブの準備

これらのステップに従って最大で 5 つのカスタムブームボックスサウンドを追加することができます。

1. コンピューターで、USB ドライブを exFAT、MS-DOS FAT (for Mac)、ext3、または ext4 でフォーマットします (NTFS は現在サポートされていません)。
2. USB ドライブに「Boombox」というフォルダーを作成します。
注: USB ドライブには、1 つのフォルダーのみを含めることができます。例えば、ダッシュカムと共有することはできません。
3. .wav と .mp3 の音声ファイルをフォルダーに追加します。USB ドライブの容量が許す限りファイルを追加することができますが、選択できるのは、アルファベット順に並べられたリストにある先頭の 5 つだけです。ファイル名は任意の長さで、大文字と小文字のアルファベット (a-z/A-Z)、0~9 の数字、ピリオド (.)、ダッシュ (-)、アンダースコア (_) を使用できます。
4. USB ドライブをフロント USB ポートに差し込みます。



シアター、アーケード、おもちゃ箱

5. 「ブームボックス」ドロップダウンメニューで、USB ドライブからサウンドを選択します。

ゲームのアンインストール

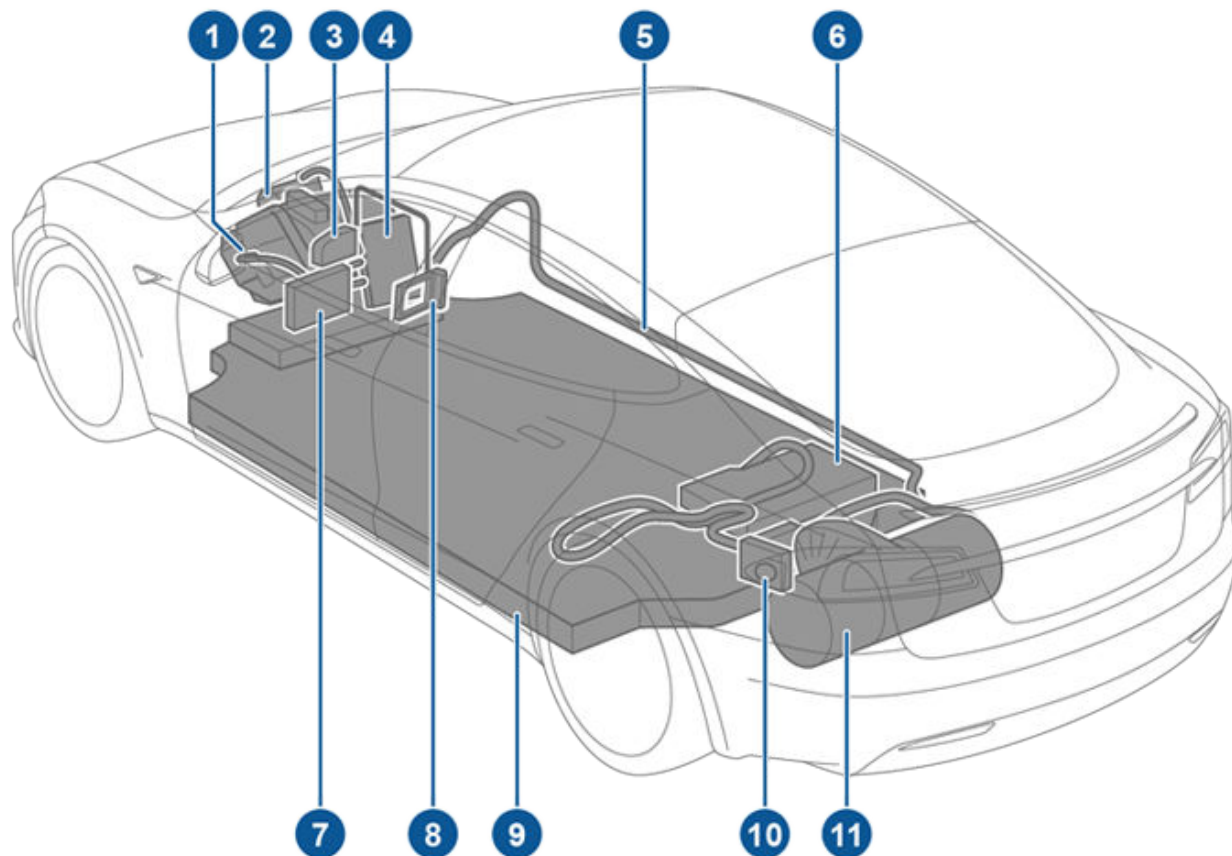
ゲームのアンインストールは、車両のストレージ容量を空けたい場合に便利です。ゲームをアンインストールするには、「**アーケード**」に移動し、アンインストールするゲームを選択し、「**アンインストール**」をタッチします。一度アンインストールしたゲームを再びプレイするには、ゲームをダウンロードする必要があります。

ゲーミング コントローラー




Bluetooth Classic ゲーミングコントローラーは、携帯電話のペアリングと同じ手順で Model S にペアリングできます（[電話](#)、[カレンダー](#)、[ウェブ会議 ページ 55](#) を参照）。ペアリング後、コントローラーは自動的に車両に接続します。接続すると、コントローラーを使用して選択したゲームをプレイすることができます。Model S 一度に 2 台の Bluetooth デバイスのみに対応することが可能です（例えば、コントローラー 2 台、または携帯電話とコントローラー）。

およそ 2021 年 11 月 1 日より前に製造された車両の場合、USB 互換のゲームコントローラーを車両のセンターコンソールにあるフロント USB ポートに接続することができます。およそ 2021 年 11 月 1 日より後に製造された車両の場合、グローブボックスの USB ポートを使用する必要があります。

高電圧コンポーネント



1. フロント モーター（四輪駆動仕様車のみ）：
2. エアコン用コンプレッサー
3. バッテリークーラントヒーター
4. 前方ジャンクション ボックス
5. 高電圧バスバー
6. 車載充電器
7. DC-DC コンバーター
8. キャビンヒーター
9. 高電圧バッテリー
10. 充電ポート
11. リア モーター

-  **警告:** 高電圧システムにはユーザーが整備可能な部品はありません。高電圧コンポーネントやケーブル、コネクタの分解、着脱は行わないでください。高電圧ケーブルのカラーは通常オレンジ色が使われており、容易に見分けることができます。
-  **警告:** Model S に貼ってあるラベルの注意を読み、必ず守るようにしてください。これらのラベルはお客様の安全のために貼ってあります。
-  **警告:** 万が一火災が発生した場合は、直ちに最寄りの消防機関にご連絡ください。



充電機器

Model S の充電専用設計された充電機器は Tesla から入手できます。

お客様の販売地域で使用可能な充電機器については、<http://shop.tesla.com> を参照してください。

- ウォールコネクターは駐車スペースに設置するタイプであり、車両を日常的な使用で最も高速に充電することができます。
- モバイル コネクターを使用することで、一般的に使用されているほとんどのコンセントに差し込むことができます。モバイル コネクタを使用する場合は、スマート アダプタをモバイル コネクターに取り付けてからコンセントに差し込み、その後、車両に接続してください。
- Tesla は地域で最も一般的に使用されている公共充電ステーションで利用できるアダプターも提供しています。公共充電ステーションでは、最初にアダプターをステーションの充電コネクターに取り付けてから、車両に接続してください。



Model S は世界最高クラスの高性能バッテリーを搭載しています。高電圧バッテリーを長持ちさせるために最も重要なのは、車両を使用していない間も**充電プラグを差し込んだままにしておく**ことです。特に数週間以上 Model S を運転する予定がない場合、これは重要です。

注: 充電しないまま車両の電源を付けた状態にしているとき、バッテリーはシステム試験および低電圧バッテリーの充電を必要に応じて実行する必要があるため電力を消費しています。

バッテリーのレベルが低下するまで充電を待つ必要はありません。実際、バッテリーは定期的に充電されていると最高の性能を発揮します。

注: バッテリーを 0% まで放電させると、他のコンポーネントが損傷し、場合によってはコンポーネントの交換が必要になることがあります（例：低電圧バッテリー）。このような場合には、お客様に修理費用や輸送費用を負担していただきます。放電により生じた費用は、保証やロードサイドアシスタンスポリシーの保証対象になりません。

スーパーチャージャーによる充電など、多数の急速 DC 充電セッションの後で、バッテリーのピーク充電速度がわずかに低下することがあります。航続距離とバッテリーの安全性を最大限に引き出すため、バッテリーが冷たすぎたり、バッテリーがフル充電に近くなっていたり、バッテリーの状態が使用状況や経過日数によって変化している場合は、バッテリー充電速度が低下します。バッテリーの物理特性によってこのようなバッテリーの状態変化が進むと、スーパーチャージングの総所要時間は、時間の経過とともに数分単位で延びる可能性があります。スーパーチャージャーに向かって走行中に、トリッププランナー（販売地域で使用可能な場合）を使用してバッテリーを温めておくと、充電時間を最短にすることができます。詳細情報については、[トリッププランナー ページ 136](#) を参照してください。

バッテリーの保護

バッテリーを完全放電させないでください。

Model S を運転していない間も、バッテリーは車載電子回路に電源を供給するために非常にゆっくり放電しています。放電率は環境要因（寒気候など）、車両構造、タッチスクリーン上の選択した設定により異なりますが、1 日におおよそ 1% の割合でバッテリーが放電します。Model S が充電されない状態が長期間続くような場合もあります（たとえば、空港の駐車場に車を置いて旅行に出かけるなど）。バッテリーを十分な充電レベルに保つために、前述の 1% について留意してください。たとえば、2 週間（14 日）充電しないと、バッテリーはおおよそ 14% 放電します。

バッテリーを 0% まで放電すると車両のコンポーネントを損傷する恐れがあります。完全放電からバッテリーを保護するために、充電レベルが 0% 近くまで低下すると、Model S は低消費電力モードに入ります。このモードで、バッテリーは車載電子回路および低電圧バッテリーへの電源供給を停止します。低消費電力モードを有効にしたら、ジャンプスタートや低電圧バッテリーの交換などを避けるために、すぐに Model S を差し込んでください。

注: ロックが解除されない、ドアが開かない、充電が開始されないなど、Model S が反応しない場合は、低電圧バッテリーが放電している恐れがあります。このような場合は、低電圧バッテリーのジャンプスタートをお試しください（[ジャンプスタート ページ 190](#) を参照）。依然として車両が無反応である場合、モバイル アプリを使用してサービス予約してください。

高電圧バッテリーの健全性を最大化するためのヒント

Model S のバッテリーは、時間の経過およびエネルギーの使用に伴い、自然に劣化します。バッテリーが劣化すると、フル充電時に Model S で走行可能な最大航続距離は、徐々に短くなる場合があります。

バッテリーの寿命を延ばし、エネルギー保持性能を最大化し、自然な経年劣化を抑えるために、以下の点を参考にしてください。

- バッテリーを保護する方法で充電することを推奨します。
例:
 - 可能な限り、レベル 1 またはレベル 2（家庭用コンセントや Tesla ウォールコネクタなど）で充電してください。スーパーチャージャーの使用は、ロードトリップや長距離走行時に限定してください。
 - 1 日あたりの推奨充電上限が 80% に設定されている車両では、日常的な充電上限を約 80% に保ってください。100% 充電は、長距離を走行する予定がある場合にのみ使用してください。[充電設定 ページ 150](#) 参照。
 - よりこまめな充電を推奨します。バッテリー残量が低くなるまで充電を待つと、時間の経過とともにバッテリーに負担がかかる可能性があります。
 - 可能な限り、バッテリー残量を 0% または 100% 付近で長時間維持することは避けてください。
 - Model S を長期間保管する場合は、バッテリー残量を約 50% に設定し、可能であれば充電ケーブルを接続したままにしてください。充電設定を使用して、バッテリー残量を 50% に維持してください。
- 車両が走行しておらず、充電も行っていない間は、以下の要因によるエネルギー消費を抑えてください。
 - セントリー モード
 - USB ポートやコンセントを使用する機器
 - ドッグ モード、キャンプ モード、キャビン過熱保護、エアコンをオンのままにするなどの空調機能
 - プレコンディショニング（充電ケーブル未接続時）
 - ゲーム、動画再生、音楽ストリーミングなどのインフォテインメントシステム
- Model S を駐車中は、これらの車両機能の使用方法を見直してください。例:
 - 自宅、職場、またはお気に入りの場所など、安全な場所ではセントリー モードがオフになるように設定してください。
 - 車両を充電ケーブルに接続した状態でプレコンディショニングを行ってください。可能な場合は、スケジュール設定によるプレコンディショニングを使用し、出発時刻どおりに出発してください。



高電圧バッテリーに関する情報

- 空調機能やキャビン過熱保護を使用する暑い日は、日陰に駐車してください。
- 動画のストリーミング再生やゲームなどのインフォテインメント機能は、車両を充電ケーブルに接続してから使用してください。

これらのバッテリー寿命を延ばすためのヒントや対策を実行できない場合でも、バッテリーは引き続き保証の条件に基づいて保証の対象となります。詳細については、次を参照してください。 <https://www.tesla.com/support/vehicle-warranty>



注意: バッテリーはオーナーによるメンテナンスを必要としません。クーラント フィラー キャップを開けたりバッテリー液を補充したりしないでください。インストールメントパネルに液レベルが低いという警告が表示された場合、モバイル アプリを使用してサービスを予約してください。



注意: このバッテリーは固定電源として使用しないでください。固定電源として使用した場合は、保証が無効になります。

温度限界

常に良好な性能を長期間維持するため、Model S を 60°C 超または -30°C 未満の環境に 24 時間以上連続して置かないでください。

省エネ機能

Model S には省エネ機能があり、Model S を使用していないときの消費エネルギーを減らすことができます。世代の新しい車両では、この機能は自動化され、最適なレベルの省エネモードが提供されています。一方、世代の古い車両では、「コントロール」>「ディスプレイ」>「省エネモード」の順にタッチして消費電力をコントロールすることができます。航続距離を最大限に伸ばし、電力を節減する方法について詳しくは、[航続距離を最大限に伸ばす ページ 154](#) をご参照ください。

水没した車両について

他の自動車と同様に、お客様の Tesla が洪水や極端な気象現象にさらされたり、水（特に塩水）に浸かったりした場合は、事故に遭ったものとして扱ってください。詳細情報については、[水没車両に関するガイドンス ページ 192](#) を参照してください。

注: 水没による損傷は保証の範囲外になります。

バッテリーに関する警告と注意事項



警告: 高電圧システムの保守は訓練された技術者だけが実施するようにする必要があります。どのような状況下においても、バッテリーのフタを開けたり、バッテリーを改造したりしないでください。高電圧コンポーネントやケーブル、コネクタの分解、着脱は行わないでください。高電圧ケーブルのカラーは通常オレンジ色が使われており、容易に見分けることができます。



注意: バッテリーの充電レベルが 0% に達した場合は、プラグを差し込む必要があります。プラグを抜いたまま長時間放置すると、低電圧バッテリーをジャンプ スタートさせるか、または交換しない限り、Model S を充電または使用できない場合があります。Model S を長期間にわたって充電せずに放置すると、バッテリーが損傷し、修復不能になる場合があります。低電圧バッテリーをジャンプ スタートさせても Model S を充電できない場合は、サービス予約をしてください。



充電ポートを開ける

充電ポートは Model S の左側に位置し、ドアの後ろ、リア テール ランプ アセンブリの一部にあります。充電ケーブルが充電ポートに届きやすいように、Model S を駐車します。

Model S がパーキングにシフトしている状態で、Tesla 充電ケーブル上のボタンを押して放すと充電ポートのドアが開きます

注: 充電ケーブルが充電ポート ドアの近くにある場合は、Model S がロックされているか、または認識されたキーが範囲内にない時でも、充電ケーブル上のボタンを押して充電ポートのドアを開けられます。



充電ポート ドアは、以下のいずれの方法でも開けることができます。

- タッチスクリーンから、充電ポートアイコン（稲妻アイコン）をタッチします。
- タッチスクリーンで、「コントロール」>「充電」>「充電ポートを開く」の順にタッチしてください。
- Model S がアンロックされ、認識されたキーが近くにある状態で、充電ポート ドアを押します。
- キー フォブ のリア トランク ボタンを 1~2 秒間長押しします。
- 音声コマンドを使用して、充電ポート ドアを開きます（[音声コマンド ページ 17](#) を参照）。音声コマンドを使用して、充電ポート ドアを閉じることや、充電を開始または停止することもできます。

注: 次の画像は、デモンストレーション目的でのみ提供されています。販売地域および製造日によっては、充電ポートに若干違いがある場合があります。



注: 充電ポート扉を開けると、充電ポートのライトが白色に点灯します。充電ポート扉を開いてから数分以内に充電ケーブルを充電ポートに接続されない場合、充電ポート扉は閉じます。その場合は、タッチスクリーンを使用して充電ポート ドアを再度開けてください。

注: 極端な寒冷時や凍結するような状況では、充電ポートラッチがそのまま凍ることがあります。充電ケーブルの抜き差しができない場合、または留め金が凍結しているため車両の高速充電が行えない場合、Tesla モバイル アプリを使用し、約 30~45 分間、事前に車両の温度設定を「HI」にしてください（車両の事前調整のためにはモバイル アプリの使用が必要です。タッチスクリーンからは温度を「HI」に設定できません）。この結果、充電ポートラッチの氷が溶けて、充電ケーブルの抜き差しができるようになります。



注意: 充電ポートを無理に開けようとししないでください。

挿し込む

必要な場合は、タッチスクリーンを使用して充電制限と充電電流を変更します（[充電設定 ページ 150](#) を参照）。

公共の充電ステーションで充電するには、適切なアダプターを車両の充電ポートに差し込み、ステーションの充電コネクタをアダプターに接続します。販売地域でよく使われているアダプターが付属しています。使用している充電器によっては、充電器の制御装置を使用して充電を開始、停止する必要があります。

モバイル コネクタを使用する場合は、先に電源に挿してから Model S につなぎます。

コネクタと充電ポートの向きを合わせて、コネクタを奥まで挿し込みます。コネクタが正しく差し込まれている場合に Model S が以下の状態になると、自動的に充電が開始されます。

- ラッチによってコネクタが所定の位置に固定されたとき。
- パーキングにシフトしたとき（他のギアに入っていた場合）。
- 必要に応じてバッテリーを加熱または冷却したとき。バッテリーを加熱または冷却する必要がある場合は、充電が開始されるまでに遅れが生じる場合があります。



充電方法

注: Model S に充電ケーブルが差し込まれている状態で充電が行われていないときは、バッテリーに蓄積されたエネルギーではなく、充電機器からエネルギーが引き出されます。たとえば、ギアをパーキングに入れ、充電ケーブルを差し込んだ状態で、Model S の座席に座ってタッチスクリーンを操作している間、Model S が消費するエネルギーはバッテリーではなく充電機器から取り込まれます。

ただし、Model S が差し込まれているもののほとんどエネルギーを使用していない場合、バッテリーから直接エネルギーを取り込むことがあります。例えば、Model S を使用せずに数日間差し込んだままで放置すると、車両のシステムをサポートするために、バッテリーから直接少量のエネルギーを段階的に取り込むことがあります。

バッテリーが十分に放電すると、バッテリーは充電を開始して再び制限に到達します。点検時期によっては、バッテリーは十分に放電することなく、充電サイクルをトリガーすることがあります。その結果、長時間差し込んだ場合でも、充電限度よりも若干低くなることがあります。これは正常な作動であり、十分に放電した後に、Model S は再び充電を開始します。または、新しい充電サイクルを手動で開始するには、プラグ一旦を抜いてから Model S を差し込みます。



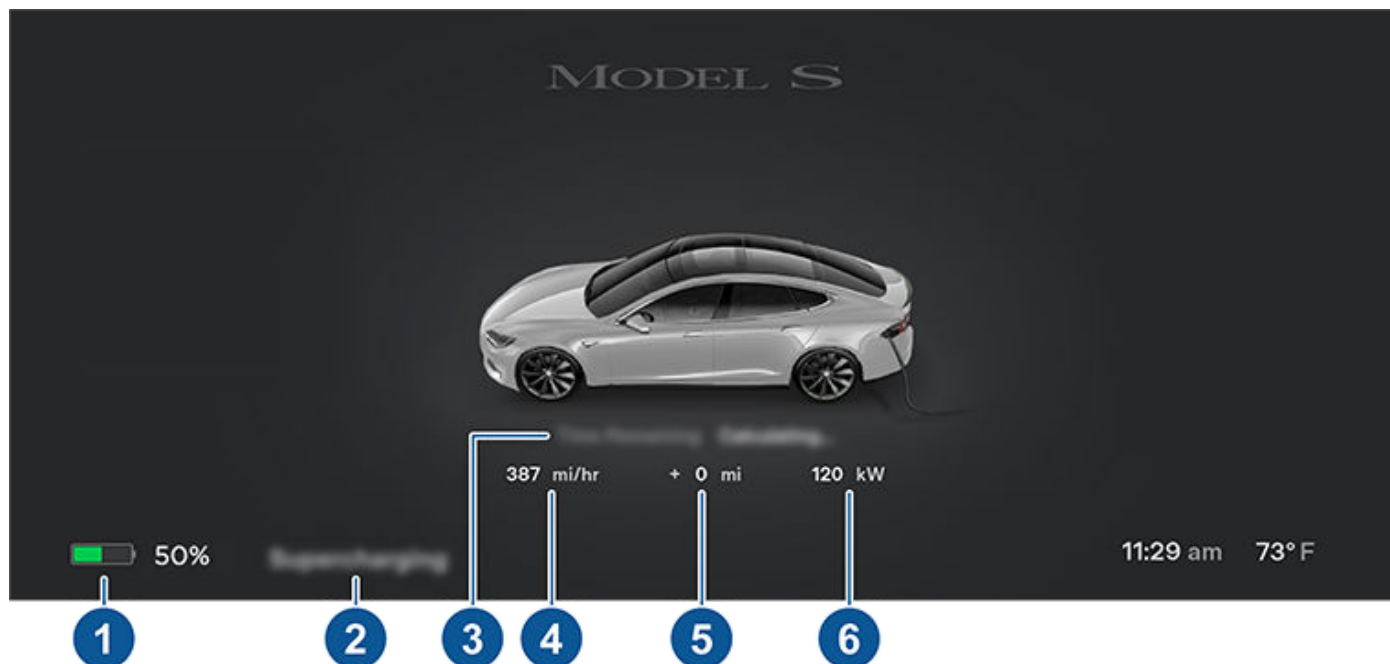
注意: 充電ケーブルのコネクタ側を Model S の上に落とすと、塗装が損傷することがあります。

充電ポート ライト

充電ケーブルを Model S に挿入したら、数秒間待ち、充電ポートのライトが緑色で点滅を開始し、車両が充電されていることを確認します。このライトが黄色または赤色である場合は、車を離れる前に、充電が確実に行われるよう問題を解決してください。

充電ステータス

充電ポートが開いている場合、インストゥルメント パネルに充電ステータスが表示されます。



- **白色 (またはライトブルー色):** 充電ポートが開いています。Model S 充電準備ができていますが、コネクタが挿入されていないか、充電ポートのロックが解除されコネクタが取り外せる状態になっています。
- **青色:** 充電器は接続されているが、Model S は充電をしていません (予約充電が有効になっている場合など)。
- **青色の点滅:** Model S 充電器と通信しているが、まだ充電を開始していません (車両が充電準備をしている場合など)。
- **緑色の点滅:** 充電中。Model S の充電が終了に近いほど、点滅の頻度が遅くなります。
- **緑色の点灯:** 充電完了。
- **オレンジ色の点灯:** コネクタが完全に差し込まれていません。コネクタと充電ポートの向きを合わせて、コネクタを奥まで挿し込んでください。
- **オレンジ色の点滅:** Model S は電流を減少して充電しています (AC 充電のみ)。
- **赤色:** 故障が検出され、充電が停止しました。インストゥルメントパネルまたはタッチスクリーンでアラートを確認してください。



- 1. 走行距離:** 推定総航続距離または利用可能エネルギー残量のパーセント表示（表示設定により異なる）で表示されます。
注: 表示されるエネルギー単位を変更するには、「コントロール」 > 「スクリーン」 > 「エネルギー表示」の順にタッチします。
- 2. 充電ステータス:** 充電ステータス メッセージ（「スーパーチャージング」、「充電中」など）はここに表示されます（[プレコンデューションと充電の予約 ページ 153](#) 参照）。
- 3. 残り時間:** 設定限度まで充電するための推定残り時間（[充電設定 ページ 150](#) 参照）
注: 100%まで充電する場合、充電完了と表示されていても、車両は低電力で充電を継続している可能性があります。これは設計通りの動作です。このポイントを超えて追加されるエネルギーは小さいので、一般的には充電を継続しても利点はありません。
- 4. 充電速度:** 充電している車両の現在の充電速度
- 5. 取得航続距離:** 充電で増加した推定航続距離。
- 6. 充電充電器の現在の電力。**

3 3 相電源（該当する地域の場合）に接続されている場合、使用可能電流として 3 相のシンボルとともに各相の電流が表示されます。

充電

充電中は、充電ポート ライトが緑色に点滅し、インストゥルメント パネルに充電状況が表示されます。充電レベルが満充電に近づくにつれて、充電ポートのライトが点滅する周期が遅くなります。充電が完了すると、ライトの点滅が停止し、緑色の点灯になります。

注: 認証されたキーが近くにない場合、充電ポートのライトは点灯しません。

充電ポート ライトが充電中に赤く点灯する場合は、故障が検出されています。インストゥルメント パネルまたはタッチスクリーンで故障に関するアラートを確認してください。故障は、停電などのよくある障害が原因で発生する可能性があります。停電が発生した場合は、電力が復旧すると自動的に充電が再開されます。

注: 充電中にノイズが聞こえますが異常ではありません。特に大電流で充電する場合は、必要に応じて冷媒コンプレッサーとファンが動作し、バッテリーを冷却します。

注: 通常充電は空調性能に影響を与えません。ただし、特定の状況（例えば、気温が高い日に大電流で充電しているなど）では、通気口から出る空気が冷たくない場合があります。インストゥルメント パネルにメッセージが表示されることがあります。これは正常な動作で、充電中にバッテリーを最適な温度範囲内にとどめ、バッテリー寿命と性能を最適になるようサポートします。



警告: 充電している間、絶対に充電ポートに勢いよく液体をかけないでください（高圧洗浄機など）。これらの指示に従わないと、重傷を負ったり、車両や充電器の損傷、財産の損失につながる恐れがあります。

充電の停止

充電ケーブルを取り外すか、タッチスクリーンで「充電を停止」にタッチすることにより、いつでも充電を停止できます。

注: 充電ケーブルの不正な取り外しを防止するため、充電ケーブル ラッチはロックされたままの状態となり、Model S のロックが解除されるか、キーを認識しない限り、充電ケーブルは取り外せないようになっています。

充電ケーブルを取り外す:

1. コネクタハンドル上のボタンを長押しして、ラッチを外します。

注: ラッチは、タッチスクリーンもしくはモバイル アプリを使用して、またはキー フォブのリアトランクボタンを長押ししても解除することができます。お客様の車両が電動充電ポート搭載車の場合は、充電ポートの左にあるボタンを押してもラッチを取り外せます。

2. コネクタを充電ポートから引き抜きます。

低温により充電ケーブルが差し込まれたまま凍結して抜けなくなった場合は、「コントロール」 > 「サービス」 > 「インレットヒーター」をタッチします。これにより、充電ポートが最大 2 時間、加熱され、充電ケーブルの凍結を溶かすことができます。

注: 充電ポート ドアは、以下のいずれの方法でも閉じることができます。

- タッチスクリーン上で、車のステータス概要の充電ポートアイコン（雷マーク）にタッチします。
- タッチスクリーンで、「コントロール」 > 「充電」 > 「充電ポートを閉じる」の順にタッチします。
- 音声コマンドを使用して、充電ポート ドアを閉じます（[音声コマンド ページ 17](#) を参照）。

注: 充電ポート ドアは、以下のいずれの方法でも閉じることができます。

- タッチスクリーン上で、車のステータス概要の充電ポートアイコン（雷マーク）にタッチします。
- タッチスクリーンで、「コントロール」 > 「充電」 > 「充電ポートを閉じる」の順にタッチします。
- 音声コマンドを使用して、充電ポート ドアを閉じます（[音声コマンド ページ 17](#) を参照）。

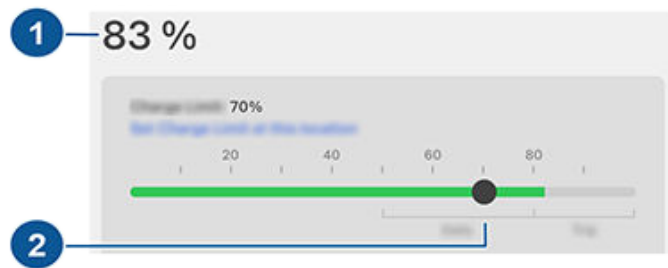


充電方法

注意: Tesla では、Model S を使用していない場合でも、充電ケーブルを挿し込んだままにしておくことを強く推奨します。そうすることで、バッテリーの充電レベルが最適に保たれます。

充電設定

Model S がパーキングにシフトされているときに、「コントロール」>「充電」の順にタッチして、充電設定にアクセスします。タッチスクリーンの充電アイコンにタッチして充電設定にアクセスすることもできます。



1. **使用可能なエネルギー:** 高電圧バッテリーに残っている使用可能エネルギーを表示します。残りエネルギーをパーセンテージではなく推定走行距離（マイルまたはキロメートル）で表示するには、「コントロール」>「スクリーン」>「エネルギー表示」をタッチします。
2. **制限を設定する:** 充電スライダーを希望する充電レベルに調整します。選択した設定は、即時充電と予約充電に適用されます。

注: Tesla では通常使用に対してはバッテリーのフル充電レベルを 90%未満に制限し、**長距離**で必要な場合に限って 100%まで充電することを推奨しています。

注: バッテリーの図の一部が青くなることがあります。これは、バッテリーが冷えているため、バッテリーに蓄えられているエネルギーのごく一部が運転に利用できないことを示しています。これは正常な動作で、問題はありません。バッテリーが温まると、青い部分が消えます。

充電限度をスライドさせ、通常の推奨充電限度を超えるまで動かすと、ポップアップ オプションが表示され、一時的に一度に限り通常の推奨充電限度を超えて充電することができます。これは長距離の移動に便利です。また選択した場合、元の充電制限にリセットされます。

さらに以下のようにして充電設定を変更できます。

- **この場所での充電上限設定:** 現在地に対して場所固有の充電上限を選択でき、Model S がその場所を記憶します。Model S は充電上限をその場所専用の上限に更新し、通常の充電上限を表示するために「デフォルトの充電上限」を追加します。同じ場所で充電するときは、充電上限を再度変更する必要はありません。
- **この場所での充電電流:** あらかじめ低い電流レベルに設定されていない限り、接続されている充電ケーブルから得られる最大電流に電流が自動的に設定されます。必要な場合は、- または + にタッチして電流を変更します（たとえば、他の機器と屋内配線を共有している場合に屋内配線が過負荷にならないように電流を下げるがあります）。接続されてい

る充電ケーブルから得られる最大電流を上回るレベルに充電電流を設定することはできません。電流を変更すると、Model S はそのときの場所を記憶します。同じ場所で充電するときは、再度変更する必要はありません。

国内用コンセントを持つモバイル コネクタを使用して充電する場合、車両はデフォルトの充電電流を自動で選択することができます。この場所での充電電流をカスタマイズするかモバイルアプリで、このデフォルト電流値をより高い設定にします。

注: Model S が充電中のとき、入力電力に予期せぬ変動が検出されると、充電電流が自動的に 25%減少します。たとえば、40 アンペアの電流が 30 アンペアに減少します。この自動電流低減は、問題が外的に存在する場合（例えば、家庭用配線システム、レセプタクル、アダプタまたはコードが定格電流容量を満たすことができない場合）の堅牢性および安全性を向上させます。しかし、Model S が、ある場所の入力電力が自動的に減少すると、その充電場所の入力電力が減少したまま保存されるのでご注意ください。減少した電流を手動で増やすこともできますが、Tesla は、根本的な問題が解決して充電場所の電力が安定するまで、低い電流で充電することをお勧めします。

- **充電ポートを開き、充電ポートのロックを解除して、充電を停止します。** 充電していないときは、「充電ポートを開く」または「充電ポートのロックを解除」をタッチして、充電ポートのドアを開くか、充電ポートから充電ケーブルのロックを解除します。「充電を停止」を使用して充電を終了します。
- **スケジュール:** プレコンディショニングと予約充電を表示します。保存した自宅と勤務先、または現在地のプレコンディショニングや予約充電を作成できます（[プレコンディショニングと充電の予約 ページ 153](#) を参照）。
- **スーパーチャージャー 充電:** スーパーチャージャーの使用料、場所、充電開始時間、そのセッションの推定費用を表示します（[スーパーチャージャー 料金 ページ 150](#) を参照）。

注: 利用率の高いスーパーチャージャー サイトの混雑緩和のために、トリップ プランナー（販売地域で入手可能な場合）を利用していないときは、最大充電レベルが 80%に自動的に制限される場合があります。（[トリップ プランナー ページ 136](#) を参照してください）。

スーパーチャージャー料金

Tesla スーパーチャージャーを使用して充電するときは、充電画面の下側に充電セッションの情報が表示されます。この情報には、場所、充電開始時間、そのセッションの推定費用が含まれます。スーパーチャージャー充電を停止すると、そのセッションにかかった推定費用が次回スーパーチャージャーで充電を開始する時まで表示されます。無料充電が適用される場合、推定費用はゼロと表示されます。

注: 推定費用は、スーパーチャージャー充電セッションの最終費用を反映していない場合があります。そのセッションのスーパーチャージャー充電の料金は Tesla アカウントで確認することができます。



使用頻度の高いスーパーチャージャーの場所において車両が混雑時限度に達した後は、追加料金がかかります。スーパーチャージャーは急速充電用に設計されており、これらの料金は充電完了後にドライバーが車両を移動するように促すものです。それぞれのサイトの料金体系は、混雑時料金や超過時間料金がかかるかどうかを含めて、タッチスクリーン上のサイトのポップアップ（[充電ポイント ページ 135](#) を参照）または Tesla のモバイル アプリで確認できます。

そのサイトのスーパーチャージャーの半数以上が占有されている場合にのみ、**超過時間料金** が適用され、車両が充電上限に達した時点から課金が始まります。Tesla モバイル アプリは充電完了が近づくと通知し、充電が完了すると再度通知します。超過時間料金が発生した場合は、追加で通知が送られてきます。充電が完了してから 5 分以内に車両を移動させれば、超過時間料金は免除されます。

Tesla アカウントにログインして、スーパーチャージャー 充電の詳細と料金や無料クレジットの残高の確認や、料金のお支払い方法の設定や決済を行うことができます。支払方法が保存されると、自分のアカウントから自動的に料金が引き落とされます。

手動で充電ケーブルを外す

充電ポートから充電ケーブルを外す通常の方法（充電ハンドルリリースボタン、タッチスクリーン、またはモバイル アプリを使用）が機能しない場合は、キー フォブのリアトランク ボタンを 1~2 秒間押し続けます。それでもリリースされない場合は、次の手順に従ってください。

1. タッチスクリーンの充電画面を表示させて、Model S が充電状態でないことを確認します。必要に応じて、**充電を停止**をタッチします。
2. リアトランクを開きます。
3. トランク側面トリムの左側にあるフラップを開きます。



4. 充電ポートの手動リリース レバー（図で赤色でハイライト）を車両前方向に向かって押し続けて充電ケーブルのラッチを外します。

警告: 橙色の高電圧カバーは絶対に取り外さないでください。これらの指示に従わないと、感電および深刻な怪我をする恐れがあります。

注: 車両に充電ポートの手動リリースレバーが備わっていない場合、この手順を中止して最寄りのサービスセンターまでご連絡ください。

注: 手動リリース レバーの向きは、地域によって異なる場合があります。



5. 充電ケーブルを充電ポートから引き抜きます。
6. トランク側面トリムの左側にあるフラップを閉じます。

注意: 取り外しレバーは、通常の方法を使用して充電ケーブルが充電ポートから取り外せない場合のみ使用するように設計されています。頻繁に使用すると取り外しレバーまたは充電機器に損傷を与える恐れがあります。

警告: 車両の充電中あるいは橙色の高電圧コンダクターのいずれかが露出している場合は、この手順を実施しないでください。これらの指示に従わないと、感電および深刻な怪我、または車両を損傷する恐れがあります。この操作の安全性に不安がある場合は、最寄りのサービスセンターまでお問い合わせください。

警告: リリース レバーを車両前方向へ押すのと同時に充電ケーブルを取り外さないでください。リリース レバーは必ず車両の前方向に押し、それを維持したままで充電ケーブルを充電ポートから取り外します。これらの指示に従わないと、感電および深刻な怪我をする恐れがあります。

充電におけるベストプラクティス

- バッテリーが極めて低い充電レベルにならないようにしてください（バッテリーの残り容量が 20%以下になるとバッテリー アイコンが黄色になります）。



充電方法

- 推奨される通常および長距離走行時の充電限度については車両のタッチスクリーンの情報（「コントロール」>「充電」に移動）またはモバイル アプリ（充電アイコンにタッチ）を参照してください。

- 車両にプラグを接続したら、車両から離れる前に、充電ポートのライトが緑色で点滅し始めることを確認します（Model S が充電中であることを示します）。数秒経っても Model S が充電を開始しない場合、コネクタが充電ポートにしっかり挿入されていないか、充電を妨げる問題がある可能性があります。警告とその詳細についてはタッチスクリーンを確認してください。

注: 充電ポートのライトが黄色で点滅を開始した場合、Model S は電流量を減らした状態で充電をしています。充電ポートのライトが青色で点灯している場合、充電ポイントは接続されていますが、車両は充電をしていません（予約充電が有効になっている場合など）。詳細な情報は、[充電ポート ライト ページ 148](#) を参照してください。

急速充電に関するアドバイス:

- ナビゲーション検索バーに表示される 3 本の雷マークで区別することで急速充電器を検索します。
- スーパーチャージャーや他社製急速充電器へのナビゲートにより、高電圧バッテリーのプレコンディショニングが行われます。
- 通常、充電済みの電力が少ないほど、充電速度は速くなります。

注: 常に車両の充電を監視することは、ドライバーの責任です。車両が放電し尽くす前に接続してください。安全に充電ポイントに到着するために十分な充電量があることを必ず確認してください。

- スーパーチャージャーでは、隣の区画と電力をシェアすることがあるので、他の車両と間隔を空けて駐車してください。



Model S のプレコンディショニングと充電の予約について説明します。車両がより効率的に充電するため、または Model S の出発前の準備のために、プレコンディショニングを予約することができます。

注: また、空調画面、充電ウィンドウ、Tesla モバイルアプリ (v4.34.5 以上が必要) から「予約」にアクセスできます。

Model S は予約を作成した場所ごとに自動的に予約を保存します。「**現在地**」を選択すると、設定した予約はほぼ同じの物理的な場所に戻ったときにのみ使用できます。

注: 予約充電は、Tesla のスーパーチャージャーを含む急速充電器では使用できません。作成した予約充電は、急速充電器で充電する際には無視されます。

予約の作成

プレコンディショニングと充電の予約を作成し、Model S にプレコンディショニングまたは充電をさせたい時間と曜日を指定します。予約を作成する方法:

1. 「コントロール」 > 「予約」の順にタッチします。
2. 予約を設定したい場所を選択してください。
 - 現在地 GPS 座標に基づく車両の現在地。
注: 現在地の予約を作成するにはパーキング状態である必要があります。
 - 自宅/職場: 自宅および職場の保存された場所。自宅や職場がない場合は、これらのオプションを選択することはできません ([自宅、勤務先、お気に入りの目的地 ページ 134](#) を参照)。
3. 「プレコンディショニング」をタッチして、車両にプレコンディショニングを適用する時間と頻度を設定します。
4. 「充電」をタッチして、開始時間、終了時間、および充電の頻度を設定します。
5. 「作成」を選択して予約を作成します。

注: 「毎週繰り返す」がトグルされていない場合、Model S は一度だけ予約を実行します。その後、手動で予約を再度有効にするまで、車両は予約を無効にします。

予約充電の使用

予約充電を作成または有効にすると、充電のために車両にプラグを差し込むことができます。当日の遅い時間にプレコンディショニングや充電を予約した場合、Model S はその時間までプレコンディショニングや充電を待機します。

予約が重なる場合、必要に応じて車両は充電に最も長い時間帯を使用します。例: 午前 2 時と午前 3 時に充電を開始し、午前 2 時 30 分と午前 5 時に充電を停止するように Model S を予約すると、車両は午前 2 時から午前 5 時までの 2 つの予約充電を 1 つの時間帯にまとめます。

指定された「**終了時刻**」はあるが、**開始時刻**は指定されていない場合、車両は予約された充電の際にプラグを差し込むときに一時的に電力を引き、必要な開始時刻を計算します (クリック音が聞こえる場合があります)。例: 「**終了時刻**」を午前 2 時に設定し、車両が充電制限を満たすには 2 時間の充電が必要です。

午後 9 時に車のプラグを差し込むと、Model S は開始時間を計算するために短時間電力を消費し、午前 12 時に充電を開始します。

「**開始時刻**」を指定し、「**終了時刻**」を指定しない場合、車両は指定された時刻に充電を開始し、充電の上限に達するまで継続します。

「**予約充電**」がすぐに開始される場合もあります。これらのシナリオは、Model S がプラグインされているときに発生する可能性があります。

- 予約充電の最中。
- 「**終了時刻**」が指定されていない場合は、予定充電開始後最大 6 時間まで。
- 次の予約充電が 18 時間以上先であり、当日でない場合。
- 「**開始時刻**」を設定しておらず、「**終了時刻**」までに充電制限に達する時間が足りない場合。

注: Model S 予約充電の**終了時刻**から 6 時間以内に車両にプラグを差し込んだ場合、次の予定充電がない限り、充電は自動的に開始されません。

オフピーク料金が適用されない市場地域でも、出発予定時刻に充電が完了するように予約を組むことで、エネルギーコストを削減することができます。たとえば、プラグを差し込んですぐに充電が開始されると、充電が完了するまでの時間が大幅に短縮される可能性があります。その場合、出発時間までに「バッテリー」が周囲の温度まで冷却されるため、今度は、バッテリーを暖めるエネルギーが必要になります。したがって、オフピーク料金が適用されない場合でも、Tesla では、出発予定時刻を予約する「**終了時刻**」として指定することにより、エネルギー消費量を削減するため、予定の出発時刻まで充電することを推奨しています。

プレコンディショニング

「**プレコンディショニング**」を使用して、Model S を運転可能にする時間を予約します。Model S はプレコンディショニングをいつ開始する必要があるかを自動的に計算します。こうすることで、出発時刻までに確実にキャビンの空調とバッテリーをプレコンディショニングすることができます。

設定した出発時刻には、「**プレコンディショニング**」でバッテリーは暖められてパフォーマンスが向上し、車内の空調は快適に整えられます。「**プレコンディショニング**」を予約しない場合、Model S はバッテリーが冷えすぎて充電できない場合に充電前にバッテリーを暖めるだけで、車内環境を整えることはありません。

注: Model S が接続されていない場合でも、Model S が低電力モードでない限り、プレコンディショニングは作動します ([#unique_352 ページ](#) を参照)。

プレコンディショニングは、次回運転するときの航続距離を延ばすのにも役立ちます。プレコンディショニングされたキャビンとバッテリーは、運転開始時に消費するエネルギーが少なくなります。プレコンディショニングにより、ヒートポンプを備えた車両では、運転中にバッテリーの熱を利用してキャビンを暖めることができるため、エネルギー消費を削減できます。



航続距離を最大限に伸ばす

電力消費量に影響する要因

走行中:

- 増加した走行速度。
- 環境条件（低温、高温、風など）
- 空調による車内温度調整
- 上り坂走行: 上り坂を走行するときには多くのエネルギーを必要とし、電力消費率が速くなり、航続距離の減りが早まります。その代わり下り坂の走行では、車両の回生ブレーキにより上り坂で消費されたエネルギーの一部を回収できます（[回生ブレーキ ページ 69](#) を参照）。
- 短距離走行や交通渋滞車両の始動時、車内とバッテリーを指定の温度にするには電力を消費します。非常に短い距離を複数回走行したり、交通渋滞時に空調をオンにしたまましていると平均電力消費量が大きくなる場合があります。
- 過積載
- ウィンドウが複数下りている
- ホイールおよびタイヤがメンテナンスされていない
- 設定のカスタマイズまたはサードパーティーのアクセサリ（ルーフ、トランク内のラック、ホイール）

充電器に接続せずに駐車中

- キャビンでプレコンディショニングするまたは空調を使用する。
- サモン。
- 車載インフォテインメントと空調システム
- セントリーモード
- Tesla またはサードパーティーのモバイル アプリのリクエスト

航続距離を最大限に伸ばすためのヒント

ガソリンエンジン車で言うような省エネ運転で、航続距離を最大限に伸ばすことができます。航続距離を最大限に伸ばすために:

- 運転速度を落とし、急激、頻繁な加速を避けてください。加速とスピードの制御を支援するために、「コンフォート」モード（「コントロール」>「ペダル&ハンドル」>「加速」）にタッチおよびスピードアシスト（[スピードアシスト機能 ページ 114](#) 参照）の使用を検討してください。
- 安全な場合は、ブレーキペダルを使用する代わりにアクセルペダルを調整して速度をゆっくり下げます。アクセルペダルを踏まずに Model S を走行させると、回生ブレーキが車両を減速させ、余剰エネルギーをバッテリーに戻します（[回生ブレーキ ページ 69](#) を参照）。
- ヒーターやエアコンなどの電装品の使用を控えます。車内を空調で暖房するより、シートヒーターおよびハンドルヒーター（搭載車の場合）を利用して温めるほうが効率的です。

- 運転する前に、車両を充電接続したままの状態、モバイルアプリから「空調」>「空調をオン」の順にタッチして、優先設定をカスタマイズし、車両のプレコンディショニングを実行することで、車内を快適な温度にして、必要に応じてウィンドウの霜取りを行います（[モバイル アプリ ページ 49](#) を参照）。
- 「予約」（充電画面と空調画面でもアクセス可能）をタッチして、車両を運転する予定時刻を設定します（[プレコンディショニングと充電の予約 ページ 153](#) を参照）。
- ストップモードを「ホールド」に設定して、低速走行時の回生ブレーキの効果を上げます。
- ホイールは仕様どおりのものを使用し、タイヤには所定の空気圧（[タイヤのお手入れとメンテナンス ページ 160](#) 参照）で充填したうえで必要に応じて、タイヤ位置を交換するようにします（[メンテナンスサービスの間隔 ページ 158](#) 参照）。
- 不要な荷物は車両から降ろして、積載量を減らします。
- すべての窓を完全に上げます。
- 装備されている場合はレンジモードをオンにします（[レンジモード ページ 155](#) を参照）。
- セントリーモードやキャビン過熱保護などの機能は航続距離に影響します。不要な機能は無効にしてください。
- 車両の待機中にエネルギー消費が過剰にならないよう、使用していないときには車両を充電器に接続してください。

レベル オフする前の最初の数か月間に、予測航続距離がわずかに減少するのは正常です。時間が経つにつれて、フル充電における航続距離が徐々に、自然に減少していく可能性があります。これはバッテリーの効率、経年劣化といった要素によります。バッテリーや航続距離の過度の劣化の原因となるハードウェア問題が万が一発生すると、Model S がドライバーにそのことを知らせます。

インストゥルメントパネルのパワーメーターでは、エネルギー使用量のフィードバックを確認できます。

レンジプランナー

Model S に表示される航続距離は、残存バッテリーエネルギーの推定量であり、EPA 評価消費量に基づいています。ドライバー個人の運転パターンや外的な条件には左右されません。インストゥルメントパネルに表示される航続距離は、実際に走行した距離に比べて減り方が速くなることがあります。お客様の直近の電力消費量を基に予想航続距離を確認するには、電力アプリを開きグラフを表示します。

注: 定格航続距離は、米国では EPA 評価消費量に基づいており、他の地域で掲示および実行されている試験によるものとは異なります。

車両は常にエネルギーレベルと最寄りの充電ステーションを監視します。



ナビゲーション検索バーの「充電ポイント」にタッチすると、スーパーチャージャーやデスティネーションチャージングサイトなど、充電ポイントがさまざまなタイプで切り替えられます。



既知の充電ステーションの範囲外に出そうな場合、タッチスクリーンにメッセージが表示されて、範囲内にある充電ステーションのリストを表示するかどうかを尋ねます。充電場所をリストから選択する時、Model S がナビゲーションの指示とターンバイターン経路リストを表示し、充電場所に到着するまでのエネルギーの残量を予想します。

トリッププランナー（販売地域で使用可能な場合）では、スーパーチャージャー経由のルート設定を行い、充電と走行にかかる時間を最低限に抑えます。有効にするには、「コントロール」>「ナビゲーション」>「トリッププランナー」の順にタッチします。

エネルギーアプリ

エネルギーアプリを使用すると、リアルタイムのエネルギー使用量を表示できます。消費量チャートは、Model S が過去 10、25、または 50 km で消費したエネルギー量を表示します。

平均値ボタンをタッチして、過去 10、25、または 50 km でのエネルギー消費量の平均値を示すグラフを表示します。平均値とエネルギー消費量データは、予想航続距離を計算するために使用されます。瞬間値をタッチして、直前の数データポイントでのエネルギー消費量のグラフを表示します。瞬間値とエネルギー消費量データは予想航続距離の計算に使用されます。

レンジモード

レンジモード（装備されている場合）ではエアコンシステムの電力を制限して省エネにし、シグネチャーライトをオフにします。「コントロール」>「走行」>「レンジモード」の順にタッチしてレンジモードをオンにします。全輪駆動車両でオンにすると、レンジモードではモーター間のトルク配分を最適にし、航続距離を最大にします。

エネルギーの節約

Model S Model S には省エネ機能があり、使用していないときの消費エネルギーを減らすことができます。世代の新しい車両では、この機能は自動化され最適なレベルの省エネモードが提供されています。一方、世代の古い車両では、「コントロール」>「ディスプレイ」>「省エネモード」の順にタッチし、以下のオプションを選択します。

- **オフ** - 夜間のみ（午後 10 時から朝 5 時まで）Model S が省エネモードに移行します。アイドル時のエネルギー消費量が多くなることがあります。
- **オン** - Model S を使用していないときのエネルギー消費は大幅に少なくなります。インストゥルメントパネルと Bluetooth の起動が遅くなります。
- **常に接続** - 省エネモードが機能しているときも携帯電話データ接続を維持します。このオプションにより、モバイルアプリと Model S の接続が速くなり、車に乗ってからすぐにインターネット接続が可能です。電力消費量は若干多くなります。



ソフトウェア アップデート

新しいソフトウェアの読み込み

Tesla は車両のソフトウェアをオーバー ジェア (OTA) 方式でアップデートし、定期的に新機能を提供しています。Tesla では、できるだけ早い時機に車両にソフトウェアのアップデートをインストールすることを推奨しています。ソフトウェアのアップデートを一番速く確実に行うため、常に Wi-Fi をオンにし、できる限り Wi-Fi に接続したままにしておいてください。ほとんどの場合で、ソフトウェアのアップデートをダウンロードするために車両を Wi-Fi に接続する必要があります ([Wi-Fi ページ 52](#) 参照)。

新しいソフトウェアのダウンロードとインストール

新しいアップデートを受けるには、ソフトウェアをダウンロードする (Wi-Fi が必要) かインストールするという 2 つの方法があります。ダウンロードやインストールは、Tesla モバイル アプリを使用して簡単に開始できます。

ダウンロード

ソフトウェアのアップデートをダウンロードすることが可能になると、ダウンロードが自動的に開始され、タッチスクリーンの上部に緑色の矢印が表示されます。車両が Wi-Fi に接続していない場合、ダウンロード アイコンが黄色で表示されます。ソフトウェアのアップデートをダウンロードしている時も運転はできますが、Wi-Fi 接続が切れた場合、ダウンロードが中断されることがあります。ソフトウェアのアップデートが完全にダウンロードされ、インストールできる状態になると、タッチスクリーンの上部に時計アイコンが表示されます。

注: ソフトウェアのアップデートを最も速くそして確実にダウンロードするには、できる限り Wi-Fi に常時接続した状態にしてください ([Wi-Fi ページ 52](#) を参照)。

インストール

ソフトウェアをインストールしている間は、運転することができません。プラグが差し込まれている場合、インストールが完了するまで車両は充電を停止します。インストールを開始するには、タッチスクリーンの上部にある黄色の時計アイコンにタッチします。すぐにインストールを開始する場合は「**今すぐインストール**」を、インストール開始時間を選択する場合は「**この時間に設定**」にタッチします。アップデートがインストールされる前であれば、いつでもこの時計アイコンをタッチして、スケジュールを変更できます。予約したアップデート時刻に Model S を運転している場合、アップデートがキャンセルされますので、再予約する必要があります。「**コントロール**」 > 「**ソフトウェア**」の順に移動しても、ソフトウェアのアップデートを表示、ダウンロード、インストールすることができます。可能であれば、Wi-Fi に接続してアップデートをダウンロードしてください。

エアコンをオンのままにする、ドッグ モード、キャンプモード、スマート コンディショニングなど、特定の機能が有効な場合、ソフトウェアのアップデートは実行されません。

注: エアコンをオンのままにする、ドッグ モード、キャンプモードが有効な場合、ソフトウェアのアップデートはインストールされません (エアコンをオンに保つ、ドッグ、およびキャンプ ページ 126 を参照)。

注: 必要に応じて、Tesla ではセルラー接続を用いてソフトウェア アップデートを送信します。

注: 一部のソフトウェアのアップデートでは完了するまで約 30 分かかります (さらに時間のかかるものもあります)。Model S ソフトウェアのアップデート中は、ギアをパーキングにシフトしておく必要があります。



警告: ソフトウェアのインストール中は、車両を使用しないでください。インストールの進行中は、一部の安全システムおよびドアおよび窓の開閉を含む車両機能が制限されたり無効となったりする場合があります、運転することで車両に損傷が生じる場合があります。

ソフトウェアのアップデート優先設定

Tesla では、各リリース固有の要因を考慮した上で車両にアップデートを送信する方法、時期、場所を判断しています。「**コントロール**」 > 「**ソフトウェア**」で、車両のために用意されたアップデートを受け取る時期を選択することができます。早く受け取るには「**Advanced**」を選択してください (追加リリースがあります)。他の人がインストールするまで待つ場合 (結果的にリリース数が少なくて済む) は、「**標準**」を選択してください。「**Advanced**」を選択しても、早期取得プログラムに車両が登録されるわけではありません。

Tesla は、最新機能や最新の改善事項の受信を希望する方のリクエストを受けてソフトウェアのアップデートを行っているわけではありません。「**Advanced**」を選択し、常に Wi-Fi に接続 ([Wi-Fi ページ 52](#) 参照) しておくことで、早い時期に最新のソフトウェアのアップデートを受け取ることができます。

ソフトウェアのアップデートが正しく完了しなかったことを示すメッセージがタッチスクリーンに表示された場合、次のソフトウェアのアップデートまで待ってから、車両へ展開してください。

注: アップデートをインストールするまで、ソフトウェア アップデート画面が表示されたままになります。ソフトウェアのアップデートをできるだけ早くインストールしてください。ソフトウェア アップデートのインストールに失敗して危害があっても、車両の保証対象にはなりません。アップデートのインストールに失敗またはインストールを拒否した場合、一部の車両機能にアクセスできなくなり、デジタル メディア デバイスの互換性がなくなる可能性があります。

注: Tesla では、Tesla サービス内の通常の診断、修理およびメンテナンスの一環として、車両のソフトウェアをアップデートまたは再インストールすることがあります。

注: 以前のバージョンのソフトウェアにダウングレードすることはできません。

充電通知

ソフトウェア アップデートの開始時に Model S が充電中の場合、充電は中止されます。ソフトウェア アップデートが完了すると、充電が自動的に再開されます。



リリース ノートの表示

ソフトウェアアップデートが完了したら、タッチスクリーン上に表示されるリリースノートを読んで変更点や新機能について確認します。車両のソフトウェアの現行バージョンに関するリリース ノートを表示するには、「コントロール」 > 「ソフトウェア」 > 「リリース ノート」にタッチします。

Tesla では、すべてのリリースノートをお読みいただくよう推奨しています。リリースノートには、Model S に関する重要な安全情報や操作説明が含まれています。



メンテナンスサービスの間隔

定期サービス

Tesla では、Model S の信頼性と効率を維持していただくため、以下のメンテナンス項目が車両に該当する場合には、以下の間隔で整備を受けていただくことを推奨しています。

車両の警告に関する追加情報については、[トラブルシューティングのアラート ページ 193](#) を参照してください。

- ブレーキ液の汚れ確認：4 年毎（必要に応じて交換）*。
- キャビンエアフィルター交換：2 年ごと
- HEPA フィルター交換：3 年ごと
- ワイパー ブレードは毎年交換。
- ブレーキ キャリパー清掃および潤滑：毎年または 12,500 マイル (20,000km) ごと（冬季、凍結防止剤がまかれる地域の場合）。
- 10,000 km ごと、あるいはトレッド深さの差異が 1.5 mm 以上になったときのいずれか早い方にローテーションを行います。

*けん引、山岳部から下り坂、またはパフォーマンス走行によりブレーキの使用量が多い場合で、特に車両が高温多湿の環境にあった場合は、より頻繁にブレーキ液のチェックと交換が必要になる場合があります。

注: バッテリー冷却剤タンクを開けたことに起因する損害は保証対象外です。

注: 上記間隔は一般的な運転行動や状況に基づいています。運転挙動、使用状態、環境条件などのさまざまな周辺条件に応じて上記のメンテナンス事項は規定と異なる頻度で実施することが必要になる可能性があります。また、上記一覧は包括的なものではなく、フロントガラスワイパー、ブレーキパッド、低電圧バッテリーなどの消耗部品は含まれていません。

注: Tesla で認定されていない整備士によるメンテナンスまたは修理で生じた損傷、故障は保証の対象となりません。

自主メンテナンス手順および情報については、<https://www.tesla.com/support/do-it-yourself-guides> を参照してください。

サービスを予約する

モバイル アプリから、簡単にサービスを予約することができます。「サービス」にタッチし、必要な整備の種類を選択して、モバイル アプリの指示に従ってください。以下に示す詳細情報をできるだけ多く提供していただくと、サービス チームが懸念事項の原因を特定するのに役立ちます。

- 写真、音声あるいはビデオ録画。
- 問題が生じた日付、時刻およびタイムゾーン。
- ご利用になられている国、地域。
- 車両移動時の速度(該当する場合)。
- 環境条件(雨、雪、低温など)。
- 道路の名称と種類(該当する場合)。
- レーン標識の質(該当する場合)。

- 適用された車両設定。
- 気づいた症状。

サービスの予約についての詳細は <https://www.tesla.com/support/service-visits> をご覧ください。

毎日のチェック

- インストゥルメント パネル、またはモバイル アプリに表示されるバッテリーの充電レベルをチェックします。
- 各タイヤの状態と空気圧をチェックします ([タイヤのお手入れとメンテナンス ページ 160](#) を参照)。
- エクステリアライト、ホーン、ウインカー、ワイパー、ウォッシャーの動作をチェックします。
- タッチスクリーンまたはインストゥルメントパネル上の予期せぬインジケータライトまたは車両のアラートを確認します。
- パーキング ブレーキも含め、ブレーキの動作をチェックします。

注: Model S は回生ブレーキ ([回生ブレーキ ページ 69](#) を参照) を使用しているので、このブレーキパッドは一般的に、従来のブレーキシステムのパッドほど頻繁には使用されません。錆や腐食の蓄積を避けるために、Tesla ではブレーキペダルを頻繁に踏んで機械式ブレーキをかけ、ブレーキパッドおよびローターを乾燥させることを推奨しています。

- シートベルトの動作をチェックします ([シートベルト ページ 36](#) を参照)。
- Model S の車体の下に通常はない液体の漏れなどがないかどうかチェックします。少量の水がたまっても (空調システムの除湿プロセスによる)、異常ではありません。
- Model S の外周を目視して、直ちに腐食性物質 (鳥の糞、樹液、タバコの灰、虫の死骸、産業放射性物質など) を取り除き、塗装へのダメージを防いでください ([洗車 ページ 165](#) を参照)。

毎月のチェック

- フロントガラスのウォッシャーの液位をチェックし、必要なら液を補充します ([フロントガラス ウォッシャー液を補充 ページ 169](#) を参照)。
- 空調システムが正しく動作していることを確認します ([空調を操作する ページ 124](#) を参照)。

注: 車内を冷房するほか、エアーコンディショナー コンプレッサーはバッテリーも冷却します。したがって、暑いときは、エアーコンディショナー コンプレッサーを OFF に設定したとしても、ON になることがあります。これは、バッテリーの寿命を保ち、バッテリーの最適化性能に必要なとされる最適な温度範囲にバッテリーを保つために、システムがバッテリーの冷却を優先するためであり、正常な動作です。また、使用していないときでも、Model S がうなり音や水が循環するような音が聞こえる場合があります。これらの音が発せられるのは通常の状態です。内部の冷却システムがオンになり、低電圧バッテリーのメンテナンス、高電圧バッテリーの温度調節など、さまざまな車両の機能をサポートするときに発せられます。



定期的なチェック

必要に応じて以下のチェックを行います：

- ほこりの多い場所や汚染された場所を走行すると、時間の経過とともにラジエーターが詰まることがあります。これは空気の流れや暖房/エアコンの性能に影響を与えることがあります。モバイル アプリでサービスを予約してください。
- 視界を確保し、カメラの機能を最適に保つため、カメラ筐体内（[カメラ ページ 19](#) を参照）のフロントガラス内側を定期的に清掃する必要があります。このような清掃が必要かどうかを確認するには、「コントロール」>「サービス」>「メンテナンス」の順にタッチして、車両のメンテナンスの概要を確認してください。必要に応じて、モバイル アプリでサービスを予約してください。

メンテナンスの概要

「コントロール」>「サービス」>「メンテナンス」の順に移動することで、メンテナンス項目の現在の状態を表示できます。

「メンテナンスの概要」では、フロントガラス ワイパーブレードやフィルター類などの定期的メンテナンス項目の最終実施日を追跡して、次の実施時期を提案します。あなたは自分で実施することもできますし、Tesla や独立した修理会社に支援を依頼することもできます。メンテナンスが完了したら、車両のタッチスクリーンでそのメンテナンス項目をリセットすることができます。Model S はタイムスタンプおよび該当する情報（現在の通算走行距離など）をキャプチャし、次回の通知のためにメンテナンス項目をリセットします。これまでに実施した整備の記録をご自身および将来のオーナーが確認できるように、車両の整備記録は常に車両と一緒にして保管してください。整備記録は工場リセットの影響を受けません。

注: サービス訪問の際、Tesla はメンテナンスの概要を必要に応じて更新しますが、情報に関して、とりわけ個人の修理会社や DIY 手段で実施されたサービスおよびメンテナンスに関する情報の正確性を確保することは、車両オーナー様の責任です。

液の定期交換

バッテリー冷却剤およびブレーキ液のレベルの点検は Tesla または専門的な自動車修理工場だけが行うようにしてください。サービス マニュアルには専門のサービス情報が記載されています。

- **バッテリー冷却剤:** ほとんどの状況下では車両寿命を延ばす目的でバッテリー冷却剤を交換する必要はありません。
注: バッテリー冷却剤タンクを開けたことに起因する損害は保証対象外です。
- **ブレーキ液** ブレーキ液を補充しないでください。

ソフトウェア

ソフトウェアのアップデートは、車両コンポーネントを確実に正常作動させ、製品寿命を保つために重要です。できるだけ早い時機にソフトウェアのアップデートをインストールする必要があります。[ソフトウェア アップデート ページ 156](#) を参照してください。

Tesla では、サービス内の通常の診断、修理およびメンテナンスの一環として、車両のソフトウェアをアップデートまたは再インストールすることがあります。

高電圧安全性

お客様の Model S は安全性を最優先して設計・製造されています。しかし、どのような高電圧システムにも負傷のリスクはつきものであるため、安全のため、以下の注意事項に留意してください。

- Model S に貼ってあるラベルの注意を読み、必ず守るようにしてください。これらのラベルはお客様の安全のために貼ってあります。
- 高電圧システムには、ユーザーがサービス可能な部品はありません。高電圧コンポーネントやケーブル、コネクタの分解、着脱は行わないでください。高電圧ケーブルのカラーはオレンジ色になっており、容易に見分けることができます。
- 衝突事故発生時は、高電圧配線、コネクタ、配線に接続された部品に一切手を触れないでください。
- 万が一火災が発生した場合は、直ちに最寄りの消防機関にご連絡ください。

警告: Model S の下で作業をする場合は、充電中でなくても、必ず事前に充電ケーブルを抜いておいてください。

警告: 冷却ファンの吹き出し口を、手や衣類などでふさがないでください。冷却ファンの中には、Model S がパワー オフの状態でも動作するものがあります。

警告: 自動車で使用される液体（バッテリーの酸、バッテリー冷却剤、ブレーキフルード、フロントガラス ウォッシャー添加剤など）の中には有毒なものがあります。これらの液を吸入または嚥下したり、傷口に接触させたりしないでください。安全のため、液体容器に表示されている説明を必ず読み、その指示に従ってください。



タイヤのお手入れとメンテナンス

タイヤ空気圧の表示

右または左のボタンハンドルを使用して「車両の状態」を表示することで、インストゥルメントパネルにタイヤ空気圧を表示できます（ハンドルの左ボタンを使用する ページ 58 またはハンドルの右ボタンを使用する ページ 59 を参照）。各タイヤの圧力は、タイヤの圧力が最後に測定された時間と合わせて車両のビジュアライゼーションに表示されます。また、タイヤ空気圧を bar と PSI のどちらを使用して表示するかを、「コントロール」>「表示」>「タイヤ空気圧」の順にタッチして選択することができます。

タイヤ空気圧の保守

タイヤの空気圧がタイヤに記載されている空気圧とは異なる場合でも、「タイヤと情報」ラベルに表示される空気圧に従ってください。タイヤと積載情報のラベルは中央のドアピラーにあります。運転席のドアが開いているときに見ることができます。



インストゥルメントパネル上のタイヤ空気圧表示灯が、1つ以上のタイヤの空気圧が低すぎる場合または高すぎる場合に警告を表示します。

タイヤ空気圧表示灯は、タイヤ空気圧の調整後もしばらくは消えません（タイヤ空気圧の点検と調整 ページ 160 参照）。

Model S の電源を入れた時にインジケータライトが1分間点滅する場合、TPMS の誤作動が検知されています（TPMS の不具合 ページ 162 参照）。モバイル アプリを使用してサービス予約をお取りください。

注: 周辺温度が低くなると、車両のタイヤ空気圧は低下します。TPMS インジケータライトが点灯した場合、走行前にタイヤに空気を補充してください。外気温度が 6°C 下がるごとに、タイヤ空気圧は約 1 PSI 低下します。タイヤ空気圧を適正に保つことで、タイヤを路上の穴から保護し、航続距離を延ばせます。



警告: タイヤの空気圧が足りない状態は、タイヤ温度の上昇、深刻なひび割れ、突然のトレッド剥離やパンクを引き起こすなど、タイヤの不具合の最も一般的な原因です。この結果、車両制御が予期せず失われ、けがや事故につながる危険性が高まります。低空気圧は車両の航続距離およびタイヤのトレッド寿命に悪影響を及ぼします。



警告: タイヤが冷えているときに、正確なタイヤ空気圧ゲージを使用してタイヤ空気圧をチェックしてください。ほんの 1.6 km ほど運転しただけでも、タイヤが温まってタイヤ空気圧に影響が出ます。直射日光や高温な場所における駐車も、タイヤ空気圧に影響します。タイヤの温度が上がっている場合は、圧力も高くなっていることに注意してください。タイヤ空気圧の調整は必ずタイヤが冷えた状態でおこなってください。温まった状態では正しい調整ができず、空気圧不足になり大変危険です。

タイヤ空気圧の点検と調整

タイヤが冷えており、Model S が 3 時間以上静止しているときに以下の手順に従ってください。

1. 運転席のセンタードアピラーにある「タイヤ情報」ラベルでタイヤ空気圧の対象値を参照してください。
2. バルブキャップを取り外します。
3. 圧力を測定するため、正確なタイヤ空気圧ゲージをバルブにしっかりと押しつけます。
4. 必要に応じて、推奨空気圧になるよう空気を充填または抜きます。
注: バルブ中央の金属ステムを押すことによって空気を抜くことができます。
5. 精密なタイヤゲージを用いてタイヤ空気圧を再度確認します。
6. 必要に応じて、タイヤ空気圧が適正となるまで、手順 3 と手順 4 を繰り返してください。
7. 泥汚れが入るのを防ぐバルブキャップを再度装着します。バルブに損傷や漏れがないかを定期的に点検します。
8. しばらく時速 25 km 以上で走行してから TPMS を起動してください。

タイヤの点検と保守

トレッドとサイドウォールにゆがみ（膨らみ）、異物、切り込み、または摩耗の兆候がないかを定期的に点検してください。



警告: タイヤが損傷している、摩耗しすぎている、またはタイヤの空気圧が不適切な場合は、Model S を運転しないでください。タイヤの摩耗を定期的に点検し、切り込み、膨らみ、またはプライ/コード構造の露出がないことを確認してください。さらに、タイヤの内側のショルダー部分の摩耗にも注意してください。



タイヤ摩耗

適切なトレッド溝の深さはタイヤの性能発揮に重要なものです。トレッドの深さが 3 mm 未満のタイヤは濡れた路面でハイドロプレーン現象を引き起こしやすいため、使用しないでください。トレッドの深さが 4 mm 未満のタイヤは雪道やぬかるみ状態の道で性能を発揮できないため、冬期には使用しないでください。

Model S 納車時には、トレッドパターンにウェアインジケーターが備えられたタイヤが取り付けられています。トレッドが 3 mm まで摩耗すると、トレッドパターンの表面にタイヤ幅にわたって連続するゴムの帯のように見えるウェアインジケーターが現れます。最適な性能と安全性を保つため、Tesla ではウェアインジケーターが現れる前のタイヤ交換を推奨しています。

車両のハンドリング特性を改善し、濡れた路面でのハイドロプレーニング現象を最小限に抑えるには、後輪にトレッドが最も多いタイヤを取り付けます。

ローテーション、バランス、ホイールアライメント

タイヤローテーションはタイヤのメンテナンスにおいて必須です。これによりトレッド摩耗パターンを均等に維持でき、タイヤの全体的な摩耗耐性の向上、ロードノイズの削減、タイヤ寿命の最長化につながります。Tesla では、10,000 km ごと、あるいはトレッド深さの差異が 1.5 mm 以上になったときのいずれか早い方に、タイヤのローテーションを実施することを推奨しています。激しい運転はタイヤの摩耗を早める可能性があり、より頻繁なタイヤサービスが必要になる場合があります。

前後でサイズが異なり、回転方向に指定のないタイヤを装着している車両の場合、左右でローテーションできますが、前輪と後輪のサイズが違うため、前後でローテーションすることはできません。左右でローテーションして、各タイヤの回転方向を変更すると、ショルダーの摩耗のバランスが取られることで、トレッドの寿命を延ばすことができます。

ホイールのバランスが崩れると、車両の操縦性やタイヤの寿命に影響します。通常の使用ではホイールのバランスが崩れる可能性があるため、タイヤとホイールのアセンブリ全体に均等に重量が分散されるように再バランス調整する必要があります。ハンドルを通して振動が感じられる場合は、ホイールバランスの調整を検討してください。

適切なホイールアライメントは、車両のハンドリング、タイヤの寿命、ハンドルコンポーネントの維持に役立ちます。タイヤの摩耗が不均一となっていることに気付いた場合（タイヤの片側）、またはハンドルをまっすぐに保ったまま車両が左または右に引っ張られる場合は、ホイールアライメントを行うよう予約してください。車両に新しいタイヤセットを取り付けた後も、ホイールアライメントを実施することが推奨されます。

パンクしたタイヤ

タイヤはパンクすると、最終的には圧力を失います。タイヤ空気圧を頻繁に点検することが重要な理由はここにあります。パンクしたタイヤまたは損傷したタイヤは、できるだけ速やかに永続的修理をほどこすかまたは交換してください。

チューブレスタイヤは、物が刺さったとき、それがタイヤ内に残っていれば空気が漏れないことがあります。ただし、運転中に突然の振動や乗り心地の低下を感じた場合、またはタイヤの損傷が疑われる場合は、ただちに速度を落としてください。低速で走行し、急ブレーキや急なステアリングを避けながら、安全を確認して車両を停止します。Model S を Tesla サービスセンターまたは最寄りのタイヤ修理センターに輸送するよう手配します。

注: 場合によっては、Tesla から購入可能なオプションのタイヤ修理キットを使用して、軽度のパンク (6 mm 未満) を応急修理することもできます。これにより、Model S を Tesla または最寄りのタイヤ修理施設に低速で移動させることができます。



警告: パンクした場合、たとえタイヤの空気が抜けていなくても、そのまま修理せずに運転しないでください。パンクしたタイヤは突然空気が抜けてしまう可能性があります。

フラットスポット

Model S を長期間動かさないと、タイヤにフラットスポットが発生することがあります。Model S を運転すると、このフラットスポットが原因で振動が発生します。タイヤが温まるにつれ、しだいにこの振動は消え元の形状に戻ります。

タイヤの走行距離の改善

タイヤの走行距離を伸ばすには、タイヤの推奨空気圧を維持し、速度制限および推奨速度を順守し、以下の点にご注意ください。

- ・急発進または急加速を避ける。
- ・急カーブを切ることや急ブレーキをかけることを避ける。
- ・穴や障害物のある道路を避ける。
- ・駐車時に縁石にぶつからないようにする。
- ・タイヤに腐食性の高い液体が付着しないようにする。

タイヤとホイールの交換

タイヤは、紫外線、極端な高温・低温、高負荷、および環境条件によって時間とともに劣化します。タイヤは、トレッドの深さが最低深さ以上あったとしても、6 年ごとまたは必要に応じてそれより前に交換することが推奨されます。

パンクしているなどの理由でタイヤを早期に交換する必要がある場合は、他のタイヤが新しいタイヤのトレッド深さの 1.5 mm 以内である場合を除き、タイヤをペアで交換することをお勧めします。タイヤを交換する場合、古いタイヤと同じブランドの同じモデルにすることが重要です。常時 4 本のタイヤがすべて同じサイズの場合は、新しいタイヤをリアに装着してください。タイヤを交換した後は、必ずホイールおよびタイヤのバランス調整を行ってください。さらに詳しい指導については、タイヤ販売専門業者や取付業者に尋ねてください。タイヤの交換または修理後に、タイヤの潤滑剤が完全に乾燥し、タイヤがリムに完全に吸着するまで最大で 24 時間かかることがあります。この期間は、タイヤがリムで滑らないように急加速は避けてください。



タイヤのお手入れとメンテナンス

注: 交換するタイヤの本数に関わらず、性能を最大限引き出すために、車両に適合するタイヤの完全なセット使用することを推奨します。

指定された以外のタイヤを使用する場合は、タイヤにマーキングされた定格荷重および定格速度 ([タイヤのマーキングについて ページ 182](#) を参照) が、元の仕様と等しいかあるいはそれを上回っていることを確認してください。

Model S に取り付けられている元々のホイールやタイヤの仕様については、([ホイールとタイヤ ページ 181](#) を参照)。

ホイール交換時には、TPMS (タイヤ空気圧監視システム) センサーをリセットして、タイヤの空気圧が低すぎる、または高すぎるときに確実に正確な警告が発信されるようにする必要があります ([TPMS センサーのリセット ページ 163](#) を参照)。

警告: 安全のため、元の仕様と同じタイヤおよびホイールのみを使用してください。元の仕様と一致しないタイヤは、TPMS の動作に影響を与える可能性があります。

警告: 車両タイヤの定格速度を超えて運転しないでください。定格速度はタイヤのサイドウォール ([タイヤのマーキングについて ページ 182](#) を参照) に表記されています。

非対称タイヤ

Model S のタイヤの一部は非対称であり、正しいサイドウォールが外側を向くようにホイールに取り付ける必要があります。タイヤのサイドウォールには単語が示されています **OUTSIDE**。新しいタイヤを取り付ける際は、タイヤにホイールを正しく取り付けてください。



警告: タイヤにホイールが正確に取り付けられないと、ロード ホールディング 性能が著しく損なわれます。

ホイール設定

新しいホイールを取り付けたり別のホイールに交換する場合、「コントロール」>「サービス」>「ホイール&タイヤ」>「ホイール」の順にタッチして車両のホイール設定をアップデートします。これにより、Model S が新しいホイールを理解し、車両でより正確なステータスアップデートを行えます。ドロップダウンメニューから、Model S に取り付け予定の新しいホイールと合致するホイールを選択します。ホイール設定で新しいホイールを選択すると、タッチスクリーンの車両アバタに表示されるホイールも変更されます。

前後異径のホイールを取り付けている車両の場合には、フロントとリアでホイールのサイズが異なりますので留意してください。タイヤの側面に記載されているフロントのタイヤサイズとリアのタイヤサイズを見て、サイズが合致しているか異なるかを確認します。ホイールのサイズが前後で異なる場合、以前のホイールと同様に取り付ける新しいホイールが前後で異なるよう十分に注意を払ってください。

注: 車両のホイール構成を変更すると航続距離予測、タイヤ空気圧警告レベル、車両の外観に影響を与えます。



警告: ホイールを取り付けたり交換するときには、Tesla 認可のホイールのみを使用してください。Tesla で認可していないホイールを使用すると、深刻な損傷を招く恐れがあります。Tesla は、Tesla が認可していないホイールを使用して招いた損傷については責任を負いかねます。

タイヤ空気圧監視



Model S にはタイヤ空気圧モニタリングシステムが搭載され、タイヤ空気圧が低すぎるか高すぎる場合に、タイヤ空気圧インジケータ ライトを表示してドライバーに警告します。詳細については、運転席ドアピラーにある「情報」ラベルを参照するか、[タイヤ空気圧の保守 ページ 160](#) を参照してください。

各タイヤは、スペアタイヤ (装着されている場合) を含め、毎月冷間時に点検し、車両ブラカードまたはタイヤ空気圧ラベルに記載されている、車両メーカー推奨の空気圧まで空気を入れてください。(車両のラベルまたはタイヤ空気圧ラベルに記載されたサイズと異なるサイズのタイヤが取り付けられている場合は、それらのタイヤの適正空気圧を確認してください。)

追加の安全機能として、車両にはタイヤ空気圧監視システム (TPMS) が装備されており、1 本または複数のタイヤの空気圧が著しく低下すると、タイヤ空気圧低下警告灯が点灯します。したがって、タイヤ空気圧低下警告灯が点灯したら、できるだけ早く停車してタイヤを点検し、適正空気圧まで空気を入れてください。タイヤの空気圧が著しく低い状態で運転すると、タイヤが過熱しタイヤの不具合につながる可能性があります。低空気圧は、燃料の効率とタイヤのトレッド寿命に悪影響を与え、車両のハンドリングおよび停止能力にも影響を及ぼす可能性があります。

次のことにご注意ください。TPMS はタイヤの適切なメンテナンスに代わるものではありません。空気圧不足が TPMS タイヤ空気圧低下警告灯の点灯レベルに達していても、タイヤの空気圧を適正に保つことはドライバーの責任です。

TPMS の不具合

お客様の車両には、システムが正しく作動していないときに知らせる TPMS 故障指示灯も搭載されています。TPMS 故障指示灯は、タイヤ空気圧低下警告灯に組み込まれています。システムが故障を検出すると、指示灯が約 1 分間点滅し、その後点灯したままの状態になります。このシーケンスは、故障が存在する限りその後も車両を始動するたびに繰り返されます。



故障指示灯が点灯した場合、システムがタイヤ空気圧の低下を意図したとりに検知したり、信号を伝えたりできない可能性があります。タイヤまたはホイールの交換などさまざまな要因によって TPMS の故障が発生し、TPMS が正しく作動しない場合があります。1 本または複数のタイヤまたはホイールを交換した後は、必ず TPMS 故障指示灯をチェックして、交換用または代替のタイヤおよびホイールで TPMS が引き続き正しく機能することを確認してください。



TPMS 故障インジケータは、タイヤ空気圧インジケータ ライトに組み込まれています。Model S の電源を入れて、Model S が TPMS の誤作動を検知した場合、このインジケータライトが 1 分間点滅します。

注: Tesla が提供するタイヤシーラントと異なるシーラントを使用してタイヤを交換または修理した後に、低タイヤ空気圧が検出された場合は、タイヤセンサーが損傷している可能性があります。

注: Tesla が承認していないアクセサリを取り付けた場合、TPMS と干渉する可能性があります。

TPMS センサーのリセット

1 個または複数のホイールを交換した後（タイヤ交換やローテーションは含まれません）、タイヤ空気圧警告を正確にするために TPMS センサーをリセットしてください。

新しいバージョンの Model S では、時速 25 km を超える速度で 10 分より長く走行すると、TPMS は自動的にリセットされます。古いバージョンの場合は、以下の手順を実施してください。

1. すべてのタイヤをドアピラーにある「タイヤ情報」ラベルに記載された推奨空気圧にします。
2. 走行するための準備を 10 分間行い、準備が完了したら、「コントロール」>「サービス」>「TPMS センサーのリセット」の順にタッチします。
3. 画面上の指示に従います。



注意: 正しいホイール サイズを選択しないと、誤ったタイヤ空気圧警告が表示されることがあります。タイヤ空気圧の警告が表示された場合、車両から降りてリアトランクおよびすべてのドアを閉め、タッチスクリーンの表示が消えるのを待ち、再度車両に乗って正しいホイール サイズが選択されていることを確認したら「TPMS センサーのリセット」をタッチしてください。

注: 一部の古いバージョンの Model S では、21 インチホイールを交換する時、TPMS が誤ったタイヤ空気圧警告を表示する場合があります。その場合、より詳細な調整をするために Model S を Tesla サービスセンターにお持ちください。



警告: タイヤ空気圧警告をクリアするために、TPMS センサーをリセットしないでください。

タイヤ センサーの交換

タイヤ空気圧警告インジケータが頻繁に表示される場合は、モバイル アプリを使用してサービス予約をし、タイヤ センサーを交換する必要があるかどうかを確認してください。Tesla 以外の修理施設でタイヤを修理または交換した場合、タイヤセンサーは Tesla がセットアップを実行するまで作動しないことがあります。

季節別タイヤ保管

タイヤのタイプを理解する

車両がもともと装着しているタイヤのタイプは車両モデルと販売地域によって異なります。車両のタイヤの性能と、夏季、オールシーズンまたは冬季の走行に適しているのかを理解することが重要です。タイヤの性能特性については、タイヤのサイドウォールにある情報を確認してください（[タイヤのマーキングについて ページ 182](#) を参照）。

サマー タイヤおよびオールシーズン タイヤ

これらのタイヤは、ドライとウェットの道路状況で性能を最大限に発揮しますが、冬季の道路状況で十分な性能を発揮するようには作られていません。オールシーズンタイヤは一年を通してほとんどの状況で十分なトラクションを発揮するように設計されていますが、氷雪条件ではウィンター タイヤほどのトラクションを発揮できない可能性があります。オール シーズン タイヤは、タイヤのサイドウォールに「ALL SEASON」および/または「M+S」(mud and snow) と表記されています。

低温時や路面に雪や氷が付着している可能性のある場所で走行する場合、Tesla はウィンター タイヤの使用を推奨します。



警告: 低温時または路面に雪や氷が付着している場合、サマー タイヤやオールシーズン タイヤは十分なトラクションを発揮しません。安全で最適な Model S のパフォーマンスを確実に引き出すために、冬の状況に適したタイヤを選び取り付けることが重要です。

スタッドレスタイヤ

雪道や凍結路面でトラクションを高めるにはスタッドレスタイヤを使用してください。スタッドレスタイヤを装着する際は、必ず 4 輪ひと組で同時に装着してください。スタッドレスタイヤは、全車輪で同一のサイズ、メーカー、構造およびトレッドパターンのものを使用してください。



スタッドレスタイヤは、タイヤのサイドウォールに山/雪のシンボルが表記されています。

スタッドレスタイヤを装備している場合、より大きな走行音が発生し、トレッド寿命が短くなるほか、乾いた路面ではトラクションが減少する場合があります。



タイヤのお手入れとメンテナンス

警告: 車両タイヤの定格速度を超えて運転しないでください。定格速度はタイヤのサイドウォール（[タイヤのマーキングについて ページ 182](#) を参照）に表記されています。

低温時の運転

周囲温度が低い状況ではタイヤの性能は低下し、そのためグリップが低下して、衝撃による損傷をより受けやすくなります。パフォーマンス タイヤ（夏用）は外気温が 5°C 以下になるとトラクションが低減するので、冰雪環境にはお勧めできません。パフォーマンス タイヤは冷えた場合一時的に固くなることがあり、タイヤが温まるまでの最初の数 km は回転ノイズが聞こえます。

タイヤチェーンの使用

Tesla では、雪道でのトラクションを高めるための次のタイヤチェーン（スノー チェーン）を試験し、認定しています。タイヤチェーンは、リア タイヤにのみ装着できます。認定済タイヤチェーンは Tesla でお問い合わせ頂けます。

タイヤサイズ（インチ）	推奨チェーン
第 19	König K-Summit K45

21 インチタイヤにはタイヤチェーンを使用しないでください。

注意: サマータイヤにはタイヤチェーンを装着しないでください。さもないと、車に損傷を与える恐れがあります。

タイヤチェーンを装着する際は、タイヤチェーン製造元の取扱説明書の指示に従ってください。均一に、また可能な限りきつく装着してください。

チェーンを使用する際には、次の点にご注意ください。

- 使用前には、チェーンが緩んでいないか、またリンクに破損がないか確認してください。
- エアサスペンション（装備されている場合）を「標準」に設定し、「デフォルト車高を低にする」設定をオフにします（[エアサスペンション ページ 72](#) を参照）。
- Model S に重量物を積載しないでください（重量物はタイヤとボディ間のクリアランスを減少させる可能性があります）。
- チェーンを適切に装着していない場合には、車両を運転しないでください。
- ゆっくり運転してください。時速 48 km を超えないようにしてください。
- タイヤチェーンは状況が許せばただちに取り外してください。

注: タイヤチェーンの使用は一部の地域では禁止されています。タイヤチェーンを取り付ける前に当該地域の法律を確認してください。

注意:（装備されている場合）エアサスペンションは、損傷を避けるために「中」設定の状態に維持する必要があります。

注意: 非推奨タイヤチェーンやサイズ違いのタイヤチェーンを使用すると、サスペンション、ボディ、ホイール、またはブレーキ ラインを損傷する可能性があります。推奨されていないタイヤチェーンの使用や不適切に装着されたタイヤチェーンによって起きた損傷は、保証の対象外です。

注意: 前輪にはスノー チェーンを使用しないでください。

注意: チェーン装着時にタイヤの空気圧を抜かないでください。チェーンを装着したままタイヤに空気を入れると、チェーンがきつくなり過ぎてタイヤが損傷する可能性があります。

注意: チェーンがサスペンション コンポーネントやブレーキ ラインに触れないようにしてください。チェーンから Model S との接触を示す異常なノイズが聞こえたら直ちに停車して、確認してください。


外装のクリーニング

塗装への損傷を防ぐため、腐食性物質（油脂、鳥のフン、樹液、虫の死骸、タール汚れ、凍結防止剤、大気中降下物など）が付着した場合は、ただちに除去してください。Model S の次の洗車時期まで待たないでください。必要に応じて変性アルコールを使用してコールドタオルや頑固な油汚れを除去し、その後ただちに水と界面活性剤を含まないマイルドな石けんでアルコールを除去してください。

エクステリアカメラに泥、水滴、障害物が付着していないようにします。これらの物質は、画像が不鮮明になったり、オートパイロットや安全機能の動作が停止したりする原因になる場合があります（[カメラのクリーニング ページ 165](#) を参照）。

Model S の外装を洗うときは以下の手順に従ってください。

1. 洗車する前に、ホースを使用して車両に付着した汚れや砂粒を洗い流します。異物がたまりやすい場所（ホイール ウェルやパネルの継ぎ目など）にたまっている泥を洗い流します。冬の間など、道路で塩が使用された場合は、車両の下、ホイール ウェル、およびブレーキに付着している道路塩をすべて除去します。
2. きれいでやわらかい布、冷水、またはぬるま湯、および中性の高品質自動車用洗剤。

 **注意:** 一部のクリーナーや車両用シャンプーには、特にプラスチック製のトリム ピース、エクステリアライト、カメラ レンズに損傷や変色を引き起こす可能性のある化学物質が含まれています。たとえば、一部のカー クリーニング フォーミュラには、外装部品を損傷させる可能性のある水酸化物またはその他の高アルカリ性あるいは苛性成分が含まれています。酸性製品も使用しないでください。製品の洗浄による損傷や変色は、保証の対象外です。

3. 洗車した後、洗剤が表面に残ったまま乾かないように清潔な水ですすぎます。
4. セーム革で徹底的に拭いて乾かします。必要に応じて、車を短時間運転してブレーキを数回踏んで乾燥させます。

イソプロピルアルコール ワイブ（ガラスや画面の汚れ落としに使用する物）で小さな汚れを落とします。

窓のクリーニングと手入れ

自動車用のガラス クリーナーで窓ガラスとミラーをクリーニングします。ガラスやミラーの表面を拭くときに、汚れを削り取ったり、研磨洗浄液を使ったりしないでください。エクステリア ガラスのクリーニングに関するベスト プラクティスについては、[外装のクリーニング ページ 165](#) の指示に従ってください。

車両の窓への撥水コーティングの追加については、サイドおよびリアの窓だけに塗布して、フロント ガラスには塗布しないでください。さもないとオートパイロットカメラの視認性に影響を与えてしまいます。塗布の詳細については、撥水コーティング製造会社の指示に従ってください。


注: Tesla は車両への窓処理に関連する損傷については一切責任を負いません。


カメラのクリーニング

明瞭な画像を維持するには、カメラのレンズをきれいに保ち、視界が遮られないようにしてください。


土や破片の堆積を取り除くには、スプレー ボトルを使用してカメラ レンズに水を噴射します。レンズを露出させ、手や布で擦って土や破片を拭き取ろうとしないでください。破片を擦ると、レンズ表面に擦り傷がつくことがあります。


注: 視界を確保し、カメラの機能を最適に保つため、カメラ筐体内（[カメラ ページ 19](#) を参照）のフロントガラス内側に定期的に清掃する必要があります。このような清掃が必要かどうかを確認するには、「コントロール」>「サービス」>「メンテナンス」の順にタッチして、車両のメンテナンスの概要を確認してください。必要に応じて、モバイル アプリでサービスを予約してください。


 **注意:** 薬品系や研磨剤系のクリーナーは使用しないでください。使用すると、レンズの表面が損傷するおそれがあります。


 **注意:** 超音波センサー（装備されている場合）またはカメラのレンズを洗浄する際にその表面を傷つけたり損傷したりする恐れのある尖った物や研磨剤を使用しないでください。


外装のクリーニングに関する注意事項


 **注意:** 直射日光の当たる場所では洗車しないでください。


 **注意:** フロントガラスには水処理液を使用しないでください。水処理液を使用すると、ワイパーとフロントガラスとの摩擦によってびびり音が発生することがあります。

 **注意:** 温水、洗剤、または強アルカリ性または苛性アルカリ性のクリーニング製品（特に水酸化物を含むもの）を使用しないでください。pH 13 を超える石けん水やケミカル製品は使用しないでください。わからないときは、製品ラベルを確認するか、洗車場のスタッフにおたずねください。不適切な洗車方法で生じた損傷は、保証対象になりません。

 **注意:** 高圧洗浄機を使用する場合は、ノズルを Model S の表面から 30 cm 以上離してください。パーキングセンサー（装備されている場合）に直接水流を向けなくてください。ノズルを動かし続け、水流を一箇所に集中させないでください。






 **注意:** ホースの水をウィンドウシール、ドアシール、フードシールに直接当てたり、電気モジュールまたは露出しているケーブル部分に当てたりしないでください。

 **注意:** 保証範囲に含まれない腐食による損傷を防ぐために、車両の下側、ホイール ウェル、およびブレーキに付着した道路塩をすすぎ流してください。洗車した後は、車を短時間運転してブレーキを数回踏んで乾燥させます。

 **注意:** 洗浄ミットなどの毛羽だった布や目の粗い布を使わないでください。高品質のマイクロファイバー布を使用することを推奨します。



洗車

-  **注意:** 自動洗車機で洗車する場合は、タッチレス洗車機以外は使用しないでください。タッチレス洗車機は Model S の表面にブラシなどが一切触れないで洗車します。
-  **注意:** 自動洗車場で洗車する場合は、車両がロックされていることを確認してください。さらに、車両の洗車中にドアやトランクが偶発的に開かないように、タッチスクリーンの各コントロールの使用は控えます。何らかの損傷が発生しても、保証対象外となります。
-  **注意:** ワイパーの損傷を避けるために、Model S を洗車する前に必ずワイパーをオフにしてください。
-  **注意:** 化学物質系のホイールクリーナーやプレウォッシュ製品は使用しないでください。ホイールの表面が損傷することがあります。
-  **警告:** Model S を充電している間、絶対に充電ポートに高速で液体をかけないでください (高圧洗浄機など)。これらの指示に従わないと、重傷を負ったり、車両や充電器の損傷、財産の損失につながる恐れがあります。

内装のクリーニング

内装の美しさを保ち、早期の摩耗を防止するために、頻繁に内装を点検し、クリーニングしてください。可能であれば、こぼれた物をただちに拭き取り、シミを取ってください。全般的なクリーニングでは、ぬるま湯にマイルドな非界面活性剤クリーナーを混ぜた液体で湿らせた柔らかい布（マイクロファイバーなど）を使用して内装の表面を拭き取ります（クリーナーを使用する前に、内装の目に見えない部分でクリーナーを試してください）。拭き跡が残らないように、糸くずの出ないやわらかい布でただちに水分を拭き取ります。

内側のガラス

ガラスやミラーの表面を拭くときに、汚れを削り取ったり、研磨洗浄液を使ったりしないでください。鏡の反射面やリアウィンドウの発熱体が損傷することがあります。

エアバッグ

エアバッグカバーに洗剤などの物質が入り込まないように注意してください。エアバッグの動作に支障をきたすおそれがあります。

ハンドル

ハンドルを使用する際は、手を清潔かつ完全に乾いた状態に保ってください。ハンドルに触れる前に、ハンドクリーム、日焼け止め、その他の液体が手に残っている場合は、必ず拭き取ってください。ハンドルにアルコール系の手指消毒剤が触れないように注意してください。ハンドルに異物や液体が付着した場合は、できるだけ早く、ぬるま湯と中性の非洗剤系クリーナーを混ぜた液を少量含ませた柔らかい布（マイクロファイバーなど）で拭き取ってください。

ダッシュボードとプラスチックの表面

ダッシュボードの上面を磨かないでください。表面を磨くと光が反射し、運転時の視界を妨げるおそれがあります。

室内灯

注: 本 Tesla 保証は、このオーナーズマニュアルで推奨されていない洗浄剤や工具の使用などの不適切なメンテナンスによって生じた損傷には適用されません。

室内照明には石けんや化学洗浄剤を使用しないでください。一般用の洗浄剤や物質は、照明のレンズや部品を劣化させ、時間の経過とともにひび割れや損傷を引き起こす可能性があります。Tesla では、室内照明のクリーニングには、ぬるま湯で湿らせた柔らかい布を使用し、汚れた部分やシミを優しく拭き取ることを推奨しています。室内照明には以下の照明が含まれますが、これらに限定されません（装備されている場合）：

- 足元スペース
- パドル
- 予測
- ドームライト
- アンビエント

石けんやマイルドな非界面活性剤クリーナーでインテリアをクリーニングする場合、まずすべての照明を以下のような何らかの手段で保護することを Tesla では推奨しています：

- 布。
- マスキングテープ。
- プラスチックフィルム。
- 車両インテリア用保護カバー。

Seats

注: 本 Tesla 保証は、このオーナーズマニュアルで推奨されていない洗浄剤や工具の使用などの不適切なメンテナンスによって生じた損傷には適用されません。

お客様の車両のシートは、レザーよりも柔らかく、耐久性に優れ、汚れに強い、特別な持続可能なヴィーガンレザーで作られています。Tesla では、性能と新車同様の外観を維持するために、車内の定期的な清掃と掃除機がけを推奨しています。万能クリーニングキットを [Tesla ショップ](#) で販売しています。

一部の化粧品を含む刺激の強い薬品が触れることのないようにしてください。このような物質は、時間の経過とともに損傷、劣化、変色を引き起こす可能性があります。

一般的な汚れやシミは、内装の表面からできるだけ早くこぼした液体や化学物質の残留物を拭き取ってください。柔らかい布（できればマイクロファイバー）をぬるま湯と中性石鹸で湿らせ、円を描くようにやさしく汚れを拭き取ります。その後、糸くずの出ない柔らかい布で水分を拭き取ります。ドライヤーで乾かさなくてください。石鹸以上のものは、刺激が強すぎる場合があります。他のクリーニング溶液、消毒剤、コンディショナー、保護剤の使用は推奨されません。

白色のシートの場合：最後の手段として、柔らかい布（マイクロファイバーなど）にぬるま湯とイソプロピルアルコールを含ませ、円を描くようにやさしく汚れを拭き取ります（黒色のシートにはこの方法を使用しないでください）。イソプロピルアルコールが残っている場合は、湿らせた柔らかい布で拭き取

てください。イソプロピルアルコールを過度に使用したり、長時間使用したりすると、素材の上塗りを傷め、汚れやすくなり、また保証を受けることができなくなります。

注意: アルコール、漂白剤（次亜塩素酸ナトリウム）、柑橘類、ナフサ、シリコン系の添加物を含む製品は使用しないでください。シートに直接スプレーをかけないでください。シートベルト機構に水が入らないようにしてください。

さまざまな衣服、アクセサリー、化粧品には染料や油分が含まれている場合があります。時間が経つとシートに移染することがあります。このようなシミを防ぐのは難しく、損傷を与えることなくシミを取り除くことが不可能な場合もあります。

注意: Tesla 純正品ではない市販のシートカバーは使用しないでください。シートカバーはシートの汚れや損傷の原因となり、シートの乗員センサーの感度に影響を及ぼしたり、エアバッグの展開を制限したりするおそれがあります。

レザー シートの場合、革製品は色落ちしやすい傾向があるので、特に明るい色の革では、変色する可能性があることにご注意ください。ホワイトレザーとタンレザーには汚れ防止処理が施されています。洗剤や市販のレザー クリーナーとコンディショナーは、レザーを変色させたり乾燥させたりするおそれがあるため、お勧めできません。

カーペット

カーペットを濡らしすぎないように注意してください。汚れがひどい部分には希釈した布製家具クリーナーを使用します。

シートベルト

ベルトを引き出して拭き取ります。種類のいかんに関わらず、洗剤や化学洗剤は使用しないでください。可能であれば直射日光を避けて、ベルトを引き出したまま自然乾燥させます。

ドア シール

湿らせた布でドア シールを拭いて汚れを取り除いてください。ドア シールに汚れがたまると、周囲の面に接触したときに損傷の原因になるおそれがあります。アルコール系の拭き取り剤や化学製品はドア シールのコーティングを劣化させるおそれがあるので使用を避けてください。

Tesla ビルトイン後ろ向きチャイルドシート

シートにたまったほこりを掃除機で吸い取ります。ぬるま湯で湿らせたやわらかい布でシートを拭き取ります。自動車用の内装クリーナーも使用できます。ベルトを引き出して拭き取ります。可能であれば直射日光を避けて、ベルトを自然乾燥させます。

タッチスクリーンおよびインストゥルメントパネル

モニターやディスプレイの清掃用に特別に設計された、柔らかい糸くずの出ない布を使用してください。クリーナー（ガラスクリーナーなど）やアルコールが原料のジェル製品（除菌用ハンドローションなど）を使用しないでください。濡れた雑巾や静電気を帯びた乾いた布（洗ったばかりのマイクロファイバーなど）を使用しないでください。フロント タッチスクリーンを清掃するときは、ボタンを 작동させたり設定を変えたりしないように、画面クリーニングモードに切り替えます。「コントロール」>「スクリーン」>「画面クリーニングモード」の順にタッチします。ディスプレイが暗くなり、ホコリや汚れが見やすくなります。「画面クリーニングモード」を終了するには、「長押しして終了」を長押しします。

クロームや金属の表面

研磨剤、研磨洗剤、アルコールが原料のジェル製品（除菌用ハンドローションなど）、硬い布を使用すると、クロームや金属の仕上がりが損なわれるおそれがあります。

内装のクリーニングに関する注意事項

注意: 溶剤（アルコールを含む）、アルコールが原料のジェル製品（除菌用ハンドローションなど）、漂白剤、柑橘系、ナフサまたはシリコン系の製品や添加剤を内装部品に使用すると、内装コンポーネントが損傷する恐れがあります。

注意: 静電気を帯びた物質はタッチスクリーンまたはインストゥルメントパネルを損傷する恐れがあります。

警告: エアバッグやシートベルトの損傷に気付いたら、ただちに Tesla にご連絡ください。

警告: 水、クリーナー、布がシートベルト機構に入り込まないように注意してください。

警告: 化学洗剤は目や皮膚に付くと炎症を引き起こす可能性があります。危険です。化学洗剤の製造元が提供する説明書をよく読み、指示に従ってください。

つや出し、補修塗り、ボディの修理

ボディの外観の美しさを保つには、以下のものを含む承認済みの光沢剤で塗装面を処理します。

- 塗装をはがしたり傷つけたりしないで表面の汚れを落とすための非常にマイルドな研磨剤。
- 傷を埋めて目立たなくする充填剤。
- 塗装を自然環境から保護する被膜を形成するためのワックス。

定期的に外装の塗装を点検し、損傷の有無を確認します。タッチアップペン（販売地域によっては Tesla から購入可能）を使用して小さい欠けや傷を修復します。洗車した後、つや出しやワックス掛けをする前に、タッチアップペンを使用します。



洗車

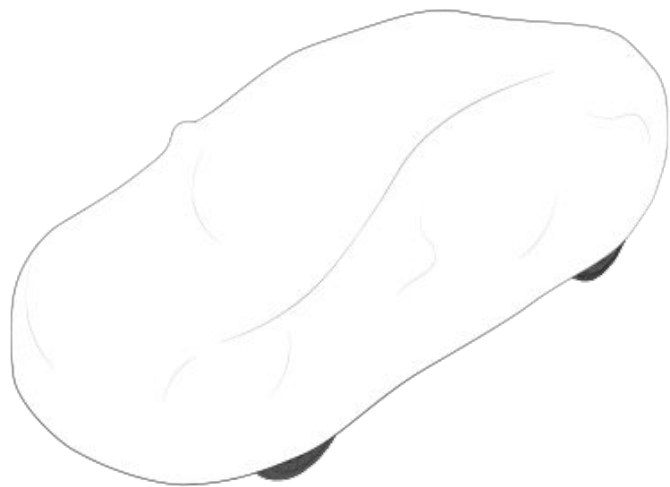
石による欠け、割れ、傷を修復します。修理や利用できるサービスに関する情報は、<https://www.tesla.com/support/body-shop-support> をご参照ください。

注意: カットリング ペースト、色補修剤、粗い研磨剤が含まれた光沢剤は使用しないでください。表面が傷つき、塗装が恒久的に損傷するおそれがあります。

注意: クローム光沢剤やその他の研磨剤入りクリーナーは使用しないでください。

自動車用カバーの使用

Model S を使用していない間、車体の外観の美しさを保つために Tesla 正規品の自動車用カバーを使用してください。自動車用カバーは Tesla ショップから購入できます。



注意: Model S に充電ケーブルを接続しているときは Tesla 承認済みの自動車用カバーのみを使用してください。Tesla 以外の自動車用カバーを使用すると、充電中にバッテリーを適切に冷却できないおそれがあります。

フロア マット

カーペットを長持ちさせ、簡単に洗えるようにするためには、<http://www.tesla.com> でオンライン購入可能な Tesla 純正フロアマットを使用してください。フロアマットは定期的にクリーニングし、正しく取り付けられていることを確認してください。摩耗のひどいフロアマットは交換してください。

警告: マットがフット ペダルに干渉しないように、運転席のフロア マットがしっかりと固定されていることを確認してください。フロア マットの上に別のフロア マットを絶対に置かないでください。フロア マットは必ず車両のカーペット用の表面に敷き、別のフロア マットやその他のカバーの上に重ねないでください。

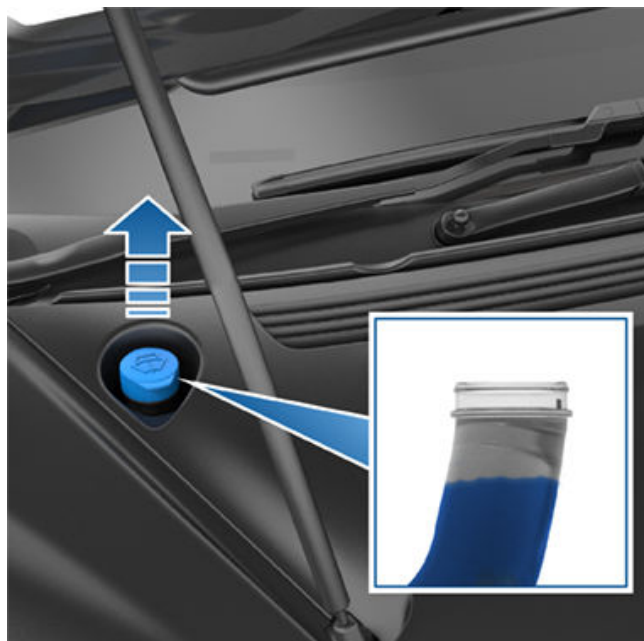


フロントガラス ウォッシャー液を補充

お客様ご自身でフルードを補充できるリザーバーは、フロントトランク奥にあるウォッシャー液リザーバーのみです。レベルが低下すると、インストゥルメントパネルにメッセージが表示されます。

ウォッシャー液の補充：

1. フードを開きます。
2. リザーバにゴミが入らないように、キャップを開ける前にフィルター キャップ周辺を掃除します。
3. フィラー キャップを開けます。
4. 液体がフィルターネックのちょうど下に見えるまで、こぼさないようにリザーバーを満たします。



5. こぼれたらすぐに拭き取り、こぼれた箇所を水で洗ってください。
6. フィラー キャップを再び取り付けます。

注: 国や地方によっては、揮発性有機化合物 (VOC) の使用が制限されています。VOC はウォッシャー液の不凍剤としてよく使われます。Model S がさらされるあらゆる気候でウォッシャー液が適切な耐凍性を持っている場合にのみ VOC の含有量が限られたウォッシャー液を使用してください。

注意: Tesla は、車両に推奨されているフロントガラス ウォッシャー液のみを使用することを推奨しています。推奨品はサービスセンターで購入できます。詳細は、parts.tesla.com を参照してください。未処理水など他の物質を使用すると、空調システムに微生物が繁殖し、臭いや、保証の対象とならない損傷が発生する可能性があります。

注意: はっ水剤や虫洗浄剤が含まれた特殊なウォッシャー液を補充しないでください。この種のウォッシャー液は、汚れの筋、しみ、軋む音やその他の騒音の原因になることがあります。

警告: 気温が 4°C 以下の場合は、不凍剤の含まれたウォッシャー液を使用してください。寒冷地で不凍剤が入っていないウォッシャー液を使用すると、フロント ガラスの視界が妨げられることがあります。

警告: フロントガラス ウォッシャー液は眼や肌を刺激する可能性があります。ウォッシャー液の製造業者が提供する取扱説明書をよく読みそれに従ってください。

ワイパーブレードの確認と清掃

定期的なワイパーブレードのエッジをきれいにし、ゴムにひび割れや裂け目が生じていないか、また凸凹がないか確認します。ブレードが損傷している場合は、ガラスが傷つくのを防ぐとともに視認性を上げるため、すぐにブレードを交換してください。

フロントガラスやワイパーブレードの汚れにより、ワイパーの効果が下がる可能性があります。汚れには、氷や洗車スプレーのワックス、防虫、防水対応のウォッシャー液、鳥のフン、樹液その他の有機物質などがあります。

以下のクリーニングのガイドラインに従ってください。

- 自動車のガラスやゴムへの使用を承認されているウォッシャー液、イソプロピル（消毒用）アルコール、または研磨剤の含まれていないガラスクリーナーを使用しフロントガラスやワイパーブレードをきれいにします。不適切な製品は、損傷や汚れ、フロントガラスのざらつきを引き起こす可能性があります。
- ワイパー アームを少し持ち上げてフロントガラスから遠ざけます。ブレードに手が届く程度に離すだけで十分です。ワイパー アームを想定された位置以上に持ち上げないでください。

クリーニング後もワイパーの効果がなければ、ワイパー ブレードを交換してください。

注: ワイパーが有効に機能していないと、フロントガラスのカメラの視認性が低下し、オートパイロット機能の性能低下や利用不可につながる可能性があります。詳細については、[カメラ ページ 19](#)を確認して、オートパイロット [制限と警告 ページ 105](#)を参照してください。

ワイパーブレードの交換

最良の性能を発揮するには、ワイパー ブレードを少なくとも 1 年に 1 回交換してください。交換ブレードは次の基準に適合している必要があります。

- 運転席側のブレードは長さ 650 mm、助手席側は長さ 500 mm である必要があります。
- 交換ブレードのコネクターが元々のブレードと同じであることを確認します。コネクターが異なると、交換ブレードを車両のワイパー アームに接続することができない可能性があります。

Tesla ショップから交換用のワイパー ブレードを購入することができます。

注: 必ず、元のブレードと同じ交換用ブレードを取り付けてください。不適切なブレードを使用すると、ワイパー システムおよびフロント ガラスが損傷するおそれがあります。



フロント ガラスのワイパー ブレード、ジェットおよびウォッシャー液

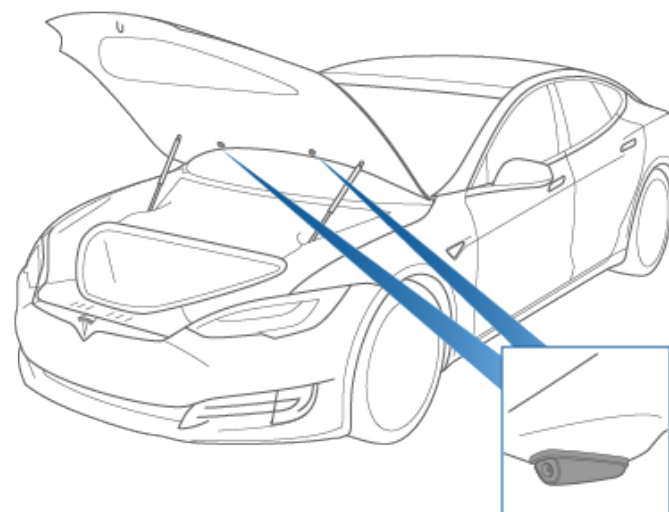
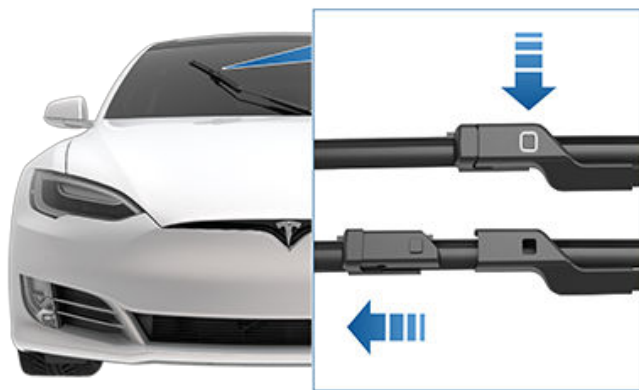
ワイパー ブレードを交換する手順は、次のとおりです。

1. パーキングにギアを入れてワイパーをオフにします。
2. 「コントロール」 > 「サービス」 > 「ワイパーサービスモード」の順にタッチして、ワイパーを交換できる位置まで動かします。
3. ワイパー アームを少し持ち上げてフロントガラスから遠ざけます。ブレードに手が届く程度に離すだけで十分です。



注意: ワイパー ブレードは持ち上がった状態ではロックされません。ワイパー アームを想定された位置以上に持ち上げないでください。

4. フロントガラスに傷やひびが生じるのを防ぐため、ワイパーアームとフロントガラスの間にタオルを挟みます。
5. アームからブレードをスライドさせるときは、ワイパーアームを持ち、ロックング タブを押します。



警告: Model S の清掃中はウォッシャーを操作しないでください。フロントガラス ウォッシャー液は眼や肌を刺激する可能性があります。ウォッシャー液メーカーからの説明書を読み、それに従ってください。

6. 新しいブレードをワイパー アームに揃え、固定されるまでアームのフック端側に向かって滑らせます。



注意: 新しいブレードが所定の位置にロックされ、動かないことを確認します。押したり引いたりして確認します。ロックされていないと（ロックされると「カチッ」と音がして感触があります）、使用中にワイパーブレードが外れて重大な損傷につながるおそれがあります。

7. 「ワイパー サービス モード」をオフにして、ワイパーを通常の位置に戻します。

ウォッシャー液噴出口を清掃する

フロントガラス ウォッシャーの位置は工場で決められており、調整の必要はありません。

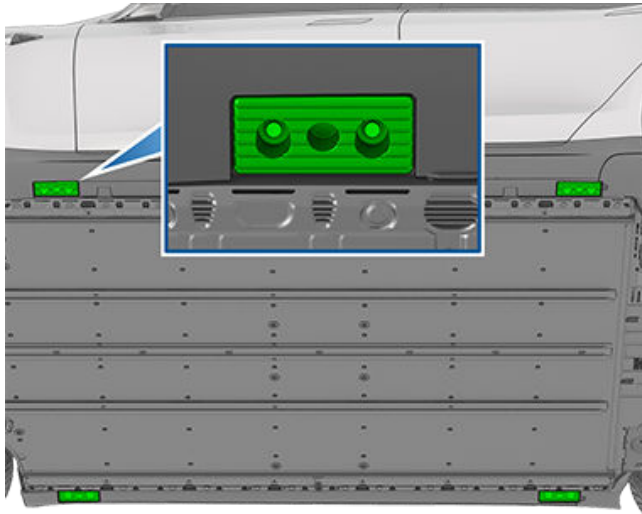
フロントガラス ウォッシャー液が噴射されない場合は、細いワイヤーでノズル内のつまりを取り除いてください。



以下の手順に従って Model S をジャッキアップします。Tesla 以外の修理施設で行う場合は、リフト ポイントおよび警告を含め、これらの指示が理解されていることを確認してください。

1. Model S をリフト ポストの間に置きます。
2. Model S にエアサスペンションが装備されている場合、車両が「スリープ」状態でタッチスクリーンの電源がオフになっていても、自動的にセルフレベルリングをします (ジャッキ モード ページ 171 を参照)。タッチスクリーンでサスペンションを以下のように設定します。
 - 「コントロール」 > 「サスペンション」 にタッチします。
 - ブレーキ ペダルを踏んでから「極高」をタッチし、サスペンションの高さを最大にします。
 - 「コントロール」 > 「サービス」 > 「ジャッキ モード」をタッチして、セルフレベルリングを無効にします。
3. リフトのアーム パッドを図に示す指定されたボディ リフトポイントの下側に当ててください。

警告: リフト アーム パッドをバッテリーの下側やサイドレールの下に配置しないでください。



4. リフトのアーム パッドの高さと位置を適切に調整します。
5. 助手に手伝ってもらいリフトを必要な高さまで上げ、リフトアーム パッドが正しい位置にとどまっていることを確認します。
6. リフトの安全ロックをかけます。リフトメーカーの説明に従ってください。
7. 車高を下げた後、「コントロール」 > 「サービス」の順にタッチしてジャッキ モードを解除します。

警告: エアサスペンション システムは、車両が「スリープ」状態でタッチスクリーンの電源がオフになっていても、自動的にセルフレベルリングしようとしてします。引き上げやジャッキ アップを行うときは、車両をジャッキ モードにしてこのシステムを無効にしておく必要があります。エアサスペンションを無効にしておかないと、Model S がセルフレベルリングを行い、重大な損傷や負傷事故、死亡事故が発生する可能性があります。

警告: 充電ケーブルを接続しているときは、たとえ充電中でなくても絶対に Model S を持ち上げないでください。

警告: 車両が正しく支持されていない状態で作業を行わないでください。重大な損傷、負傷事故、死亡事故につながる可能性があります。

注意: 車両およびその周囲を監視することは作業者の責任です。Model S を上げるまたは下げるときは、エリア内に何もいないこと、ならびにドア、フロント トランク、およびリフトゲートが必要に応じて損傷を防止するために閉じられていることを確認します。

注意: バッテリーまたはサイドレールの下から引き上げないでください。リフト アーム パッドは専用ボディ リフトポイントの下側以外には当てないでください。ここで示す位置だけが、Model S で認定されているリフティングポイントです。これ以外のポイントで引き上げようとすると、損傷が発生する可能性があります。誤ったリフト方法で Model S を損傷した場合は保証対象にはなりません。

ジャッキ モード

警告: ジャッキ モードを有効にできなかった場合、車両がセルフレベルリングを行い、損傷、けが、または死亡につながる可能性があります。

Model S にエアサスペンションが装備されている場合、車両が「スリープ」状態でタッチスクリーンの電源がオフになっていても、車両は自動的にセルフレベルリングしようとしてします。車両のジャッキアップ時やリフトアップ時は、損傷を避けるため、「ジャッキ モード」を起動してセルフレベルリングを無効にしてください。ジャッキ モードは自動的に実行されるセルフレベルリングを防止します。

注: 車両重量が何かの物体に支えられている (バンパーが縁石に乗り上げているなど) 場合など、ジャッキモードが予期せず有効になる場合があります。



部品とアクセサリー

部品、アクセサリー、改造

Tesla 正規品の部品/アクセサリーのみをお使いください。Tesla は部品に厳しい試験を実施し、その適合性、安全性、信頼性を確認しています。これらの部品は Tesla から購入してください。Tesla では、専門的な経験を積んだプロがこれらの部品の取り付けを行い、また Tesla から Model S の改造について専門的なアドバイスを受けることができます。アクセサリーは、Tesla ストアまたはオンライン (www.tesla.com) でご購入いただけます。

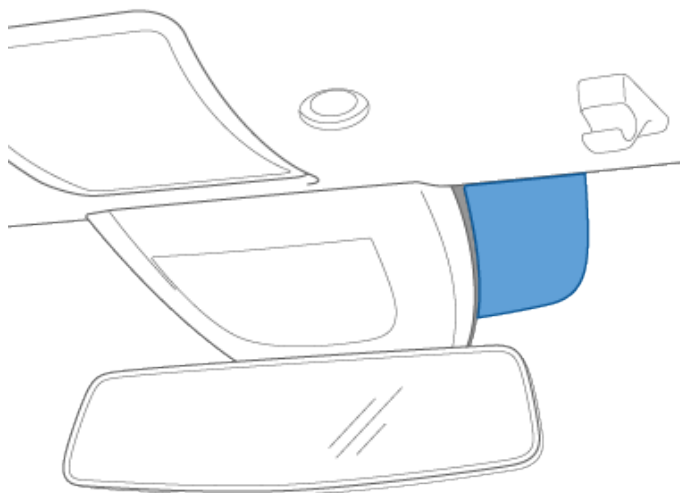
注: 車両にアクセサリーを追加すると、予想航続距離や車両寸法などが影響を受ける場合があります。

注: アクセサリーによってはお住いの地域で利用できない場合があります。

Model S に Tesla 製ではない部品を使用する場合、Tesla は他の業者が製造した部品を評価することができないため、一切責任を負いません。

⚠ 警告: 承認されていない部品およびアクセサリーの取り付け、または承認されていない改造を行うことにより、Model S の性能やその乗員の安全が損なわれる可能性があります。無認可の部品の使用または取り付け、あるいは無認可の改造によって生じた損害は、保証の対象となりません。

⚠ 警告: 無認可のアクセサリーの使用または取り付け、あるいは無認可の改造があった場合の死亡、負傷、または損害について、Tesla は一切責任を負いません。



車体の修理

Model S が衝突した場合は、必ず Tesla の純正部品で修理できるように Tesla または Tesla 認定ボディショップにご連絡ください。Tesla は、訓練、設備、仕事の質、顧客満足度などの厳しい要求水準を満たすボディショップを選定しています。

場合によっては、費用節約のため、修理業者や保険会社が正規部品以外の使用や破損した車体の中でまだ使える部品の再利用を勧めることがあります。しかし、それらの部品は品質、適合性、耐腐食性などの面で Tesla の高い基準に適合しません。また、正規部品以外の部品や再利用した部品は(それらによって生じる損害または故障とともに)保証の対象とはなりません。

RFID トランスポンダーの利用

Model S のフロント ガラスには、多くの自動料金徴収システムで使用されている RFID トランスポンダーからの信号に干渉するメタリック コーティングが施されています。製造日によって変わりますが、大半の Model S 車両では、フロント ガラスにトランスポンダーを取り付けるためのメタリック コーティングの切り欠きがあります。バック ミラー右側のこの部分がトランスポンダーを取り付ける最適な場所です。お客様の車両にこの切り欠きがない場合には、リア ウィンドウにトランスポンダーを取り付けてください。

注: 防水トランスポンダーをフロントのナンバープレート。



ワイパー ブレードやキャビン フィルターの交換、または塗装保護フィルムの取り付けといった簡単な自分でできる作業の実施方法について学びましょう。これらの手順に関する指示、アニメーションおよび動画については、<https://www.tesla.com/support/do-it-yourself-guides> を参照してください。

注: 地域や車両の設定により、一部の部品および手順については、車両に対して使用できない場合があります。<https://www.tesla.cn/support/do-it-yourself-guides> () へ移動する際は、販売地域と/言語を選択して、販売地域で入手可能な部品およびアクセサリーの最新リストを表示してください。



注意: 各手順は、乾燥した明るい場所で実施してください。安全のため、安心して操作できる場合に限って手順を実施してください。常に手順に従う必要があります。

サービス モード

Model S は、資格を持った自動車技術者が Tesla 車の診断、修理、メンテナンスを行うために使用することを目的としたサービス モードが搭載されています。サービス モードでは、車両の警告に関する詳細情報を表示したり、ブレーキのパーニッシングなどの簡単な手順を実行したりできます。

サービス モードの詳細とアクセス方法については、<http://service.tesla.com> の該当するサービス マニュアルを参照してください。



注意: サービス モードの不適切な使用は、車両の動作不能、恒久的な車両の損傷、または重大な人身事故を引き起こす可能性があります。サービス モードの使用中は、車両の速度が制限され、特定の機能 (装備されている場合はセントリー モードなどのセキュリティ 機能を含む) が無効になります。安全上の注意事項と手順については、必ず車両のサービス マニュアルを参照し、業界のベストプラクティスに従ってください。誤った方法でサービス モードを使用して車両に損傷を与えた場合は保証対象にはなりません。

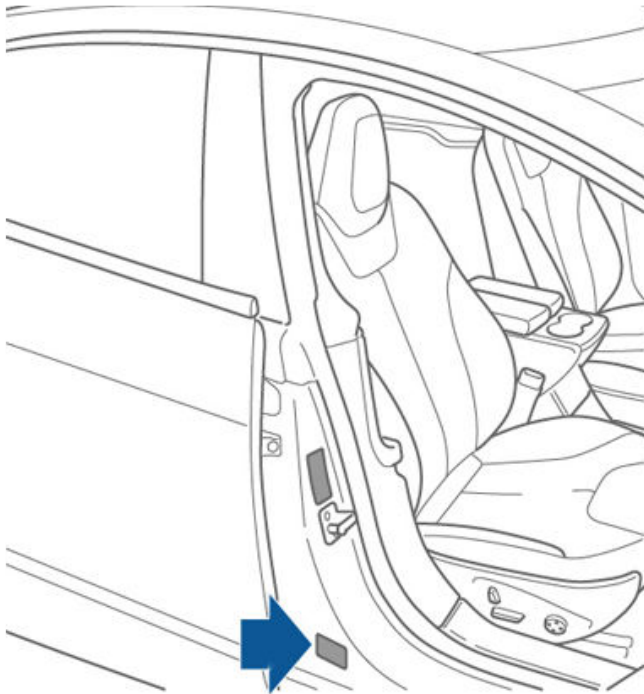


識別ラベル

車両識別番号

VIN は以下の場所に表示されています。

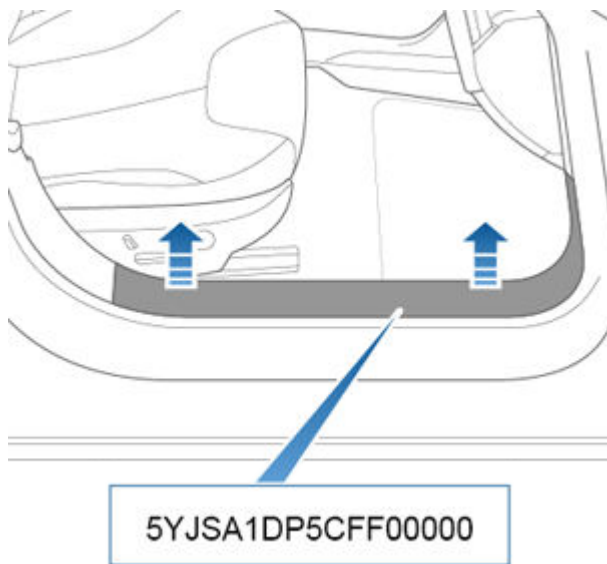
- 「コントロール」 > 「ソフトウェア」の順にタッチします。
- ダッシュボードの上にあるプレートに刻印。外からフロントガラス越しに見えます。
- ドアピラーにある法定プレートに印刷されています。前席側ドアを開くと見えます。



- 2015年8月時点で製造された車両の場合、VIN はシャーシに刻印され、運転席側ドアのシルパネルをマイナスドライバーなどで慎重に引き上げて取り外すと確認できます。



注意: 損傷の可能性があるため、VIN を見るためにシルパネルを取り除くことはお勧めしません。このパネルは、壊れやすいクリップで固定されています。シルパネルを取り除くことによって生じた損傷は保証対象にはなりません。

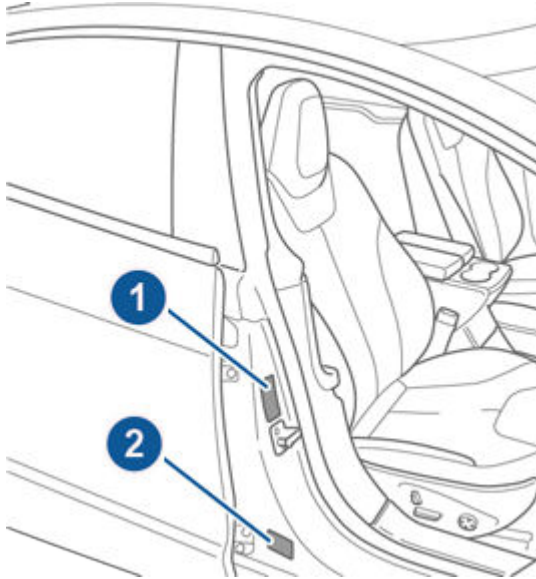


- 2015年8月以前に製造された車両の場合、VIN ラベルはフロントトランクのアンダーフード エプロンの下にありますが。



車両ラベル

車両の当初のタイヤ サイズおよび圧力、ならびに TPMLM（技術的に許容される最大ラベル質量）および TPMAM（技術的に許容される最大軸上荷重）を理解することが重要です。これらの情報は Model S に貼付されている 2 枚のラベルで確認することができます。



1. タイヤ情報ラベル

警告: Model S が過積載状態にすると、ブレーキとハンドリングに悪影響を及ぼし、安全性が低下し、車両を損傷する可能性があります。

注意: Model S に大量の液体を絶対に保存しないでください。大量の液体の流出は、電気部品の誤動作の原因になることがあります。

タイヤ情報ラベル

タイヤ情報ラベルに記載されている情報は次のとおりです。

- 車両の最大座席数。
- 元のタイヤのサイズ。
- 元のフロントおよびリアタイヤのタイヤ空気圧（冷間時）。乗り心地とハンドリング特性を最適化するため、これらの圧力が推奨されます。

将来異なるタイヤを使用しても、このラベルは変更しないでください。

注: Model S の容量一杯に積載した場合は、すべてのタイヤを確認して、空気圧が推奨圧力レベルであることを確認してください。

法定プレート

法定プレートには、車両識別番号に加えて以下が記載されています。

- TPMLM - 技術的に許容される最大積載質量。Model S の最大許容総質量。この値は、Model S、すべての乗員、液体および積載物の重量として計算されます。
- TPMAM - フロントアクスルおよびリアアクスルに対して技術的に許容される軸上の最大質量。TPMAM は各アクスルが許容できる最大分散荷重です。

注意: 損傷を防止するため、Model S に対して車両が TPMLM より重くなったり、個別の TPMAM の重量を上回るような積載を行うことは絶対に避けてください。

トレーラーの牽引

警告: Model S をけん引に使用しないでください。Model S トレーラー ヒッチに対応していません。トレーラー ヒッチを取り付けると、損傷をきたすことがあり、衝突事故につながる恐れがあります。

注意: Model S をけん引に使用すると、保証が無効になることがあります。

ルーフ ラック

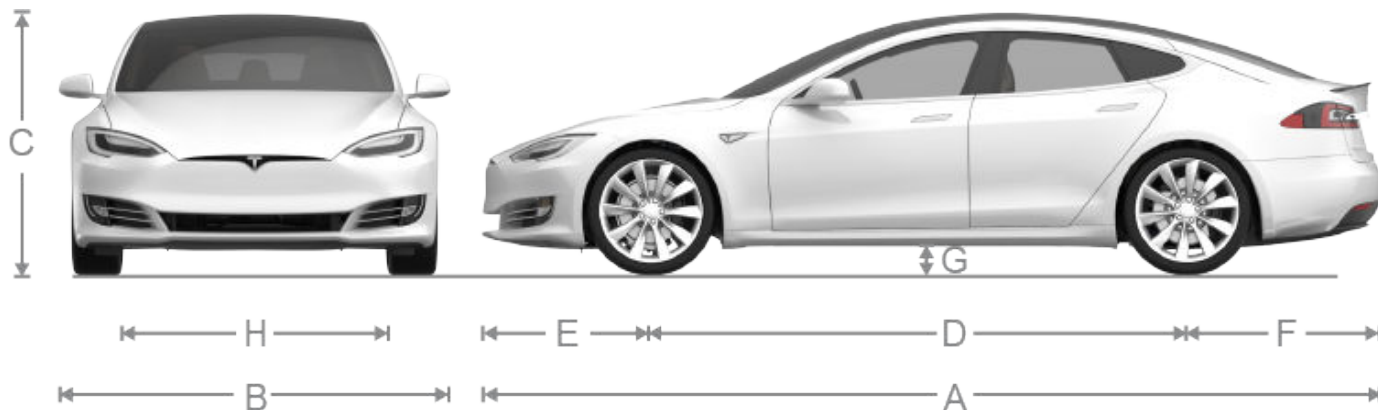
ガラス ルーフ、またはパノラミック サンルーフを装備している Model S は、Tesla 認定ルーフ ラックを使用して最大 75 kg (165 ポンド) を搭載できます（[部品とアクセサリ ページ 172](#) 参照）。ソリッド ボディ カラー ルーフを装備した Model S にルーフ ラックを装着することはできません。

注意: ソリッド カラー ルーフを装備した Model S のルーフには、ルーフラックを使用したり、荷物を載せたりしないでください。重大な損傷が生じる可能性があります。



寸法

外形寸法



A	全長	196 インチ	4,970 mm
B	全幅 (ミラー含む)	86.2 in	2,189 mm
	全幅 (ミラー含まず)	77.3 in	1,964 mm
C	全高	56.9 インチ*	1,445 mm*
D	ホイールベース	116.5 インチ	2,960 mm
E	オーバーハング - フロント	36.9 in	929 mm
F	オーバーハング - リア	42.55 in	1,081 mm
G	地上高 - コイル サスペンション (後輪駆動仕様車)	5.5 インチ*	139.7 mm*
G	地上高 - コイル サスペンション (四輪駆動仕様車)	5.3 インチ*	134.6 mm*
G	最低地上高 - エアサスペンション	4.6 - 6.3 in	116.8 - 160 mm
H	トレッド - フロント	65.4 in	1,662 mm
	トレッド - リア	66.9 in	1,700 mm

*値は概算値です。寸法は車両のオプションやその他の要因によって変わります。

**車両のトレッドは、ホイールセンターでの測定に基づいています。

⚠ 注意: 構成 (車高またはホイール選択) に応じて、車両のリフトゲートを最大で高さ約 2.3 m まで開くことができます。リフトゲートを開いたときの高さを調節 ページ 27 を参照してリフトゲートの高さを調整して、低い位置にある天井やその他の物体に当たらないようにします。

インテリア寸法

室内高	フロント リア	38.8 in 35.3 in	986 mm 897 mm
足元スペース	フロント リア	42.7 in 35.4 in	1,085 mm 899 mm

肩周りスペース	フロント リア	57.7 in 55 in	1,466 mm 1,397 mm
腰周りスペース	フロント リア	55 in 54.7 in	1,397 mm 1,389 mm

貨物量

総貨物容量（リアシートを折り畳まない状態）	28.4 立方フィート	804.2 L
リア貨物量	26.3 立方フィート	744.7 L
リア貨物量（シートを折り畳んだ状態）	58.1 立方フィート	1,645.2 L
フロント貨物容量	2.1 立方フィート	59.5 L



モータータイプ

モーター	仕様
フロント モーター	AC 永久磁石同期モーター、液冷式、可変周波数ドライブ
リア モーター	AC インダクション モーター、液冷式、可変周波数ドライブ
公称電圧	320 ボルト

最大モーター出力

トリム	位置	定格最大出力*
スタンダード レンジ	フロント リア	205 kW 210 kW
ロングレンジ	フロント リア	205 kW 210 kW
パフォーマンス	フロント リア	205 kW 375 kW

* ECE R85 に準拠したテスト済

最大モータートルク

トリム	位置	Nm
スタンダード レンジ	フロント リア	420 335
ロングレンジ	フロント リア	420 335
パフォーマンス	フロント リア	420 720

トランスミッション

トランスミッション	仕様
タイプ	単速固定ギア

トランスミッション	仕様
全体のファイナル ドライブ比	小型モーター: 9.3:1 大型モーター: 9.7:1
リバース ギア	モーター逆回転、時速 24 km まで

ステアリング

ハンドル	仕様
タイプ	可変比率ラック アンド ピニオン式電動パワー ステアリング、速度感应型
ロック ツー ロック回転数	第 2.33
最小回転半径 (最外輪外面)	40.3 フィート/12.3 m

ブレーキ

ブレーキ	仕様
タイプ	電子制御制動力配分/統合アドバンスド スタビリティー コントロール/電子アクセラレーター ペダル作動回生ブレーキ システム付き 4 輪アンチロック ブレーキ システム (ABS)
ローター径 (ベンチレーテッド)	フロント: 13.98"/355 mm リア: 14.37"/365 mm
フロント ローター厚	新品: 1.26"/32 mm サービス限界: 1.18"/30 mm
リア ローター厚	新品: 1.10"/28 mm サービス限界: 1.02"/26 mm
フロント ブレーキ パッド厚 (ブレーキ プレートを除く)	0.346 インチ/8.8 mm
リア ブレーキ パッド厚 (ブレーキ プレートを除く)	0.354"/9 mm
パーキング ブレーキ	電気式作動パーキング ブレーキ キャリパー
ブレーキ ディスク摩擦ペア	フロント: .31"/8 mm リア: .28"/7 mm

サスペンス

サスペンス	仕様
前	独立、ダブルウィッシュボーン、エア スプリングまたはコイル スプリング/テレスコピック ダンパー、スウェイ バー
リア	独立、マルチリンク、エア スプリングまたはコイル スプリング/テレスコピック ダンパー、スウェイ バー (エア サスペンション車のみ)



バッテリー - 低電圧

バッテリー - 低電圧	仕様
定格	33 アンペア時以上
電圧と極性	低電圧 マイナス (-) アース

バッテリー - 高電圧

バッテリー - 高電圧	仕様
タイプ	液冷式リチウム イオン (Li-ion)
公称電圧	DC 350 V
温度範囲	Model S を 60° C を越える温度環境または -30° C を下回る温度環境に、24 時間を超える期間連続して放置しないでください。



ホイール仕様 (工場出荷時)

ホイールの種類	位置	規模	オフセット
19"	前	19 x 8.0J	40 mm (1.575 インチ)
19"	リア	19 x 8.0J	40 mm (1.575 インチ)
19"	前	19 x 8.5J	35 mm (1.378 インチ)
19"	リア	19 x 8.5J	35 mm (1.378 インチ)
21 インチ	前	21 x 8.5J	40 mm (1.575 インチ)
21 インチ	リア	21 x 8.5J	40 mm (1.575 インチ)
21" Performance Plus 車両	リア	21 x 9.0J	40 mm (1.575 インチ)
ラグナットトルク			129lb ft (175Nm)
ラグナットソケットサイズ			21 mm

注: Model S をジャッキアップする方法については、[ジャッキ アップと引き上げ ページ 171](#) を参照してください。

タイヤ仕様 (工場出荷時)

タイヤの種類	位置	規模
19 インチ ホイール	フロント/リア	P245/45R19
21 インチ ホイール	フロント リア	P245/35R21 P265/35R21*
*パフォーマンス四輪駆動仕様車のリア タイヤの幅は、製造年月日によって異なる場合があります。一部の車両にはフロント、リアの双方に P245/35R21 タイヤが装備されている場合があります。センター ドア ピラー上にあるタイヤ情報ラベルの情報を参照してください。これは、運転席側ドアを開くと確認することができます。		
適切なタイヤ空気圧は、装備されているタイヤの種類によって異なります。「タイヤ情報」ラベルに印刷されたタイヤ空気圧を参照してください (タイヤ空気圧の保守 ページ 160 参照)。		
冬用タイヤは、Tesla サービスセンターで購入できますが、Tesla ウェブサイトで購入できる場合もあります。		



ホイールとタイヤ

タイヤのマーキングについて

タイヤ メーカーは、標準化された情報をタイヤのサイドウォールに記載することを法律で義務付けられています。これらは、タイヤの特性を含むさまざまな情報を表示します。

注: 各種イラストは、コンセプトの理解の促進のみを目的としています。購入された車両の構成や市場地域によって、デザインが異なる場合があります。



1. **タイヤの分類:** P は乗用車用のタイヤであることを示しています。
2. **タイヤ幅:** この 3 桁の数字は、タイヤのサイドウォールの端から端までの幅をミリ単位で表した値です。
3. **アスペクト比:** この 2 桁の数字は、トレッド幅に対するサイドウォールの高さの比をパーセントで表示したものです。したがって、トレッド幅が 205 mm でアスペクト比が 50 であれば、サイドウォールの高さは 102 mm です。
4. **タイヤの構造:** R はタイヤの構造がラジアル プライであることを示しています。
5. **ホイール径:** この 2 桁の数字はホイール リム径をインチ単位で示したものです。
6. **荷重指数:** この 2 桁または 3 桁の数字は、タイヤ 1 本で支えることのできる重量です。この数字は記載されていないことがあります。



7. **速度記号:** 記載されている場合は、タイヤを長期にわたって使用できる最高速度 (マイル毎時) を示します。Q=99 mph (160 km/h)、R=106 mph (170 km/h)、S=112 mph (180 km/h)、T=118 mph (190 km/h)、U=124 mph (200 km/h)、H=130 mph (210 km/h)、V=149 mph (240 km/h)、W=168 mph (270 km/h)、Y=186 mph (300 km/h)、(Y)=車両の最高速度 (「Y」の定格を上回る)。
8. **タイヤの構成と材質:** トレッド エリアとサイドウォール エリアの両方のプライ数は、タイヤを構成するゴム被覆材料の層の数を示しています。使用されている材料の種類に関する情報も表示されています。
9. **最大タイヤ荷重:** タイヤで運搬できる最大荷重。
10. **最大許容タイヤ空気圧:** 通常の運転でこの空気圧を使用しないでください。
11. **米国運輸省タイヤ識別番号 (TIN)。** 先頭の文字「DOT」は、タイヤがすべての米連邦基準に適合していることを示します。それに続く 2 桁の文字はタイヤが製造された工場を表す記号であり、末尾の 4 桁は製造された週と年を表しています。たとえば、1712 は 2012 年の第 17 週を表しています。その他の番号は、メーカーが任意に決めている販売記号です。タイヤの欠陥に伴うリコールを行う際には、この情報を利用して消費者に連絡することができます。
12. **トレッド磨耗等級:** この数字はタイヤの磨耗等級を示します。グレードが高いほど耐磨耗性に優れていることを示します。たとえば、等級 400 のタイヤは、等級 200 のタイヤの 2 倍の耐磨耗性があります。
13. **トラクション等級:** タイヤが濡れた路面で停止する能力を示します。タイヤのグレードが高いほど、車を停止するまでの距離が短くなります。トラクションのグレードは、高い順に AA、A、B、C です。
14. **温度等級:** タイヤの熱に対する耐性が A、B、C に等級分けされており、A が最も高い耐性を示します。この等級分けは、速度および荷重の限度内で正しい空気圧のタイヤを使用することを前提としています。



車両輸送者向け注意事項

ホイールを接地させた状態で輸送しないでください

Model S に搭載されるフロントモーターはホイールが回転すると発電します。Model S を輸送する時は必ず 4 輪とも地面から離してください。輸送中はタイヤが回転しないことを確認してください。

⚠ 警告: タイヤが回転してしまうような状態では絶対に車両の輸送を行わないでください。重大な損傷または過熱につながる恐れがあります。まれにはありますが、極度に加熱すると周りのコンポーネントに引火する恐れがあります。



Tesla が指定している以外の方法で Model S の輸送を行わないでください以下のセクションに示す指示に従い、記載されるすべての警告および注意事項を厳守してください。誤った方法で輸送中に発生した車両の損傷は保証対象にはなりません。

注: Tesla では、Tesla ロードサイドアシスタンスによる出動ではないサービスの料金を返済する義務や責任を負いません。

認定された輸送方法

注: 車両を輸送するために平ボディトラックにウィンチを使って積載する際、または駐車位置から車両を移動させる必要がある場合は、低速 (5 km/h 以下) でごく短距離 (10 メートル) であればけん引モードを有効にしている限り ([有効けん引モード ページ 185](#) 参照) タイヤを回転させることができます。これに従わないと、車両に保証の対象とならない重大な損傷および過熱を与える恐れがあります。

Model S の輸送に推奨されるのは、平ボディトラックまたは同等の輸送車両です。平ボディトラック使用時は、前後どちらの方向で載せても構いません。



平ボディトラックを使用しないで Model S を輸送する必要がある場合は、タイヤスケートを使用してタイヤを地面から離してから輸送を開始してください。この方法は時速 55 km 以下で行い、絶対にタイヤスケートの製造元が指定する制限速度を超えてはなりません。この方法を使用する場合は、フロントタイヤを浮かせて、リヤタイヤにタイヤスケートを履かせて車両を前向きすることを Tesla は推奨します。

注: フロントホイールをタイヤスケートに載せて Model S を輸送することは推奨されませんが、ホイールロックなどを使用してフロントタイヤを固定しタイヤが回転しないよう細心の注意を払って実施できる場合はこれに限りません。フロントタイヤが回転する恐れがある状況では絶対に車両の輸送を行わないでください。



⚠ 注意: 平ボディトラックに Model S をウィンチで載せる前に、けん引モード ([有効けん引モード ページ 185](#) 参照) を有効にしてください ([平ボディトラックに引き上げて積載する - けん引用アイボルト使用 ページ 185](#) 参照)。けん引モードが使用できない、またはタッチスクリーンが利用できない場合は、必ずセルフローディングドリーまたはタイヤスケートを使用して、認定された輸送位置に車両を積載してください。Tesla は、セルフローディングドリーまたはタイヤスケートを使用した Model S の輸送が原因となる、個人財産の損害などのいかなる損害についても責任を負いません。

⚠ 警告: Model S には、衝突により損傷する可能性のある高電圧コンポーネントが取り付けられています ([高電圧コンポーネント ページ 143](#) 参照)。Model S を輸送する前に、必ずコンポーネントが通電されている前提で作業することが重要です。緊急対応する専門業者が車両の安全を確認しすべての高電圧システムに電圧がかかっていないことを正確に確認するまで、必ず高電圧安全注意事項 (個人保護具の着用など) に従ってください。これらを怠ると重大な事故につながる恐れがあります。

セルフレベルリング エアサスペンションシステムの無効化

Model S にエアサスペンションシステムが搭載されている場合、電源がオフのときでも自動的にセルフレベルリングします。損傷を防止するため、ジャッキモードにしてセルフレベルリングを無効にする必要があります。

1. タッチスクリーンで「コントロール」>「車高」の順にタッチします。
2. ブレーキペダルを踏み、「非常に高い」にタッチして高さを最大にします。
3. 「コントロール」>「サービス」>「ジャッキモード」の順にタッチします。

注: 走行速度が時速 7 km を超えた場合、ジャッキモードはキャンセルされます。



⚠ 警告: エアサスペンションシステムが搭載された車両の場合、ジャッキモードを有効にしないと輸送中に車両が緩む可能性があり、重大な損傷を引き起こす危険があります。

有効 けん引モード

けん引モード Model S を平ボディトラックにウィンチで巻き上げる際に、パーキングブレーキを解除します。けん引モードを有効にすると、車両がけん引モードに進入するための要件を示す確認ポップアップが表示されます。けん引モードが有効になると、Model S はフリーローリングのままになります。けん引モードを有効にするには以下が必要です。

- 車両が充電器に接続されていないことを確認します。けん引モードは、Model S にプラグが挿入されている場合使用できません。
- Model S はキーを検出しなければなりません。けん引モードは、キーが検出されている時のみ有効となります。
- パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
- ブレーキペダルを踏み、維持します。
- Model S 低電圧電源が必要です。車両に低電圧電源がない場合は、タッチスクリーンを使用してけん引モードを有効にするために、低電圧システムのジャンプスタートを試みてください（[車両に電力供給がない場合 ページ 186](#) を参照）。

けん引モードを有効にするには：

1. 車両がパーキングになっていることを確認します。
2. タイヤに輪留めをかける、または Model S が固定されていることを確認してください。
3. ブレーキペダルを踏み込んだまま、タッチスクリーンで「コントロール」>「サービス」>「けん引」の順にタッチします。タッチスクリーンには、Model S の正しい輸送方法を促すメッセージが表示されます。
4. [けん引モードに入ります] をタッチします。ボタンが青色に変わって、Model S がけん引モードであることを示します。Model S はブレーキが解除され、短い距離を押して動きます（歩行する速度以下）またはウィンチで（平ボディトラックなどに）引き上げることができます。

けん引モードをキャンセルするには、「輸送モードを終了します」をタッチするか、Model S をパーキングにシフトします。電話キーが検出されない場合、けん引モードをキャンセルすると、Model S の電源がオフになります。車両の再始動にはカードキーが必要な場合があります。

注: けん引モードが有効になった後に Model S が低電圧電源を失った場合、けん引モードはキャンセルされます。

⚠ 注意: 電気系統が故障している場合、タッチスクリーンを使用してけん引モードを有効にすることができないため、セルフローディング ドリーまたはタイヤスケートを使用します。車両をドリーに積載する前に、必ずドリーの製造元による仕様および推奨積載重量を確認してください。

平ボディトラックに引き上げて積載する - けん引用アイボルト使用

1. けん引用アイボルトを見つけます。
2. けん引用アイボルト カバーの上部にあるスロットに小さなマイナスドライバーを差し込み、ゆっくりと引いて上部の留め具からカバーを外します。



注: けん引用アイ カバーは牽引が終わって再度取り付けるまで大切に保管してください。

3. けん引ボルトをしっかりと挿入し、確実に固定されるまで反時計回りに回します。



4. けん引ボルトにウィンチ ケーブルを取り付けます。



車両輸送者向け注意事項



注意: 引く前に、けん引用アイボルトがしっかりと締まっていることを確認します。

- けん引モードを有効にするは、「コントロール」 > 「サービス」 > 「けん引」の順にタッチしてください。
- Model S をゆっくりと平ボディトラックの上に乗せてください。

平ボディトラックに引き上げて積載する - けん引用アイボルトがない場合



注意: 損傷を避けるために、車両を平ボディトラックに引き上げるときは、適切に取り付けられたけん引アイを使用してください。シャーシ、フレーム、またはサスペンションコンポーネントを使用して引っ張ると、車両を損傷する恐れがあります。



警告: けん引ボルトを使わずに車両を平ボディトラックに引き上げる場合、車両を再び走行させる前に、すべてのサスペンションのファスナーが適正なトルクで締め付けられているか点検し、すべてのコンポーネントに損傷がないか目視点検してください。ファスナーが緩んでいた場合、または損傷が見つかった場合は、影響のあるコンポーネントを交換してください。

前章で説明された通り、ウィンチを車両に接続する際はけん引用アイボルトを使用することが強く推奨されます。しかし、けん引用アイボルトが使用できない場合（損傷、喪失など）、次の説明通りにけん引用ストラップを取り付けてください。

- 車両前部の下、それぞれのロアー サスペンション アームのけん引用ストラップを取り付けます。



- アンダーボディを損傷しないよう保護できるもの（木材など）をけん引用ストラップとアンダーボディの間に設置してください。
- けん引モードを有効にするは、「コントロール」 > 「サービス」 > 「けん引」の順にタッチしてください。
- Model S をゆっくりと平ボディトラックの上に乗せてください。

タイヤの固定

8 点留めタイダウン法で車両を固定する必要があります。

- 固定用ストラップの金属部品が、車輪の塗装面または面に接触しないようにしてください。
- ボディパネル上または車輪内に固定用ストラップを置かないでください。



注意: 固定用ストラップを車両ボディのシャーシ、サスペンション、その他の部品に取り付けると、車に損傷を与える可能性があります。



車両に電力供給がない場合

Model S に低電圧電源から電力の供給がない場合、以下の手順でボンネットを開くかまたは低電圧バッテリーでジャンプスタートします。

- フードを開きます。車両に電力がない場合にフードを開くための詳細情報については[電源がない状態でフードを開ける ページ 189](#)を参照してください。
- 低電圧バッテリーをジャンプスタートさせます（[ジャンプスタート ページ 190](#)を参照）。

注: けん引業者: 車両を充電スタンドまで輸送して、充電準備をするための詳細情報については[電力切れ ページ 188](#)を参照してください。



Tesla ロードサイドアシスタンスは、保証期間中に限り年中無休で 24 時間いつでもご利用いただけます。Tesla ロードサイドアシスタンスでは、あらゆるご質問に回答し、車両の輸送手順をご案内する、ロードサイドプロフェッショナルに問い合わせることができます。

Tesla ロードサイドアシスタンスにご連絡される場合は、次の情報を予めご準備ください。

- 車両識別番号 (VIN)。「コントロール」>「ソフトウェア」にタッチすると VIN が表示されます。運転席側のフロントガラスからのぞき込むことでも、VIN を確認できます。
- お客様の現在地。
- 故障・問題の性質。

地域でご利用いただける場合は、Tesla モバイルアプリの「ロードサイドアシスタンス」オプションを選択すると、さらに素早く要求の提示ができます。

注: Tesla のロードサイドアシスタンスポリシーに関する詳細な説明は、お客様の地域の Tesla ウェブサイトにあるサポートページを参照してください。

国別電話番号

日本: [0120-312-441](tel:0120-312-441)

注: 「コントロール」> 「サービス」をタッチしても電話番号は確認できます。



電力切れ



注意: 高電圧バッテリーの状態および車両の残りの航続距離を監視することは、ドライバーの責任です。インストゥルメントクラスターに表示される航続距離が 0 km (または 0%) であるときに、使用できる航続距離があると仮定しないでください。航続距離を超えて走行したことによる低電圧バッテリーへの損害は、保証の対象外になります。

注: 走行中に万が一、電力切れになった場合、安全であれば、車両を路肩に寄せ、[Tesla ロードサイド アシスタンス ページ 187](#) または希望するけん引業者に連絡してください。

Model S が電力切れになった場合、低電圧バッテリーはサポートされなくなり、低電圧がサポート対象ではない場合、その車両を充電することはできません。そのため、低電圧バッテリーは高電圧 (HV) バッテリーの充放電が可能な外部の充電器でサポートされている必要があります。車両が充電を開始すると、外部充電器は不要になります。

充電器から離れた場所で電力切れを起こした場合、けん引業者は Model S を最寄りの充電スタンドまで輸送して、充電器のケーブルの届く範囲内に車両を降ろす必要があります。車両を充電器の近くに配置したら、次の指示に従ってください。

注: 車両を充電器まで輸送している場合、車両の高電圧バッテリーが充電されていることを確認するまでけん引業者が立ち去らないようにしてください。

1. 低電圧バッテリーをジャンプスタートさせます ([ジャンプスタート ページ 190](#) を参照)。低電圧バッテリーは、高電圧バッテリーをサポートするためにジャンプスタートさせる必要があります。
2. 数分待ちます。タッチスクリーンの電源がオンになったら、充電器ケーブルを Model S に挿入して、高電圧バッテリーの充電を開始します。
3. Model S が充電を開始したら、低電圧バッテリーをサポートしている外部充電器をバッテリーから取り外します。

Tesla 以外の充電器に移動する前に、使用する特定のタイプの充電ステーションに対応するアダプターが車両に装備されていることを確認してください。Tesla 以外の充電器でも、充電を開始する前に低電圧システムをジャンプスタートさせる必要があります。



注意: ドライブの際や長期間保管する際は、Model S に十分な航続距離が残っていることを必ず確認してください。タッチスクリーンやモバイル アプリの航続距離予測をあてにしすぎないでください。外気温、運転動作、風、車両設定 (セントリーモードなど) によって航続距離の減少が予測よりも早まる可能性があります。

注: 航続距離の問題による車両のけん引は補償の対象になりません。



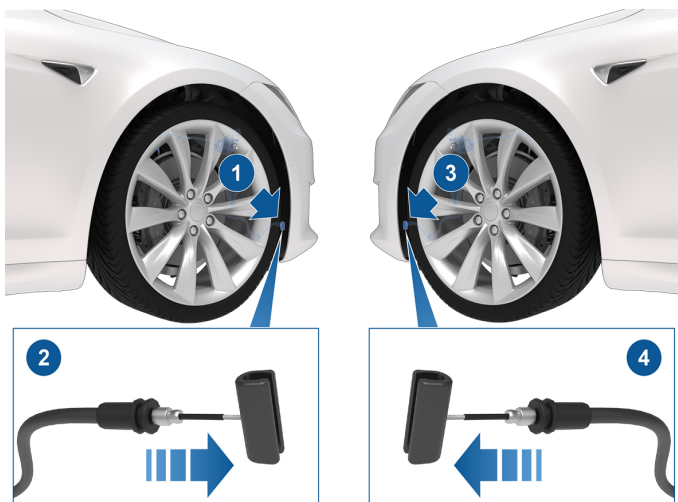
電源がない状態でフードを開ける

この手順は 2016 年 4 月ごろ以降に製造された Model S 車両を対象としています。2016 年 4 月ごろよりも前に製造された車両については、『DIY ガイド』の「電源がない状態でフードを開ける」を参照してください

Model S が電源が切れた状態になった場合、またはタッチスクリーンやキーを使ってフロントトランクを開けられない場合は、フロントトランクを手動で開く必要があります。

車両の両方の前輪のフロント ホイール アーチ ライナーに収納されているリリース ケーブルを探します（合計で 2 本のリリース ケーブルがあります）。以下の指示に従ってフロントトランクを手動で開きます。

1. 右側フロント ホイール ウェルのカバーを緩めます。
2. ストラップを引っ張って、プライマリー ラッチを外します。
3. 左側フロント ホイール ウェルのカバーを緩めます。
4. ストラップを引っ張って、セカンダリー ラッチを外します。
5. これでフードは開きます。セカンダリー ラッチに対して掛かる力を解除するには、フードを少し押し下げる必要がある場合もあります。



注: このストラップは正しい順序で引くことが重要で、間違えるとラッチが解除してくれず、フロント トランクが開きません。

この方法でフロント トランクを開ける際には、ラッチは開位置のままになり、電源がないとそれを閉じることはできなくなります。マニュアル ストラップを引いて開けたフロント トランクを閉めるには次のようにします。

1. 低電圧バッテリーを充電します（その方法についてはテスラにお尋ねください）。
2. タッチスクリーン上の**フロント トランク**ボタンを押し、プライマリー ラッチとセカンダリー ラッチをリセットします。



ジャンプスタート

以下の説明では、外部低電圧電源（ポータブル ジャンプスターなど）を使用していることを想定しています。他の車両を使用して Model S をジャンプスタートさせるときは、その車両のメーカーの取扱説明書を参照してください。



注意: Model S 他の車両のジャンプスタートに使用することはできません。故障の原因となることがあります。



注意: Model S のジャンプスタート時に短絡させないでください。誤ったジャンプポストにケーブルを接続したり、リード同士を接触させたりすると、Model S が損傷する可能性があります。

次の手順を実行します:

外部電源を所有していることを確認します。フードを開いた後に次を行ないます。

1. メンテナンス パネルを取り外します。
2. プラス (+) およびマイナス (-) のジャンプ ポストの場所を確認します。
3. 赤色のプラス側ジャンプポストからカバーを外し、低電圧電源の赤色のプラス側ケーブルを赤色のプラス側ジャンプポストに接続します。
4. 低電圧電源の黒色マイナス (-) ケーブルを車両に接続します。
5. 外部電源をオンにします（製造元の取扱説明書を参照）。タッチスクリーンをタッチして起動します。
注: タッチスクリーンに十分な電力を供給するまで数分程度かかる場合があります。
6. 外部低電圧電源を使用する必要がなくなった場合、両方のケーブルを、黒色のマイナス側ケーブルから先に外します。
7. 低電圧バッテリーの上部で、コネクタハウジングを電気コネクタに押し込んで、電気コネクタを低電圧バッテリーに接続します。
8. 低電圧バッテリーの上部で、電気コネクタをコネクタハウジングに接続しているロックタブを押し込みます。
9. メンテナンス パネルを元の位置に合わせて固定されるまで押し付けながら取り付けてください。
10. フードを閉じます。

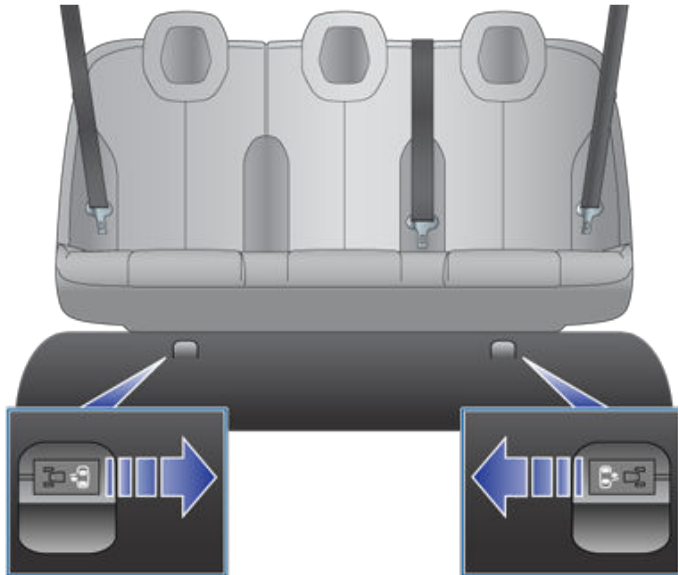


電力がない状態でフロント ドアを開く

Model S の電源が切れている場合、フロント ドアは通常どおり内部ドアハンドルで開きます。

電力がない状態でリア ドアを開く

万が一、Model S の電力がない場合、リア ドアを開くためには、後部座席の下にあるカーペットの端を後方に折りたたんでメカニカルリリース ケーブルをむき出しにします。メカニカルリリース ケーブルを車両中央に向けて引きます。



⚠ 注意: 手動ドア リリースは、Model S の電力がない場合に限って使用することを想定して設計されています。Model S に電力が供給されているときは、通常どおり室内ドアハンドルを使用してください。



水没車両に関するガイドンス

洪水や悪天候により車両が水没する可能性があります。Tesla では、車両が水没する危険性がある場合や、車両が水没した場合に備えてドライバーが方策を用意しておくことを求めています。

推奨事項を確認することで、万が一車両が水没した場合に備え、水没車両の扱い方を知り、利用可能な方策を見つけることができます。

洪水に備えるためのベスト プラクティス

水没する事態が予測されているときに、あらかじめ車両を安全に移動しておくことのできる場合、Tesla では Model S を危険がない場所やより高い場所に移転することを推奨しています。充電設備に影響が及ぶ可能性を考慮して、Tesla ではあらかじめ車両を 100% まで充電することを推奨しています。

車両を洪水の可能性のない場所まで移動することができない場合は、損害を防止するのに役立つ可能性のある以下のベストプラクティスを検討してください。

- 充電器のプラグを車両から確実に抜く。
- 蓄電状態を下げる。このためには、事前に車両を運転してプラグを抜いたままにするか、空調をオンにするか、または車両のタッチスクリーンまたは Tesla モバイルアプリを使用して「**空調 ON のまま**」を有効にします（[空調を操作する ページ 124](#) を参照）。これは、車両が水没した場合に充電率をできる限り低くするためです。
- エアサスペンション（装備されていれば）を変更し、車両の地上高を「**高**」または「**最高**」まで上げてから、車両を離れます。
- ジャッキスタンド、シリンダーブロック、スロープなどで車両の位置を高くすることで、高電圧バッテリーが洪水時の水面よりも上になるようにします。セルフレベルングによる損傷を防ぐために、エアサスペンション（装備されている場合）を使用した[**ジャッキモード**]を有効にします（[ジャッキアップと引き上げ ページ 171](#) 参照）。
- Model S に自動車用防水カバーまたは洪水からの車両保護に対応した、それと同等の製品を被せておきます。

水没車両の取扱い

お持ちの車両が電気自動車であれ、内燃機関車両であれ、長時間水没していた場合にすべきことを知っておきましょう。



警告: 火災、発煙、キーという音やシャーという音、または車両からの放熱に気付いた場合、その場から離れ、速やかに最寄りのファーストレスポnderに連絡してください。

車両が水没状態から脱し、安全に近づけるようになったら、以下の手順に従ってください。

1. 車両を事故の場合と同様に取扱い、保険会社に連絡します。
2. 認定工場による検査が完了するまでは車両を運転しないでください。あなたが Tesla 車のオーナーである場合、Tesla サービスで点検の予定を組むことができます。

3. 車両を安全にけん引して、他の車両や個人資産などの燃えやすい素材または構造から 15 m 以上離します。
 - Tesla オーナーは、当社からのけん引支援を要望することができます。詳細情報については、[Tesla ロードサイドアシスタンスに連絡する ページ 187](#) を参照してください。
 - 安全にけん引する方法や車両を移動する方法については [車両輸送者向け注意事項 ページ 184](#) を参照してください。



app_w009

自動緊急ブレーキ使用不可 次のドライブで機能が回復する可能性

このアラートの意味:

自動緊急ブレーキ機能は、現在のドライブの残りの部分では使用できません。この警告は、他のブレーキ機能が使用できないことを具体的に示すものではありません。

このアラートはいくつかの理由で表示される可能性があります。自動緊急ブレーキを使用できない状態の場合は、他の警告が表示されることがあります。

対応策:

通常特に対応は必要ありません。通常、次のドライブを開始すると、自動緊急ブレーキが再び使用可能になります。

アラートが何度も続く場合、または運転するうちに発生頻度が高くなる場合は、早急に修理を依頼されることをお勧めします。

詳細な情報は、[衝突回避アシスト ページ 111](#) を参照してください。

APP_w048

オートパイロットは一時的に使用できません 次回運転時に機能が再起動されます

このアラートの意味:

オートパイロット 機能をお客様の車両で現在使用することができません。車両の構成に応じて、無効となるオートパイロット機能には次が含まれます。

- オートステアリング
- トラフィックアウェア クルーズコントロール
- 自動緊急ブレーキ
- 正面衝突警告
- 車線逸脱警告

対応策:

このアラートはいくつかの理由で設定される可能性があります。この状態の原因を示す追加アラートがないか確認してください。

通常オートパイロット機能は次回走行時に回復します。このアラートが今後の走行でも継続的に発生する場合は、早急にサービスを予約してください。

詳細およびオートパイロット機能の完全なリストについては、[関連事項 オートパイロット ページ 85](#) を参照してください。

APP_w207

オートステアリングは一時的に利用できません

このアラートの意味:

オートステアリング は一時的に使用できません。これは以下の外部要因などによる一時的な状況である可能性があります。

- 車線の境界線がないまたは薄くなっている。
- 極端にせまい道や曲がりくねった道を運転している。
- 雨、雪、霧、その他の気象によって視認性が低くなっている。
- 外気温度が極端に高いまたは低い。



トラブルシューティングのアラート

- 対向車のヘッドライトや直射日光などの明るい光が当たっている。

このアラートは、オートステアリングが有効な場合のオートステアリングに対する最大速度制限を超過している場合にも表示されます。この場合、そのまま運転してもオートステアリングが再び有効になることはありません。

対応策:

引き続き目的地まで向かってください。オートステアリングを目的地に到着するまでそして次回車両を使用しているときに利用できない場合は、次について点検してください。

- 泥、氷、雪などの環境要因により損傷または障害物が発生している
- 自転車ラックのような物体が車両に取り付けられ、障害となっている
- 塗料、またはラップ、ステッカー、ラバー コーティングのような粘着性物質など障害物が車両に付けられている
- バンパーが損傷している、または位置がずれている

明らかな障害物がない場合、または車両の損傷を見つけた場合、都合のよいときにサービスを予約してください。その間は車両を運転することに問題はありません。

詳細な情報については、[オートステアリング ページ 92](#) を参照してください。

APP_w218

オートステアリング制限速度を超えています ハンドル操作を引き継いでください

このアラートの意味:

オートステアリング は、車両がドライビングアシスト機能の最高速度制限を超えたため利用できません。

対応策:

すみやかにハンドルを自分で操作して目的地まで運転してください。

多くの場合、そのまま運転してもオートステアリングが再び有効になることはありません。オートステアリングをリセットするには、車両を完全に停止して、パーキングにシフトします。次の目的地に向かう移動のためにドライブにシフトすると、オートステアリングは再び使用可能になります。

次の走行時にオートステアリングが引き続き有効にならない場合は、ご都合のよいときにサービスを予約してください。その間は車両を運転することに問題はありません。

詳細な情報については、[オートステアリング ページ 92](#) を参照してください。

APP_w221

クルーズコントロール利用不可 フロントレーダーの視認性が低下

このアラートの意味:

トラフィックアウェア クルーズコントロール とオートステアリングは、車両のフロント バンパー部分にあるレーダーの視程がまったくないか、ほとんどないため利用できません。

これは、雪、氷、ほこり、泥などの要因で引き起こされる一時的な障害です。

対応策:

引き続き目的地まで向かってください。車両を運転しても問題はありません。トラフィックアウェア クルーズコントロール とオートステアリングは、レーダーの十分な視程が得られない限り引き続き使用できません。

運転中ずっと警報が解消されない場合、次の運転を予定する前にフロント バンパーを点検して障害を解消してください。車両の該当部分からの汚れや異物の除去に関する詳細情報については、[カメラのクリーニング ページ 165](#) を参照してください。



レーダーがあるフロント バンパーに障害物がないのに、その後の運転でもこのアラートが解消しない場合は、できるだけすみやかにサービスを予約してください。その間は車両を運転することに問題はありません。

APP_w222

クルーズコントロール利用不可 フロントカメラの視認性が低下

このアラートの意味:

トラフィックアウェア クルーズコントロール とオートステアリングは、車両の 1 台以上のフロント カメラが外部条件で妨害されているか視界を遮られているため無効です。

トラフィックアウェア クルーズコントロール とオートステアリングは、フロント カメラの十分な視程が得られない限り引き続き使用できません。以下の原因によりカメラの視界が制限されている場合や確保できない場合があります。

- カメラ表面の汚れまたはごみ。
- 雨、霧、雪、露などの環境的条件。
- 日光または別の光源による眩しい光。
- 照明不足または照明の制限された状態（夜間の照明のないまたは不十分な照明の道路を含む）。
- カメラ表面の結露（水滴または霧）。
- トンネル壁面や高速道路分離帯など、単調な周囲状況。

対応策:

引き続き目的地まで向かってください。車両を運転しても問題はありません。

これはしばしば独自でクリアされる一時的問題になります。走行終了時までにそのアラートがクリアされない場合:

- 次回の計画した走行の前にフロント ガラスの上部中央にあるフロント カメラの領域を点検して清掃する。
- カメラ表面に結露、ほこり、あるいはその他ちりがいないか確認し、障害物は取り除いてください。

車両の該当部分からの汚れや異物の除去に関する詳細情報については、[カメラのクリーニング ページ 165](#) を参照してください。

フロント カメラのエンクロージャ内部の結露は完全に拭き取ることができませんが、通常は、以下の手順で簡単にクリーニングを行えます。

1. 温度を高に設定し、A/C をオンにして車内の空調を入れます。
2. 前方の霜取り装置をオンにします。

フロント カメラで障害物が見えないのに、その後の運転時にもこのアラートが解消されない場合は、できるだけすみやかにサービスを予約してください。その間は車両を運転することに問題はありません。

APP_w224

クルーズコントロール利用不可 カメラ補正のため運転を続けてください

このアラートの意味:

トラフィックアウェア クルーズコントロール とオートステアリングは、車両のカメラのキャリブレーションが不十分なため利用できません。

トラフィックアウェア クルーズコントロールおよびオートステアリングなどの機能が有効なとき、車両は高精度で動作する必要があります。初めてこれらの機能を使用するときは、事前に、カメラの初期セルフキャリブレーションを実施する必要があります。場合によっては、1 台以上のカメラがキャリブレーションなしで使用されることがあります。

対応策:



トラブルシューティングのアラート

引き続き目的地まで向かってください。車両を運転しても問題はありません。

トラフィックアウェア クルーズコントロール およびオートステアリングは、カメラのキャリブレーションが完了するまで使用できません。

キャリブレーションが完了すると、トラフィックアウェア クルーズコントロールとオートステアリングが使用可能になります。

利便性のために、プログレス インジケータがタッチスクリーンに表示されます。キャリブレーションは通常、20〜25 マイル（32〜40 km）走行後に完了しますが、この距離は道路条件や環境条件によって異なります。たとえば、車線区分線がはっきりと見える直線路を走行すると、カメラは短時間にキャリブレーションできます。

100 マイル（160 km）以上走行後も、アラートが解消されず、カメラ キャリブレーションが完了しない場合、あるいはカメラ キャリブレーションが成功したのにも関わらず、トラフィックアウェア クルーズコントロールとオートステアリングが利用できない場合は、できるだけすみやかにサービスを予約してください。その間は車両を運転することに問題はありません。

APP_w304

カメラに障害物あり

カメラを清掃するか視界復帰するまで待機

このアラートの意味:

外部条件により、1 つ以上の車載カメラの視認性が制限されているかありません。正確な視覚情報が車載カメラにより生成できない場合は、オートパイロット機能の一部またはすべてが一時的に使用できなくなる場合があります。

以下の原因によりカメラの視界が制限されている場合や確保できない場合があります。

- カメラ表面の汚れまたはごみ。
- 雨、霧、雪、露などの環境的条件。
- 日光または別の光源による眩しい光。
- 照明不足または照明の制限された状態（夜間の照明のないまたは不十分な照明の道路を含む）。
- カメラ表面の結露（水滴または霧）。
- トンネル壁面や高速道路分離帯など、単調な周囲状況。

対応策:

引き続き目的地まで向かってください。車両を運転しても問題はありません。多くの場合、これは一時的な問題であり、結露が蒸発したときや、特定の環境条件がなくなったときに解消されます。

目的地に到着するまでにアラートが消えない場合は、カメラの表面に結露、汚れ、またはその他のごみがないか確認してください。カメラの位置は、[カメラ ページ 19](#) を参照してください。

次のドライブをする前に必要に応じてカメラをクリーニングしてください。推奨されるクリーニング手順については、[カメラのクリーニング ページ 165](#) を参照してください。

このアラートがカメラのクリーニング後も引き続き表示される場合は、ドアピラーのカメラ筐体内側に結露がないか確認してください。カメラのエンクロージャ内部の結露は完全に拭き取ることができませんが、通常は、以下の手順で簡単にクリーニングを行います。

1. 空調をオンに設定し、温度を「高」に設定し、A/C がオンになっていることを確認して、キャビンをプレコンディショニングします
2. 前方の霜取り装置をオンにします。
3. 吹出し口をドアピラーのカメラに向けます。

カメラのエンクロージャから結露を取り除く方法に関する詳細情報については、[カメラのクリーニング ページ 165](#) を参照してください。

示されたカメラのクリーニングを行ない、結露を取るために推奨される手順を実施したにも関わらず、次のドライブの終了までにアラートが解消しなかった場合は、次のご都合のよいときにサービスする予約をしてください。その間は車両を運転することに問題はありません。



APP_w396

フロント カメラの視界が制限されています オートパイロット 機能は制限中または利用不可の可能性

このアラートの意味:

フロントガラスを曇らせる残留物の層が検出され、カメラの視界を妨げています。そのため、1 つ以上の車載カメラの視界が制限されている恐れがあります。

車両のカメラが正確な視覚情報を取得できない場合、オートパイロット機能の一部またはすべてが制限される場合があります。

対応策:

車両を運転しても問題はありません。引き続き目的地まで向かってください。

目的地に到着するまでに警告が解除されない場合は、フロントガラスで次の点を確認してください。

- 土、霧、氷、雪、またはその他の環境要因による妨げ。
- ワイパーによる拭き残りのすじによる妨げ。

はっきり確認できる障害物がなく、次の運転中に警告が表示される場合は、都合の良いときにサービスを予約して、フロントガラスのカメラ取り付け部の内側を清掃してください。

車両のフロントガラス カメラ取り付け部の内側を清掃する必要があるかどうかを確認するには、車両のタッチスクリーンで「コントロール」>「サービス」>「メンテナンス」の順にタップして、メンテナンスの概要を確認します。

BMS_u006

車両シャットダウン - 安全にけん引 充電レベルが低すぎます

このアラートの意味:

高電圧バッテリーには、運転をサポートするための十分なエネルギーが残っていないことが検出されました。

車両は充電されるまで運転することまたは運転を継続することができません。

運転中にこのアラートが発生した場合、車両をシャットダウンする必要があります。この状態を示すために個別の車両アラートが表示されます。また、車両が予期せずシャットダウンするおそれがあります。

車両を駐車したときにこの警告が表示される場合は、運転することができない可能性があります。

この警告は通常、通常の操作によって車両の高電圧バッテリー充電レベルが低下したために発生します。

対応策:

すぐに車両を充電してください。車両を充電すると、車両の走行能力が回復します。

このアラートが後続のドライブで発生した場合、バッテリーの充電レベルが 5% 以上と表示されていても、できるだけ早くサービスを予約してください。

高電圧バッテリーに関する詳細情報については、[高電圧バッテリーに関する情報 ページ 145](#) を参照してください。

充電に関する情報は、[充電方法 ページ 147](#) を参照してください。



トラブルシューティングのアラート

BMS_u018

最大バッテリー充電レベルが低下 運転可能 - サービス予約してください

このアラートの意味:

車両が高電圧バッテリー内部がバッテリーの性能を制限している状態であることを検出しました。その結果、最大充電レベルと範囲が削減されます。完全な性能を回復するためにはサービスが必要です。

対応策:

このアラートが続く場合は、ただちにサービス予約してください。サービスを行わないと、車両の最大充電レベルと航続可能距離が制限されます。

車両を運転および充電しても問題はありません。

高電圧バッテリーに関する詳細情報については、[高電圧バッテリーに関する情報 ページ 145](#) を参照してください。

BMS_u030

充電アダプターにアーク放電の危険あり 別の充電装置を使用してください

このアラートの意味:

車両が、複合充電システム（CCS）の充電ハンドルを車両の充電ポートに接続するために使用されたサードパーティの充電アダプターにアーク放電の危険を検出したため、充電ができなくなっています。

このサードパーティの充電アダプターを使用して充電している時にプラグを抜こうとすると、アーク放電が発生し、重傷や物的損害が発生する可能性があります。

対応策:

以下の手順に従ってリスクを軽減してください。

- 充電が完全に停止していることを確認します。
 - 車両のタッチスクリーンを使用して、充電が停止していることを確認し、必要に応じて充電を停止させます。
 - 充電ステーションのディスプレイとコントロールを使用して充電が停止していることを確認し、あるいは実行中の充電セッションを終了します。
- 車両の充電ポートで緑色または青色のライト（LED）が点滅していないことを確認します。
- 充電アダプターを車両の充電ポートから外します。
- 実行中の充電セッションがないことが充電ステーションに表示されていることを再度確認します。
- 充電アダプターを充電ハンドルから外します。

別の充電装置を使用して車両を充電します。充電に関する情報は、[充電方法 ページ 147](#) を参照してください。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[地図とナビゲーション ページ 132](#) を参照してください。

BMS_u031

バッテリー ヒューズの交換がまもなく必要になります 運転可能 - サービスを予約する

このアラートの意味:

車両の高電圧バッテリーのヒューズは寿命に近づいているため、交換する必要があります。



対応策:

なるべく早くサービスを予約して、高電圧バッテリーのヒューズを交換することをお勧めします。

その間は車両を運転することに問題はありません。ただし、運転中に速度や加速が低下することがありますのでご注意ください。

高電圧バッテリーシステムの詳細については、「[高電圧バッテリーに関する情報](#)」を参照してください。

BMS_u032

バッテリーヒューズの交換が必要です 運転可能 – サービスを予約する

このアラートの意味:

車両の高電圧バッテリーのヒューズは寿命に近づいているため、交換する必要があります。

対応策:

なるべく早くサービスを予約して、高電圧バッテリーのヒューズを交換することをお勧めします。

その間は車両を運転することに問題はありません。ただし、運転中に速度や加速が低下することがありますのでご注意ください。

高電圧バッテリーシステムの詳細については、「[高電圧バッテリーに関する情報](#)」を参照してください。

BMS_w176

バッテリーヒューズの交換が必要です 運転可能 – サービスをただちに予約する

このアラートの意味:

車両の高電圧バッテリーのヒューズは寿命に達しているため、直ちに交換する必要があります。

対応策:

すぐにサービスを予約して、高電圧バッテリーのヒューズを交換することをお勧めします。

引き続き目的地まで向かってください。車両を運転しても問題はありません。ただし、運転中に速度や加速が低下することがありますのでご注意ください。

高電圧バッテリーシステムの詳細については、「[高電圧バッテリーに関する情報](#)」を参照してください。

BMS_w179

車両が再始動しない可能性があります 整備が必要です

このアラートの意味:

車両のバッテリー管理システムが、高圧バッテリーのスマートヒューズの交換が必要であることを検知しました。

運転中にこの警告が表示された場合、車両はバッテリーパックへの潜在的な損傷を防ぐために出力制限モードに入り、この状態が解消されるまで駆動力が低下します。

対応策:

できるだけ早くサービスを予約することをお勧めします。スマートヒューズの交換は比較的軽微な作業で、完了すれば車両の性能を完全に回復させることができます。

サービスを受けないと、車両は始動、充電、低電圧システムのサポートができなくなります。

高電圧バッテリーシステムの詳細については、「[高電圧バッテリーに関する情報](#)」を参照してください。



トラブルシューティングのアラート

CC_f001

充電不可 - アース 配線不十分

正しい配線またはコンセント接地の検証が必要

このアラートの意味:

ウォールコネクターで接地接続が検出されません。

対応策:

ウォールコネクターを電気技師に検査してもらい、適切に接地されていることを確認してください。サーキットブレーカーまたは分電盤ボックスが正しく接地され、ウォールコネクターが正しく接続されていることの確認を電気工事士に依頼してください。

詳細については、ウォールコネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_f002

充電不可 - アース 配線不十分

プラグを入れ直すか別の充電設備をお試し下さい

このアラートの意味:

漏電。安全でない経路から漏電しています。ラインからアースまたは中性からアースで不良の恐れがあります。

対応策:

ウォールコネクターを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。問題が解決されない場合、ウォールコネクターのサーキットブレーカーをオフにして 10 秒間待ってからもう一度サーキットブレーカーをオンにした後、ウォールコネクターを車両に接続してください。問題が解決されない場合、電気技師に相談するか、Tesla までご連絡ください。

詳細については、ウォールコネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_f003

充電不可 - ウォールコネクター漏電を検知

プラグを入れ直すか別の充電設備をお試し下さい

このアラートの意味:

漏電。安全でない経路から漏電しています。ラインからアースまたは中性からアースで不良の恐れがあります。

対応策:

ウォールコネクターを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。問題が解決されない場合、ウォールコネクターのサーキットブレーカーをオフにして 10 秒間待ってからもう一度サーキットブレーカーをオンにした後、ウォールコネクターを車両に接続してください。問題が解決されない場合、電気技師に相談するか、Tesla までご連絡ください。

詳細については、ウォールコネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_f004

充電不可 - ウォールコネクターに問題があります

ウォールコネクターは整備が必要です

このアラートの意味:

ウォールコネクター ハードウェアの問題。以下の問題が考えられます。

1. コネクターが機能していません
2. 内部接地障害監視サーキットの自己診断が失敗しました



3. 温度センサーが切り離されました
4. その他のハードウェアコンポーネントの問題

対応策:

ウォール コネクタで内部エラーが検出されました。

1. ウォール コネクタを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。
2. 問題が解消されない場合は、ウォール コネクタのサーキット ブレーカーをオフにし、10 秒待ってから、再びサーキット ブレーカーをオンにします。車両とウォール コネクタの再接続を試してください。
3. 問題が解消されない場合、電気工事業者に連絡して、『ウォール コネクタ取り付けマニュアル』の手順に従ってすべてのワイヤーが正しく接続されていて、しっかり締まっていることを確認してください。
4. 電気工事がすべての作業を完了し、ウォールコネクタへの電力を回復したら、ウォールコネクタを車両に再接続して充電を再試行します。
5. 問題が解消されない場合は、ウォール コネクタを点検してください。

詳細については、ウォール コネクタの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_f005

充電不可 - ウォールコネクタ漏電を検知 プラグを入れ直すか別の充電設備をお試し下さい

このアラートの意味:

漏電。安全でない経路から漏電しています。ラインからアースまたは中性からアースで不良の恐れがあります。

対応策:

ウォール コネクタを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。問題が解決されない場合、ウォール コネクタのサーキット ブレーカーをオフにして 10 秒間待ってからもう一度サーキット ブレーカーをオンにした後、ウォール コネクタを車両に接続してください。問題が解決されない場合、電気技師に相談するか、Tesla までご連絡ください。

詳細については、ウォール コネクタの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_f006

充電不可 - ウォールコネクタ過電流 プラグを入れ直すか別の充電設備をお試し下さい

このアラートの意味:

過電流保護。

対応策:

車両の充電電流設定を下げてください。問題が解消されない場合は、サービスが必要です。

詳細については、ウォール コネクタの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_f007

充電不可 - 入力電圧が高過ぎます ウォールコネクタには定格内電圧が必要

このアラートの意味:

過電圧または減電圧保護。

対応策:



トラブルシューティングのアラート

ウォール コネクターのサーキット ブレーカーの正しい電圧について電気工事士にご相談ください。

詳細については、ウォール コネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_f008

充電不可 - 入力電圧不足

ウォールコネクターには定格内電圧が必要

このアラートの意味:

過電圧または減電圧保護。

対応策:

ウォール コネクターのサーキット ブレーカーの正しい電圧について電気工事士にご相談ください。

詳細については、ウォール コネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_f009

充電不可 - 誤った入力配線

ウォールコネクターへの入力配線の修正が必要

このアラートの意味:

入力側誤配線: ラインと中性が反対に接続されている可能性があります。

対応策:

壁側電源とウォールコネクター間の入力配線が誤って接続されています。電気工事士にご相談ください。

詳細については、ウォール コネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_f010

充電不可 - ウォールコネクターに問題があります

ウォールコネクターは整備が必要です

このアラートの意味:

ウォール コネクター ハードウェアの問題。以下の問題が考えられます。

1. コネクターが機能していません
2. 内部接地障害監視サーキットの自己診断が失敗しました
3. 温度センサーが切り離されました
4. その他のハードウェアコンポーネントの問題

対応策:

ウォール コネクターで内部エラーが検出されました。

1. ウォール コネクターを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。
2. 問題が解消されない場合は、ウォール コネクターのサーキット ブレーカーをオフにし、10 秒待ってから、再びサーキット ブレーカーをオンにします。車両とウォール コネクターの再接続を試してください。
3. 問題が解消されない場合、電気工事業者に連絡して、『ウォール コネクター取り付けマニュアル』の手順に従ってすべてのワイヤーが正しく接続されていて、しっかり締まっていることを確認してください。
4. 電気工事士がすべての作業を完了し、ウォールコネクタへの電力を回復したら、ウォールコネクタを車両に再接続して充電を再試行します。



5. 問題が解消されない場合は、ウォール コネクターを点検してください。

詳細については、ウォール コネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_f011

充電不可 - ウォール コネクターが過熱 ウォール コネクターが冷えるまでお待ち下さい

このアラートの意味:

加熱防止（ラッチオフ）。

対応策:

ウォール コネクターが何かで覆われていたり、熱源が近くにいることを確認してください。通常の周囲温度（38℃未満）で問題が解決されない場合は、サービスが必要です。

詳細については、ウォール コネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_f012

充電不可 - ウォールコネクター接続部が過熱 コンセントまたはウォールコネクターの点検が必要

ウォールコネクターによる高温検出アラートは、ウォールコネクターへの建物の配線が非常に高温になったため、配線やウォールコネクターを保護するために充電が停止したことを示しています。

これは通常、車両またはウォールコネクターの問題ではなく、建物の配線の問題です。これは、ウォールコネクターへの建物の配線接続に緩みがあるため発生した可能性があり、電気工事業者により迅速な修理ができます。

正常な充電動作を回復するには、以下の手順に従って操作してください。

ウォール コネクターを壁面コンセントに差し込んだら、以下の事項を確認してください:

- プラグがコンセントに完全に差し込まれている
- プラグ/コンセントに異物が詰まっていない/異物で覆われていない
- 近くに熱源がない

問題が解決しない場合や、ウォール コネクターが固定配線の場合、電気技術者にウォール コネクターまでの建物の建物の配線接続の調査を依頼してください。ウォールコネクターの設置ガイドに従って、すべての配線が正常に接続されしっかり締められている状態にする必要があります。

詳細については、ウォール コネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_f013

充電不可 - 充電ハンドルが過熱 充電ハンドルまたはポートの異物を確認下さい

このアラートの意味:

加熱防止（ラッチオフ）。

対応策:

コネクターが車両の充電ポートに確実に挿入されていて、それが何かで覆われていたり熱源が近くにいることを確認してください。通常の周囲温度（38℃未満）で問題が解決されない場合は、サービスが必要です。

詳細については、ウォール コネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。



CC_f014

充電不可 - ウォールコネクターに問題があります ウォールコネクターは整備が必要です

このアラートの意味:

ウォール コネクター ハードウェアの問題。以下の問題が考えられます。

1. コネクターが機能していません
2. 内部接地障害監視サーキットの自己診断が失敗しました
3. 温度センサーが切り離されました
4. その他のハードウェアコンポーネントの問題

対応策:

ウォール コネクターで内部エラーが検出されました。

1. ウォール コネクターを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。
2. 問題が解消されない場合は、ウォール コネクターのサーキット ブレーカーをオフにし、10 秒待ってから、再びサーキット ブレーカーをオンにします。車両とウォール コネクターの再接続を試してください。
3. 問題が解消されない場合、電気工事業者に連絡して、『ウォール コネクター取り付けマニュアル』の手順に従ってすべてのワイヤーが正しく接続されていて、しっかり締まっていることを確認してください。
4. 電気工事士がすべての作業を完了し、ウォールコネクタへの電力を回復したら、ウォールコネクタを車両に再接続して充電を再試行します。
5. 問題が解消されない場合は、ウォール コネクターを点検してください。

詳細については、ウォール コネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_f015

充電不可 - 車両側の接続が不良です 充電ハンドルを充電ポートにしっかり挿入

このアラートの意味:

ウォールコネクターと車両の間で通信エラーが発生しました。

対応策:

ウォール コネクターを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。

1. 問題が解決されない場合、ウォール コネクターのサーキット ブレーカーをオフにして 10 秒間待ってからもう一度サーキット ブレーカーをオンにした後、ウォール コネクターを車両に接続してください。
2. 問題が解決されない場合、他の充電器がある場合は、他のウォール コネクターまたはモバイル コネクターに車両を接続して、車両が他の充電設備と通信できるかどうかを判断してください。
3. 問題が解消されない場合は、サービスが必要です。

詳細については、ウォール コネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_f016

充電不可 - 車両側の接続が不良です 充電ハンドルを充電ポートにしっかり挿入

このアラートの意味:



ウォールコネクターと車両の間に通信エラーが発生しました。

対応策:

ウォール コネクターを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。

1. 問題が解決されない場合、ウォール コネクターのサーキット ブレーカーをオフにして 10 秒間待ってからもう一度サーキット ブレーカーをオンにした後、ウォール コネクターを車両に接続してください。
2. 問題が解決されない場合、他の充電器がある場合は、他のウォール コネクターまたはモバイル コネクターに車両を接続して、車両が他の充電設備と通信できるかどうかを判断してください。
3. 問題が解消されない場合は、サービスが必要です。

詳細については、ウォール コネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_f017

充電不可 - 車両側の接続が不良です 充電ハンドルを充電ポートにしっかり挿入

このアラートの意味:

ウォールコネクターと車両の間に通信エラーが発生しました。

対応策:

ウォール コネクターを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。

1. 問題が解決されない場合、ウォール コネクターのサーキット ブレーカーをオフにして 10 秒間待ってからもう一度サーキット ブレーカーをオンにした後、ウォール コネクターを車両に接続してください。
2. 問題が解決されない場合、他の充電器がある場合は、他のウォール コネクターまたはモバイル コネクターに車両を接続して、車両が他の充電設備と通信できるかどうかを判断してください。
3. 問題が解消されない場合は、サービスが必要です。

詳細については、ウォール コネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_f018

充電不可 - 車両側の接続が不良です 充電ハンドルを充電ポートにしっかり挿入

このアラートの意味:

ウォールコネクターと車両の間に通信エラーが発生しました。

対応策:

ウォール コネクターを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。

1. 問題が解決されない場合、ウォール コネクターのサーキット ブレーカーをオフにして 10 秒間待ってからもう一度サーキット ブレーカーをオンにした後、ウォール コネクターを車両に接続してください。
2. 問題が解決されない場合、他の充電器がある場合は、他のウォール コネクターまたはモバイル コネクターに車両を接続して、車両が他の充電設備と通信できるかどうかを判断してください。
3. 問題が解消されない場合は、サービスが必要です。

詳細については、ウォール コネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。



トラブルシューティングのアラート

CC_f019

充電不可 - 車両側の接続が不良です 充電ハンドルを充電ポートにしっかり挿入

このアラートの意味:

ウォールコネクターと車両の間で通信エラーが発生しました。

対応策:

ウォール コネクターを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。

1. 問題が解決されない場合、ウォール コネクターのサーキット ブレーカーをオフにして 10 秒間待ってからもう一度サーキット ブレーカーをオンにした後、ウォール コネクターを車両に接続してください。
2. 問題が解決されない場合、他の充電器がある場合は、他のウォール コネクターまたはモバイル コネクターに車両を接続して、車両が他の充電設備と通信できるかどうかを判断してください。
3. 問題が解消されない場合は、サービスが必要です。

詳細については、ウォール コネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_f020

充電不可 - ウォールコネクターに問題があります ウォールコネクターは整備が必要です

このアラートの意味:

ウォール コネクター ハードウェアの問題。以下の問題が考えられます。

1. コネクターが機能していません
2. 内部接地障害監視サーキットの自己診断が失敗しました
3. 温度センサーが切り離されました
4. その他のハードウェアコンポーネントの問題

対応策:

ウォール コネクターで内部エラーが検出されました。

1. ウォール コネクターを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。
2. 問題が解消されない場合は、ウォール コネクターのサーキット ブレーカーをオフにし、10 秒待ってから、再びサーキット ブレーカーをオンにします。車両とウォール コネクターの再接続を試してください。
3. 問題が解消されない場合、電気工事業者に連絡して、『ウォール コネクター取り付けマニュアル』の手順に従ってすべてのワイヤーが正しく接続されていて、しっかり締まっていることを確認してください。
4. 電気工事がすべての作業を完了し、ウォールコネクタへの電力を回復したら、ウォールコネクタを車両に再接続して充電を再試行します。
5. 問題が解消されない場合は、ウォール コネクターを点検してください。

詳細については、ウォール コネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_f021

充電不可 - マスターウォール コネクターなし マスターがオンで使えることを確認して下さい

このアラートの意味:



ロードシェアリング（サーキットブレーカーの共有）ネットワーク:ウォールコネクタは1台のみをプライマリーに設定してください。

対応策:

1 台のウォールコネクタのみがプライマリーとして設定できます。担当した電気工事士は以下を確認します：

1. ウォールコネクタは1台のみをプライマリーに設定します。
2. プライマリーユニットにリンクされている他のすべてのウォールコネクタは、ペアの位置（F 位置）に設定されます。

詳細については、ウォールコネクタの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_f022

充電不可 - マスターが複数あります マスターのウォールコネクタは1台のみです

このアラートの意味:

ロードシェアリング（サーキットブレーカーの共有）ネットワーク:ウォールコネクタは1台のみをプライマリーに設定してください。

対応策:

1 台のウォールコネクタのみがプライマリーとして設定できます。担当した電気工事士は以下を確認します：

1. ウォールコネクタは1台のみをプライマリーに設定します。
2. プライマリーユニットにリンクされている他のすべてのウォールコネクタは、ペアの位置（F 位置）に設定されます。

詳細については、ウォールコネクタの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_f023

充電不可 - ウォールコネクタが多すぎます マスターとペアできるユニットは3台以下です

このアラートの意味:

ロードシェアリング（サーキットブレーカーの共有）ネットワーク:4 個以上のウォールコネクタが同じプライマリーユニットとペアリングされています。

対応策:

電気工事士は、1 つまたは複数のペアリングされているウォールコネクタを別の回路に移動し、このロードシェアリング（サーキットブレーカーの共有）ネットワークから切断（ペアを解除する）してもらいます。

詳細については、ウォールコネクタの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_f024

充電不可 - ウォールコネクタ電流低下 現在のマスターの設定を上げる必要あり

このアラートの意味:

ロータリースイッチの設定が不正です。

対応策:



トラブルシューティングのアラート

電気工事士に、ウォールコネクターの内部ロータリースイッチを有効な動作電流設定に調整してもらいます。電気工事士は、最初にウォールコネクターに電気がきていないことを確認してください。スイッチ設定と電流の対応関係は、ウォールコネクターの内側に印刷されている場合があります。電気工事士は、『ウォールコネクター取り付けマニュアル』の「動作電流を設定」の項も参照してください。

ウォールコネクターのロードシェアリング(サーキットブレーカーの共有)の設定をし、他のウォールコネクターとのペアリングができたら、プライマリーユニットのロータリースイッチは、ペアリングのそれぞれの片方のウォールコネクターが充電電流を6A以上受け取る動作電流設定に設定する必要があります。

例: 負荷分散のため、3つのウォールコネクターがペアリングされています。プライマリーユニットは、 $3 \times 6A = 18A$ 以上の電流値に設定してください。

詳細については、ウォールコネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_f025

充電不可 - ウォールコネクターに問題があります ウォールコネクターは整備が必要です

このアラートの意味:

ウォールコネクターハードウェアの問題。以下の問題が考えられます。

1. コネクターが機能していません
2. 内部接地障害監視サーキットの自己診断が失敗しました
3. 温度センサーが切り離されました
4. その他のハードウェアコンポーネントの問題

対応策:

ウォールコネクターで内部エラーが検出されました。

1. ウォールコネクターを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。
2. 問題が解消されない場合は、ウォールコネクターのサーキットブレーカーをオフにし、10秒待ってから、再びサーキットブレーカーをオンにします。車両とウォールコネクターの再接続を試してください。
3. 問題が解消されない場合、電気工事業者に連絡して、『ウォールコネクター取り付けマニュアル』の手順に従ってすべてのワイヤーが正しく接続されていて、しっかり締まっていることを確認してください。
4. 電気工事士がすべての作業を完了し、ウォールコネクタへの電力を回復したら、ウォールコネクタを車両に再接続して充電を再試行します。
5. 問題が解消されない場合は、ウォールコネクターを点検してください。

詳細については、ウォールコネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_f026

充電不可 - ウォールコネクターに問題があります ウォールコネクターは整備が必要です

このアラートの意味:

ウォールコネクターハードウェアの問題。以下の問題が考えられます。

1. コネクターが機能していません
2. 内部接地障害監視サーキットの自己診断が失敗しました
3. 温度センサーが切り離されました
4. その他のハードウェアコンポーネントの問題



対応策:

ウォール コネクターで内部エラーが検出されました。

1. ウォール コネクターを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。
2. 問題が解消されない場合は、ウォール コネクターのサーキット ブレーカーをオフにし、10 秒待ってから、再びサーキット ブレーカーをオンにします。車両とウォール コネクターの再接続を試してください。
3. 問題が解消されない場合、電気工事業者に連絡して、『ウォール コネクター取り付けマニュアル』の手順に従ってすべてのワイヤーが正しく接続されていて、しっかり締まっていることを確認してください。
4. 電気工事がすべての作業を完了し、ウォールコネクタへの電力を回復したら、ウォールコネクタを車両に再接続して充電を再試行します。
5. 問題が解消されない場合は、ウォール コネクターを点検してください。

詳細については、ウォール コネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_f027

充電不可 - ウォールコネクターに問題があります ウォールコネクターは整備が必要です

このアラートの意味:

ウォール コネクター ハードウェアの問題。以下の問題が考えられます。

1. コネクターが機能していません
2. 内部接地障害監視サーキットの自己診断が失敗しました
3. 温度センサーが切り離されました
4. その他のハードウェアコンポーネントの問題

対応策:

ウォール コネクターで内部エラーが検出されました。

1. ウォール コネクターを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。
2. 問題が解消されない場合は、ウォール コネクターのサーキット ブレーカーをオフにし、10 秒待ってから、再びサーキット ブレーカーをオンにします。車両とウォール コネクターの再接続を試してください。
3. 問題が解消されない場合、電気工事業者に連絡して、『ウォール コネクター取り付けマニュアル』の手順に従ってすべてのワイヤーが正しく接続されていて、しっかり締まっていることを確認してください。
4. 電気工事がすべての作業を完了し、ウォールコネクタへの電力を回復したら、ウォールコネクタを車両に再接続して充電を再試行します。
5. 問題が解消されない場合は、ウォール コネクターを点検してください。

詳細については、ウォール コネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_f028

充電不可 - 誤ったスイッチ設定 ウォール コネクターロータリースwitchの調整が必要

このアラートの意味:

ロータリー スwitchの設定が不正です。

対応策:



トラブルシューティングのアラート

電気工事士に、ウォールコネクターの内部ロータリースイッチを有効な動作電流設定に調整してもらいます。電気工事士は、最初にウォールコネクターに電気がきていないことを確認してください。スイッチ設定と電流の対応関係は、ウォールコネクターの内側に印刷されている場合があります。電気工事士は、『ウォールコネクター取り付けマニュアル』の「動作電流を設定」の項も参照してください。

ウォールコネクターのロードシェアリング (サーキットブレーカーの共有) の設定をし、他のウォールコネクターとのペアリングができたら、プライマリーユニットのロータリースイッチは、ペアリングのそれぞれの片方のウォールコネクターが充電電流を 6A 以上受け取る動作電流設定に設定する必要があります。

例: 負荷分散のため、3 つのウォールコネクターがペアリングされています。プライマリーユニットは、 $3 * 6A = 18A$ 以上の電流値に設定してください。

詳細については、ウォールコネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_f029

充電不可 - 車両側の接続が不良です 充電ハンドルを充電ポートにしっかり挿入

このアラートの意味:

ウォールコネクターと車両の間で通信エラーが発生しました。

対応策:

ウォールコネクターを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。

1. 問題が解決されない場合、ウォールコネクターのサーキットブレーカーをオフにして 10 秒間待ってからもう一度サーキットブレーカーをオンにした後、ウォールコネクターを車両に接続してください。
2. 問題が解決されない場合、他の充電器がある場合は、他のウォールコネクターまたはモバイルコネクターに車両を接続して、車両が他の充電設備と通信できるかどうかを判断してください。
3. 問題が解消されない場合は、サービスが必要です。

詳細については、ウォールコネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_f030

充電不可 - マスター/ユニットペアの不一致 現在のウォールコネクターの定格が一致する必要あり

このアラートの意味:

ロードシェアリング (サーキットブレーカーの共有) ネットワーク: ペアリングしたウォールコネクターの最大電流容量が異なります。

対応策:

ロードシェアリング (サーキットブレーカーの共有) ネットワークにペアリングできるのは同じ最大電流容量のウォールコネクターのみです。電気工事士は、ウォールコネクターのタイプラベルで、電流容量がマッチしていることを確認してください。また、電気工事士は、同じ部品番号のウォールコネクターでペアリングすることを推奨します。ペアリング対象ユニットが互換性があることを簡単に確認できるからです。

詳細については、ウォールコネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_f041

充電速度低下 - ウォールコネクター接続部熱い コンセントまたはウォールコネクターの配線の点検

このアラートの意味:



ウォールコネクタによる高温検出アラートは、ウォールコネクタへの建物の配線が非常に高温になったため、配線やウォールコネクタを保護するために充電が低速になったことを示しています。

これは通常、車両またはウォールコネクタの問題ではなく、建物の配線の問題です。これは、ウォールコネクタへの建物の配線接続に緩みがあるため発生した可能性があり、電気工事業者により迅速な修理ができます。

対応策:

電気工事業者に連絡し、ウォールコネクタまでの建物の配線接続調査をご依頼ください。ウォールコネクタの設置ガイドに従って、すべての配線が正常に接続されしっかり締められている状態にする必要があります。

詳細については、ウォールコネクタの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CHG_f035

充電機器に通信エラーが発生しました 再試行または別の機器をお試しください

このアラートの意味:

外部充電機器と有効な通信ができないために車両を充電できません。充電機器からの有効なコントロールパイロット信号を検知できません。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

対応策:

まず、有効な通信がない原因が、外部充電機器によるもので、車両の問題ではないことを確認してください。一般的にはこれが当てはまります。

別の外部重電機器を使用して車両の充電を試してみます（充電ケーブル、充電ステーション、充電用駐車場など）。

- 車両が充電を開始したら、機器の問題であることが確認できます。
- 車両が充電を開始しないようなら、車両に問題があることが考えられます。

問題が車両にあると疑われる場合、充電ポート入口および充電ケーブルコネクタに、ごみ、水分、異物といった障害物がないか点検します。充電ポート入口の障害物を確実に取り除き、水分が乾くまで待ってから、ケーブルを再度、充電ポートに挿入します。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーションチャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[地図とナビゲーション ページ 132](#)を参照してください。

モバイルコネクタおよびウォールコネクタのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

充電に関する情報は、[充電方法 ページ 147](#)を参照してください。

CHG_f083

充電できません - グリッド電力の品質が低い可能性あり 再試行するか他の充電場所やスーパーチャージングを試してください

このアラートの意味:

充電途中で電源が切れました。充電機器の電源（壁面コンセントなど）損失か、充電器の問題が原因と考えられます。

対応策:

このアラートは、しばしば問題を特定し、トラブルシューティングするのに役立つ他のアラートを伴っていることがあります。充電問題に関連して表示された他のアラートを調査開始します。



トラブルシューティングのアラート

あるいは、モバイル コネクタやウォール コネクタのステータス ライトをチェックして、装置までの電源を確認し、さらに点滅コードに従って製品のオーナーズ マニュアルでトラブルシューティング情報を参照してください。他の (Tesla 以外の) 外部充電器を使用している場合は、トラブルシューティングの助けになるディスプレイや他のユーザーインターフェイスを確認してください。

明らかに充電機器に電源が切れている場合は、壁面コンセントやウォール コネクタのサーキット ブレーカーが切れていないか確認してください。

その他の機器タイプ別トラブルシューティングのヒント:

- モバイル コネクタを使用する場合は、別の壁面コンセントで車両の充電をお試しください。
 - 別の機器で車両の充電が開始された場合は、元の壁付けコンセントに問題があったと考えられます。
 - それでも車両が充電を開始しないようなら、モバイル コネクタに問題があることが考えられます。
- ウォール コネクタを使用している場合は、別の壁面コンセントから電源を得ているモバイル コネクタなど、別の充電機器で車両の充電をお試しください。
 - 別の機器で車両の充電が開始した場合は、ウォール コネクタに問題があったと考えられます。

問題が元々の壁面コンセントやウォールコネクタに関するものである場合、電気技術者に連絡して配線を点検してもらってください。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[地図とナビゲーション ページ 132](#)を参照してください。

モバイル コネクタおよびウォールコネクタのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

CHG_f091

充電機器が認識されません

再試行または別の機器をお試しください

このアラートの意味:

充電ケーブルが挿入されているかどうか、または接続されている充電ケーブルの種類を充電ポートが検知できない。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

対応策:

充電ケーブルが接続されているときにこのアラートが表示された場合、充電機器または車両の原因による問題かを判断します。別の外部充電機器を使用して車両の充電を試してみます (充電ケーブル、充電ステーション、充電用駐車場など)。

- 車両が充電を開始したら、機器の問題であることが確認できます。
- 車両が充電を開始しないようなら、車両に問題があることが考えられます。

充電ケーブルが接続されていないときにこのアラートが発生する場合、または問題が車両にあると疑われる場合、充電ポート入口および充電ケーブル コネクタに、ごみ、水分、異物といった障害物がないか点検します。充電ポート入口の障害物を確実に取り除き、水分が乾くまで待ってから、ケーブルを再度、充電ポートに挿入します。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[地図とナビゲーション ページ 132](#)を参照してください。

モバイル コネクタおよびウォールコネクタのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

充電に関する情報は、[充電方法 ページ 147](#)を参照してください。



CHGS_f083

充電できません - グリッド電力の品質が低い可能性あり 再試行するか他の充電場所やスーパーチャージングを試してください

このアラートの意味:

充電途中で電源が切れました。充電機器の電源（壁面コンセントなど）損失か、充電器の問題が原因と考えられます。

対応策:

このアラートは、しばしば問題を特定し、トラブルシューティングするのに役立つ他のアラートを伴っていることがあります。充電問題に関連して表示された他のアラートを調査開始します。

あるいは、モバイル コネクタやウォール コネクタのステータス ライトをチェックして、装置までの電源を確認し、さらに点滅コードに従って製品のオーナーズ マニュアルでトラブルシューティング情報を参照してください。他の（Tesla 以外の）外部充電器を使用している場合は、トラブルシューティングの助けになるディスプレイや他のユーザーインターフェイスを確認してください。

明らかに充電機器に電源が切れている場合は、壁面コンセントやウォール コネクタのサーキット ブレーカーが切れていないか確認してください。

その他の機器タイプ別トラブルシューティングのヒント:

- モバイル コネクタを使用する場合は、別の壁面コンセントで車両の充電をお試しください。
 - 別の機器で車両の充電が開始された場合は、元の壁付けコンセントに問題があったと考えられます。
 - それでも車両が充電を開始しないようなら、モバイル コネクタに問題があることが考えられます。
- ウォール コネクタを使用している場合は、別の壁面コンセントから電源を得ているモバイル コネクタなど、別の充電機器で車両の充電をお試しください。
 - 別の機器で車両の充電が開始した場合は、ウォール コネクタに問題があったと考えられます。

問題が元々の壁面コンセントやウォールコネクタに関するものである場合、電気技術者に連絡して配線を点検してもらってください。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[地図とナビゲーション ページ 132](#)を参照してください。

モバイル コネクタおよびウォールコネクタのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

CHG_u001

充電速度低下 - 不測の電圧降下 延長コードを外します/配線の点検が必要

このアラートの意味:

充電中に大きな電圧降下を検出したため、車載充電器が充電速度を下げました。

これには以下のような理由が考えられます。

- 建物側の配線または壁面コンセントの異常。
- 求められる充電電流に対応していない延長コードまたはその他の配線。

この問題は車両の充電中に、電気機器が同じ分岐回路から大きな電力を消費している場合も起こる可能性があります。

対応策:



トラブルシューティングのアラート

普段よく充電する場所で同じ問題が何度も発生する場合は、電気工事士に連絡して電気設備の点検を依頼してください。電気工事士が確認すべき点は次の事項です。

- 接続されている充電機器およびそこから建物までの接続。
- モバイル コネクタを接続するすべての壁面コンセントを含む建物側の配線。
- 配電網から建物に引き込まれる電気系の接続。

車両の充電電流を下げる必要があるか、またはより高い充電電流に対応するように設備をアップグレードする必要があるか、電気工事士にご相談ください。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[地図とナビゲーション ページ 132](#)を参照してください。

モバイル コネクタおよびウォールコネクタのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

CHG_u002

大幅な電圧降下のため充電停止 延長コードを外します/配線の点検が必要

このアラートの意味:

車載充電器が異常な電圧降下を検出したため、充電が中断されました。

これには以下のような理由が考えられます。

- 建物側の配線または壁面コンセントの異常。
- 求められる充電電流に対応していない延長コードまたはその他の配線。

この問題は車両の充電中に、電気機器が同じ分岐回路から大きな電力を消費している場合も起こる可能性があります。

対応策:

普段よく充電する場所で同じ問題が何度も発生する場合は、電気工事士に連絡して電気設備の点検を依頼してください。電気工事士が確認すべき点は次の事項です。

- 接続されている充電機器およびそこから建物までの接続。
- モバイル コネクタを接続するすべての壁面コンセントを含む建物側の配線。
- 配電網から建物に引き込まれる電気系の接続。

車両の充電電流を下げる必要があるか、またはより高い充電電流に対応するように設備をアップグレードする必要があるか、電気工事士にご相談ください。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[地図とナビゲーション ページ 132](#)を参照してください。

モバイル コネクタおよびウォールコネクタのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。



CHG_u004

充電停止 - 充電中に停電 電源と充電機器を確認してください

このアラートの意味:

充電途中で電源が切れました。充電機器の電源（壁面コンセントなど）損失か、充電器の問題が原因と考えられます。

対応策:

このアラートは、しばしば問題を特定し、トラブルシューティングするのに役立つ他のアラートを伴っていることがあります。充電問題に関連して表示された他のアラートを調査開始します。

あるいは、モバイル コネクタやウォール コネクタのステータス ライトをチェックして、装置までの電源を確認し、さらに点滅コードに従って製品のオーナーズ マニュアルでトラブルシューティング情報を参照してください。他の（Tesla 以外の）外部充電器を使用している場合は、トラブルシューティングの助けになるディスプレイや他のユーザーインターフェイスを確認してください。

明らかに充電機器に電源が切れている場合は、壁面コンセントやウォール コネクタのサーキット ブレーカーが切れていないか確認してください。

その他の機器タイプ別トラブルシューティングのヒント:

- モバイル コネクタを使用する場合は、別の壁面コンセントで車両の充電をお試しください。
 - 別の機器で車両の充電が開始された場合は、元の壁付けコンセントに問題があったと考えられます。
 - それでも車両が充電を開始しないようなら、モバイル コネクタに問題があることが考えられます。
- ウォール コネクタを使用している場合は、別の壁面コンセントから電源を得ているモバイル コネクタなど、別の充電機器で車両の充電をお試しください。
 - 別の機器で車両の充電が開始した場合は、ウォール コネクタに問題があったと考えられます。

問題が元々の壁面コンセントやウォールコネクタに関するものである場合、電気技術者に連絡して配線を点検してもらってください。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[地図とナビゲーション ページ 132](#)を参照してください。

モバイル コネクタおよびウォールコネクタのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

CHG_u005

充電不可 - 充電ステーションが停止しています 充電ポストを確認するか、別の充電ポストをお試しください

このアラートの意味:

充電機器の準備ができていないため、充電を開始できません。充電ハンドルが検出されましたが、充電ステーションは車両と通信していません。この問題の想定原因:

- 充電ステーションに電力が供給されていません。
- 充電ステーションと車両との間の制御パイロット信号が中断されました。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

対応策:



トラブルシューティングのアラート

充電をお試しください。別の充電機器または別の充電ステーションで

- 車両が充電を開始したら、機器の問題であることが確認できます。
- 車両が充電を開始しないようなら、車両に問題があることが考えられます。

モバイル コネクタまたはウォール コネクタを使用している場合は、まず前面にあるステータス ライトを確認します。ステータス ライトが表示されない場合は、電源を確認し、電気工事士に連絡して、壁のコンセントにつながる建物側の配線接続を調べて、すべての配線が正しく接続され、しっかり締めつけられていることを確認します。

他の外部充電機器を使用している場合は、ステーションに電源が供給されていることを確認するために、製品のオーナーズマニュアルを参照してください。必要に応じて、電気工事士に連絡して、建物側の配線と充電機器を点検してください。

モバイル コネクタおよびウォールコネクタのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[地図とナビゲーション ページ 132](#)を参照してください。

CHG_u006

充電ポート ラッチが接続されていません 充電ケーブルを完全に差し込むか障害物を確認

このアラートの意味:

充電ポート口で充電ポート ラッチが充電ケーブルを固定しない。ラッチがはまらない場合は、AC 充電（Tesla モバイル コネクタまたはウォール コネクタでの充電など）では電流が 16 A に制限され、DC 急速充電/スーパーチャージャー充電は利用できません。

充電ポート ライトは、AC 充電中にこのアラートが表示されると、黄色で点滅し、DC 充電/スーパーチャージャー充電を試みているときにこのアラートが表示されると、黄色で点灯します。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

対応策:

充電ポート口に充電ケーブルをしっかりと挿入します。

車両が充電を開始し、充電ポート ライトが緑色で点滅した場合、その充電ケーブルは前回完全に挿入されていなかった可能性があります。AC 充電は既に制限されず、DC 急速充電/スーパーチャージャーが使用できるようになります。

充電が依然制限されている場合、または車両がまったく充電をしない場合、充電ポート入口および充電ケーブル コネクタに、ごみ、水分、異物といった障害物がないか点検します。充電ポート入口の障害物を確実に取り除き、水分が乾くまで待ってから、ケーブルを再度、充電ポートに挿入します。

充電がまだ制限されている場合、または車両がまったく充電されない場合は、充電ポートのラッチ マニュアル リリース ケーブル（トランクの左側にある）が引かれていないことを確認してください。手動ケーブル リリースのためのハンドル（通常リング状または紐）に障害物がなく（荷物ネットや傘など）が取り付けられていないことを確認します。充電ポート手動リリースの使用に関する詳細については、[手動で充電ケーブルを外す ページ 151](#)を参照してください。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[地図とナビゲーション ページ 132](#)を参照してください。

モバイル コネクタおよびウォールコネクタのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

充電に関する情報は、[充電方法 ページ 147](#)を参照してください。



CHG_u007

充電機器がエラーを報告しました 機器のエラー コードまたはメッセージを確認

このアラートの意味:

外部充電機器の故障により、車両の充電が中断されました。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

対応策:

外部充電機器のステータスライト、画面、またはステータスインジケーターなどを確認します。モバイル コネクターおよびウォールコネクターのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

充電をお試しください。別の充電機器または別の充電ステーションで

- 車両が充電を開始したら、機器の問題であることが確認できます。
- 車両が充電を開始しないようなら、車両に問題があることが考えられます。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[地図とナビゲーション ページ 132](#)を参照してください。

CHG_u010

外部充電器にエラーを検知 他の充電器で再試行してください

このアラートの意味:

車両を AC 電源で充電することを阻む条件があるため、AC 充電を開始することができませんでした。DC 充電/スーパーチャージャー充電はまだ通常通り機能しています。

車両の車載充電器は、外部充電器から電力が要求されていないときに充電ポートで入力電圧を検出しています。これは、外部の充電器が通常どおりに機能していないことを示しています。

これは、外部充電器固有のハードウェア問題が原因である場合があります。これにより、要求されたときに充電器が車両の充電をオンまたはオフに切り替えることができなくなります。また、外部充電器に影響を与える別の問題、または車両自体に影響を与える問題が原因で発生する可能性もあります。

対応策:

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

複数の異なるタイプの充電器で充電を試してください。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[地図とナビゲーション ページ 132](#)を参照してください。

モバイル コネクターおよびウォールコネクターのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

CHG_u012

電力系統または車両の問題によって AC 充電が制限される プラグを抜いてから再試行/別の充電現場を試す

このアラートの意味:



トラブルシューティングのアラート

車両の AC 充電に悪影響を与える条件があるため、充電速度が制限されています。DC 充電/スーパーチャージャー充電はまだ通常通り機能しています。

これは、外部充電器または電力網によって引き起こされる電力障害が原因で発生する場合があります。場合によっては、この状態は、近くにある大量の電力を消費する電気機器を使用したことで発生することもあります。

このような考えられる原因を除外できる場合は、車両自体が AC 充電に影響を与えている可能性があります。

対応策:

このアラートに付随して AC 充電に影響を与える状態を示す別のアラートが発生している場合、そのアラートの調査を先に開始してください。

その他の機器タイプ別トラブルシューティングのヒント:

- モバイル コネクタを使用する場合は、別の壁面コンセントで車両の充電をお試しください。
 - 別の機器で車両の充電が開始された場合は、元の壁付けコンセントに問題があったと考えられます。
 - それでも車両が充電を開始しないようなら、モバイル コネクタに問題があることが考えられます。
- ウォール コネクタを使用している場合は、別の壁面コンセントから電源を得ているモバイル コネクタなど、別の充電機器で車両の充電をお試しください。
 - 別の機器で車両の充電が開始した場合は、ウォール コネクタに問題があったと考えられます。

問題が元々の壁面コンセントやウォールコネクタに関するものである場合、電気技術者に連絡して配線を点検してもらってください。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[地図とナビゲーション ページ 132](#)を参照してください。

複数の場所で異なる充電装置を使用して充電しようとしてもアラートが消えない場合、サービスを予約することを推奨します。

モバイル コネクタおよびウォールコネクタのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

CHG_u013

充電機器の通信が失われました 電源と充電機器を確認してください

このアラートの意味:

車両と外部充電機器との間の通信が中断したため充電が停止した。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

対応策:

外部充電機器のステータスライト、画面、またはインジケーターなどを確認して電源が入っているかどうかを確認します。モバイル コネクタおよびウォールコネクタのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

機器の電源が入っていない場合、外部充電機器の電源が復旧できるかどうか試みます。

- 公共の充電ステーションで充電する場合で電源が復旧できない場合、その充電ステーションの管理者に連絡します。
- 専用の充電ステーション（自宅など）で充電する場合で電源が復旧できない場合、電気工事業者に連絡します。

機器の電源が入る場合、別の外部充電機器を使用して車両の充電を試みます。

- 車両が充電を開始したら、機器の問題であることが確認できます。
- 車両が充電を開始しないようなら、車両に問題があることが考えられます。



また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[地図とナビゲーション ページ 132](#)を参照してください。

モバイル コネクタおよびウォールコネクタのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

CHG_u014

充電機器がエラーを報告しました 機器のエラー コードまたはメッセージを確認

このアラートの意味:

外部充電機器の故障により、車両の充電が中断されました。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

対応策:

外部充電機器のステータスライト、画面、またはステータスインジケーターなどを確認します。モバイル コネクタおよびウォールコネクタのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

充電をお試しください。別の充電機器または別の充電ステーションで

- 車両が充電を開始したら、機器の問題であることが確認できます。
- 車両が充電を開始しないようなら、車両に問題があることが考えられます。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[地図とナビゲーション ページ 132](#)を参照してください。

CHG_w032

充電速度低下 - ウォールコネクタ接続部熱い コンセントまたはウォール コネクタの配線の点検

このアラートの意味:

ウォールコネクタによる高温検出アラートは、ウォールコネクタへの建物の配線が非常に高温になったため、配線やウォールコネクタを保護するために充電が低速になったことを示しています。

これは通常、車両またはウォールコネクタの問題ではなく、建物の配線の問題です。これは、ウォールコネクタへの建物の配線接続に緩みがあるため発生した可能性があり、電気工事業者により迅速な修理ができます。

対応策:

電気工事業者に連絡し、ウォール コネクタまでの建物の配線接続調査をご依頼ください。ウォールコネクタの設置ガイドに従って、すべての配線が正常に接続されしっかり締められている状態にする必要があります。

ウォール コネクタの設置ガイドは[ここ](#)から入手できます。

CHG_w037

充電不可 - ウォールコネクタ接続部が過熱 コンセントまたはウォールコネクタの点検が必要

このアラートの意味:

ウォールコネクタによる高温検出アラートは、ウォールコネクタへの建物の配線が非常に高温になったため、配線やウォールコネクタを保護するために充電が低速になったことを示しています。



トラブルシューティングのアラート

これは通常、車両またはウォールコネクターの問題ではなく、建物の配線の問題です。これは、ウォールコネクターへの建物の配線接続に緩みがあるため発生した可能性があります、電気工事業者により迅速な修理ができます。

対応策:

電気工事業者に連絡し、ウォールコネクターまでの建物の配線接続調査をご依頼ください。ウォールコネクターの設置ガイドに従って、すべての配線が正常に接続されしっかり締められている状態にする必要があります。

詳細については、ウォールコネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CP_w043

充電ポート ドア センサー故障 充電ポートが作動しない場合があります

このアラートの意味:

充電ポート ドア センサーの1つが正常に機能していません。この故障が発生すると、充電ポートは充電ポート ドアの位置を正確に検知することができなくなり、充電ポートは予定通りに作動しなくなる可能性があります。

- 充電ポート ドアが開いているときに、充電ポート ラッチが断続的にかかったままになります。
- 充電ポート ドアが開いているとき、充電ポートのライトが断続的に点灯しなくなる可能性があります。

対応策:

充電ポート ドアを閉じ、再度開いてみます。

詳細な情報については、[充電ポートを開ける ページ 147](#) を参照してください。

充電に関する情報は、[充電方法 ページ 147](#) を参照してください。

CP_w054

充電ポート ラッチが接続されていません 充電ケーブルを完全に差し込むか障害物を確認

このアラートの意味:

充電ポート口で充電ポート ラッチが充電ケーブルを固定しない。ラッチがはまらない場合は、AC 充電（Tesla モバイル コネクターまたはウォール コネクターでの充電など）では電流が 16 A に制限され、DC 急速充電/スーパーチャージャー充電は利用できません。

充電ポート ライトは、AC 充電中にこのアラートが表示されると、黄色で点滅し、DC 充電/スーパーチャージャー充電を試みているときにこのアラートが表示されると、黄色で点灯します。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

対応策:

充電ポート口に充電ケーブルをしっかりと挿入します。

車両が充電を開始し、充電ポート ライトが緑色で点滅した場合、その充電ケーブルは前回完全に挿入されていなかった可能性があります。AC 充電は既に制限されず、DC 急速充電/スーパーチャージャーが使用できるようになります。

充電が依然制限されている場合、または車両がまったく充電をしない場合、充電ポート入口および充電ケーブル コネクターに、ごみ、水分、異物といった障害物がないか点検します。充電ポート入口の障害物を確実に取り除き、水分が乾くまで待ってから、ケーブルを再度、充電ポートに挿入します。

充電がまだ制限されている場合、または車両がまったく充電されない場合は、充電ポートのラッチ マニュアル リリース ケーブル（トランクの左側にある）が引かれていないことを確認してください。手動ケーブル リリースのためのハンドル（通常リング状または紐）に障害物がなく（荷物ネットや傘など）が取り付けられていないことを確認します。充電ポート手動リリースの使用に関する詳細については、[手動で充電ケーブルを外す ページ 151](#) を参照してください。



また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[地図とナビゲーション ページ 132](#)を参照してください。

モバイル コネクタおよびウォールコネクタのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

充電に関する情報は、[充電方法 ページ 147](#)を参照してください。

DI_f138

フロント モーター無効 - 走行可能 車両出力は制限される可能性あり

このアラートの意味:

車両のフロント モーターが使用できません。出力、速度および加速は減少する可能性があります。車両はリア モーターを使用して走行を継続します。

対応策:

引き続き目的地まで向かってください。車両を運転しても問題はありません。

このアラートは自動的に解消される一時的な状態によって生じている可能性があります。現在の走行中にこのアラートがクリアされた場合や、次の走行を開始したときに発生しない場合、一時的な状態によって生じたものと思われます。特に対応は必要ありません。

このアラートはフロント モーターの点検やサービスを必要とする状態を示している可能性もあります。その後の走行でもこのアラートが解消されない場合、サービス予約することを推奨します。その間は車両を運転することに問題はありません。

DI_u006

移動しないように車両が自動でパーキング シートベルトを装着しドアを閉めて、ギアをそのままにしてください

このアラートの意味:

運転者が車両を離れているまたは存在しないと車両が判断したために、車両は自動でパーキング (P) にシフトしました。これはさまざまな環境において期待される車両の挙動です。

以下の条件が**すべて**真である場合、車両は自動的にパーキングにシフトします。

- オートパーキング が有効ではありません
- 車両がドライブまたはリバースで 1.4 mph (2.25 km/h) よりも低い速度で移動している。
- 最後のドライバーのアクティビティが 2 秒前よりも以前に検知されている。ドライバーのアクティビティには 次が含まれません。
 - ブレーキ ペダルおよび/またはアクセル ペダルを踏む

およびこれらの条件の少なくとも **2 つ**が真である。

1. ドライバー シートベルトが、バックルされていない状態で検知された。
2. ドライバーが現存するとして検出されない。
3. ドライバー ドアが、開いているとして検知された。

注: 車両が 2015 年以降のソフトを実行している場合、上記の条件 **3 つすべて**が真であると、車両スピードや、ブレーキ ペダル/アクセル ペダルが最後に踏まれたタイミングに関わらず、車両は自動的にパーキングにシフトします。

また、以下の条件が**すべて**真である場合にも、車両は自動的にパーキングにシフトします。

- 車両ホールドが作動している



トラブルシューティングのアラート

- 車両がドライブ (D) またはリバース (R) にシフトしている
- ドライバー ドアが、開いているとして検知される

注: 充電ケーブルが充電ポートに接続されている場合にも、車両は自動的にパーキングにシフトします。

対応策:

パーキングへの自動シフトに関する詳細については、[ギアシフト ページ 62](#) を参照してください。

DI_u015

クルーズコントロール利用不可

このアラートの意味:

クルーズコントロール、トラフィックアウェア クルーズコントロールを含み、は現在利用できません。

クルーズコントロールが使用できないのは以下の原因が考えられます。

- 運転者が要望をキャンセルした。
- 運転者がシートベルトのバックルを外そうとした。
- フロントトランク、トランクまたはドアが開いたままになっている。
- 車両は、クルーズコントロールの最小速度である 18 mph (30 km/h) よりも低い速度で移動します。
- これには視認性の制限といった環境状態があります。
- バレーモードが有効。

対応策:

車両の各種操作や運転は手動で行ってください。

クルーズ コントロールの起動を妨げている条件が解消されると、クルーズ コントロールは使用できます。このアラートがその後の運転時にも発生する場合は、早急にサービスを予約してください。その間は車両を運転することに問題はありません。

詳細な情報については、[トラフィックアウェア クルーズコントロール ページ 87](#) を参照してください。

DI_u024

オートパーキングがキャンセルされました 運転を変えてください

このアラートの意味:

オートパーキング がキャンセルされました。

オートパーキング は、次の理由によりキャンセルされた可能性があります。

- 運転者がタッチスクリーンの「キャンセル」ボタンを押しました。
- 運転者がハンドルを動かしました。
- 運転者がアクセル ペダルを踏んだか、ブレーキ ペダルを踏んだか、ドアを開きました。
- 急な坂道があります。
- 視認性に影響のある気象条件です。
- 縁石は検知できません。
- 車両にトレーラーが連結されています。

対応策:

車両を手動でパーキングするか、パーキングを終了してください。



オートパーキング は、次回運転時には使用できます。

詳細な情報については、[オートパーキング ページ 98](#) を参照してください。

DI_u025

オートパーキングが中断されました

このアラートの意味:

オートパーキング が停止し、電子パーキング ブレーキがかかりました。

オートパーキング は、次の理由によりキャンセルされた可能性があります。

- 運転者がタッチスクリーンの「キャンセル」ボタンを押しました。
- 運転者がハンドルを動かしました。
- 運転者がアクセル ペダルを踏んだか、ブレーキ ペダルを踏んだか、ドアを開きました。
- 急な坂道があります。
- 視認性に影響のある気象条件です。
- 縁石は検知できません。
- 車両にトレーラーが連結されています。

対応策:

車両を手動でパーキングするか、パーキングを終了してください。

オートパーキング は、次回運転時には使用できます。

詳細な情報については、[オートパーキング ページ 98](#) を参照してください。

DI_u032

アダプティブ ライド コントロール無効 注意して運転

このアラートの意味:

アダプティブ サスペンション ダンピング システムに問題があるために、車両スピードは 90 mph (144 km/h) に制限されています。

システムは乗り心地とハンドリングの両方を最適化するためにサスペンション システムをリアルタイムで調整することができないため、乗り心地は普段よりもソフトになります。

対応策:

このアラートがその後の運転時にも発生する場合は、早急にサービスを予約してください。その間は車両を運転することに問題はありません。

このアラートではインストルメントパネルに赤色のインジケーター ライトの点灯が付随します。詳細な情報については、「[エアサスペンション](#)」 [ページ 72](#) を参照してください。

DI_w039

回生ブレーキ使用不可 必要に応じてブレーキ ペダルを使用

このアラートの意味:

回生ブレーキの性能が一時的に低下しており、走行中にアクセルペダルから足を上げたときに自動減速が小さくなっています。



トラブルシューティングのアラート

次の場合アラートが発生する可能性があります。

- 高電圧バッテリーがフル充電された状態に近い場合。バッテリーが 95%以上充電されている場合、回生ブレーキが制限されます。
- 高電圧バッテリーが十分に温まっていない場合。これは運転の初期段階で発生する可能性があります。寒冷気象時に頻発する可能性があります。

対応策:

車両を運転しても問題はありません。

電動自動車ではないガソリン車の場合と同様に、必要に応じて車両の速度を落としてください。

車両を走行させると、バッテリー充電量が 95%未満になり、バッテリーが十分に温まるので、通常このアラートはクリアされます。

注: より寒冷な気候では、車両を運転しても回生ブレーキの性能が完全に回復するほどバッテリーが暖まらず、このアラートがいつまでも消えず、自動減速が制限されたままになる可能性があります。Tesla モバイル アプリの「車の霜取り」を使用すると、走行前に高電圧バッテリーを温め、通常回生ブレーキを復旧させることができます。詳細については、「[寒冷気象時のベストプラクティス](#)」 ページ 129 を参照してください。

このアラート自体は通常、サービスが必要な状態を示すものではありません。他の走行においてもこのアラートが継続する場合、車両の回生ブレーキ機能に影響が生じていることを示している可能性があるため、できるだけ早くサービスを予約するようにしてください。

詳細な情報については、「[回生ブレーキ](#)」 ページ 69 を参照してください。

DI_w138

フロント モーター無効 - 走行可能 車両出力は制限される可能性あり

このアラートの意味:

車両のフロント モーターが使用できません。出力、速度および加速は減少する可能性があります。車両はリア モーターを使用して走行を続けます。

対応策:

引き続き目的地まで向かってください。車両を運転しても問題はありません。

このアラートは自動的に解消される一時的な状態によって生じている可能性があります。現在の走行中にこのアラートがクリアされた場合や、次の走行を開始したときに発生しない場合、一時的な状態によって生じたものと思われます。特に対応は必要ありません。

このアラートはフロント モーターの点検やサービスを必要とする状態を示している可能性もあります。その後の走行でもこのアラートが解消されない場合、サービス予約することを推奨します。その間は車両を運転することに問題ははありません。

DI_w168

車両ホールド機能利用不可 停車中はブレーキを踏み続けてください

このアラートの意味:

システム上の制約のため、現在、「車両ホールド」を使用できません。停止時には、ブレーキ ペダルを踏んで、車両を完全に停止させ、車両を停止した状態を維持してください。

対応策:

引き続き目的地まで向かってください。車両を運転しても問題はありません。



このアラートがその後の運転時にも発生する場合は、早急にサービスを予約してください。その間は車両を運転することに問題はありません。

詳細については、[オートブレーキ ホールド ページ 76](#) を参照してください。

DI_w172

パワートレインの整備が必要です 急加速しないでください

このアラートの意味:

パワートレイン システムで問題が検出されました。

車両がドライブ ユニットとホイールの間で過剰なバックラッシュ（ラッシュ）を検出しました。大きな、または過剰なラッシュは、機械的な摩耗があることを示しています。

考えられる原因は数多くあるため、パワートレインの点検が必要です。

対応策:

パワートレインの点検のためにできるだけ早期にサービス予約することを推奨します。

その間は車両を運転することに問題はありません。現在向かっている目的地およびサービスセンターまでなら運転することができます。より多くの負荷がパワートレインにかかるため、急加速は行わないでください。

できるだけ早くサービスを予約してください。この問題を放置したまま運転すると、走行中に車両が突然停止する恐れがあります。

GTW_w017

電力システムの電力減少 非必須機能が利用不可

このアラートの意味:

シートヒーターやキャビンの冷暖房といった必須ではない機能は利用できなくなるか制限されたレベルで作動する可能性があります。これは車両が必須機能のために十分な電力を維持することを支援するための予定された挙動です。

対応策:

このアラートはさまざまな車両の状況によって発生する可能性があります。詳細情報および追加の推奨処置については、車両の電気系に影響を与える状況に特有のその他のアラートを確認してください。

GTW_w018

電力システムの電力減少 非必須機能が利用不可

このアラートの意味:

シートヒーターやキャビンの冷暖房といった必須ではない機能は利用できなくなるか制限されたレベルで作動する可能性があります。これは車両が必須機能のために十分な電力を維持することを支援するための予定された挙動です。

対応策:

このアラートはさまざまな車両の状況によって発生する可能性があります。詳細情報および追加の推奨処置については、車両の電気系に影響を与える状況に特有のその他のアラートを確認してください。



トラブルシューティングのアラート

GTW_w174

12V バッテリー交換必要 - サービスを予約 バッテリーを交換するまでソフトウェア更新不可

このアラートの意味:

低電圧バッテリーの性能が劣化しているため、交換する必要があります。低電圧バッテリーを交換するまで、車両ソフトウェアのアップデートはできません。

対応策:

できるだけ早急に低電圧バッテリーを交換することを推奨します。

サービス予約は Tesla モバイル アプリからや、車両の低電圧バッテリーの交換を提供する独立系サービス プロバイダーで実施することができます。地元業者の選択は、車両の構成やお住いの場所により異なります。

このアラートがあっても車両を運転することに問題はありません。ただし低電圧バッテリーの交換が遅れた場合、最後にドライブした後に車両の起動や、走行ができなくなる恐れがあります。

低電圧バッテリーの著しい低下により、車両の電源を入れることができない場合やドアが開かなくなっている場合は、[バッテリーの保護 ページ 145](#) の指示に従ってください。

バッテリーシステムに関する詳細情報については、[高電圧バッテリーに関する情報 ページ 145](#) をご参照ください。

GTW_w360

ブレーキ性能低下アシストを起動 停止するには、ペダルを強く踏み続けてください

このアラートの意味:

油圧フェード補正が有効です。このブレーキアシスト機能は、車両がブレーキ性能の低下を検出した場合にブレーキ能力を確保するために一時的に作動します。

このアシスト機能が作動すると、ブレーキペダルが足から離れるのを感じ、ブレーキ圧力が大幅に増加することに気付く場合があります。また、車両前部にあるブレーキ油圧ユニットからポンピング音が聞こえる場合があります。これは通常、路面と車速に応じて数秒間続きます。これは正常な状態であり、車両の問題を示すものではありません。

対応策:

ブレーキペダルは通常どおり使用してください。ペダルを「ポンピング」（繰り返し押しして離す）すると機能が中断されます。

このアラートは、車両が停止するか、ブレーキペダルを踏んでいないときに解除されます。解除後、アラートは最大 5 秒表示される場合があります。

通常、ブレーキ性能の低下は一時的なものであり、急ブレーキによるブレーキ温度上昇、極端な低温または雨天時の運転など、さまざまな理由で発生する可能性があります。また、ブレーキパッドまたはローターが摩耗し、定期交換が必要なことを示している場合もあります。

しばらく時間が経過してもブレーキ性能の低下が改善されない場合は、Tesla サービスに連絡してブレーキの点検を依頼してください。

詳細な情報は、[油圧フェード補正 ページ 68](#) を参照してください。

GTW_w405

電力システムの電力減少 車は突然シャットダウンされることがあります

このアラートの意味:

電気系が車両の全機能をサポートする電圧を維持できません。



運転中にこのアラートが発生した場合、車両が突然停止する可能性があります。

最後のドライブの後に車両を再始動させることができない可能性もあります。

対応策:

必須ではない機能の使用をやめるか減らすことを推奨します。こうすると車両が必須機能のために十分な電力を維持することを支援することができます。こうすることで、保証することはできませんが、最寄りの目的地に到達する前に、車両がシャットダウンしてしまうことを防止することにもなります。

このアラートが有効なままになっている場合、サービスの予約を直ちにしてください。整備を行わない場合、車両が走行しなくなる、突然シャットダウンする、または再起動しなくなるおそれが生じます。

MCU_u005

フロントトランクが開いています 慎重に進んでください

このアラートの意味:

車両のフロントトランク（フード）が、運転中に開いていることが検出されました。

このアラートは、フードを固定している 2 つのラッチ（フロントトランクのプライマリーラッチおよびセカンダリーラッチ）のうち少なくとも 1 つが、パーキング以外のギアにシフトされたときに完全に確実に閉じられていないことを示しています。

対応策:

走行中にフロントトランクが開く可能性がありますので、安全に停車し、パーキングにシフトするまで慎重に走行することをお勧めします。

駐車後、フロントトランク（フード）が完全に閉まっていること（両方のラッチが完全にかみ合っている）を確認してください。詳細については、[フロントトランク ページ 30](#) を閉める方法を参照してください。

車両がパーキングにシフトされると、アラートは解除されます。ただし、フードを点検して完全に閉じないと、運転の再開時にアラートが再発する可能性があります。

アラートが何度も続く場合、または運転するうちに発生頻度が高くなる場合は、早急に修理を依頼されることをお勧めします。

フロントトランクに関する詳細情報については、[フロントトランク ページ 30](#) をご参照ください。

MCU_u019

サービスが車両に接続しています サービスがリモート診断実行中

このアラートの意味:

サービス技術者がお客様の車両に遠隔でログインし、診断または修理を行います。接続中にインフォテインメント機能の一部が使用できなくなる場合がありますが、このアラートは車両の問題を示すものではありません。

車両を運転しても問題はありません。

対応策:

このアラートは、技術者が車両の診断または修理を完了すると自動的にクリアされます。アラートがクリアされた後、完全なインフォテインメント機能を復元するには、タッチスクリーンを再起動する必要がある場合があります。詳細の情報は、車両の「[DIY ガイド](#)」にある「タッチスクリーンの再起動」を参照してください。

このアラートが 24 時間経過してもクリアされない場合は、Tesla モバイル アプリを介して、または地元業者にサービス予約することを推奨します。地元業者の選択は、車両の構成やお住いの場所により異なります。



トラブルシューティングのアラート

MCU_w008

タイヤの空気圧が低すぎます

安全に車両を駐車し、パンクしていないか確認してください

このアラートの意味:

このアラートは、車両の1つ以上のタイヤの空気圧が極端に低いか、またはパンクしていることを示しています。

タイヤ空気圧モニタリングシステム (TPMS) は、1つ以上のタイヤ空気圧が推奨された低温時のタイヤ空気圧より著しく低下していることを検知しました。

対応策:

注意しながらすぐに車両を路肩に停車させてください。安全な場所でパンクしていないかを確認してください。

必要に応じて、Tesla ロードサイドアシスタンス オプション (出張タイヤ交換サービス、レンタルホイール、けん引) をご依頼いただけます。さらなる詳細は、[Tesla ロードサイドアシスタンスに連絡する ページ 187](#) をご参照ください。

緊急時以外であれば、地域のタイヤ販売店を訪れて支援を求め、Tesla モバイル アプリを使用してサービス予約することを推奨します。

車両のタイヤの寒冷時推奨圧力値 (RCP) の記載箇所、タイヤ空気圧の点検方法、およびタイヤ空気圧の正しい維持方法に関する詳細な情報については、「[タイヤ空気圧の維持](#)」 [ページ 160](#) を参照してください。

TPMS がタイヤ空気圧測定を行い、各タイヤの空気圧力が寒冷時推奨値の誤差 3 psi 以内であることが確認されると、アラートは解除されます。

- タイヤに推奨低温時圧力まで空気を入れた直後は、このアラートがまだ存在し、タイヤ空気圧インジケーター ライトがまだ点灯している可能性があります。これら両方は短い距離を運転した後は解消します。
- タイヤ空気圧モニタリングシステムが更新されたタイヤ空気圧を測定して報告するには、15 mph (25 km/h) を超えて 10 分以上運転する必要がある場合があります。

タイヤの空気圧と空気注入に関する詳細情報については、[タイヤのお手入れとメンテナンス ページ 160](#) を参照してください。

MCU_w010

タイヤの空気圧が推奨値以下

空気圧を確認し、必要に応じて充填してください

このアラートの意味:

このアラートは、タイヤのパンクを示すものではありません。

タイヤ空気圧モニタリングシステム (TPMS) は、1つ以上のタイヤ空気圧が推奨された低温時タイヤ空気圧より少なくとも 20% 低下していることを検知しました。

車両のタイヤの寒冷時推奨圧力値 (RCP) の記載箇所、タイヤ空気圧の点検方法、およびタイヤ空気圧の正しい維持方法に関する詳細な情報については、「[タイヤ空気圧の維持](#)」 [ページ 160](#) を参照してください。

タイヤの空気は冷えると自然に収縮して、タイヤ空気圧は減少するので、このアラートは寒冷気象の際に発生する可能性があります。

対応策:

空気を入れて、推奨低温時タイヤ空気圧を維持してください。より気温の低い気象条件ではタイヤ空気圧の低下が予測されますが、常に推奨低温時タイヤ空気圧を維持するようにしてください。

車両が走行するとアラートが消えることがあります。これはタイヤが暖まることで、タイヤ空気圧が増加するためです。アラートが消えても、冷却後にタイヤに空気を入れてください。

それぞれのタイヤが推奨低温時圧力まで加圧されていることを、タイヤ空気圧モニタリングシステムが検知するとこのアラートは解消されます。



- タイヤに推奨低温時圧力まで空気を入れた直後は、このアラートがまだ存在し、タイヤ空気圧インジケーター ライトがまだ点灯している可能性があります。これら両方は短い距離を運転した後には解消します。
- タイヤ空気圧モニタリングシステムが更新されたタイヤ空気圧を測定して報告するには、15 mph (25 km/h) を超えて 10 分以上運転する必要がある場合があります。

同じタイヤでこのアラートが繰り返し表示される場合は、タイヤの空気漏れがないかを点検してください。最寄りのタイヤ販売店を訪問するか、Tesla モバイル アプリを使用してサービス予約をすることができます。

タイヤの空気圧と空気注入に関する詳細情報については、[タイヤのお手入れとメンテナンス ページ 160](#) を参照してください。

タイヤの空気圧と空気注入に関する詳細情報については、[タイヤのお手入れとメンテナンス ページ 160](#) を参照してください。

MCU_w029

整備が必要です

今すぐ/サービスを予約してください

このアラートの意味:

この警告は、サービスが必要な状態が車両に検出されると、Tesla がリモートで設定します。

この警告はさまざまな状況によって設定される可能性があります。サービスを予約すると、より詳細な情報を入手することができます。

この警告は車両のサービスが完了した後に、サービス技術者によってしかクリアすることができません。

対応策:

この警告はさまざまな状態で発生するおそれがありますので、できるだけ早くサービスを予約することをお勧めします。

TAS_a313

乗り心地が低下する可能性があります

このアラートの意味:

これは車両のアダプティブ サスペンション ダンピングシステムに関する問題です。結果的に、サスペンション システムをリアルタイムで調整して、乗り心地とハンドリングの両方を最適化することができなくなります。

その代わり、すべてのダンパーは一定の電流を受けます。乗り心地は通常よりもソフトになるかしっかりとします。

対応策:

このアラートがその後の運転時にも発生する場合は、早急にサービスを予約してください。その間は車両を運転することに問題はありません。

このアラートではインストゥルメントパネルに黄色のインジケーター ライトの点灯が付随します。詳細な情報については、「[エアサスペンション](#)」 ページ 72 を参照してください。

TAS_a314

アダプティブライドコントロール利用不可

車両速度制限中 - 注意して走行してください

このアラートの意味:

これは車両のアダプティブ サスペンション ダンピングシステムに関する問題です。結果的に、システムは乗り心地とハンドリングの両方を最適化するためにサスペンション システムをリアルタイムで調整することができないため、乗り心地は普段よりもソフトになります。

対応策:



トラブルシューティングのアラート

このアラートがその後の運転時にも発生する場合は、早急にサービスを予約してください。その間は車両を運転することに問題はありません。

このアラートではインストゥルメントパネルに赤色のインジケーター ライトの点灯が付随します。詳細な情報については、「[エアサスペンション](#)」 ページ 72 を参照してください。

THC_u0005

エアコンが一時的に低下しています 車両システムを冷却中

このアラートの意味:

キャビンの空調能力が一時的に低下しました。これは、車両の冷却能力を高電圧バッテリー（バッテリー）とパワートレインの両方またはいずれかの冷却に割く必要があるためです。この状況に問題はまったくなく、車両や空調（A/C）システムの異常を表すものではありません。

車内の冷房だけでなく、A/C コンプレッサーはバッテリーの冷却にも対応しています。A/C システムでは、バッテリーの寿命を保ち、バッテリーの最適化性能をサポートするために必要な最適な温度範囲にバッテリーを保つのが最優先順位になっています。

高温環境では、バッテリーの冷却に車両の冷却能力が短時間集中的に割り当てられるのは正常です。この状態になる場合のほとんどは、気温が高い時に車両をスーパーチャージャー充電している際に発生します。

対応策:

特に対応は必要ありません。車両を運転しても問題はありません。

アラートはすぐに解消され、キャビンの空調能力も正常に戻ります。ときには、スーパーチャージャー充電が終わるまでアラートや車両の冷却不足が続くことがあります。

複数運転してもアラートが解消されず、A/C システムの潜在的な問題を示す他のアラートが出ている場合は、お客様の都合のよいスケジュールで Tesla サービスに A/C システムの検査をご用命ください。

THC_w0100

バッテリーヒーターを使用できません - 充電速度低下 低温では充電できなくなる可能性があります

このアラートの意味:

車両の高電圧バッテリー ヒーターの性能に影響する状況が検出されました。

高電圧バッテリーを適切に加温していない場合、充電速度が減少することがあります。高電圧バッテリー ヒーターが使用できないままの場合、低気温（寒冷気象条件）において車両が充電できなくなることもあります。

対応策:

車両を運転しても問題はありません。お客様の車両も、充電および充電ステーションへの接続をすることができます。ただし、低気温においては、車両が充電できない可能性や、予想以上に充電速度が遅い可能性があります。

可能であれば、ガレージのような閉鎖環境において車両の充電を試みてください。周辺温度が高い場合、高電圧バッテリーの加温が不要になる可能性があります。

低温時に走行する場合、高電圧バッテリーが低温になりすぎて、充電できなくなる可能性があるため、目的地に到達するまでのルートにある充電ステーションを頼りにしないことをお勧めします。

- 充電する必要がある場合は、走行直後に車両を充電するようにしてください。前回の走行により、高電圧バッテリーはまだ温かい状態である可能性があります。
- 走行後、低気温で車両を駐車したままにすると高電圧バッテリーが冷えて、充電ができなくなる可能性があります。

前と同じように、低温時に走行する場合、回生ブレーキによる高電圧バッテリーの充電に頼らないようにすることをお勧めします。これは、バッテリー温度が低すぎる場合、回生ブレーキが使用できなくなる可能性があるためです。詳細な情報は、[回生ブレーキ](#) ページ 69 を参照してください。



このアラートは多くの状況によって発生する可能性があります。解決のための対処が必要ない一時的な状況によって発生する可能性もあります。

ただし、このアラートが複数の走行にわたって解消されない場合や、車両の暖房および/または空調システムに潜在的問題があることを示す他のアラートが付随している場合、できるだけ早い時機にサービス予約をすることをお勧めします。

充電に関する情報は、[充電方法 ページ 147](#) を参照してください。

高電圧バッテリーに関する詳細情報については、[高電圧バッテリーに関する情報 ページ 145](#) を参照してください。

UMC_w001

モバイル コネクタを使用した充電不可 不適切なコンセントのアース - 別のコンセントで試行

このアラートの意味:

モバイル コネクタにより電気コンセントのアースが不十分であることが検出されました。アース接続が不十分またはないためと思われます。

これはモバイル コネクタまたは車両に問題があることを示すものではありませんが、モバイル コネクタが接続している壁面コンセント/電気設備に問題があることを示します。

対応策:

電気技術者による電気設備の点検を行ってください。電気技術者はサーキット ブレーカーまたは配電ボックスが正しくアースされていることを確認する必要があります。また、モバイル コネクタを再度差し込む前にコンセントへ適切な接続がなされていることを確認する必要があります。

その間にも充電する必要がある場合、別のコンセント、別の場所、または他のタイプの充電ステーションを使用して充電を試みてください。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[地図とナビゲーション ページ 132](#) を参照してください。

モバイル コネクタのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、[製品のオーナーズマニュアル](#)をご参照ください。

UMC_w002

充電不可 - モバイルコネクタ漏電を検知 充電ポートから充電ハンドルを外して再試行します

このアラートの意味:

モバイル コネクタの漏電遮断器 (GFCI) が落ちたため、車両は充電を行えません。

壁付けコンセントの GFCI 同様、この機能は、問題がある時に電気の流れを遮断するように設計されています。充電を中断して車両と充電機器を保護します。

これは、さまざまな要因により発生します。充電ケーブル、充電ハンドル、充電ポート、または車載コンポーネントに問題が発生しています。

対応策:

水が溜まっていたり、いつもより結露が多く付着していないか、充電ポートと充電ハンドルを点検します。過剰な結露に気づいたら、もう一度試す前に、待機して、充電ポートの内側と充電ハンドルの露出部分の両方を十分に乾かします。

充電機器に損傷がないか点検してください。

- ケーブルに何か損傷があるか、ケーブルが劣化している場合、**使用しないでください**。別の充電機器をお試しください。
- ケーブルが良好な状態である場合、同じモバイル コネクタを使用して充電を再度お試しください。



トラブルシューティングのアラート

問題が解決しておらず充電できない場合、別の充電機器を使用して充電をお試しください。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーションチャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[地図とナビゲーション ページ 132](#)を参照してください。

モバイルコネクタのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、[製品のオーナーズマニュアル](#)をご参照ください。

UMC_w004

モバイルコネクタを使用した充電はできません 電圧超過 / 別の壁面コンセントをお試しください

このアラートの意味:

モバイルコネクタが以下のいずれかに該当するため、車両を充電できないか、充電が中断されています。

- 壁付けコンセントの電圧が異常に高い、または
- 壁面コンセントで想定外の供給電圧上昇が検出されている。

対応策:

別の壁付けコンセントを使用して、車両の充電をお試しください。別の機器で車両の充電が開始された場合は、元の壁付けコンセントに問題があったと考えられます。電気工事業者に連絡し、このコンセントまでの建物の配線接続調査をご依頼ください。

別の壁付けコンセントを試しても車両が充電されない場合、別の場所で充電をお試しください。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーションチャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[地図とナビゲーション ページ 132](#)を参照してください。

モバイルコネクタのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、[製品のオーナーズマニュアル](#)をご参照ください。

UMC_w005

モバイルコネクタを使用した充電はできません 電圧低下 / 別の壁面コンセントをお試しください

このアラートの意味:

モバイルコネクタが以下のいずれかに該当するため、車両を充電できないか、充電が中断されています。

- 壁付けコンセントから十分な供給電圧を検知していない、または
- 壁付けコンセントから予期せぬ供給電圧の低下が検出されている。

対応策:

別の壁付けコンセントを使用して、車両の充電をお試しください。別の機器で車両の充電が開始された場合は、元の壁付けコンセントに問題があったと考えられます。電気工事業者に連絡し、このコンセントまでの建物の配線接続調査をご依頼ください。

別の壁付けコンセントを試しても車両が充電されない場合、別の場所で充電をお試しください。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーションチャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[地図とナビゲーション ページ 132](#)を参照してください。



モバイル コネクターステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、[製品のオーナーズマニュアル](#)をご参照ください。

UMC_w007

モバイル コネクターステータスライトの温度が高い モバイル コネクターステータスライトの温度を下げてから充電を再開してください

このアラートの意味:

モバイル コネクターステータスライトハウジング内の高温を検出したために充電が中断しました。

対応策:

モバイル コネクターステータスライトが何かで覆われていたり、熱源が近くにないことを確認してください。通常の周囲温度（38°C未満）で問題が解決されない場合は、サービスが必要です。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[地図とナビゲーション ページ 132](#)を参照してください。

モバイル コネクターステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、[製品のオーナーズマニュアル](#)をご参照ください。

UMC_w008

充電不可 - 壁プラグが高温 壁コンセントおよび配線の点検を推奨

このアラートの意味:

モバイル コネクターステータスライトによる高温検出アラートは、充電に使用するコンセントが非常に高温になったため、コンセントを保護するために充電が停止したことを示しています。

これはモバイル コネクターステータスライトまたは車両に問題があることを示すものではありませんが、モバイル コネクターステータスライトが接続している壁面コンセント/電気設備に問題があることを示します。

コンセントに高温が発生している原因は、プラグが完全に差し込まれていないこと、コンセントへの建物の配線に緩みがあること、コンセントが摩耗し始めていることが考えられます。

対応策:

アダプターがコンセントに完全に挿入されていることを確認します。充電速度が正常な状態に戻らない場合は、電気工事業者に連絡し、コンセントおよび建物の配線を調査して必要な修理を行ってください。

コンセントが古くなっている場合は、品質の高いコンセントと交換してください。Tesla ウォールコネクターステータスライトのアップグレードを検討してください。利便性および充電速度をさらに向上できます。

UMC_w009

充電不可 - 充電ハンドルの温度が高い 充電ハンドルまたはポートに異物がないか確認してください

このアラートの意味:

モバイル コネクターステータスライトが、車両の充電ポートに接続している充電ハンドルの高温を検出したため、充電が中断されました。

対応策:

モバイル コネクターステータスライトが車両の充電ポート入口にしっかり挿入されていることを確認してください。

充電ポート入口およびモバイル コネクターステータスライト ハンドルに障害物や水分がないか点検してください。充電ポートまたはモバイル コネクターステータスライトの障害物を確実に取り除き、水分が乾くまで待ってから、モバイル コネクターステータスライト ハンドルを再度、充電ポートに挿入します。



トラブルシューティングのアラート

さらにモバイル コネクターの充電ハンドルが何かで覆われていたり、熱源が近くにないことを確認してください。

正常な周辺温度（38°C未満）でも警告が消えず、複数回充電を試みても発生する場合、モバイル コネクターまたは車両に影響を及ぼしている状態を示している可能性があります。都合の良いときにサービスを予約することをお勧めします。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[地図とナビゲーション ページ 132](#)を参照してください。

モバイル コネクターのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、[製品のオーナーズマニュアル](#)をご参照ください。

UMC_w010

モバイル コネクターからアダプターまでの接続部が加熱 冷えるのを待つ - アダプターをモバイル コネクターにしっかり差し込む

このアラートの意味:

モバイル コネクターが壁面プラグ アダプターと制御ボックスの間の接続に高温を検知したため、充電が中断されました。

対応策:

壁面プラグ アダプターがモバイル コネクターの制御ボックスにしっかり接続していることを確認します。

さらに壁面プラグ アダプターが何かで覆われていたり、熱源が近くにないことを確認してください。

電源（壁面コンセント）からプラグを抜いたら、壁面プラグ アダプターの接続およびモバイル コネクターの制御ボックスの接続に障害物や水分がないか点検してください。障害物を確実に取り除き、水分が乾くまで待ってから、壁面プラグ アダプターを再度モバイル コネクターに挿入してから、さらに電源（壁面コンセント）に接続します。

モバイル コネクター制御ボックスの温度が下がり、障害物を取り除いたら、警告が消えて充電が可能になります。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[地図とナビゲーション ページ 132](#)を参照してください。

モバイル コネクターのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、[製品のオーナーズマニュアル](#)をご参照ください。

UMC_w011

充電機器に通信エラーが発生しました 再試行または別の機器をお試しください

このアラートの意味:

モバイル コネクターと有効な通信ができないために車両を充電できません。モバイル コネクターは、充電ハンドルが車両にしっかり接続していることを、近接検知によって確認することができません。

対応策:

まず、有効な通信がない原因が、モバイル コネクターによるもので、車両の問題ではないことを確認してください。一般的にはこれが当てはまります。

これを確認するためには、別の外部充電機器を使用して車両の充電を試みます。

- 車両が充電を開始したら、モバイル コネクターの問題であることが確認できます。
- 車両が充電を開始しないようなら、車両に問題があることが考えられます。

充電ポート入口およびモバイル コネクター ハンドルに障害物がないことを確認してください（必要に応じてフラッシュライトを使用）。障害物を確実に取り除き、水分が乾くまで待ってからモバイル コネクター ハンドルを充電ポートに挿入します。



このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[地図とナビゲーション ページ 132](#)を参照してください。

モバイル コネクターのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、[製品のオーナーズマニュアル](#)をご参照ください。

充電に関する情報は、[充電方法 ページ 147](#)を参照してください。

UMC_w012

充電機器に通信エラーが発生しました 再試行または別の機器をお試しください

このアラートの意味:

モバイル コネクターと有効な通信ができないために車両を充電できません。モバイル コネクターは有効な制御パイロット信号を生成または維持できないことを検出しました。

対応策:

まず、有効な通信がない原因が、モバイル コネクターによるもので、車両の問題ではないことを確認してください。一般的にはこれが当てはまります。

これを確認するためには、別の外部充電機器を使用して車両の充電を試みます。

- 車両が充電を開始したら、モバイル コネクターの問題であることが確認できます。
- 車両が充電を開始しないようなら、車両に問題があることが考えられます。

充電ポート入口およびモバイル コネクター ハンドルに障害物がないことを確認してください (必要に応じてフラッシュライトを使用)。障害物を確実に取り除き、水分が乾くまで待ってからモバイル コネクター ハンドルを充電ポートに挿入します。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[地図とナビゲーション ページ 132](#)を参照してください。

モバイル コネクターのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、[製品のオーナーズマニュアル](#)をご参照ください。

充電に関する情報は、[充電方法 ページ 147](#)を参照してください。

UMC_w013

壁プラグ アダプター エラー - 充電速度を低下 アダプターをモバイル コネクタに挿入し再試行

このアラートの意味:

モバイル コネクターが壁プラグ アダプターと通信できません。モバイル コネクターは壁プラグ アダプターの温度を監視できないため、充電電流は自動的に 8A に減少します。

対応策:

1. 壁のコンセントから、壁プラグ アダプターを含むモバイルコネクターを完全に抜きます。
2. 壁プラグ アダプターとモバイル コネクター本体の間の接続がしっかりしていることを確認してください。
 - a. モバイルコネクター本体から壁プラグ アダプターを完全に外します。



トラブルシューティングのアラート

- b. 壁プラグ アダプターを、所定の位置にカチッと収まるまでソケットに押し込んで、モバイルコネクタ本体に完全に再挿入します。
3. 壁プラグ アダプターを含むモバイル コネクタを壁コンセントに完全に差し込んで、もう一度充電してみてください。
4. 警告が解消されない場合は、別の壁コンセント アダプターを使用してみてください（アダプターがモバイルコネクタに完全に接続されていることを確認するには、上記の手順を参照してください）。
 - a. アラートが表示されなくなった場合は、以前に使用していた AC アダプターに問題がある可能性があります。
 - b. アラートが続く場合は、モバイルコネクタに問題がある可能性があります。

必要に応じて別の壁コンセント アダプターまたはモバイル コネクタを購入します。

それまでは、同じ機器で充電を続けることができます。この状態が続く限り、充電電流は 8A に制限されるため、充電速度は低下します。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[地図とナビゲーション ページ 132](#)を参照してください。

モバイル コネクタのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、[製品のオーナーズマニュアル](#)をご参照ください。

UMC_w014

壁プラグ アダプター エラー - 充電速度を低下 アダプターをモバイル コネクタに挿入し再試行

このアラートの意味:

モバイル コネクタが壁プラグ アダプターと通信できません。モバイル コネクタは、AC アダプターが接続されているコンセントの種類を識別できないため、充電電流は自動的に 8A に減少します。

対応策:

1. 壁のコンセントから、壁プラグ アダプターを含むモバイルコネクタを完全に抜きます。
2. 壁プラグ アダプターとモバイル コネクタ本体の間の接続がしっかりしていることを確認してください。
 - a. モバイルコネクタ本体から壁プラグ アダプターを完全に外します。
 - b. 壁プラグ アダプターを、所定の位置にカチッと収まるまでソケットに押し込んで、モバイルコネクタ本体に完全に再挿入します。
3. 壁プラグ アダプターを含むモバイル コネクタを壁コンセントに完全に差し込んで、もう一度充電してみてください。
4. 警告が解消されない場合は、別の壁コンセント アダプターを使用してみてください（アダプターがモバイルコネクタに完全に接続されていることを確認するには、上記の手順を参照してください）。
 - a. アラートが表示されなくなった場合は、以前に使用していた AC アダプターに問題がある可能性があります。
 - b. アラートが続く場合は、モバイルコネクタに問題がある可能性があります。

必要に応じて別の壁コンセント アダプターまたはモバイル コネクタを購入します。それまでは、同じ機器で充電を続けることができます。この状態が続く限り、充電電流は 8A に制限されるため、充電速度は低下します。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[地図とナビゲーション ページ 132](#)を参照してください。

モバイル コネクタのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、[製品のオーナーズマニュアル](#)をご参照ください。



UMC_w015

壁プラグ アダプター エラー - 充電速度を低下 アダプターをモバイル コネクタに挿入し再試行

このアラートの意味:

モバイル コネクタが壁プラグ アダプターと通信できません。モバイル コネクタは、AC アダプターが接続されているコンセントの種類を識別できないため、充電電流は自動的に 8A に減少します。

対応策:

1. 壁のコンセントから、壁プラグ アダプターを含むモバイルコネクタを完全に抜きます。
2. 壁プラグ アダプターとモバイル コネクタ本体の間の接続がしっかりしていることを確認してください。
 - a. モバイルコネクタ本体から壁プラグ アダプターを完全に外します。
 - b. 壁プラグ アダプターを、所定の位置にカチッと収まるまでソケットに押し込んで、モバイルコネクタ本体に完全に再挿入します。
3. 壁プラグ アダプターを含むモバイル コネクタを壁コンセントに完全に差し込んで、もう一度充電してみてください。
4. 警告が解消されない場合は、別の壁コンセント アダプターを使用してみてください（アダプターがモバイルコネクタに完全に接続されていることを確認するには、上記の手順を参照してください）。
 - a. アラートが表示されなくなった場合は、以前に使用していた AC アダプターに問題がある可能性があります。
 - b. アラートが続く場合は、モバイルコネクタに問題がある可能性があります。

必要に応じて別の壁コンセント アダプターまたはモバイル コネクタを購入します。それまでは、同じ機器で充電を続けることができます。この状態が続く限り、充電電流は 8A に制限されるため、充電速度は低下します。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[地図とナビゲーション ページ 132](#)を参照してください。

モバイル コネクタのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、[製品のオーナーズマニュアル](#)をご参照ください。

UMC_w016

モバイル コネクタ制御ボックス高温 最大充電速度低下

このアラートの意味:

モバイル コネクタが制御ボックスハウジング内の高温を検知したために充電電流が一時的に低下しています。

対応策:

モバイル コネクタが何かで覆われていたり、熱源が近くにあることを確認してください。通常の周囲温度（38°C未満）で問題が解決されない場合は、サービスが必要です。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[地図とナビゲーション ページ 132](#)を参照してください。

モバイル コネクタのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、[製品のオーナーズマニュアル](#)をご参照ください。



トラブルシューティングのアラート

UMC_w017

充電速度が低下 - 壁プラグが高温 壁コンセントおよび配線の点検を推奨

このアラートの意味:

モバイル コネクタによる高温検出アラートは、充電に使用するコンセントが非常に高温になったため、コンセントを保護するために充電が低速になったことを示しています。

これは通常、車両またはモバイル コネクタの問題ではなく、コンセントの問題です。コンセントに高温が発生している原因は、プラグが完全に差し込まれていないこと、コンセントへの建物の配線に緩みがあること、コンセントが摩耗し始めていることが考えられます。

対応策:

アダプターがコンセントに完全に挿入されていることを確認します。充電速度が正常な状態に戻らない場合は、電気工事業者に連絡し、コンセントおよび建物の配線を調査して必要な修理を行ってください。

コンセントが古くなっている場合は、品質の高いコンセントと交換してください。Tesla ウォールコネクタのアップグレードを検討してください。利便性および充電速度をさらに向上できます。

UMC_w018

充電電流減少 - ハンドルの温度が高い 充電ハンドルまたはポートに異物がないか確認してください

このアラートの意味:

モバイル コネクタが、車両の充電ポートに接続している充電ハンドルの高温を検出したため、充電電流が一時的に減少しています。

対応策:

モバイル コネクタが車両の充電ポート入口にしっかり挿入されていることを確認してください。

充電ポート入口およびモバイル コネクタ ハンドルに障害物や水分がないか点検してください。充電ポートまたはモバイル コネクタの障害物を確実に取り除き、水分が乾くまで待ってから、モバイル コネクタ ハンドルを再度、充電ポートに挿入します。

さらにモバイル コネクタの充電ハンドルが何かで覆われていたり、熱源が近くにないことを確認してください。

正常な周辺温度（38°C未満）でも警告が消えず、複数回充電を試みても発生する場合、モバイル コネクタまたは車両に影響を及ぼしている状態を示している可能性があります。都合の良いときにサービスを予約することをお勧めします。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[地図とナビゲーション ページ 132](#)を参照してください。

モバイル コネクタのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、[製品のオーナーズマニュアル](#)をご参照ください。

UMC_w040

モバイルコネクタの接地不良 接地されたコンセントに接続

このアラートの意味:

モバイルコネクタが接続された電源コンセントに、適切な接地がされていないことを検出しました。これは、モバイルコネクタや車両自体の不具合を示すものではありません。この警告は、電気設備側に問題があることを示しています。



警告: 接地されていないコンセントで充電を行うと、感電の恐れがあります。



対応策:

別の電源コンセントにモバイルコネクタを接続してみてください。延長コードやサードパーティ製アダプターは取り外してください。

モバイルコネクタを接続するコンセントが適切に接地されているか、電気工事士に確認を依頼してください。

モバイルコネクタのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、[製品のオーナーズマニュアル](#)をご参照ください。

また、Tesla スーパーチャージャーを含む他の充電方法を利用することも可能です。これらの充電ステーションは、車両のセンター画面に表示される地図上で検索できます。問題の切り分けのため、お住まいの地域にサードパーティの充電ステーションが利用できる場合があります。詳細は、[航続距離を最大限に伸ばす ページ 154](#) 内の「レンジアシュアランス」セクションをご参照ください。



オーナー情報について

文書の適用可能性

お客様の車両に関する最新かつ重要な情報を得るには、車両のタッチスクリーンで「コントロール」>「サービス」>「オーナーズマニュアル」の順にタッチしてオーナーズ マニュアルを表示します。この情報は、購入された機能、車両設定、マーケット地域、およびソフトウェア バージョンに応じた、お客様の車両に特有のものです。これとは対照的にテスラが提供するオーナー情報は適宜更新されるものであり、お客様の車両に特有の情報が含まれない可能性もあります。

ソフトウェアのアップデート後に、タッチスクリーンに新機能に関する情報が表示されます。また、「コントロール」>「ソフトウェア」>「リリース ノート」をタッチすれば、いつでも表示できます。車両の使用方法に関してオーナーズマニュアルの内容がリリースノートの情報と矛盾する場合は、リリースノートを優先してください。

イラスト

本文書に掲載されるイラスト図は例示のために描かれています。車両のオプション、ソフトウェア バージョン、販売地域により、車両のタッチスクリーンに表示される情報は多少異なる場合があります。

利用できる機能

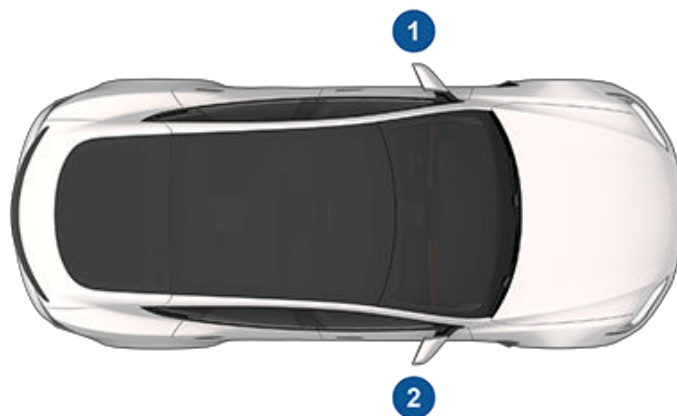
ご利用になれる機能は車両構成または販売市場地域によって異なります。オーナー情報でオプションまたは機能が記されている場合がありますが、お客様の車両でご利用になれることを保証するものではありません。詳細情報については、[機能の使用可否に関する声明 ページ 242](#) を参照してください。

誤りまたは不正確な記述

すべての仕様および記述は、公開の時点で正確であることを確認済みです。ただし、改良を続けることが Tesla の目標であるため、当社はいつでも製品変更を行う権利を留保します。誤記・脱字の報告やオーナーズマニュアルの品質に関する一般的なご意見・ご提案は、ownersmanualfeedback@tesla.com までメールにてお願いいたします。

コンポーネントの位置

オーナー情報は、コンポーネントの位置を車両の左側または右側に示すことがあります。図のように、左 (1) と右 (2) はシートに座った時の車両の左側、右側を示します。



著作権および商標

© 2012-2025 Tesla, Inc. 本書にあるすべての情報およびすべての車両ソフトウェアは、Tesla, Inc.およびライセンス許諾者の著作権およびその他知的財産権の対象となります。本ガイドは、Tesla, Inc. およびそのライセンス許諾者の書面による事前の許可なくして、いかなる部分も改変、複製、複写することを禁じます。詳細情報は要求により入手可能です。Tesla はオープンソースのコミュニティによって制作されたソフトウェアを使用しています。Tesla のオープン ソース ソフトウェアについてはウェブサイト参照してください <http://www.tesla.com/opensource>。この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用しています。(承認番号 平 27 情使、第 74 号)。地図にデータに関する所有権 (以下に掲げるものを含むがそれに限定されない) は、Increment P Corporation (IPC) が所有しています。Copyright © 2009-2014 Japan Digital Road Map Association および Copyright © 2015 Increment P Corp ([免責事項 ページ 243](#) 参照)。HD Radio は、iBiquity Digital Corporation の登録商標です。以下は、Tesla, Inc. の米国またはその他の国における商標または登録商標です。



TESLA

TESLA MOTORS

TESLA ROADSTER

MODEL S

MODEL X

MODEL 3

MODEL Y

CYBERTRUCK

T E S L A



本ガイドに含まれる他のすべての商標はそれぞれの所有者の財産であり、係る商標の本ガイドにおける使用は、これら製品またはサービスを推奨または是認するものではありません。本書または車両に表示されている商標を不正に使用することを固く禁じます。



機能の使用可否に関する声明

Tesla は常に変化しており、ソフトウェアのアップデートのたびに新しい機能が追加され、改良されています。ただし、お客様の車両で動作しているファームウェアによっては、すべての機能が搭載されていない場合や、本オーナーズマニュアルに記載されたとおりに動作しない場合があります。搭載されている機能は、販売地域、車両構成、購入オプション、ソフトウェアのアップデートなどによって異なります。

オーナーズマニュアルでオプションまたは機能が記されている場合がありますが、お客様の車両でご利用になれることを保証するものではありません。最新かつ最高の機能を確実に入手する最善の方法は、通知を受け取ったらすぐに車両のソフトウェアを更新することです。優先設定は、「コントロール」>「ソフトウェア」>「ソフトウェアの優先設定」>「詳細設定」でも設定できます。詳細情報については、[ソフトウェアアップデート ページ 156](#) を参照してください。車両で利用可能な機能については、常に現地の法律と制限を遵守して、あなた自身や同乗者、周囲の人々の安全を確保するために、必ず現地の法律や制限を遵守してください。



車両テレマティクス

Model S は、モーター、オートパイロットコンポーネント、バッテリー、ブレーキおよび電気システムを含むさまざまな車両システムからのデータを監視および記録する電子モジュールが搭載されています。これらの電子モジュールは、ブレーキング、加速、距離およびその他車両に関連する情報を含む、さまざまな運転および車両の状態に関する情報を記録します。これらのモジュールは、充電イベントとステータス、各種システムの有効化/無効化、診断問題コード、VIN、速度、方向および場所など車両独自の情報も記録します。

車両に保存されるこのデータは、車両の整備中に Tesla サービス技術者によってアクセス、使用、保存することができます。または、車両のテレマティクスシステムを通じて Tesla にワイヤレスで定期的に送信することができます。このデータは次のようなさまざまな目的で Tesla が使用しますがこれらに限定されません。お客様に Tesla テレマティクスサービスを提供すること。トラブルシューティング、車両の品質、機能、性能の評価。Tesla およびそのパートナーが車両の改善と設計のために実施する分析および調査。Tesla の弁護。法律で要求された場合。車両の整備を通して、Tesla は車両のデータログを調査するだけで、遠隔から問題を解決できる場合があります。

Tesla のテレマティクスシステムは、Tesla に情報を定期的にワイヤレス送信します。データは前述の通りに使用され、車両を適切に保守するのに役立てられます。Model S の追加機能により、車両のテレマティクス システムおよび提供される情報を使用することがありますが、これら追加機能には充電リマインダー、ソフトウェア更新、車両のさまざまなシステムに対するリモートアクセスおよび制御が含まれます。

Tesla は、以下の場合を除き車両に記録されたデータを第三者に開示することはありません:

- 車両の所有者 (またはリース車両の場合はリース会社) からの同意または合意が得られている場合。
- 警察またはその他の当局により正式に要求された場合。
- Tesla の弁護目的で使用された場合。
- 裁判所により命令された場合。
- 車両所有者の詳細情報または識別情報を開示せずに調査目的で使用する場合。
- 継承者または譲受人を含む Tesla の子会社、もしくは情報システム、およびデータ管理プロバイダーに開示する場合。

お客様の車両から収集したデータの Tesla による処理方法のその他の情報については、<http://www.tesla.com/about/legal> にある Tesla プライバシー通知を参照してください。

データ共有

品質保証と、オートパイロットなどの高度機能の継続的な改良をサポートするため、お客様の Model S から、分析データ、道路セグメント データ、診断データ、車両使用データが収集され、分析のために Tesla に送信されることがあります。Tesla 車が運転された膨大な走行距離の実績により、この分析を Tesla による製品とサービスの改善に役立てることができます。Tesla は、このデータを同様のデータを提供するパートナーと共有しますが、収集した情報でお客様の身元が特定されることはなく、収集した情報はお客様の明示的な同意によってのみ送信

されます。お客様のプライバシー保護のため、個人情報は記録されることはなく、プライバシー保全技術の下で扱われ、あるいは Tesla に送信される前にすべてのレポートから削除されます。お客様は、「コントロール」>「ソフトウェア」>「データ共有」にタッチすることで、共有するデータを管理できます。

お客様の車両から収集したデータの Tesla による処理方法のその他の情報については、<http://www.tesla.com/about/legal> にある Tesla プライバシー通知を参照してください。

注: ただし、本文書に記載されているように、Model S は運転と操作に関連して GPS を使用していますが、Tesla は衝突事故が発生した場所を除き、車両固有の GPS 情報を記録または保存しません。このため、Tesla は車両の位置に関する履歴情報を提供することはできません (例えば特定日時に Model S が駐車/走行していた場所についての記録を Tesla は取りません)。

品質管理

Model S の納車時に、オドメーターの表示に若干の数値 (数 km) の走行距離が表示されている場合があります。これは、Model S の品質を保証するための包括的テスト プロセスの結果です。

テスト プロセスには、生産中および生産後の広範囲な検査が含まれます。最終検査は Tesla で実施され、技術者が実施するロードテストが含まれます。

サウンド ライブラリ

「無料サウンド ライブラリ」(装備されている場合)

無料のサウンド エフェクト サイトです。

ライセンス: Attribution 4.0 International (CC BY 4.0)。あなたは、商用または非商用目的のマルチメディア プロジェクトに、サウンド エフェクトを使用することを無料かつロイヤリティフリーで許可されています。

<http://www.freesoundslibrary.com>

絵文字

Photobooth アプリ (装備されている場合) の Twemoji 絵文字。

Twemoji は、X Corp. (旧 Twitter, Inc.) によりライセンスされています。(©2025 X Corp. およびその他の貢献者) [Creative Commons Attribution 4.0 International \(CC BY 4.0\)](https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/) ライセンスの下で提供されています。



地図データ

次の所有権表示は、お客様の車両のソフトウェア (Map Data) に含まれる地図データおよびその利用に適用されます。

- Increment P Corporation (IPC) とそのライセンス許諾者は、Map Data に関する著作権と商標権を含むがそれらに限定されないすべての所有権を所有しています。
 - Copyright © 2009-2014 JAPAN DIGITAL ROAD MAP ASSOCIATION
 - Copyright © 2015 INCREMENT P CORP
- IPC は明示的か黙示的かを問わず、いかなる装置の正確性、完全性、合目的性、通常動作、機能性を含むがそれらに限定されない Map Data に関する一切の保証をいたしません。IPC は、Map Data の利用によって生じたいかなる損害に対しても責任を負いません。
- Map Data は、日本デジタル道路地図協会によって発行された全国デジタル道路地図データベースを用いて作られています。
- Map Data は、日本の測量法第 44 項に従い、次の表に記された組織が発行した都市計画図を用いて作られ、その利用はそれぞれの組織によって承認されています。

組織	承認日	承認番号
神奈川県小田原市	1998 年 04 月 02 日	小田原市指令第 52 号
岐阜県養老町	2000 年 03 月 13 日	平成 12 年 養建第 1902 号
愛知県知多市	2000 年 05 月 16 日	平 10.近公.第 34 号
和歌山県貴志川市	2001 年 03 月 13 日	平成 12 年度 知都発第 170 号
福岡県隠岐町	2004 年 03 月 03 日	15 大木建第 734 号
長野県堀金町	2005 年 03 月 01 日	16 堀第 5417 号
滋賀県東近江市	2006 年 02 月 28 日	東開第 111 号
群馬県伊香保町	2005 年 07 月 14 日	伊建農発 229 号
Tokyo Digital Map Corporation	2007 年 02 月 08 日	18 東デ共 041 号 ※契約番号
東京都	2007 年 02 月 07 日	18 都市基交第 478 号
岡山県津山市	2006 年 02 月 17 日	平成 17 年津山市使用承認第 5 号
山口県宇部市	2006 年 05 月 15 日	指令宇都第 13 号
山口県宇部市	2006 年 05 月 31 日	指令宇都第 14 号
山口県周防大島町	2006 年 05 月 12 日	周防建設第 56 号
香川県東かがわ市	2006 年 05 月 02 日	18 建第 107 号
愛媛県東温市	2006 年 05 月 16 日	H18 東温都第 174 号
宮城県	2006 年 09 月 19 日	林振第 350 号
宮城県	2007 年 02 月 28 日	林振第 611 号
秋田県	2007 年 03 月 07 日	指令水緑-1258
山形県	2006 年 12 月 06 日	森第 18-10 号
新潟県長岡市	2006 年 03 月 28 日	長都政第 477 号
山梨県	2007 年 03 月 01 日	森整第 1561 号
長野県	2007 年 02 月 14 日	18 森政第 5-5 号
島根県	2006 年 11 月 24 日	森第 1286 号
島根県	2007 年 02 月 27 日	森第 1736 号
広島県	2007 年 02 月 15 日	林振第 115 号



組織	承認日	承認番号
徳島県	2007 年 01 月 30 日	林振第 484 号
佐賀県	2006 年 10 月 04 日	森整第 010634 号
長崎県	2006 年 10 月 06 日	18 林第 492 号
熊本県	2007 年 02 月 14 日	森整第 993 号
熊本県	2007 年 03 月 07 日	森整第 1079 号
大分県	2006 年 12 月 05 日	林 18-1
大分県	2007 年 03 月 07 日	林 18-2
宮崎県	2006 年 12 月 08 日	使 18-1 号
宮崎県	2007 年 03 月 08 日	使 18-3 号
鹿児島県	2006 年 11 月 17 日	平 18 林振第 360 号
鹿児島県知覧町	2006 年 05 月 26 日	知耕第 590 号
茨城県	2007 年 08 月 08 日	林政 19-482 号
秋田県	2006 年 11 月 30 日	指令水緑-947
山梨県笛吹市	2007 年 12 月 13 日	笛まち第 12-25 号
岐阜県	2008 年 03 月 24 日	情企第 590 号
高知県	2007 年 02 月 14 日	18 高森推第 568 号
鹿児島県	2008 年 01 月 16 日	平 19 林振第 404 号
北海道小樽市	2009 年 02 月 18 日	平 21 樽港事第 33 号
静岡県	2009 年 03 月 03 日	平成 21 年森計第 477 号
鹿児島県	2007 年 03 月 09 日	平 18 林振第 497 号
山形県東根市	2009 年 05 月 27 日	東建収第 8 号
北海道幕別町	2010 年 07 月 14 日	H22 幕都計第 185 号
国土地理院	2010 年 09 月 28 日	国地企調第 180 号
鹿児島県	2007 年 08 月 06 日	平 19 林振第 246 号
愛知県田原市	2011 年 04 月 22 日	23 田街第 55 号
国土地理院	2012 年 6 月 21 日	平 24 情使、第 199 号-63 号
国土地理院	2014 年 05 月 16 日	平 26 情使、第 74 号-63 号
国土地理院	2014 年 07 月 01 日	平 26 情使、第 163 号-63 号
国土地理院	2014 年 08 月 04 日	国地企調第 155 号

- Map Data に含まれる交通規制データは 2014 年 9 月現在のものです。かかる交通規制データと実際に掲示されている交通標識や交通規制表示に相違がある場合、Map Data の使用においては実際に掲示されている交通標識や交通規制表に従ってください。
- この交通規制データは、2 輪や大型商用車（モーターサイクルや商用トラック等）には適用されません。



安全上の不具合を報告する

Tesla に連絡する

お客様の Model S に関する詳細を見るには、<http://www.tesla.com> に進んでお客様の Tesla アカウントにログインするか、アカウントをお持ちでない場合は新規でサインアップしてください。

Model S に関して質問や疑問がある場合は、Tesla までお電話でご連絡ください。対象地域の番号の検索には、<http://www.tesla.com> に進んで、連絡先情報を表示してください。



所有権の譲渡

Model S を売却する際は、Tesla モバイルアプリで所有権を削除し、車両を新しい所有者に譲渡できます。その前に、次の点を確認してください。

- すでに車両を所有していない、または車両へのアクセスが不要であること
- モバイル アプリが最新バージョンであること
- アプリを開く前に、Wi-Fi および Model S にアクセスできること

次の手順を実行します:

1. セキュリティのため、「コントロール」>「サービス」>「工場出荷リセット」をタッチして、工場出荷リセットを実行してください。

注: 車両をアカウントから削除すると、工場出荷リセットは実行できなくなります。

2. 「マイ プロダクト」>「削除または所有権の譲渡」をタッチして、Model S を削除または譲渡してください。

Tesla アカウントから Model S を削除すると、その車両に関連付けられた有料サブスクリプションはすべて終了します。また、元の所有者が獲得または保持していたインセンティブも削除されます。削除されたインセンティブは復元できません。Bluetooth デバイス、プロフィール、ナビゲーション履歴も削除されます。

Model S を新しい所有者に譲渡すると、譲渡手続きが完了した時点で、譲渡元と譲渡先の双方に確認メールが送信されます。スーパーチャージャーのクレジット、アップグレード、サブスクリプション、その他一部の機能は譲渡できないことがあります。

注: Tesla 車両は 1 台につき、同時に 1 人の所有者と 1 つの Tesla アカウントしか登録できません。

中古の Tesla の所有権を取得する方法

Tesla アカウントを作成した後、前の所有者に所有権の譲渡を依頼してください。前の所有者が所有権を譲渡できない場合は、第三者から購入した Model S の所有権を、Tesla モバイルアプリから申請することができます。この操作を行う前に、Wi-Fi に接続できる環境と車両へのアクセスがあることを確認してください。

アプリに Tesla 車両が登録されていない場合は、アカウント画面で「マイ プロダクト」>「製品を追加」をタッチしてください。

すでにアプリに Tesla 車両が登録されている場合は、画面左上の車両名をタッチし、「製品を追加」を選択してください。

手続きの詳細および必要な書類については、<https://www.tesla.com/support/how-add-or-remove-vehicles-tesla-app> を参照してください。



キーおよびパッシブロック解除システム

FCC 認証

モデル番号	製造者	周波数	テスト済み
A-0749G02	Pektron	315 MHz	米国 カナダ メキシコ 台湾
A-0749G12	Pektron	315 MHz	米国 カナダ メキシコ 台湾
WC1	テスラ	127.7 KHz	グローバル

上記の装置は、FCC 規則パート 15 およびカナダ政府産業省のライセンス適用免除 RSS 標準、EU 指令 2014/53/EU に適合しています。

1. 本装置は有害な干渉を引き起こしてはならない。
2. 本装置は、望ましくない動作の原因となる干渉を含む、本装置が受ける干渉も受け入れなければならない。

Tesla が明示的に承認していない変更または修正を行った場合、本装置を操作するお客様の権限が無効になる可能性があります。

放射線被ばくに関する声明

本製品は、低電力消費のワイヤレス電力伝送に関する、FCC/IC 無線周波数暴露規則に準拠しています。無線周波数暴露制限は制御されていない環境のために定められており、本マニュアルに記載されている目的の操作を安全に行うためのものです。また、無線周波数暴露に関するコンプライアンスは利用者の身体から 20 cm 以上離すか、可能な場合にはデバイスを一番低い位置の電源に入れて実証されたものです。

MIC 認証

モデル番号	製造者	MHz	テスト済み
A-0749G04/A-0749G14	Pektron	第 315	日本

CE 認証

モデル番号	製造者	MHz	テスト済み
A-0749G01 および A-0749G11	Pektron	第 433	ヨーロッパ オーストラリア ニュージーランド シンガポール 韓国



モデル番号	製造者	MHz	テスト済み
A-0749G05 および A-0749G15	Pektron	第 433	China 香港 韓国

上記の装置は CE 規格に準拠しています。動作には以下の 2 つの条件が適用されます。

1. 本装置は有害な干渉を引き起こしてはならない。
2. 本装置は、望ましくない動作の原因となる干渉を含む、本装置が受ける干渉も受け入れなければならない。

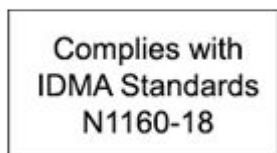
Tesla が明示的に承認していない変更または修正を行った場合、本装置を操作するお客様の権限が無効になる可能性があります。

SRIM 認定（マレーシア）

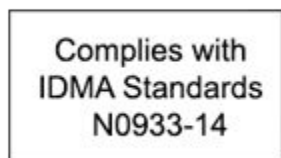
モデル番号	製造者	周波数	テスト済み
A-0749G01 および A-0749G11	Pektron	433-435MHz	マレーシア

適合ラベル - シンガポール

モデ A-0749G11:

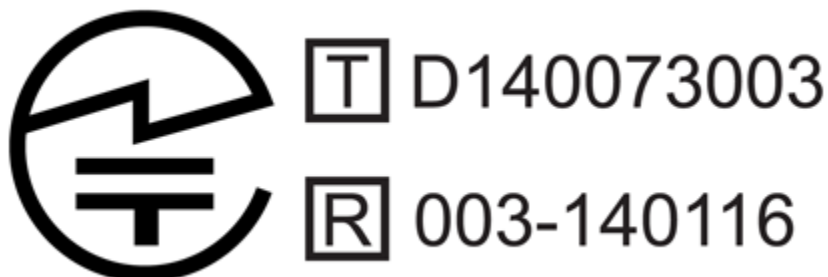


モデル A-0749G01:



メディア コントロール ユニット

装置認可 - 日本





認証適合性

タイヤ空気圧監視システム

FCC ID: TZSTPMS201、Z9F-201FS43X

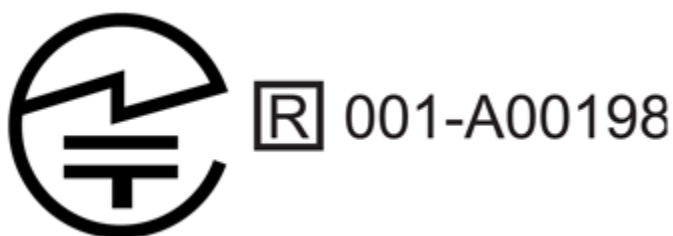
IC ID: 11852A-201FS4X

タイヤ空気圧監視システム (TPMS) は FCC 規則のパート 15 およびカナダ イノベーション・科学・経済開発省の RSS-210 に準拠しています。動作には以下の 2 つの条件が適用されます。

1. 本装置は有害な干渉を引き起こしてはならない。
2. 本装置は、望ましくない動作の原因となる干渉を含む、本装置が受ける干渉も受け入れなければならない。

Tesla が明示的に承認していない変更または修正を行った場合、本装置を操作するお客様の権限が無効になる可能性があります。

装置認可 - 日本



日本

冷媒

タイプ	環境への影響	製造元	車種	フルオロカーボン量±許容範囲 (g)	目標値	目標年
R-134a	GWP=1,430	Tesla, Inc.	Model S	770±20	GWP=1	第 2023

無線周波数情報

本装置はテスト済みであり、FCC 規則のパート 15 に従って、クラス B デジタル装置の制限に準拠することが確認されています。これらの制限は、住宅への設置において有害な干渉に対して適切な保護を行うことを目的としています。本装置は無線周波エネルギーを発生および使用し、また放射することがありますので、指示に従って設置および使用しない場合、無線通信に対して有害な干渉を発生する可能性があります。ただし、特定の設備において干渉が発生しないという保証はありません。本装置がラジオまたはテレビの受信に対して有害な干渉を発生する場合 (本装置のスイッチのオンオフで判断可能)、以下の方法の 1 つまたは複数を行って干渉の修正を試みてください。

- 受信アンテナの方向または場所を変更する。
- 本装置と受信機との距離を広げる。
- 装置を受信機が接続されている回路と別の回路のコンセントに接続する。
- ディーラーまたは経験のあるラジオ / テレビ技術者に相談する。



RF モジュール

上記の装置は CE 標準に準拠しています。動作には以下の 2 つの条件が適用されます。

1. 本装置は有害な干渉を引き起こしてはならない。
2. 本装置は、望ましくない動作の原因となる干渉を含む、本装置が受ける干渉も受け入れなければならない。

Tesla が明示的に承認していない変更または修正を行った場合、本装置を操作するお客様の権限が無効になる可能性があります。

詳細	周波数帯	出力レベル	アンテナの場所
キー FOB	送信 - 433.9 MHz 受信 - 134.2 kHz	433.9 MHz 時に 10 mW (0.285µW ERP)	非該当
ボディ/セキュリティコントローラー	送信 - 134.2 kHz 受信 - 433.9 MHz	n/a (磁場)	フロント助手席足元スペース
TPMS センサー	433.9 MHz 315 MHz (日本)	2.5 mW	各ホイール
TPMS モジュール/アンテナ	受信 - 433.9 MHz 受信 - 315 MHz (日本)	n/a (受信のみ)	左側 C ピラー
AM/FM	522~1620 MHz 88~108 MHz	n/a (受信のみ)	リアウィンドウ
DAB	174~241 MHz	n/a (受信のみ)	リアウィンドウ
Homelink (装備されている場合)	433.9 MHz	10 mW	フロントバンパービーム上
パッシブ エントリー	送信 - 134.2 kHz 受信 - 433.9 MHz	非該当	2 (インストルメントパネルエンドキャップ内) 1 (リアバンパー内)
Bluetooth	2402-2480MHz	最大 2.5 mW	天井中央の B ヘッダー
GSM (バンド 5/8)	送信 - 824~849、880~915 MHz 受信 - 864~894、925~960 MHz	2 W	送信 - 右側ミラー 受信 - 右側ミラー
GSM (バンド 2/3)	送信 - 1710~1785、1850~1910 MHz 受信 - 1805~1880、1930~1990 MHz	1 W	送信 - 右側ミラー 受信 - 右側ミラー
WCDMA (バンド 5/6/19/8)	送信 - 824~849、880~915 MHz 受信 - 864~894、925~960 MHz	250 mW	送信 - 右側ミラー 受信 - 右側ミラー



認証適合性

詳細	周波数帯	出力レベル	アンテナの場所
WCDMA (バンド 1/2/3/4)	送信 - 1710～1785、1850～1910、1920～1980 MHz 受信 - 1805～1880、1930～1990、2110～2170 MHz	250 mW	送信 - 右側ミラー 受信 - 右側ミラー
LTE (バンド 5/19/26/8/20/28)	送信 - 703～748、814～849、832～862、880～915 MHz 受信 - 758～803、791～821、859～894、925～960 MHz	200 mW	送信 - 右側ミラー 受信 - 右側ミラー
LTE (バンド 21/32)	送信 - 1447.9～1462.9 MHz 受信 - 1452～1510.9 MHz	200 mW	送信 - 右側ミラー 受信 - 右側ミラー
LTE (バンド 1/2/3/4)	送信 - 1710～1785、1850～1910、1920～1980 MHz 受信 - 1805～1880、1930～1990、2110～2170 MHz	200 mW	送信 - 右側ミラー 受信 - 右側ミラー
LTE (バンド 7)	送信 - 2500～2570 MHz 受信 - 2620～2690 MHz	200 mW	送信 - 右側ミラー 受信 - 右側ミラー
Wi-Fi	2400～2483.5 MHz 5180～5825 MHz	100 mW	左側ミラー 左側ミラー/天井中央の B ヘッド ー
GPS	1563-1587MHz	n/a (受信のみ)	フロントウィンドウとリアビュー ーミラーの間



記号

安全情報: 44

チャイルドシート: 44

引き上げ: 171

運転中: 57

始動: 57

往復にかかるエネルギー（ナビゲーション）: 136

往復にかかる予想エネルギーの常時表示: 136

温度: 59, 124, 146

バッテリー（高電圧）、限界: 146

加熱式: 59

車内、調整: 124

音声コマンド: 17

音量調節: 6

音量調節（メディア）: 138

加熱式: 124

荷重限度: 175

貨物エリア: 28

回生ブレーキ: 69

改造: 172

寒冷環境におけるベストプラクティス: 129

寒冷地設定: 129

機能、新しいものをダウンロード: 156

機能の使用可否: 242

技術的に許容される最大積載質量: 175

技術的に許容される軸上の最大質量: 175

勤務先位置: 134

緊急ブレーキ: 111

緊急時に内部からドアを開く: 191

緊急車線逸脱防止機能: 109

緊急灯: 65

空調: 124

空調コントロール: 124

携帯電話アプリ: 55

警告用フラッシャー: 65

後方カメラ: 83

公共充電ステーション: 144

航続距離: 69, 154

回生ブレーキ: 69

最大限に伸ばす運転のヒント: 154

降車後オートロック機能: 23

高電圧: 143, 159, 181

コンポーネント: 143

バッテリーの仕様: 181

安全: 159

座位置: 47

最近の履歴（ナビゲーション）: 132

最近の履歴（メディアプレーヤー）: 140

仕様: 178, 179, 181

サスペンション: 179

サブシステム: 178

ステアリング: 179

タイヤ: 181

トランスミッション: 178

ブレーキ: 179

ホイール: 181

モーター: 178

高電圧バッテリー: 181

低電圧バッテリー: 181

指示、けん引: 184

自宅位置: 134

自動緊急ブレーキ: 112

自動車用カバー: 168

車に何がついてるって?: 140

車高、エアサスペンション: 72

車高調整、エアサスペンション: 72

車高調整（サスペンション）: 171

無効化（ジャッキモード）: 171

車線逸脱防止: 109

車体の修理: 172

車内温度コントロール: 124

車両に名前を付ける: 9

車両のライト: 63

車両の状態、表示: 58, 59

車両の名前を変更する: 9

車両の輸送: 184

車両所有権の管理: 248

車両積載量: 175

車輪止め: 186

充電: 143, 144, 147, 148

コンポーネントおよび機器: 143

スケジューリング: 148

公共充電ステーション: 144

手順: 147

充電ステータス: 148

充電設定: 148

充電ステーション、地図に表示: 132

充電ポイント、検索: 135

充電ポート: 147

充電ポートライト: 148

充電ポートリリースレバー: 151

充電ポート手動リリース: 151

充電予約: 153

出発予定時刻: 153

使用: 153

瞬間値: 155

所有権の削除: 248

所有権の譲渡: 248

助手席乗員感知: 46



索引

商標: [240](#)
消費量チャート: [155](#)
衝突回避アシスト: [111](#)
障害物検知走行モード: [111](#)
乗員の識別: [47](#)
乗車後カレンダーを表示: [55](#)
常時接続、設定: [155](#)
侵入検出: [116](#)
水没車両: [192](#)
整備データ記録: [243](#)
正面衝突警告: [111](#)
絶ぜったいそくどせいげん: [114](#)
洗車: [165](#)
走行後オートロック: [23](#)
側面衝突警告: [109](#)
地図データ、所有権表示: [244](#)
地図の向き: [132](#)
地図の更新: [137](#)
著作権: [240](#)
追跡無効: [132](#)
定員: [175](#)
定期サービス: [158](#)
電気式パーキング ブレーキ: [70](#)
電源アウトレット: [10](#)
電源管理: [155](#)
電動リフトゲート: [22](#)
電波干渉: [23](#)
電力: [69](#)
 回生ブレーキの効果: [69](#)
電力切れ: [188](#), [190](#)
電話: [53](#), [55](#), [59](#)
 アプリ: [55](#)
 接続中: [53](#)
 通話の履歴: [53](#)
 ハンドルのボタン: [59](#)
 ペアリング: [53](#)
 連絡先のインポート: [53](#)
 受話: [55](#)
 通話中オブション: [55](#)
 発話: [55](#)
認証 - CE: [248](#)
認証 - FCC: [248](#)
認証 - IC: [248](#)
認証 NCC: [248](#)
納車後の走行距離: [243](#)
納車走行距離: [243](#)
表示設定: [6](#)
部品の交換: [172](#)
平均値: [155](#)
便利な検索機能: [132](#)

法定プレート: [175](#)
無線規制コンプライアンス: [248](#)
輸送: [184](#)
料金徴収システム トランスポンダー、取り付け: [172](#)
隣接する車線の走行速度: [92](#)
連絡先情報: [188](#)
 ロードサイドアシスタンス: [188](#)
録画: [118](#), [120](#)

A

ABS（アンチロック ブレーキシステム）: [68](#)

B

Bluetooth: [53](#), [55](#), [140](#)
 一般情報: [53](#), [55](#)
 デバイス、オーディオ ファイルの再生: [140](#)
 電話、ペアリングと利用: [53](#)

C

CCS (コンボ): [144](#)
CHAdemo: [144](#)

F

FCC および IC 認証（キー）: [248](#)

I

ISOFIX 対応チャイルドシート、取り付け: [42](#)

J

J1772: [144](#)

P

PIN: [81](#)

R

RFID トランスポンダー: [172](#)
RF アンテナ: [23](#)

T

Teslacam: [118](#), [120](#)
Tesla プロフィール: [80](#)
TPMAM: [175](#)
TPMLM: [175](#)
TPMS: [162](#), [250](#)
 FCC 認証: [250](#)
 の概要: [162](#)

U

USB ドライブ: [10](#)



接続: [10](#)

USB ポート: [10](#)

USB フラッシュドライブ: [116](#), [118](#), [120](#)

W

Wi-Fi への接続: [52](#)

Wi-Fi への接続: [52](#)

あ

アーケード: [140](#)

アクセサリ: [10](#)

電源アウトレットへの差し込み: [10](#)

アダプティブヘッドライト: [64](#)

アプリ: [6](#)

アラーム: [116](#), [120](#)

アンチロック ブレーキ (ABS) : [68](#)

アンテナ: [23](#)

い

イージーエントリー、ドライバーのプロフィール: [80](#)

イベントデータ記録: [243](#)

インストルメントパネル: [167](#)

クリーニング: [167](#)

いんすとうるめんとばねる、がいよう: [11](#)

インテリア: [4](#), [124](#), [166](#)

クリーニング: [166](#)

温度コントロール: [124](#)

概要: [4](#)

インテリア (寸法) : [176](#)

インテリア仕様: [176](#)

う

ウインカー、ライト: [64](#)

ウインド ウォッシャー液、補充: [169](#)

ウォール コネクタ: [144](#)

ウォッシャー、使用: [66](#)

ウォッシャー液、補充: [169](#)

ウォッシャー液噴出口、清掃: [170](#)

え

エアコンを ON のままにする: [126](#)

エアバッグ: [45](#)

エアバッグ、助手席、無効: [46](#)

エアバッグ安全情報: [37](#), [48](#)

エアバッグ: [48](#)

シートベルト: [37](#)

エア フィルター: [128](#)

エクステリア: [3](#), [165](#), [167](#), [168](#)

クリーニング: [165](#)

つや出し、補修塗り、修理: [167](#)

概要: [3](#)

自動車用カバー: [168](#)

エクステリア (寸法) : [176](#)

エネルギー: [69](#)

回生ブレーキの効果: [69](#)

エネルギー アプリ: [155](#)

えねるぎー、こうぞくきよりじょうほう: [11](#)

エネルギー使用予測 (ナビゲーション) : [136](#)

エネルギー節約モード: [155](#)

お

追い越し加速: [87](#)

オーディオ: [58](#), [138](#), [140](#)

ハンドルのボタン: [58](#)

ファイルの再生: [138](#), [140](#)

音量調節: [138](#)

設定: [138](#)

オートナビゲーション: [132](#)

オートパイロット: [85](#), [87](#), [92](#), [93](#), [94](#), [96](#), [97](#), [105](#)

オートステアリング: [85](#), [92](#), [94](#), [96](#), [97](#), [105](#)

オートレーンチェンジ: [85](#), [94](#), [97](#), [105](#)

ナビゲート オン オートパイロット: [85](#), [96](#), [105](#)

サスペンション: [93](#)

トラフィックアウェア クルーズコントロール: [85](#), [87](#), [105](#)

フルセルフドライビング (スーパーバイズド) : [85](#)

オートブレーキホールド: [76](#)

オーナー情報について: [240](#)

オール シーズン タイヤ: [163](#)

オドメーター: [82](#)

オフピーク充電: [153](#)

おもちゃ箱: [140](#)

オンラインルート案内: [136](#)

お楽しみ: [140](#)

お気に入り (ナビゲーション) : [132](#)

お気に入り (メディアプレイヤー) : [140](#)

か

カーペット、クリーニング: [167](#)

がいきおん: [11](#)

外形寸法: [176](#)

カップホルダー: [33](#)

カメラ、後ろ向き: [83](#)

貨物量 (仕様) : [178](#)

カラーライザー: [140](#)

カラオケ: [140](#)

カレンダー: [55](#)

換気: [128](#)

換気、サンルーフ: [26](#)



き

キー: 20, 21
 バッテリーの交換: 21
 使用法: 20
 追加の注文: 21
キー フォブ: 57
 キーフォブが車内にない: 57
キーフォブが動作しないときのアンロック: 23
キーレスエントリー: 20
キャビンエア フィルター: 128
キャンプ: 126
距離: 100

く

クリーニング: 165
クリープ: 70
クルーズ コントロール: 87
 トラフィックアウェア クルーズコントロール: 87
グローブボックス: 32
グローブボックス PIN: 117

け

ゲーミングコントローラー: 140
けん引: 184, 188, 190
けん引ボルト、位置: 185

こ

こうぞくきょり、いんすとうるめんとばねるにひょうじ: 11
コンソール: 10, 33
 USB ポート: 10
 カップホルダー: 33
 低電圧電源アウトレット: 10

さ

サービスの予約: 49
最低地上高: 176
サイド カメラ: 83
サイド クリアランス () : 100
坂道、で停止する: 76
サスペンション: 72
サスペンション、エア: 72
サスペンション、減衰: 72
サスペンション、車高自動上昇: 72
サスペンションの仕様: 179
サマー タイヤ: 163
サンルーフ: 26

し

シート: 34, 124

ヒーター: 124
調整: 34
シートカバー: 35
シートヒーター: 124
シートベルト: 36, 37, 167
 クリーニング: 167
 の概要: 36
 プリテンショナー: 37
 衝突した場合: 37
 妊娠中の女性が着用するとき: 36

始動: 57
ジャッキアップ: 171
ジャッキモード: 171
車両識別番号 (VIN) ラベル: 174
車両識別ラベル: 174
ジャンプスタート: 188, 190
仕様 (エクステリア) : 176
仕様 (寸法) : 176
ショートカット: 7, 8
 タッチスクリーンの再起動: 8
 マイ アプリに追加: 7
暑熱環境におけるベストプラクティス: 131

す

スーパーチャージャー、地図に表示: 132
スーパーチャージャー充電: 150
 記述: 150
 混雑時料金: 150
 従量制プラン: 150
 超過時間料金: 150
スケジュール: 153
スタッドレスタイヤ: 163
スタビリティ コントロール: 77
スタンバイ: 120
ステアリングの仕様: 179
ストップモード: 70
すぴーどあしすと: 114
寸法、オーバーハンド: 176

せ

セキュリティ 設定: 116
セルフレベリング: 72
セントリーモード: 120

そ

そうたいそくどせいげん: 114
そくどせいげんからおふせつと: 114
そくどせいげんけいこく: 114
ソフトウェア アップデート: 156
ソフトウェアのアップデート優先設定: 156



ソフトウェアの再インストール: 156

た

タイ ダウン ストラップ: 186

タイヤ: 160, 161, 163, 164, 181, 182

 ウインター: 163

 オール シーズン: 163

 サマー: 163

 タイヤ センサーの交換: 163

 タイヤのマーキング: 182

 チェーン: 164

 バランス調整: 161

 ホイール設定: 160

 ローテーション: 161

 圧力、表示: 160

 空気圧、チェック方法: 160

 交換: 161

 仕様: 181

 点検と保守: 160

タイヤのノイズ: 164

タイヤのローテーション: 161

タイヤ空気圧、チェック: 160

タイヤ空気圧、表示: 160

タイヤ空気圧監視システム: 162, 250

 FCC 認証: 250

 の概要: 162

タイヤ情報ラベル: 175

ダッシュカム: 118

ダッシュボードの概要: 4

タッチスクリーン: 6, 7, 8, 156, 167

 クリーニング: 167

 ショートカットを追加: 7

 ソフトウェア アップデート: 156

 マイ アプリをカスタマイズ: 7

 メイン: 6

 リア: 6

 概要: 6

 再起動: 8

 停止: 8

 表示設定: 6

 無反応: 8

タッチスクリーンの再起動: 57

ち

チェーン: 164

チャイルドシート: 46, 167

 クリーニング: 167

 助手席フロントエアバッグを無効化: 46

チャイルドシート（取付および使用）: 39

チャイルドプロテクション: 25

リアウィンドウ スイッチをロックする: 25

チャイルドロック: 22

 リフトゲートとリア ドア ハンドルの無効化: 22

つ

通気口、調整: 128

て

データ記録: 243

データ共有: 243

デバイス: 10, 140

 Bluetooth、オーディオ ファイルの再生: 140

 接続: 10

テレマティクス: 243

電源のオン/オフ: 57

と

ドア: 20, 191

 電力がない状態で開く: 191

 内側から開ける: 191

ドア アンロックモード: 22

ドア シール: 167

 クリーニング: 167

ドア ハンドル: 21

ドア ラベル: 175

ドア、開く: 20

ドアのロックとロック解除: 20

ドッグ: 126

ドライバー: 34, 80

 シート調整: 34

 プロフィール: 80

ドライブ: 34, 154

 航続距離を最大限に伸ばすヒント: 154

 座位置: 34

ドライブモード、切り替え: 62

ドライブモード、ドライブ: 62

ドライブモード、ニュートラル: 62

ドライブモード、パーキング: 62

ドライブモード、リバース: 62

ドライブモードの切り替え: 62

ドライブ用 PIN: 116

トラクションコントロール: 77

トランク、フロント: 30

トランク、リア: 22, 27

 チャイルドロック: 22

 内部ハンドルの無効化: 22

トランスポンダー、取り付け: 172

トランスミッションの仕様: 178

トリップ プランナー: 136

トリップ メーター: 82



索引

トルクの仕様: [178](#)
トレーラー ヒッチ: [175](#)
トレーラーのけん引: [175](#)

は

パーキング アシスト: [74](#)
パーキング ブレーキ: [70](#)
パーキング時のロック解除: [20](#)
ハイビーム ヘッドライト: [63](#)
ハザード: [65](#)
ハザードライト: [65](#)
バッテリー (キー)、交換: [21](#)
バッテリー (高電圧) : [146](#), [181](#)
 温度限界: [146](#)
 仕様: [181](#)
バッテリー (低電圧) : [145](#), [181](#)
 完全放電: [145](#)
 仕様: [181](#)
バレーモード: [81](#)
パワーウィンドウ: [25](#), [173](#)
パワーサイクリング: [57](#)

ひ

ヒッチ: [175](#)
ビデオ クリップ: [118](#)

ふ

ファームウェア (ソフトウェア) アップデート: [156](#)
ブームボックス: [140](#), [141](#)
ブラインドスポット衝突警告: [109](#)
ブラインドスポット衝突警告チャイム: [109](#)
フラッシャー、ハザード: [65](#)
フラッシュ ドライブ: [118](#), [120](#)
フルード: [159](#)
 交換間隔: [159](#)
ブレーキ: [68](#), [112](#), [179](#)
 の概要: [68](#)
 緊急時自動作動: [112](#)
 仕様: [179](#)
プレコンディショニング: [153](#)
フロア マット: [168](#)
フロント トランク: [30](#), [189](#)
 電力がない状態で開く: [189](#)
フロントおよびリア シート: [34](#)

へ

ペースメーカーへの配慮: [23](#)
ヘッドライト、アダプティブ: [64](#)
ヘッドライト、オートハイビーム: [63](#)
ヘッドライト、ハイビーム: [63](#)

ほ

ホイール: [161](#), [181](#)
 アライメント: [161](#)
 トルク: [181](#)
 交換: [161](#)
 仕様: [181](#)
ホーム: [6](#)
 ボタン: [6](#)
 画面: [6](#)
ホールド: [70](#)
ホーン: [59](#)
歩行者警告: [84](#)
ボディの補修塗り: [167](#)
ボディ 補修塗り: [167](#)
ボンネット: [30](#), [189](#)
 電力がない状態で開く: [189](#)

ま

マイ アプリ: [7](#)
マット: [168](#)

み

ミラー: [61](#)

め

メディア: [138](#), [140](#)
 ソース、表示および非表示: [138](#)
 設定: [138](#)
メンテナンス: [158](#), [159](#), [160](#), [165](#), [169](#), [170](#)
 ウォッシャー液、補充: [169](#)
 ウォッシャー液噴出口、清掃: [170](#)
 クリーニング: [165](#)
 タイヤ: [160](#)
 フルード交換間隔: [159](#)
 ワイパー ブレードの交換: [169](#)
 定期サービス: [158](#)
 定期的なチェック: [159](#)
 毎月のチェック: [158](#)
 毎日のチェック: [158](#)

も

モーターの仕様: [178](#)
モバイル アプリ: [49](#)
モバイル コネクター: [144](#), [147](#)
 使用: [147](#)
 説明: [144](#)
モバイルアプリアクセス: [49](#)

ら

ライト、インテリア: [63](#)
ライト、エクステリア: [63](#)
ライト、ハザード: [65](#)
ライト、フォグ: [63](#)
ライト、ルーム（マップ）: [63](#)
ライブカメラの表示: [120](#)
ラジオ: [138](#), [140](#)
ラベル: [175](#)
 タイヤ情報: [175](#)
 法定プレート: [175](#)
ランバー調節: [34](#)

り

リア ビュー カメラ: [83](#)
リアウィンドウ スイッチ、ロックする: [25](#)
リアシート、折りたたみと引き上げ: [34](#)
リフトゲート: [27](#)
 開口部: [27](#)
 開放時の高さ調整: [27](#)
リリース ノート: [157](#)

る

ルート変更: [136](#)
ルーフラック: [175](#)

れ

レーンアシスト: [109](#)
レンジプランナー: [154](#)
レンジモード: [154](#)

ろ

ロードサイドアシスタンス: [188](#)
ロール: [70](#)
ロケーション追跡: [132](#)

わ

ワイパー デフロスター: [66](#)
ワイパー ブレード、交換: [169](#)
ワイパー、使用: [66](#)
ワイパー、霜取り: [66](#)

TESLA

掲載日: 2025/12/16